

知識集約型社会を支える人材育成事業
(文理横断・学修の幅を広げる教育プログラム)

新潟大学

全学分野横断創生プログラム
(NICEプログラム)

自己評価報告書

新潟大学教育基盤機構
令和5年10月

目次

はじめに	1
令和4年度事業の自己評価	2
資料編	27
令和5年度外部評価結果	260
おわりに	276

はじめに

近年の高等教育における人材育成は、教育課程の柔軟化と学生自身が明確な目的意識を持って学ぶことのできる教育環境の構成に向かっているかと存じます。新潟大学は、こうした変化を見越して、国内大学の中でも早期に学位プログラム化を果たし、副専攻制度を展開してきました。現在は、これを更に柔軟化し、メジャー・マイナー制というしくみを整えております。

本事業は、この動きにとって中心的な役割を担っており、新しいマイナー・プログラムの開発やメジャー・マイナー制の学内普及にも大いに役立っております。学長・理事のリーダーシップのもと、本事業のスタッフ面々が一体となって日々尽力しております。そして、何よりも、そのことを各学部長はじめ教職員の方々がよく理解をしてくださっていることが、事業を円滑に進展させる原動力になっていると感謝しております。

これからも、全学的にこの好ましい雰囲気を保ちながら、メジャー・マイナー制を更に充実させ、本学で学ぶ学生たちへのより良い教育の提供を目指す所存でございます。本事業は、来年度に最終年度を迎えます。これまでの取組の仕上げを意識するとともに、事業の成果を新潟大学の教育の更なる向上につなげられるよう尽力して参りたいと存じます。

令和5年10月

全学分野横断創生プログラム プロジェクト責任者
教育基盤機構 教学マネジメント部門長 福島 治

知識集約型社会を支える人材育成事業（文理横断・学修の幅を広げる教育プログラム）

新潟大学 全学分野横断創生プログラム（NICE プログラム）

令和4年度事業の自己評価

目次

1. 事業基盤	
(1) 事業設計 (2) 教育プログラムの内容 (3) 改善点	p 4～ p 10
2. 学修成果	
教学 IR・学修成果の可視化	p 11～ p 14
3. 学修支援	
アカデミック・アドバイジングと学修デザイン相談	p 15～ p 17
4. 教育制度 (授業内容)	
学修創生型マイナー支援科目の開設と実施	p 18～ p 20
5. 企業・社会との接続	
大学教育と社会・仕事との接続	p 21～ p 23
6. 高大接続	
高等学校、高校生、保護者等への広報	p 24～ p 26

資料編

資料 1	p 28～ p 35
資料 2	p 36～ p 74
資料 3	p 75～ p 97
資料 4	p 98～ p 122
資料 5	p 123～ p 143
資料 6	p 144～ p 173
科目リスト	
学修創生型	p 174～ p 175
パッケージ型マイナー科目リスト	p 176～ p 230
オナーズ型マイナー科目リスト	p 231～ p 258
(参考) ロードマップ	259

1. 事業基盤

項目：(1) 事業設計（事業実施体制、プログラム設計）、(2) 教育プログラムの内容、(3) 改善点

担当者：福島 治

*評価は、以下の4段階の区分により行う。

区分	評価
1	所期の計画以上の取り組みが行われている
2	所期の計画と同等の取り組みが行われている
3	所期の計画に比べ、全体の取り組みが遅れているが、一部は同等の取り組みが行われている
4	所期の計画に比べ、取り組みが遅れている

評価	2
理由)	<p>事業基盤については、事業実施体制、教育プログラムの内容、改善点の観点からみています。このうち、実施体制に関して令和4年度10月から新体制となり、これまで以上に本事業の実施・推進体制は強化されました。NICE オフィスは学生の利便性が高い位置に移転することもできました。</p> <p>教育プログラムについても、昨年度に引き続き、新たなマイナー・プログラムの提供が進んでおります。「核エネルギー・災害科学」は、原発を抱える新潟県の国立大学として待望のプログラムといえますし、「農学から始めるDXとGX」も農業・食関連産業が盛んな新潟県で学ぶ学生には関心を持ってほしいプログラムです。</p> <p>改善点に関して、本事業は文科省による中間評価では最高の「S」であった一方、「分野横断デザイン」の履修者数の増加、「分野横断デザイン」および「分野横断リフレクション」のルーブリックの妥当性の向上、本事業と大学院との接続が指摘されました。このうち大学院との接続は大学院改革が途上であるため、具体的に進めにくい状況ですが、他の事項は順調にクリアしてきています。</p>

【取組の現状】

1. 進捗状況

(1) 事業設計（事業実施体制と事業内容としてのプログラムの設計）

1) 事業実施体制

本事業プログラム「全学分野横断創生プログラム」は、新潟大学がメジャー・マイナー制に移行するための充実したマイナー・プログラム（副専攻）の展開を目的としています。

この事業の実施体制は、図1の通りです。令和4年度10月に全学的な教育関連組織の改編があり、本事業実施体制も機能的に強化されました。これを反映した図になっています。

改組では、全学の教育関連業務を統括する組織として「教育基盤機構」が設置され、「教育戦略統括室」と「教育・学生支援機構」の機能が一つの組織内に統合されました。大学全体の教育戦略の方針と現場の教育実践のセクションが同一組織内に配置されることにより、これまで以上に密なコミュニケーションが可能となり、学長のリーダーシップのもとでの迅速な意思決定と現場への反映を円滑に行える体制となりました。また、合わせて全学的な管理体制人員の強化として、学務担当副学長に加えて、新たに教育改革担当副学長が配置され、本事業の運営・実施にも加わっており、事業推進力の強化につながっています。

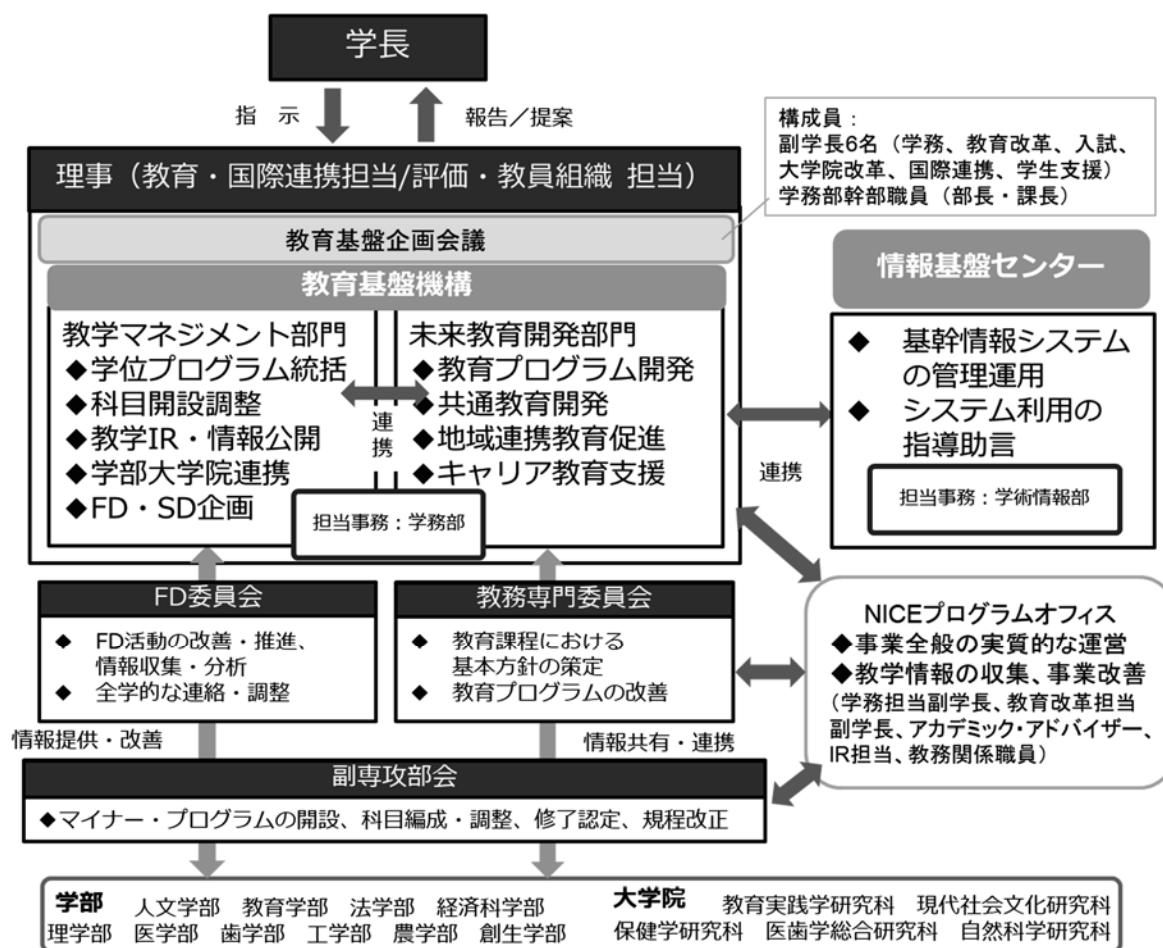


図1 全学分野横断創生プログラムの事業実施体制（令和4年度改組後）

また、副専攻部会の体制も見直しが進みました。これまでは、オーナーズ型（従来の副専攻制度による）の代表教員のみを集まりでしたが、これをすべてのマイナー・プログラムの代表教員から成る部会編成にしました。部会長は教育改革担当副学長であり、本事業の終了後

を見据え、マイナー・プログラムの管理・運営、質保証を含め、本学のメジャー・マイナー制度の強化・定着を推進する体制となりました。

事業開始の令和2年度は全学の教育の重要事項を審議する大学教育委員会のもとに、「教育基本問題検討作業委員会」を設置し、メジャー・マイナー制を含む本学の教育改革の将来方向と全体的な制度設計を行いました。この内容は各学部の情報共有の場である「教務専門委員会」を通じて各学部と共有し、全学的にメジャー・マイナー制を導入することが承認され、今に至っております。「教育基本問題検討作業委員会」は、必要に応じて委員召集される集まりであったため、現在は、「教育基盤企画会議」が学長・理事のリーダーシップの下で教育に関する具体的な企画立案や施策を担っております。

本事業の実務的な運営を担うのは「NICEプログラムオフィス」です。これは学務担当副学長を中心として、副専攻、教育評価、FD、IR、学術情報、アカデミック・アドバイザー等を担当する教員、事務職員という多彩なメンバーで構成されるプロジェクトチームであり、本事業の実質的な運営、情報収集および事業改善を行っています。令和4年度1月からは、学生の往来がもっとも多い講義棟の学生玄関を通る通路に面した場所へオフィスが移転され、学生にとっての利便性が高まりました。このオフィスにおけるNICEプログラムミーティングで事業実施に必要な事項がまず検討され、次に各学部の代表者で構成される教務専門委員会での議論を通してオーソライズし、すべての学位プログラムに浸透させる体制を整えています。

2) プログラムの設計

プログラムの設計図となるメジャー・マイナー制の基本構造は、図2の通りであり、事業発足時から変更ありません。本学のマイナー・プログラムに関する制度設計上の特徴として挙げられるのは、卒業要件単位数（124単位）の中でマイナー履修が可能になっているところです。例えば、人文学部の学生は、35単位の自由選択科目を履修する必要があります。これまで、学生が任意にその時々興味や時間割の都合等でこれらの科目選択をしていました。しかし、その科目選択にマイナー・プログラムとしての体系性を持たせることにより学修効果が高まると考えました。

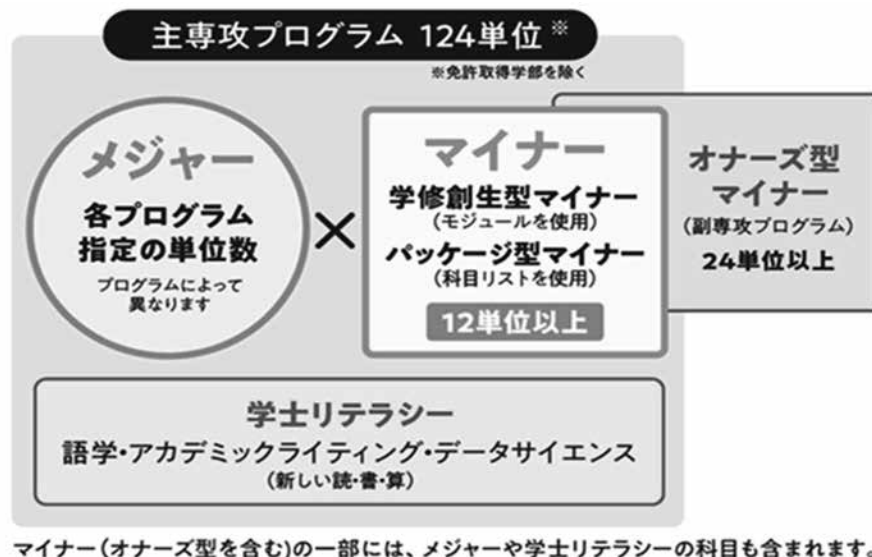


図2 新潟大学のメジャー・マイナー制

この図において「メジャー」とは、各主専攻プログラムで開設されている主専攻の科目群のことを表しています。「学士リテラシー」とは、共通教育の科目群を指します。この中には

教養教育としての哲学や物理学などは含まれていません。設計上、それらはマイナーとして履修することが可能となるためです。

以下では、図中の a)マイナー・プログラムの構成と各々の履修方法、b)履修支援のしくみ、c)プログラムの質保証体制、d)学修成果の可視化について述べます。

a) マイナー・プログラムの構成と履修方法

マイナー・プログラムには次の3つの型があり、履修方法（どのように科目選択をするか）が異なります。

・学修創生型マイナー

これは知る限り海外にも例のない非常にユニークな学び方です。学修創生型のマイナー・プログラムでは、学生は、アカデミック・アドバイザーとともに自分の目指す進路や問題意識・関心に即して、大学全体で提供している数千科目の中からその学びに必要な科目を選択し、自分のマイナーとしてデザインします。科目選択にあたっては、個々の科目を1つ1つ選ぶことも、3～5科目程度の同種の専門科目をセットにしたモジュールと呼ぶ科目セットを選ぶこともできます。

修了までの単位数は12単位+2単位の14単位です。2単位が別に加わっているのは、「分野横断デザイン」（1年次1単位）と「分野横断リフレクション」（4年次1単位）が必修となっているためです。これらの科目は、1年次の学生が教員のアドバイスを受けながらマイナーをデザインし、4年次にマイナー学修を振り返ってメジャーとの掛け合わせで得られた学修成果をレポートにまとめるという形で、単に科目編成をするだけでなく、その意味についても学生が主体的に考えられるような授業にしています。

・パッケージ型マイナー

各専門分野の科目リストをパッケージとして提供するプログラムです。科目リストの中から選択して学ぶ方式であり、あらかじめマイナーとして学びたい分野が明確である場合に適しています。科目リストのほとんどは、メジャーの科目群から基礎的な科目が選定されています。アメリカの大学でよくみられるマイナー・プログラムと同様のしくみです。修了までに必要な単位数は12単位です。

・オナーズ型マイナー

パッケージ型と同様に科目リストから選択履修するプログラムです。しかし、オナーズ(honors)という語が成績優秀者を表すように、このプログラムを修了するためには次の条件があります。①各プログラムの授業科目を24単位以上修得すること、②3年次末までに各プログラムで定めた「入門科目」を履修すること、③卒業時の総修得単位数が各学部の定める卒業要件数を12単位以上上回っていること、④卒業時の全履修科目GPA（成績評価の指標で1～5）が2.5以上であること、さらにプログラムごとに条件を定めている場合もあります。

b) 履修支援のしくみ

次に、履修支援のしくみとして、NICE オフィスにアカデミック・アドバイザーを配置し、メジャーとマイナーの組み合わせ方や具体的な履修科目の相談ができる体制を整えています。特に、自由選択科目の枠の中で学生が体系的な科目選択をしようとする際、学生個人の視野や発想の範囲では、成り行き任せになりがちな従来の科目選択と変わらないということが考えられます。また、各学部の履修要件は様々で、そのうちどの科目区分でマイナーとする科目を履修することができるのかがわからないというケースもあり得ます。

そこで、各学生の課題意識や目的に即してどのようなマイナー・プログラムを履修するとよいのか、またどの科目区分でどのような科目編成をするとよいのか等について、学生への

アドバイスをを行う教員をアカデミック・アドバイザーとして2名配置しています。「学修デザイン相談タイム」として、週3日、昼休み(11:45-12:45)、3限(12:55-14:25)、4限(14:40-16:10)を設定し、問い合わせフォームによる相談や特定の日時の予約面談もできるようにしています。具体的な相談の実施状況については資料1-①をご覧ください。

また、「分野横断デザイン」という授業では、学生の学修目標やメジャーとの相乗効果を考慮しながら科目編成を行う意義について学びます。この授業のシラバスは資料4-①～②にあります。教材の一部として企業等の社会人を招いて実施したミニ講義の動画の視聴も可能であり、大学での学びが社会にどのようにつながるかなど、学ぶ意味を徹底的に考え、仲間とディスカッションします。この科目は学修創生型マイナーでは必修となっています。

c) プログラムの質保証体制

プログラムの設計においては、プログラムの質保証のしくみを整えることも重要です。教育基盤機構として再編後は、機構内の教育マネジメント部門学位プログラム統括室が、メジャーの質保証にかかわる「学位プログラム評価」を実施することとなり、本年度に早速、測定可能なプログラム評価指標の策定作業に着手しており、プログラム単位で質保証をしていくための素地を整えました。

マイナー・プログラムの質保証については、先述の副専攻部会での協議において具体的な実施方法を策定していきます。本年度は、新しい副専攻の制度として学則への反映や規程について検討しています。

d) 学修成果の可視化

学修成果を可視化するための新潟大学学士力アセスメントシステム(NBAS)のシステム改修のほか、ディプロマサプリメントの整備を進めております。ディプロマサプリメントには、マイナー履修に関する学修成果をも表示・印刷する仕様としており、年度末の試行運用に向けて整備しています。(資料2-①、②)。

(2) 教育プログラムの内容

ここでは、現在展開されているマイナー・プログラムの内容を示します。学修創生型は、学生自身が科目編成をするため具体的な学修内容は様々ですがプログラムとしては1種類です。パッケージ型には29種類、オナーズ型には14種類のプログラムがあり、全部で44プログラムとなります。

プログラムの内容に関する資料は多くなりますので、別冊にまとめました。資料1-②をご覧ください。

なお、マイナー・プログラムの提供が開始された令和3年度から現在までのマイナー学修プログラム履修登録者数(延べ人数)は資料1-③の通りです。

(3) 改善点

ここでは、既に開始している本事業を成功に導くために必要な改善点として、どのような課題があるか、またそれらの課題にどのように対応しているかを示します。

本学のメジャー・マイナー制は、文科省の事業として補助金を受けており、令和4年度11月は中間評価のための現地訪問を受けました。評価結果は最高の「S」をいただくことができましたが、なお改善の余地はございます。評価コメントには、「分野横断デザイン」の履修者数の増加、「分野横断デザイン」および「分野横断リフレクション」のルーブリックの妥当性の向上、本事業と大学院との接続がさらに取り組むべきこととして指摘がございました。

「分野横断デザイン」の履修者数は、授業開設時間帯の変更と開設数の増により、本年度の目標数値200名を前期で達成しております。

「分野横断デザイン」と「分野横断リフレクション」のルーブリックに関しても、授業担当者の尽力により、3段階から4段階の評価方法を採用することにより、精緻な評価が可能な形となりました。

大学院との接続について、大学院の再編が現在進行しており、足踏みが続いている状況です。スタッフ内には、大学院進学時に単位認定されるような先取履修をマイナー・プログラムの科目リストに含められないかといった議論が出てきています。大学院改革担当者との協議に向けて具体的な案作りの話も出ていますが、現在は構想段階にとどまっています。

2. 成果と課題

事業実施体制に関しては、当初の計画通りの体制とすることができました。今回の外部評価に関する業務もそうですが、NICE オフィスは十分に機能しております。履修支援のしくみも順調に進んでいます。マイナー・プログラムの質保証についても、組織改編により体制は強化されるので、本年度中に具体的なしくみづくりに着手します。学修成果を可視化するためのシステム（NBAS）改修は大きな前進です。

昨年度の本報告で課題として挙げていた、各学部で実質的な履修管理を行っている「学務係」との連携について、本事業の「授業制度」担当および「教学 IR・学修成果」担当の教員が学務係の集まる不定期開催の「教務関係勉強会」に出席し（令和5年6月29日）、本事業の趣旨とマイナー・プログラムの履修方法、特に学修創生型について説明をして理解を深めることにつながりました。

メジャー・マイナー制による履修者をさらに増やそうとするとき、各学部に対して単に報告や意見交換の場を用意するだけではなく、実際の履修登録等の管理を行う教職員との連絡体制づくりが必要と考えています。またNBASは今後も改修を行いますが、改修前には必ずしもすべての学生が頻繁に利用するというものではなかったもので、学生にとってさらにわかりやすく利用しやすいシステムにすることが課題となっています。関連して、ディプロマサブリメントは、新しい学修成果の表し方であり、就職活動の場面等において真に有効なものとなるよう学生にとっての利用法の周知も課題です。

教育プログラムに関して、既存の教育改革の成果を援用し、プログラムとしては、令和4年度に本事業の目標提供数を達成できました。課題としては、更に各プログラムの質を高めることと、魅力的なプログラム開設であると捉えています。令和5年度には、「核エネルギー・災害科学」と「農学から始めるDXとGX」を開設しており、これらの分野を専門としない学部の学生が学べるという点で、他大学にはない学びの提供ができております。

改善点に関して、問題が生じたときには2週間に1回開くNICE オフィスミーティングで報告され、多くの場合、その場で対応案が示されたり、協議が行われたりすることで迅速な解決に向けて動くようにしています。課題としては、改善方法を即時に案出できなかったとき、改善の着手までに時間を要することがある点です。これは前回の本報告から変わっていないことですが、改善に向けたスタッフの余力確保のため、事業関連業務の遂行にあたり、効率を意識して管理・運用を進めたいと考えています。

なお、本事業の担当P0（プログラム・オフィサー）によるフォローアップ報告書（令和5年5月）では、分野横断型のカリキュラムとして運用する際の課題として、どの大学にも存在する7つの壁を越えることを期待するとのご示唆をいただきました。高等教育の改革において重要ご指摘ですので、本報告にも記してスタッフの心に刻みたいと思います。P0の言うように容易には解決できないものですが、主体的な学びの実現にとっては、足枷になる場合が生じますので、本事業のスタッフから全学に向けて折々に問題解消の働きかけを行います。

- (1) 時間割の壁（例：所属学部の授業と被ってしまう）
- (2) 履修年次の壁（例：1年次から履修することが出来る専門科目が少ない）

- (3) 他学部や副専攻に関する単位上限（卒業要件）の壁（例：法）
- (4) 学部カリキュラム（履修要件・聴講対象）の壁（例：教育）
- (5) 履修決定における情報の壁（例：シラバスと実際の内容の違い）
- (6) 内容理解の壁（例：文系学生が理系科目を履修する際の基礎知識の違い）
- (7) 教育制度の壁（例：他学部のゼミや研究室に入れない）

3. 今後の方針

事業実施体制に関して、組織改編後、本事業の実施体制は強化されました。メジャー・マイナー制を担うのは、新しい機構の中に設置される「未来教育開発部門」となります。この部門長（教育改革担当副学長）は副専攻部会の長も務めることとなっており、マイナー・プログラムの管理・運営にあたることとなります。当該部門は本学の中期目標中期計画の達成に向けて全学教育改革の旗印となるものであり、今後はNICE オフィスとともに全学的なメジャー・マイナー制による履修を強力に進めていく方針です。

また、NICE オフィスは機能を維持しつつ、学生にも利用しやすい場所に移転されました。キャリア支援室に隣接しており、本学のキャリア教育を強化するという現在の全学構想に関して、マイナー・プログラム化の可能性について議論が始まっております。

教育プログラムに関して、マイナー・プログラムの質を高めることが課題となっていました。令和5年度には新たなメジャー・マイナー制に適合させるべく必要な学則改正の起案や規程類の整備を進めます。マイナー・プログラムは、それ自体で学位を与えるものではないため独自の質保証の仕組みが必要ではないかといった議論は、教学マネジメント部門と未来教育開発部門との間で現在も続けられており、議論の統合・解決を図りながら令和6年度の事業期間終了までに学内におけるマイナー・プログラムの質保証のしくみを構築する方針です。現在は、各マイナー・プログラムの履修要件について、基本的には各プログラム共通として、プログラム毎に複雑化させないという方針が上がってきています。

改善点に関しては、引き続き PCDA サイクルを効果的に回していくことが方針となります。NICE オフィスが所属する組織の改編は大きな問題もなく進展し、「未来教育開発部門」の部門長及びスタッフも事業に関わる体制となり、強力に当初の事業目的の達成を目指します。また、中期的な全学の教育改革方針に沿う形を作ることも重要ですので、改善への着手が遅れることのないよう、主担当者が改善計画を立て着実に実行する体制を作ります。なお、令和5年11月には、「現地調査」があり、そこでこれまでの成果を報告する運びとなります。その後の調査委員からのご指摘やご意見を踏まえて、今後もさらに改善が続きます。

2. 学修成果の評価

項目：教学 IR・学修成果の可視化

担当者：上畠 洋佑、斎藤 有吾

*評価は、以下の4段階の区分により行う。

区分	評価
1	所期の計画以上の取り組みが行われている
2	所期の計画と同等の取り組みが行われている
3	所期の計画に比べ、全体の取り組みが遅れているが、一部は同等の取り組みが行われている
4	所期の計画に比べ、取り組みが遅れている

評価	2
理由)	<p>教学 IR・学修成果の可視化について、以下の事項から「2所期の計画と同等の取り組みが行われている」と考えます。</p> <p>① 学務情報システム（新 NBAS 含む）のシステム改修</p> <p>学務情報システム（新しい新潟大学学士力アセスメントシステム（NBAS）は学務情報システム内に実装）が計画通り行われており、運用を開始しています。まず、マイナー学修履修者の増加への認定作業の対応や、ディプロマサプリメントとの連携が実行できるよう、「マイナー学修（副専攻）認定申請システム」を構築しました。また、メジャー・マイナーごとの学生の成績・単位数・GPA、学修成果、修得科目等を表示して発行する「ディプロマサプリメント機能」を実装しました。これは、「マイナー学修（副専攻）認定申請システム」で申請された内容や、新 NBAS で学生が記入した内容を含めて反映し、発行できるようにしています。</p> <p>② 教学マネジメント体制・教学 IR 体制の再編</p> <p>全学的な連携体制を強化してメジャー・マイナー制の企画・実施、評価・改善を行うため、全学組織の教育・学生支援機構と教育戦略統括室の再編を進めました。令和4年度10月から「教育基盤機構」に改組され、教学マネジメント体制、マイナー制及び NICE プログラムの運営や規程の整備、関連する FD・SD、教学 IR を進めるための有機的な連携をとっています。特に教学 IR に関しては、同機構の「教学マネジメント部門」が他部署と連携し、全学的な質保証のためのデータ収集や統合データベース作成などの議論を進めています。</p> <p>③ 学修成果の可視化にかかる調査・分析</p> <p>全学の学生に対するアンケート調査や、マイナー修了者対象のアンケート調査、マイナー支援科目の「分野横断デザイン」「分野横断リフレクション」履修者対象の汎用的能力に関する標準テスト（GPS-Academic）の実施・分析を進め、学修成果の可視化に向けて有用な情報を収集しています。これらの調査の一部の分析結果は、全学 FD・SD や高等教育関連の学会・フォーラムにて報告しています。加えて、教務課と連携し、学生の成績や履修データを恒常的に収集・分析する体制が整えられています。その体制により、実装した「マイナー学修（副専攻）認定申請システム」「ディプロマサプリメント機能」に表示するための情報を集約することが可能になりました。</p>

【取組の現況】

1. 進捗状況

評価の理由に挙げた事項について、それぞれ進捗状況を具体的に述べます。

① 学務情報システム（新 NBAS 含む）のシステム改修

学務情報システム（新しい新潟大学学士力アセスメントシステム（NBAS）は学務情報システム

内に実装)が計画通り行われており、運用を開始しています。

まず、マイナー学修履修者の増加への認定作業の対応や、ディプロマサプリメントとの連携が実行できるよう、「マイナー学修(副専攻)認定申請システム」を構築しました(資料2-①)。ここでは、これまで紙ベースやメールベースで行っていたオナーズ型の認定申請を、他のパッケージ型・学修創生型も合わせて同じシステムで学生自身が行えるようにしました。オナーズ型・パッケージ型は、すでに作成されている科目リストと当該学生が履修した/している科目を照合し、認定申請が行えるようになっていました。特に学修創生型は、学生自身がマイナー学修の内容や成果をデザインし、リフレクション科目にてその内容を担当教員が認定するという特殊な手続きに対応できるシステムになっています。学生がこのシステムにてマイナー学修の修了認定申請を行うことで、マイナーの情報をディプロマサプリメント上に自動的に表示することが可能になりました。

次に、メジャー・マイナーごとの学生の成績・単位数・GPA、学修成果、修得科目等を表示して発行する「ディプロマサプリメント機能」を実装しました(資料2-②)。これは、「マイナー学修(副専攻)認定申請システム」で申請された内容や、新NBASで学生が記入した内容を含めて反映し、発行できるようにしています。新潟大学の学位プログラム(主専攻プログラム)は、教養教育と専門教育が融合したプログラムを展開しています。そのため、「メジャーのみ」を取り出すかたちにはなっていないという都合から、厳密には、各学生の学位プログラム全体とマイナーを別々に表示できるようにしています。また、複数のマイナー学修が認定された学生のため、それぞれのマイナーで表示されるようになっていました。

② 教学マネジメント体制・教学IR体制の再編

全学的な連携体制を強化してメジャー・マイナー制の企画・実施、評価・改善を行うため、全学組織の教育・学生支援機構と教育戦略統括室の再編を進めました。令和4年度10月から「教育基盤機構」に改組され、その部門の一つである「教学マネジメント部門」の中に、メジャー・マイナーを含む学位プログラム全般の質保証を所掌する「学位プログラム統括室」と、教学システムや教学IRを所掌する「教学情報管理分析室」、他2室が発足しました。また同機構の別部門である「未来教育開発部門」のうち、メジャー・マイナー制の充実・発展を所掌する「未来教育開発室」も発足しました(資料2-③)。

NICEプログラム関係教員はこれらの室に所属あるいは兼任しており、月に2回のミーティングによって、教学マネジメント体制、マイナー制及びNICEプログラムの運営や規程の整備、関連するFD・SD、教学IRを進めるための有機的な連携をとっています。

特に教学IRに関しては、同機構 教学マネジメント部門の教学情報管理分析室が、「経営戦略本部」の評価センターの認証評価担当者や、UA室の統合IR担当者と連携し、全学的な質保証のためのデータ収集や統合データベース作成などの議論を進めています。

③ 学修成果の可視化にかかる調査・分析

全学の学生に対するアンケート調査(2022年12月~2023年1月)や、マイナー修了者対象のアンケート調査(2023年3月)、マイナー支援科目の「分野横断デザイン」「分野横断リフレクション」履修者対象の汎用的能力に関する標準テスト(GPS-Academic、2023年6月~8月現在進行中)の実施・分析を進め、学修成果の可視化に向けて有用な情報を収集しています。

これらの調査の一部の分析結果は、全学FD・SD(2023年3月)や大学教育研究フォーラム(2023年3月)、大学教育学会(2023年6月)にて報告しており、学内や学外に向けて積極的に公開しています。

加えて、教務課と連携し、学生の成績や履修データを恒常的に収集・分析する体制が整えられています。その体制により、実装した「マイナー学修(副専攻)認定申請システム」「ディプロマサプリメント機能」に表示するための情報を集約することが可能になりました。

2. 成果と課題

評価の理由に挙げた事項について、それぞれ成果と課題を具体的に述べます。

① 学務情報システム(新NBAS含む)のシステム改修

今後のマイナー学修履修者の増加が進むことを想定した場合、認定作業の対応にはかなりの時間を要することが想定されます。そこで、「マイナー学修（副専攻）認定申請システム」の実装により、その作業の簡易化が見込まれ、メジャー・マイナー制の持続可能な運用の道筋がある程度見えてきました。

また、学位の透明性を高めるために、個々の学生が学修した履修科目、その内容及び成績について幅広く明示的に示す「ディプロマサプリメント機能」の実装により、学生はメジャーのみならず、マイナー学修も可視化されることになり、マイナー学修のインセンティブとなることに期待が持てます。またこれにより、各マイナーにおける計画されたカリキュラムと経験されたカリキュラムを分析的に検討することが可能になるため、マイナーの質保証の議論の展開が見込めます。また、このディプロマサプリメント機能はプレ・ディプロマサプリメントとしての発行も視野に入れており、就職活動や進学活動での使用にも期待が持てます。

検証用環境でのテストは終了しており、今後、各学位プログラム（主専攻プログラム）や各マイナー・プログラムの承認を経た上で、掲載内容の整備が必要になります。

② 教学マネジメント体制・教学 IR 体制の再編

メジャー・マイナーにかかわる教学情報をどの部署が収集し、それをどのように集約して分析していくのかに関して、その素地は整ったといえます。後述します③の調査の一部についてはすでに学内へのフィードバックを実施しており、教学マネジメントサイクルの試験的な運用に取り掛かっています。メジャーの質保証の取り組みである「学位プログラム評価」で得られた知見を、マイナーの質保証に活用していく予定です。その際、マイナーの学修は、学生によって多種多様であり、そのプロセスや成果を捉えるために、より一層教学 IR による調査や支援体制が必要になると考えられます。どのような調査や支援が必要になるのかを精査した上で、それをどのように教学マネジメントサイクル運用に活かしていくのかを検討することが課題です。

③ 学修成果の可視化にかかる調査・分析

調査・分析結果は、NICE プログラムの教職員に逐次報告し業務の改善に役立てています。全学の学生に対するアンケート調査（n=421）の分析結果は、全学 FD・SD（2023 年 3 月）や大学教育研究フォーラム（2023 年 3 月）、大学教育学会（2023 年 6 月）にて報告しており、学内や学外に向けて積極的に公開しています。全体的な回答傾向としては、マイナー履修学生とマイナーを履修しなかった学生との間で、学修時間や学修プロセスに大きな差はありませんでした。ただし、マイナー履修学生のほうが、主体的に学修する態度が、専門分野における課題発見・解決や分野横断の視点から課題発見・解決する能力との関連が強いことが明らかになりました。また、自身のプログラム（4-6 年間）の学修を構成しようとするエージェンシーに関しては、同じマイナー履修学生でも自然科学系と人文・社会科学系で異なる傾向を示すことが明らかになりました。これらのことは、アカデミック・アドバイザー教員とも考察し、今後のアカデミック・アドバイジングにおいて考慮していく必要性を共有しました（資料 2-④～⑥）。

マイナー修了者対象のアンケート調査（n=19、主にオーナーズ型）では、総合的な満足度の項目に関してポジティブな回答が 100%でした。また、アカデミック・アドバイジングの必要性や、マイナーを履修する学生同士のコミュニティの必要性をマイナー修了者が感じていることが明らかになりました。

3. 今後の方針

① 学務情報システム（新 NBAS 含む）のシステム改修

新システムの仮運用を進めていく中で、内容の充実や、持続可能性を高めるための工夫を検討していきます。

② 教学 IR・教学マネジメント体制の再編

メジャーのみならずマイナーも含めた教学マネジメントサイクルの運用と教学 IR の支援体制の構築を進めていきます。そのもとで学生データの収集・分析を行っていきます。

③ 学修成果の可視化にかかる調査・分析

マイナー支援科目の「分野横断デザイン」「分野横断リフレクション」履修者、その他比較対象者の汎用的能力を測定する標準テスト（GPS-Academic、現時点でn=97、これからさらに増加する見込み）の実施・分析を進めています（資料2-⑦、途中経過報告）。これは今後、マイナー学修を進めることにより汎用的能力やエージェンシーといった変数に対してどのような効果を持つのかを検証するために使用していきます。また、「分野横断リフレクション」科目におけるパフォーマンス評価による直接評価（9月下旬実施予定）との結果を組み合わせで検討していきます。

3. 学修支援

項目：アカデミック・アドバイジングと学修デザイン相談

担当者：神田 麻衣子、柿原 豪

*評価は、以下の4段階の区分により行う。

区分	評価
1	所期の計画以上の取り組みが行われている
2	所期の計画と同等の取り組みが行われている
3	所期の計画に比べ、全体の取り組みが遅れているが、一部は同等の取り組みが行われている
4	所期の計画に比べ、取り組みが遅れている

評価	2
理由)	<p>作成したアカデミック・アドバイジングの実務者（アカデミック・アドバイザー）向けガイドラインを踏まえて、アドバイジング提供体制の改善を図りました。また、「学修デザイン相談」において、相談予約受付にFormsを導入し事前に相談内容を把握することで、アドバイジングの質保証に努めています。</p> <p>全学的なアカデミック・アドバイジング制度の拡大のためには、マイナー履修に特化したマニュアルの作成が求められます。令和5年度内でのマニュアルの完成を念頭に、これまでの相談事例の蓄積をデータベース化し、事例の分析を進めています。</p> <p>スチューデント・アシスタント(SA)によるピア・コミュニティが発足したことで、マイナー履修者に対する支援に小集団支援の層が加わり、より重層的な学修支援体制が整いました。</p> <p>アカデミック・アドバイジングでは、対話とホワイトボードでの可視化を中心とした手法を継続し、個々の学生が有している「資源」の言語化と価値づけを支援するようなアカデミック・アドバイジングが提供できています。</p>

【取組の現況】

1. 進捗状況

NICEプログラムでの学修支援は、アカデミック・アドバイザー（AA）が中心となり、マイナー履修支援科目「分野横断デザイン」を起点に実施しています。学修支援の目的は、マイナー履修者の目標達成を、主にマイナーの履修指導を通じて支援することです。

①アカデミック・アドバイジング

令和4年度末に、国内のアドバイジング事例や先行研究、NACADA (National Academic Advising Association) によるコンピテンシー概念を参照して「新潟大学 アカデミック・アドバイジング実務者ガイドライン」および「新潟大学 アカデミック・アドバイジング運営者ガイドライン」（いずれも「試行版」段階）を作成しました（資料3-①）。これらのガイドラインにもとづき、アドバイジングを提供する場所の環境整備や相談者への対応などの見直しを行いました。

アカデミック・アドバイジングでは、対話とホワイトボードでの可視化を中心とした手法を継続しています。これまでの相談事例の分析結果より、マイナーの学修内容を検討する際、学生が自身の「資源」（興味・関心のほか、資格、経験、観察、人間関係、日々の気づき・違和感など）を学びに昇華できるものとして認識できていないことが明らかとなりました。そこで、対話において「資源」の言語化を促し、すでに学びのキーワードとして意識できている項目と結びつけられるような働きかけを重視して行うようにしています。

②学修デザイン相談

令和3年度より「分野横断デザイン」履修者を主な対象として実施しています。同科目は、令和4年度1学期まで各学期1科目の開講でしたが、同年度2学期に2科目、令和5年度1学期には7科目（ターム開講の6科目を新設）と開講数を拡大しました。これにより相談に訪れる学生数の増加が見込まれたため、学期期間中の火、木、金曜日に開設の「学修デザイン相談」の対応時間（昼休み〔11:55-12:45〕、14:00-16:00）を、学生の利便性を考慮して、昼休みと3限〔12:55-14:25〕、4限〔14:40-16:10〕へと、授業開講時刻に合わせたかたちに変更しました。

令和4年度の年間相談件数は206件（メール、対面、電話含む）、前年と比べて約1.5倍となりました。対面相談162件の7割以上（120件）を「分野横断デザイン」履修者が占めており、マイナー履修計画の立案が主な相談内容である点は前年度と同様です。また、同科目既修者からの相談が19件ありました。新潟大学の各学部では2年次以降に主専攻プログラムへの配属が決まります。1年次に「分野横断デザイン」を履修した学生は、2年次以降にメジャーの学びが深まることや、教職課程等の履修の進展などによって、マイナー履修計画に修正の必要性を感じて相談に訪れます。アドバイジングにおいては、マイナー履修修了時に履修する「分野横断リフレクション」を見据え、こうした修正や変更をマイナー学修の「成長」と位置づけ、「マイナー学修デザイン」にその経緯を記録として残すよう促しています。

令和5年度は「分野横断デザイン」履修者による「学修デザイン相談」の利用を評価する設計から、授業担当者が履修者に「学修デザイン相談」の利用をすすめる形に変更しましたが、相談件数が減ることはなく、月別相談件数もほぼ均一に推移しました（資料3-②）。

令和4年度は、「分野横断デザイン」ループリックにおいて、履修者による「学修デザイン相談」の利用を評価する設計であったため、授業進捗と月別相談件数の推移に関連がみられました。しかし、令和5年度ではループリックの見直しを実施し、「学修デザイン相談」を評価の対象から外して行っています。

2. 成果と課題

令和5年5月、SA有志がマイナー履修者のピア・コミュニティ「NICEプレイス」を立ち上げました。令和4年度2学期末にSAの間でコミュニティ設立について積極的な意見があり、検討会を開催しました。その後、令和5年度4月に対面形式で開講した「分野横断デザイン」の授業SAが、マイナー履修者が互いに支援し合うコミュニティの必要性を実感したことが直接的なきっかけとなり、5月の立ち上げに至りました（資料3-③）。「NICEプレイス」は、「分野横断デザイン」受講生を主な対象とし、マイナー履修を中心とした学生同士のゆるやかなつながりや情報交換の場として設定されています。SAの自発的な活動として発足したという背景から、教員の管理は最低限としていますが、コミュニティを訪れる受講生の相談に長時間応じている場面もあり、サポーターSAに負担感を生じさせる恐れがあります。これまでの約3ヶ月間の活動を踏まえ、コミュニティでのピア・サポートのあり方についてサポーターSAと話し合い、「NICEプレイス」の位置づけや支援の範囲等を明文化していく必要があります。

令和3年度から開始した「学修デザイン相談」に関して、全学的なアカデミック・アドバイジング制度の拡大に向けて、これまで蓄積された相談事例を量的あるいは質的な研究へ利用できるようにするために、データベースをExcelで構築しました（資料3-④）。そして、「学修デザイン相談」の全学展開のために必要なAAマニュアルの作成に関してデータの分析は済ませており、それまでの取り組みを令和5年8月26日に開催される「日本アカデミック・アドバイジング協会第3回年次大会」において発表します（資料3-⑤）。

また、今後もデータベースを発展的に運用するために、令和5年7月より相談希望者に対して事前にForms上で「学修相談受付」を入力してもらう仕組みを整備しました（資料3-⑥）。その結果、AAは事前に学生のニーズを想定した相談準備ができるようになり、実質的な学修相談時間の確保によるAAの質的向上を実感しています。

一方、「学修デザイン相談」が利用者である学生のニーズに適っているかを把握するためのデータがないことから、「学修デザイン相談」への事後アンケートの実装に取り組んでいます。

3. 今後の方針

①ピア・コミュニティ「NICE プレイス」の持続的なあり方の検討

現在、6名のSAが「NICE プレイス」に参加しており、活動日・時間等を柔軟に調整することで持続可能性を担保しながら、NICE プログラム スタッフ・オフィスを拠点に活動を続けています。しかし、今年度はSAの新規雇用が予定されていないこと、中心的な役割を担っているSAが今年度卒業予定であることから、来年度以降もコミュニティを継続させるためには、SA以外のマイナー履修者もコミュニティ運営に参加できるような体制を構築する必要があります。上述した「NICE プレイス」の位置づけ等の明文化とあわせてサポーターSAと検討し、令和5年度中に新たな体制を整えます。

②アカデミック・アドバイジングの知見の体系化

本学のメジャー・マイナー学修で必要となるAAの知識や手法を体系化したAAマニュアルについて、本年度中の完成を目指しています。本マニュアルは、まずAAの基本的な手順を示した上で、これと対応する場面ごとに、Q&Aで留意すべきポイントやこれまでの対応事例を扱う構成を予定しています。本マニュアルをもとに全学FD等の機会や学部との連携を通して、メジャー・マイナー制度の学内普及を図ります。また、今後も学修相談のデータを蓄積する中で、マニュアルを継続的に改訂することも視野に収めています。

4. 教育制度（授業内容）

項 目：学修創生型マイナー支援科目の開設と実施

担当者：上島 洋佑、神田 麻衣子、柿原 豪

*評価は、以下の4段階の区分により行う。

区分	評 価
1	所期の計画以上の取り組みが行われている
2	所期の計画と同等の取り組みが行われている
3	所期の計画に比べ、全体の取り組みが遅れているが、一部は同等の取り組みが行われている
4	所期の計画に比べ、取り組みが遅れている。

評 価	2				
理由)	<p>本事業で掲げる「分野横断デザイン」履修者数の数値目標（表1）について、令和4年度は達成できませんでしたが、令和5年度は第1学期時点で達成できました。</p> <p>また、本事業計画の通り令和5年度に「分野横断リフレクション」を新設開講しました。</p> <p>表1 本事業プログラムとして設定する検証可能かつ明確な目標 （「知識集約型社会を支える人材育成事業」計画調書より一部抜粋）</p> <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>「分野横断デザイン」履修者数（本事業の教育プログラム参加者数）</td><td>令和4年度：160人 令和5年度：200人</td></tr></tbody></table>	項目	目標値	「分野横断デザイン」履修者数（本事業の教育プログラム参加者数）	令和4年度：160人 令和5年度：200人
項目	目標値				
「分野横断デザイン」履修者数（本事業の教育プログラム参加者数）	令和4年度：160人 令和5年度：200人				

【取組の現況】

1. 進捗状況

令和4年度第1学期・第2学期「分野横断デザイン」（当授業シラバスは資料4-①）履修者は80名で、その内単位を取得できた者は74人でした。令和5年度1学期「分野横断デザイン」（当授業シラバスは資料4-②）履修者は213名でした（成績は令和5年度8月末確定予定）。

令和3年度第2学期から、「分野横断デザイン」修了生の中からSA（Student Assistant）を雇用し、SAによる授業中のグループ学習のファシリテーションや修了生ならではのアドバイス等の授業・学修支援を行っています。令和4、5年度もこの取組を継続しています。令和5年度に雇用しているSAは15名です。

令和5年度にNICEプログラム集大成科目「分野横断リフレクション」（当授業シラバスは資料4-③）を新設開講しました。当授業は、第1学期と第2学期に集中講義として開講します。第1学期は8月7日（月）と8月8日（火）をA日程授業として同一授業内容で開講し、9月26日（火）と9月28日（木）をB日程授業として同一授業内容で開講し、就職活動等で多忙な3・4年生でも履修しやすいようにA日程・B日程それぞれの日程から選択履修可能としました。第1学期「分野横断リフレクション」履修者数は13名です。

令和5年2月に示された「知識集約型社会を支える人材育成事業委員会」による中間評価結果コメントにおいて、「分野横断デザイン」「分野横断リフレクション」で使用するループリック（資料4-④）の妥当性についての再検討の必要性が示されました。この結果を踏まえ、「分野横断デザイン」ループリックの改訂を行い、令和5年度「分野横断デザイン」から改訂版ループリック（資料4-⑤）を使用しています。今後「分野横断リフレクション」ループリック改訂の検討を行います。

2. 成果と課題

本事業で掲げる「分野横断デザイン」履修者数の数値目標について、令和4年度の目標値160名

は達成できませんでしたが、令和5年度の目標値200名は第1学期時点の履修者数が213名であることから、事業目標を達成する成果をあげています。

令和4年度第1学期・第2学期「分野横断デザイン」の授業アンケート結果（表2）を見ると、「とても満足している」寄りの回答者（4と5を選んだ回答者）の割合が、4つの質問とも9割以上であったことから、SAによる授業・学修支援と授業に対する満足度は非常に高かったことがうかがえました。

表2 令和4年度第1学期・第2学期「分野横断デザイン」授業アンケート結果（抜粋）

質問	←とても満足している		まったく満足していない→			計
	5	4	3	2	1	
SAがファシリテーションしてくれたので発言しやすくなった	34	9	2	0	0	45
SAがいたので話し合いの雰囲気よくなった	36	7	2	0	0	45
SAからのアドバイス（授業履修の経験などを含む）は科目履修計画時などに役立った	33	7	5	0	0	45
あなたはこの授業を履修して総合的に満足していますか？	27	15	2	0	1	45

令和4年度第1・2学期「分野横断デザイン」単位取得者74名中45名回答（回答率60.8%）

昨年度の自己評価報告書における「4. 教育制度（授業内容）」の「3. 今後の方針」として、数値目標を達成するため、「分野横断デザイン」修了者（SA）による相談会の実施を掲げました。当方針に掲げた相談会は令和4年4月と令和4年10月に開催しました（資料4-⑥）。

また昨年度「3. 今後の方針」では、数値目標達成のために「分野横断デザイン」履修を学修創生型マイナー選択学生に狭めず、パッケージ型マイナーとオーナーズ型マイナーを選んだ学生等にも展開する方針を掲げました。当方針を踏まえて、令和5年4月開催の新入生ガイダンス等で「分野横断デザイン」の履修を促しました。

さらに「分野横断デザイン」の開講日時を増やすことを昨年度「3. 今後の方針」で掲げました。これを受けて、令和4年度年間3コマ開講していた「分野横断デザイン」を、令和5年度は年間14コマ開講しました（表3）。

表3 令和5年度「分野横断デザイン」開講計画

	1学期		2学期	
	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
ターム版	樋口（木6限） 対面授業	斎藤（火3限） 遠隔授業	上島（火4限） 対面授業	柿原（火4限） 対面授業
	神田（月4限） 対面授業	神田（月4限） 対面授業	神田（月4限） 対面授業	神田（月4限） 対面授業
	神田（月5限） 対面授業	神田（月5限） 対面授業	柿原（月5限） 対面授業	柿原（月5限） 対面授業
集中講義版	上島（水6限・原則隔週開講） 遠隔授業		柿原（火6限・原則隔週開講） 遠隔授業	

以上、昨年度示した3つの今後の方針に関する取組を実施した結果として、令和5年度の目標値200名を第1学期時点で達成できました。

また、令和5年2月に示された「知識集約型社会を支える人材育成事業委員会」による中間評価

結果コメントを踏まえ、改訂版ルーブリックを作成できた点も達成した成果としてあげられます。

課題は、(1) NICE プログラム集大成科目「分野横断リフレクション」の履修者数が少ない点と、(2)「分野横断リフレクション」の改訂版ルーブリックを作成することです。

特に (1) は、本事業プログラムとして設定する検証可能かつ明確な目標に関わる重要な課題です。ここでは、本事業の最終年度（令和6年度）時点の「分野横断リフレクション」履修者数（目標値）として120名を掲げています。令和5年度第1学期「分野横断リフレクション」履修者が13名であることから、第2学期の履修者数を加味しても、次年度数値目標達成が困難であることが予測されます。

3. 今後の方針

(1) NICE プログラム集大成科目「分野横断リフレクション」履修者数の増加

令和6年度は、「分野横断リフレクション」の開講日時を増やすことを方針として掲げます。

この方針を定める理由は、令和5年度に「分野横断デザイン」を年間14コマ開講したことが、「分野横断デザイン」履修者数の大幅増に寄与していたからです。今年度「分野横断リフレクション」第1学期A日程（8月7日（月）・8月8日（火））を実施した経験を踏まえると、授業定員は20名程度であることが適切であると考えています。これを踏まえて、令和6年度は年間6コマ（20名×6コマ＝120名）以上開講する方針で事業を実施していきます。

(2) 「分野横断リフレクション」の改訂版ルーブリック作成

令和5年度「分野横断デザイン」受講生から、改訂版ルーブリックを使って評価を行っています。したがって、当受講生が今後「分野横断リフレクション」を受講する際には、現状の「分野横断リフレクション」ルーブリックを改訂したもので評価する必要があり、それに間に合うよう準備を進めていきます。

また、本事業 NICE プログラムにおいて、入門科目「分野横断デザイン」と集大成科目「分野横断リフレクション」は連関・接続する科目であり、その評価において連関性と接続性を考慮する必要があります。また、令和5年度新設開講の「分野横断リフレクション」における評価活動の振り返りを踏まえて、ルーブリックを改訂していく必要があります。

以上を踏まえて、「分野横断リフレクション」の改訂版ルーブリックの作成に取り組むとともに、改訂済「分野横断デザイン」ルーブリックの再検討を視野にいれつつ、NICE プログラムを総体的に評価していくルーブリックの継続的な改善に取り組んでいきます。

5. 企業・社会との接続

項目：大学教育と社会・仕事との接続

担当者：福島 治、上畠 洋佑、斎藤 有吾、神田 麻衣子、柿原 豪

*評価は、以下の4段階の区分により行う。

区分	評価
1	所期の計画以上の取り組みが行われている
2	所期の計画と同等の取り組みが行われている
3	所期の計画に比べ、全体の取り組みが遅れているが、一部は同等の取り組みが行われている
4	所期の計画に比べ、取り組みが遅れている。

評価	理由)
2	<p>令和4年度「分野横断デザイン」の中で、新潟大学サポーター倶楽部会員企業・団体8社が、「仕事現場の分野横断」としてミニレクチャーをしました。許諾を得た企業・団体から提供されたミニレクチャー動画はNICEプログラム（以下「本プログラム」）ホームページで公開しており、「分野横断デザイン」履修者を中心に閲覧を促しています。</p> <p>本学卒業生が勤務する約300の企業・団体を対象に、本プログラムの成果を発信する機会を積極的に周知しています。また、教育総合メディア「月刊先端教育・先端教育オンライン」に本プログラムが特集として取り上げられ、本プログラムに関する社会への発信が着実になされています。</p> <p>「GPS-Academic」を通じたキャリア支援や、PhD リクルート室と連携した大学院進学を視野に入れたキャリア支援（広義の社会・仕事との接続）にも取り組んでいます。</p>

【取組の現況】

1. 進捗状況

①新潟大学サポーター倶楽部会員企業によるミニレクチャー

令和4年度「分野横断デザイン」では、新潟大学サポーター倶楽部の会員企業・団体と連携し、「仕事現場の分野横断」をテーマに10分程度で話してもらうミニレクチャーを実施しました。受講学生は、ミニレクチャーによってインプットするだけでなく、受講者と企業・団体講演者との質疑応答も行いました。令和4年度にミニレクチャーを提供してくれた協力企業・団体は、次の7社・1団体です。

- ・日本海エル・エヌ・ジー株式会社
- ・三和ボーリング株式会社
- ・株式会社ジオックス
- ・株式会社熊谷
- ・アサヒアレックスホールディングス株式会社
- ・中越クリーンサービス株式会社
- ・株式会社南雲製作所
- ・弥彦村役場

協力企業・団体にミニレクチャー動画を本プログラムホームページで公開することの許諾確認を行いました。令和4年度中に許諾を得た協力企業・団体のミニレクチャー動画を本プログラムホームページで公開し、令和5年度「分野横断デザイン」履修者を中心に視聴を促しています（資料5-

①)。

②本学卒業生が勤務する企業・団体への本プログラム成果発信

本学卒業生が勤務する約 300 の企業・団体を対象に、本プログラムの成果を発信する機会を周知するために、令和 5 年 9 月開催「新潟大学『全学分野横断創生プログラム (NICE プログラム)』事業シンポジウム・新潟大学全学 FD・SD：分野横断的学習を支援するためのアカデミック・アドバイジングと教職協働」の広報物を郵送しました (資料 5-②)。

③教育総合メディア「月刊先端教育・先端教育オンライン」による社会への発信

学校法人先端教育機構出版部が発行する「月刊先端教育 (発行部数 50,000 部：媒体社発表)」の 2022 年 12 月号の大特集『『教養』で終わらない、問題解決力 社会人のための STEAM 教育』にて、本プログラムが「大学教育での領域横断の学び」として紹介されました (資料 5-③)。

また、学校法人先端教育機構は「先端教育オンライン」を運営しており、このウェブサイトにおいて「月刊先端教育」の転載記事が掲載されているため、雑誌購入者層だけでなく、幅広い層で本プログラムの概要と成果が閲覧されているものと考えられます。

④学生のキャリア支援

本自己評価報告書「2. 学修成果の評価」で前述しましたが、「分野横断デザイン」「分野横断リフレクション」履修者を対象に、汎用的能力に関する標準テスト「GPS-Academic」の実施・分析を進め、学修成果の可視化に向けて有用な情報を収集しています。当テストは本プログラムにおける学修成果の可視化に活用するだけでなく、当テスト受検者はベネッセ i-キャリアが提供するダイレクトリクルーティングサービス「doda キャンパス」に任意で登録することができ、学生のキャリア支援につながる機会も提供できています (資料 5-④)。また「分野横断デザイン」「分野横断リフレクション」の授業内で、授業担当教員と共にテスト結果を踏まえた振り返りを行うことを通して、受講生のキャリア意識の醸成やキャリア展望を拓く支援を行いました。

本学では博士人材が社会で活躍できるよう、そのキャリア開発を支援する目的で令和 2 年度に PhD リクルート室を設置しました。PhD リクルート室スタッフと本プログラムスタッフが連携し、NICE プログラム事務室に PhD リクルート室提供の院生研究紹介ポスターを展示しています (資料 5-⑤)。本プログラム履修学生や興味のある学生が当該ポスター展示を見ることで、企業・団体への就職に留まらない、大学院進学を視野に入れたキャリア支援 (広義の社会・仕事との接続) も行っています。

⑤その他

令和 5 年 5 月には、マレーシアの工科系大学が国際的な大学間連携を検討するために、日本を訪れました。その際、新潟大学も連携候補としてあがり、国際センターと工学部を窓口として訪問団が来学いたしました。その際、本学のユニークな教育プログラムとして NICE プログラムを紹介する機会をいただき、AA 担当 (神田麻衣子) が英語によるプレゼンテーションをいたしました (資料 5-⑦)。

2. 成果と課題

ミニレクチャーを提供してくれた協力企業・団体へのアンケート結果 (資料 5-⑥) から、ミニレクチャーの 10 分は十分ではなかったものの、学生からの質問・感想は期待通りのものであった点と、分野横断というテーマは比較的話しやすく企業の現場に沿ったものであることが示されました。

昨年度自己評価報告書「5. 企業・社会との接続」における「3. 今後の方針」では、次の 2 つがあげられています。第 1 に、今後も新潟大学サポーター倶楽部会員企業と連携しながら、参加企業の業種を多様なものとしていき、地域のニーズを拾い上げる一助になる取り組みにしていく点です。第 2 に、ミニレクチャー動画の公開許諾を得ている企業については令和 4 年度中に本プログラムホームページに掲載する点です。前者については、令和 5 年度第 2 学期以降の「分野横断デザイン」「分野横断リフレクション」を中心に会員企業との連携に取り組んでいく予定としており、今後

の課題として認識しています。後者については、「1. 進捗状況」で前述した通り実施済です。

本学卒業生が勤務する企業・団体への本プログラム成果発信については、令和5年9月15日開催のシンポジウムにおける企業・団体関係者の参加状況を踏まえて、その成果や課題など検討していきます。

各種メディアに、本プログラムが記事等として継続して取り上げられるためには、本プログラムホームページや広報物等の内容充実とともに、積極的なプレスリリースを行っていくことが課題であると考えます。

「GPS-Academic」実施を通じたキャリア支援は、本プログラム事業費によって賄っているため、当キャリア支援に変わる取り組みを検討することが課題です。

3. 今後の方針

令和4年度外部評価委員会において、徳武委員より「当地域の社会や経済界など学外に対しても本事業の趣旨や取組みなどの情報をより積極的に発信、周知していただくとともに、企業・経済団体としては例えば企業社会との接続におけるミニレクチャーやその他の取組みなどについて出来ることがあれば協力させて頂ければとも考えている」というコメントを頂き、心より感謝申し上げます。

令和5年度中に、本学本プログラム運営教職員より積極的な連携取組の提案をさせていただきます。

マレーシア訪問団の来学時のように、今後も機会をとらえて、広く社会に向けて本事業の活動を積極的に紹介いたします。

6. 高大接続

項目：高等学校、高校生、保護者等への広報

担当者：神田 麻衣子、柿原 豪、上畠 洋佑、斎藤 有吾

*評価は、以下の4段階の区分により行う。

区分	評価
1	所期の計画以上の取り組みが行われている
2	所期の計画と同等の取り組みが行われている
3	所期の計画に比べ、全体の取り組みが遅れているが、一部は同等の取り組みが行われている
4	所期の計画に比べ、取り組みが遅れている

評価	2
理由)	<p>本プログラムの高等学校に対する周知の手段を多様化しました。これまで高等学校、高校生、保護者に対して直接的な接点を持てる機会はオープンキャンパスにとどまっていたが、「高大接続を考える会」、「アドミッションフォーラム」、出前講義、SSHを通して、重層的に高大接続を進める体制が整いました。</p> <p>「大学案内」のような大学発行媒体でのプログラム紹介に加え、本プログラムの SA(Student Assistant)による学生目線の広報活動（ホームページの記事の掲載、オープンキャンパスでのポスター発表）やソーシャルメディアを通じた発信を充実化させることで、高校生の間での本プログラムの認知度の向上を目指しています。</p> <p>「NICE NEWSLETTER」の発行や履修ガイダンスの実施等を通して、学部との連携が着実に進められています。</p>

【取組の現況】

1. 進捗状況

高等学校、高校生、保護者等に NICE プログラム（以下「本プログラム」）の周知を図ることと、本学メジャー・マイナー制について理解を深めてもらうことを目的として、以下のような活動を展開しています。

①高等学校に対する本プログラムの周知

本学入試課と連携し、「大学案内 2023」よりも大きなスペースで「大学案内 2024」に本プログラム紹介を掲載しました（資料 6-①）。「大学案内 2024」は、全国の高校生が志望学部にかかわらず目を通す可能性があるものであるため、本プログラムの周知に対して大きな効果が見込まれます。

令和5年2月開催の「高大接続改革を考える会」において、新潟県内高等学校9校の進路指導等教員を対象に、本プログラムの概要説明と学生の受講状況について報告しました。

また、令和5年7月開催の「アドミッションフォーラム」において、新潟県内高等学校47校58名の進路指導等教員を対象に、本プログラムの周知を行いました。

令和5年度は教育基盤機構として新潟大学の出前講義を開始し、高等学校の「総合的な探究の時間」「特別活動」における活用を主として想定しながら、本プログラムの周知につながるチャネルを追加しました（資料 6-②）。当出前講義は前述の「アドミッションフォーラム」においても、周知・広報を行いました。なお、本年度の本学出前講義受付は10月末で終了となるため、当出前講義の要望等はそれ以降に明らかとなります。

本プログラム関係教員が千葉県立木更津高等学校の SSH 運営指導協議会委員を令和4年度から務めています。当該高校は、理数科のみならず、普通科においても SSH の取り組みを広げ、SDGs への科学的な取り組みを探究学習に取り入れています。そこでは文理を横断して特定の探究課題に科学的にアプローチしており、文理や分野の架橋を目指す本プログラムの方向性と合致するものとい

えます。特定の学部限定せず、探究したいテーマや課題から文理や分野の横断を意識して接続を図る新たな高大接続のあり方として、本プログラムの取組の紹介、出前講義の案内を行うなどしたうえで、情報交換及び議論を行っています。

②ホームページ、ソーシャルメディアによる広報活動

本プログラムホームページ（以下「当ホームページ」）では、令和2年度の開設以来、プログラムの履修方法やマイナー学修パッケージの一覧、分野横断型学修の解説動画を掲載し、令和3年度には新設ページの追加（「よくある質問（FAQ）」「高校生・受験生のみなさんへ」）や「X（旧 Twitter）」アカウント（@Niigata_u_NICE）の開設を進めてきました。

令和4年度には「Instagram」アカウント（nice_niigata_univ）も開設し、より高校生の利用が多いメディアでも情報を発信しています。令和5年度は SA をつとめる学生が隔週で広報会議を開いて学内外に向けた企画を議論し、週1回の頻度で執筆した記事を当ホームページに掲載し、高校生への認知度向上につとめています。また、これらの活動とソーシャルメディアを連携させ、高校生の閲覧につながるハッシュタグをつけて発信するようにしています。

③オープンキャンパスにおけるイベント実施

令和5年度のオープンキャンパスは、本学を志望する高校生・受験生に「学部＋αの学び」を一覧的に提示し、その意義を伝えることを目的として、新潟大学を特徴づける3つの教育プログラム（NICEプログラム、ダブルホーム〔新潟県内を中心に地域の人々との交流や課題解決などを目的とした実践的活動〕、長期学外学修プログラム〔地域、産業、海外など多様な学外フィールドにおける現場実践〕）と連携し、「学部を越えたみらい教育～地域とつながる、分野をつなげる～」と題して、8月9日（水）、10日（水）の2日間にわたってイベントを実施しました。

同イベントは、合同説明会（各日2回開催、うち1回はオンラインでも配信）、ポスター展示「わたしの学修デザイン」（終日開催：ポスターセッション、来場者との交流タイム含む）、アカデミック・アドバイザーとの相談会（1人15分×各日6セッション、計12セッション開設）から構成されました。2日間を通しての合同説明会の参加者数は82名（オンライン参加含む）、アカデミック・アドバイザーとの相談会の参加者数は4名でした。

ポスター展示では、SA4名（学修創生型3名、オナーズ型1名）がポスターを作成し、自分のマイナー学修について発表したほか、別のSA4名が来場者との交流・イベント広報を担当し、会場を盛り上げました。イベント広報としてパンフレットを541枚配布したことが功を奏し、高校生・受験生に加えて保護者、高校教員の来場も多く、SAとの活発な交流が見られました。また、オープンキャンパスのアンケートにおいても、「大変満足した」との回答を多く得ることができました（資料6-③～⑤）。

④学内広報

令和4年度3月に、各学部の教職員に本プログラムについての理解を深めてもらうことを目的として「NICE NEWSLETTER」を創刊しました。五十嵐キャンパスの8学部（人文、教育、法、経済科学、理、工、農、創生）について、学部ごとのマイナー履修状況やマイナー履修学生へのインタビューを掲載しています（資料6-⑥）。

令和4年度2学期開催の「マイナー（副専攻）履修説明会」、令和5年度1学期開催の「NICEプログラム履修ガイダンス」について、各学部学務係と連携して周知を行いました。また、令和5年度4月には、本プログラムの教員が各学部で開催された新入生ガイダンスに出向き、本プログラムの履修ガイダンスを実施しました（資料6-⑦）。

2. 成果と課題

令和4年度オープンキャンパスで開催した本プログラム説明会にて、参加者より大学の単位制度に関する質問が相次いだことを受け、同年10月に開催された「新潟大学 WeeK2022」にて、大学の教育制度についての説明を含んだマイナー紹介動画を公開しました（資料6-⑨）。

令和5年度のオープンキャンパスは、本プログラムにとって初めての対面開催となりました。上述の通り、ポスター展示については来場者も多く、満足度も高かったことから、一定の成果があっ

たといえます。一方で、合同説明会に多くの参加者を得ることができませんでした。その一因として、合同説明会の時間設定が来場者ニーズとずれていたこと(昼食休憩との重複)が挙げられます。これについては来年度に修正可能ですが、背景的な要因として本プログラムの周知が十分でないことがアンケート結果から明らかとなっています。

3. 今後の方針

①情報発信の充実化

令和5年度のオープンキャンパスにて本プログラムの周知が十分進んでいないことから、これまで通りアドミッションフォーラムやパンフレットの送付を通して県内・県外の高校教員への周知を引き続き進めることに加え、出前講義の提供により、高校生に直接アプローチすることを積極的に進めていきたいと考えています。

また、ウェブサイトおよびソーシャルメディアの更新頻度を維持しながら、SAによる広報活動を中心に高校生への訴求力をもった情報発信を継続していきます。

②学部との連携

現状では、学部との連携は在学生や学外向けの情報提供にとどまっていますが、こうした地道な連携を続け、本プログラムへの理解を醸成していきます。高校生の情報収集が学部中心であることを踏まえ、学部の提供する入試情報にメジャー・マイナー制や本プログラムが掲載されるような連携のあり方について引き続き探っていききたいと考えています。

資料編

【資料1-①】

HOME	プログラム概要	マイナー学修一貫／ 履修手続	特色ある教育 (分野横断デザイン・ 分野横断リフレクション)	サポート体制／ アカデミック・アドバイジング	高校生・受験生のみなさんへ／ 履修生の声	学生による「教育広報」 学生発信ページ	よくある質問／ お問い合わせ
------	---------	-------------------	--------------------------------------	---------------------------	-------------------------	------------------------	-------------------


HOME > アカデミック・アドバイジング

アカデミック・アドバイジング

アカデミック・アドバイジングとは？

アカデミック・アドバイジングとは、学生自身の学修目的や将来の目標決定・達成を、継続的に支援することです。NICEプログラムでは、アカデミック・アドバイザー (AA) が、マイナーの履修指導を中心としたアカデミック・アドバイジングを提供しています。

具体的なサポート内容

マイナーをはじめたとき	「分野横断デザイン」履修中	マイナー履修中	「分野横断リフレクション」履修中
マイナー履修に関する 情報提供が受けられます 「マイナーについて詳しく 説明してほしい」、「自分の考え ていることは、マイナーで取り 結めるのか」、「マイナーと学部 を両立できるのか不安」など、 マイナー履修に関する質問・ 疑問に答えます。	授業課題でわからない ことがあったとき、 アドバイスが受けられます 「マイナーでどんなことに取り 組めばいいかわからない」、 「マイナーとして履修する科目が うまく選び出せない」、「マイナー の履修計画を立ててみたので 見てほしい」など、学生のみなさん が自分の興味・関心に沿った 学びがデザインできるように サポートします。	マイナー履修 フォローアップが 受けられます マイナーを履修するための ペースメーカーとして、 アドバイジングを利用できます。 また、「マイナーの方向性を変更 したい」、「マイナー履修が計画 通りにいかない」など、履修途中 の悩みにも対応しています。	授業課題でわからない ことがあったとき、 アドバイスが受けられます 

学内の他部署や教員と連携を取り、学生のみなさんの学びを多面的に支えます。
 アカデミック・アドバイジングは、「NICE学修デザイン相談室」で受けることができます。

アカデミック・アドバイザー紹介



神田 麻衣子 (KANDA, Maiko)
 英語圏アフリカ文学が専門。岐阜県出身です
 が、大学時代から20年以上大阪で過ごしたの
 で、関西弁が抜けません。
 自分の選択について、みなさんが「前に落ち
る」感覚を持てるようサポートします。



柿原 豪 (KAKIHARA, Goh)
 千葉県で生まれ、神奈川県で育ちました。
 教育社会学、比較教育学が専門で、人の移動
 によって生じる事象に関心をもっています。
 これまで携わってきた学問や仕事の経験を活
 かして、みなさんの気持ちに寄り添った支援
 を心がけていきます。

「NICE学修デザイン相談室」について

NICEプログラムでは、「NICE学修デザイン相談室」で、マイナー学修に関する相談を受け付けています。

【曜日・時間】

火・木・金曜日 昼休み (11:55-12:45)、3限、4限

【場所】

NICE学修デザイン相談室 (総合教育研究棟A棟2階 A211)

上記の曜日・時間に都合がつかない場合は、「お問い合わせ」フォームから別日程を予約することもできます。相談は対面でもオンラインでも可能です。

nice_aa.nigata_u@gmail.com

2023年 8月

日	月	火	水	木	金	土
	30	31	6月1日	2	3	4
			6月5日	6	7	8
	5	6	7	8	9	10
						11
	13	14	15	16	17	18
						19
	20	21	22	23	24	25
						26
	27	28	29	30	31	9月1日
						2

予定リスト

6月5日: 野村みづほ, 3限 11:55 相談予約 総合教育研究棟A211 昼休み

6月7日: 野村みづほ, 4限 11:55 相談予約 総合教育研究棟A211

6月10日: 山の日

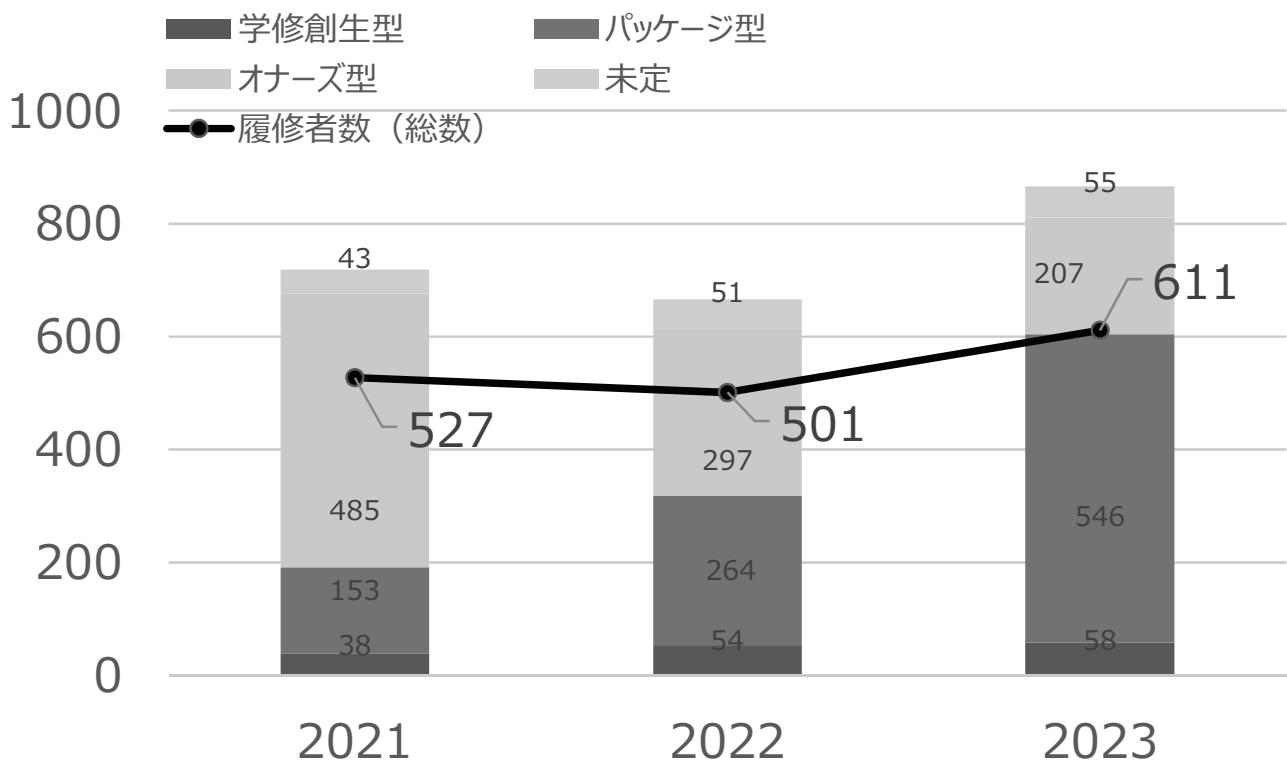
9月1日

予定表示は実時間タイムゾーン: 日本標準時

Google カレンダー

相談予約はこちらから

マイナープログラム履修登録者数および 履修者数（総数）の推移



※オナース型が減り、パッケージ型が増加するトレードオフ。

→ 教育戦略として狙っていた事が実現中

2021年度 マイナー・プログラム履修者数（総数）

（人数）

学部	学士1年	学士2年	学士3年	学士4年	留年	総計
人文学部	15	43	31	20	1	110
教育学部	4	6	3	2	0	15
法学部	14	13	8	7	0	42
経済科学部	38	30	9	6	0	83
理学部	28	31	14	4	0	77
医学部医学科	0	0	2	2	0	4
医学部保健学科	3	6	3	1	1	14
歯学部	0	0	0	0	0	0
工学部	45	45	16	4	1	111
農学部	15	25	12	10	0	62
創生学部	0	4	3	2	0	9
総計	162	203	101	58	3	527

注）履修者数とは、マイナープログラムのいずれかに履修登録した学生のうち、複数のマイナープログラムを履修登録した学生の重複を除いた人数。

2021年度 マイナー・プログラム履修登録者数（総数）

（人数）

学部	学士1年	学士2年	学士3年	学士4年	留年	総計
人文学部	20	63	32	21	1	137
教育学部	4	6	5	3	0	18
法学部	15	24	9	7	0	55
経済科学部	52	44	13	8	0	117
理学部	37	54	16	4	0	111
医学部医学科	0	0	2	2	0	4
医学部保健学科	4	6	3	1	1	15
歯学部	0	0	0	0	0	0
工学部	62	66	21	7	3	159
農学部	21	43	16	10	0	90
創生学部	0	4	7	2	0	13
総計	215	310	124	65	5	719

注）マイナー・プログラム履修登録者数とは、マイナープログラムのいずれかに履修登録した学生数。ひとりの学生が複数登録した数を含む。

2021年度 マイナー・プログラム履修者

数プログラム名：学修創生型

(人数)

学部	学士 1年	学士 2年	学士 3年	学士 4年	総計
人文学部	2	4	0	0	6
教育学部	1	0	1	0	2
法学部	0	3	0	0	3
経済科学部	9	1	0	0	10
理学部	8	0	0	0	8
医学部医学科	0	0	0	0	0
医学部保健学科	1	0	0	0	1
歯学部	0	0	0	0	0
工学部	3	1	0	0	4
農学部	2	1	0	0	3
創生学部	0	1	0	0	1
総計	26	11	1	0	38

プログラム名：オナーズ型

(人数)

学部	学士 1年	学士 2年	学士 3年	学士 4年	留年	総計
人文学部	12	45	32	21	1	111
教育学部	2	6	4	2	0	14
法学部	8	15	8	7	0	38
経済科学部	27	21	12	6	0	66
理学部	18	43	10	4	0	75
医学部医学科	0	0	0	0	0	0
医学部保健学科	2	6	3	1	1	13
歯学部	0	0	0	0	0	0
工学部	38	42	16	3	3	102
農学部	14	27	10	10	0	61
創生学部	0	1	3	1	0	5
総計	121	206	98	55	5	485

プログラム名：パッケージ型

(人数)

学部	学士 1年	学士 2年	学士 3年	学士 4年	総計
人文学部	2	11	0	0	13
教育学部	0	0	0	1	1
法学部	4	4	0	0	8
経済科学部	10	18	1	2	31
理学部	7	11	6	0	24
医学部医学科	0	0	2	2	4
医学部保健学科	0	0	0	0	0
歯学部	0	0	0	0	0
工学部	13	21	5	4	43
農学部	3	13	6	0	22
創生学部	0	2	4	1	7
総計	39	80	24	10	153

プログラム名：未定

(人数)

学部	学士 1年	学士 2年	学士 3年	学士 4年	総計
人文学部	4	3	0	0	7
教育学部	1	0	0	0	1
法学部	3	2	1	0	6
経済科学部	6	4	0	0	10
理学部	4	0	0	0	4
医学部医学科	0	0	0	0	0
医学部保健学科	1	0	0	0	1
歯学部	0	0	0	0	0
工学部	8	2	0	0	10
農学部	2	2	0	0	4
創生学部	0	0	0	0	0
総計	29	13	1	0	43

2022年度 マイナー・プログラム履修者数（総数）

（人数）

学部	学士1年	学士2年	学士3年	学士4年	総計
人文学部	19	26	28	22	95
教育学部	9	8	3	3	23
法学部	17	10	9	3	39
経済科学部	35	29	20	11	95
理学部	20	22	20	11	73
医学部医学科	1	0	0	0	1
医学部保健学科	10	2	2	2	16
歯学部	0	0	0	0	0
工学部	18	27	21	8	74
農学部	27	19	15	7	68
創生学部	3	6	7	1	17
総計	159	149	125	68	501

注）履修者数とは、マイナープログラムのいずれかに履修登録した学生のうち、複数のマイナープログラムを履修登録した学生の重複を除いた人数。

2022年度 マイナー・プログラム履修登録者数（総数）

（人数）

学部	学士1年	学士2年	学士3年	学士4年	総計
人文学部	32	33	32	23	120
教育学部	13	8	3	3	27
法学部	21	11	13	3	48
経済科学部	41	35	26	16	118
理学部	29	26	28	13	96
医学部医学科	3	0	0	0	3
医学部保健学科	10	2	2	2	16
歯学部	0	0	0	0	0
工学部	27	47	28	8	110
農学部	33	29	19	12	93
創生学部	6	9	19	1	35
総計	215	200	170	81	666

注）マイナー・プログラム履修登録者数とは、マイナープログラムのいずれかに履修登録した学生数。ひとりの学生が複数登録した数を含む。

2022年度 マイナー・プログラム履修者数

プログラム名：学修創生型

(人数)

学部	学士 1年	学士 2年	学士 3年	学士 4年	総計
人文学部	3	5	2	0	10
教育学部	1	4	0	0	5
法学部	7	2	1	0	10
経済科学部	4	2	1	0	7
理学部	2	2	1	0	5
医学部医学科	0	0	0	0	0
医学部保健学科	1	0	0	0	1
歯学部	0	0	0	0	0
工学部	3	3	0	0	6
農学部	5	3	0	0	8
創生学部	0	0	2	0	2
総計	26	21	7	0	54

プログラム名：オナーズ型

(人数)

学部	学士 1年	学士 2年	学士 3年	学士 4年	総計
人文学部	11	16	22	22	71
教育学部	1	3	2	2	8
法学部	6	4	6	3	19
経済科学部	6	17	7	10	40
理学部	7	15	17	9	48
医学部医学科	1	0	0	0	1
医学部保健学科	7	2	2	2	13
歯学部	0	0	0	0	0
工学部	8	14	15	8	45
農学部	9	15	11	8	43
創生学部	3	2	3	1	9
総計	59	88	85	65	297

プログラム名：パッケージ型

(人数)

学部	学士 1年	学士 2年	学士 3年	学士 4年	総計
人文学部	11	11	8	1	31
教育学部	8	1	1	1	11
法学部	3	5	6	0	14
経済科学部	21	15	18	6	60
理学部	15	9	10	4	38
医学部医学科	2	0	0	0	2
医学部保健学科	1	0	0	0	1
歯学部	0	0	0	0	0
工学部	12	29	13	0	54
農学部	10	10	8	4	32
創生学部	1	7	13	0	21
総計	84	87	77	16	264

プログラム名：未定

(人数)

学部	学士 1年	学士 2年	学士 3年	学士 4年	総計
人文学部	7	1	0	0	8
教育学部	3	0	0	0	3
法学部	5	0	0	0	5
経済科学部	10	1	0	0	11
理学部	5	0	0	0	5
医学部医学科	0	0	0	0	0
医学部保健学科	1	0	0	0	1
歯学部	0	0	0	0	0
工学部	4	1	0	0	5
農学部	9	1	0	0	10
創生学部	2	0	1	0	3
総計	46	4	1	0	51

2023年度 マイナー・プログラム履修者数（総数）

（人数）

学部	学士1年	学士2年	学士3年	学士4年	留年	総計
人文学部	24	27	15	10	1	77
教育学部	4	5	1	2	0	12
法学部	47	29	6	4	0	86
経済科学部	32	14	13	3	0	62
理学部	23	34	56	17	1	131
医学部医学科	0	0	0	0	0	0
医学部保健学科	20	5	1	1	0	27
歯学部	1	0	0	0	0	1
工学部	20	61	17	25	0	123
農学部	20	29	13	10	0	72
創生学部	10	4	4	2	0	20
総計	201	208	126	74	2	611

注）履修者数とは、マイナープログラムのいずれかに履修登録した学生のうち、複数のマイナープログラムを履修登録した学生の重複を除いた人数。

2023年度 マイナー・プログラム履修登録者数（総数）

（人数）

学部	学士1年	学士2年	学士3年	学士4年	留年	総計
人文学部	30	37	15	10	1	93
教育学部	5	5	1	2	0	13
法学部	57	40	7	7	0	111
経済科学部	34	15	18	3	0	70
理学部	29	57	75	21	2	184
医学部医学科	0	0	0	0	0	0
医学部保健学科	22	5	1	1	0	29
歯学部	1	0	0	0	0	1
工学部	24	131	30	30	0	215
農学部	26	49	24	14	0	113
創生学部	23	5	7	2	0	37
総計	251	344	178	90	3	866

注）マイナー・プログラム履修登録者数とは、マイナープログラムのいずれかに履修登録した学生数。ひとりの学生が複数登録した数を含む。

2023年度 マイナー・プログラム履修者数

プログラム名：学修創生型

(人数)

学部	学士 1年	学士 2年	学士 3年	学士 4年	総計
人文学部	2	4	3	1	10
教育学部	0	1	0	0	1
法学部	7	8	1	0	16
経済科学部	1	1	2	0	4
理学部	1	2	2	1	6
医学部医学科	0	0	0	0	0
医学部保健学科	6	0	0	0	6
歯学部	0	0	0	0	0
工学部	2	2	1	0	5
農学部	3	3	0	0	6
創生学部	0	3	0	1	4
総計	22	24	9	3	58

プログラム名：オナーズ型

(人数)

学部	学士 1年	学士 2年	学士 3年	学士 4年	留年	総計
人文学部	5	10	8	7	1	31
教育学部	0	1	1	1	0	3
法学部	3	8	4	3	0	18
経済科学部	10	3	8	3	0	24
理学部	11	7	13	9	0	40
医学部医学科	0	0	0	0	0	0
医学部保健学科	11	5	1	1	0	18
歯学部	1	0	0	0	0	1
工学部	2	28	7	6	0	43
農学部	3	7	7	6	0	23
創生学部	4	0	2	0	0	6
総計	50	69	51	36	1	207

プログラム名：パッケージ型

プログラム名：未定

(人数)

学部	学士 1年	学士 2年	学士 3年	学士 4年	留年
人文学部	16	21	4	2	0
教育学部	2	3	0	1	0
法学部	41	19	2	4	0
経済科学部	15	9	8	0	0
理学部	15	48	58	11	2
医学部医学科	0	0	0	0	0
医学部保健学科	3	0	0	0	0
歯学部	0	0	0	0	0
工学部	15	99	22	24	0
農学部	15	39	17	8	0
創生学部	15	2	5	1	0
総計	137	240	116	51	2

学部	学士 1年	学士 2年	学士 3年	学士 4年	総計
人文学部	7	2	0	0	9
教育学部	3	0	0	0	3
法学部	6	5	0	0	11
経済科学部	8	2	0	0	10
理学部	2	0	2	0	4
医学部医学科	0	0	0	0	0
医学部保健学科	2	0	0	0	2
歯学部	0	0	0	0	0
工学部	5	2	0	0	7
農学部	5	0	0	0	5
創生学部	4	0	0	0	4
総計	42	11	2	0	55

【資料2-①】

マイナー学修（副専攻）認定申請システム

【学生側申請画面】

・学生は認定申請の際に、web上で申請したいマイナーごとに履修科目の確認や必要事項の入力ができるようになっている。

The screenshot shows a web application interface for applying for minor courses. At the top, there is a navigation bar with icons for HOME, 連絡通知, スケジュール, 休講補講, シラバス, 履修, 成績, 単位・小テスト・アクト, 出欠管理, フォーラム, ダウンロード, リンク, 各種情報, and NBA. Below the navigation bar, there are several tabs: 授業ポートフォリオ, 履修登録・登録状況照会, マイナー学修（副専攻）関連, and ディプロマサブプリメント参照. The main content area is divided into several sections:

- 新着情報:** A notification box stating "あなた宛の新着情報があります。" (You have new information for you).
- MYスケジュール:** A calendar for August 2023, showing the current date as 2023/08/14 (Monday). Below the calendar, it says "登録されている予定はありません" (No schedule is registered).
- リンク:** A section with various links for students, including "学生共通リンク", "学生用マニュアル", "授業関連", "新潟大学クォーター制について", "履修手続き等の日程", "履修関係操作手順書", "履修関係FAQ", "新潟大学授業録", "授業科目開設一覧・Gコード科目時間表", "授業評価アンケートの回答手順", "学生向けオンライン授業受講ルール", "自然系共通専門基礎科目", "Zoom・YouTubeの利用", "副専攻（マイナー）について", "全学分野横断創生プログラムHP", "学修創生型とパッケージ型マイナー", "オナズ型マイナー（副専攻プログラム）", and "授業関連（外国語）".
- マイナー学修（副専攻）認定申請登録/マイナー選択:** A section for selecting and applying for minor courses. It includes instructions: "認定を申請するマイナーを選択してください。パッケージ型マイナーにおいて、複数申請したいものがある場合には、一旦1つの申請を完了してから、同業を繰り返してください。" (Please select the minor you want to apply for. For package-type minors, if you want to apply for multiple items, please complete one application first and then repeat the process for the others.) and "全ての申請が終了したら、「申請を確定する」ボタンをクリックしてください。" (After all applications are completed, click the "Confirm Application" button.) Below this, there is a table of available minors:

No.	オナズ型マイナー（副専攻プログラム）	申請状態	削除	No.	パッケージ型マイナー
1	副専攻「環境学」		削除	1	「アグロ・フードアソシエーツ」
2	副専攻「MOT基礎」		削除	2	「ことづくり・マネジメント」
3	副専攻「芸術学」		削除	3	「コミュニティ・マネジメント」
4	副専攻「外国語（ドイツ語）」		削除	4	「データサイエンスリテラシー」
5	副専攻「外国語（英語）」		削除	5	「ふるさと共創学」
6	副専攻「外国語（フランス語）」		削除	6	「ジオパーク」
7	副専攻「外国語（ロシア語）」		削除	7	「地域災害環境システム」
8	副専攻「外国語（中国語）」		削除	8	「MOT基礎（特許・経営及び製品開発基礎コース）」
9	副専攻「地域学」		削除	9	「外国語（ロシア語）」
10	副専攻「GIS(地理情報システム)マイナー」		削除	10	「心理・人間学」
11	副専攻「法律学」		削除	11	「社会文化学」
12	副専攻「政治学」		削除	12	「言語文化学」
13	副専攻「経済学」		削除	13	「法学」
14	副専攻「電子・情報科学」		削除	14	「数学」
15	副専攻「統合化学」		削除	15	「物理学」
16	副専攻「医学物理学基礎」		削除	16	「化学」
17	副専攻「学校教育実践」		削除	17	「生物学」
18	副専攻「データサイエンス」		削除	18	「自然環境科学」
19			削除	19	「機械システム工学」
				20	「社会基盤工学」
				21	「電子情報通信」

【教務側確認画面】

- ・認定申請が完了した学生は以下のように一覧になって表示される。

- ・それぞれの学生の認定申請内容の詳細が表示される。

【資料 2-②】

ディプロマサプリメント機能

・各学位プログラムの DP・CP をもとにした主なメジャーの内容と、マイナーの内容を別々に表示。

・学修創生型マイナーは学生自身がマイナー学修の内容や成果をデザインし、リフレクション科目にて担当教員が認定した内容が表示される。

ディプロマサプリメント参照 [CampusSquare]

🔍 ディプロマサプリメント参照

1. 基本情報

氏名	XXXXXXXXXX	氏名 (英)	XXXXXXXXXX
生年月日	XXXX/XX/XX	在籍番号	XXXXXXXXXX

2. 授与された学位と授与機関

学位名	XXXXXXXXXX	学部	XXXXXXXXXX
学位プログラム	XXXXXXXXXX	授与機関	新潟大学 (国立大学)
修業年限	4年		
学位授与の要件	test		

3. 学位プログラムの内容

概要と教育目標	test		
プログラムの到達目標	知識・理解	test	
	当該分野固有の能力	test	
	汎用的能力	test	
	態度・姿勢	test	
カリキュラム編成と学修内容・方法	test		

4. 学位プログラム及びメジャーの学修成果

総合GPA (P平均)	3.2469 (3.2657)		総合成績平均 (P平均)	83 (82)	
メジャー主要科目のGP/成績	機械設計I	2.8	機械力学I	3.9	
	機械力学II	3.3	機械設計II	3.2	
	機械工学演習	3.5	機械工作実習I	3.6	
	機械工作実習II	3.4	機械工作実習III	3.5	
	機械工学実験I	2.6	機械工学実験II	3.7	
	機械工学実験III	3.4	機械工学実験IV	3.0	
	機械工学概論	2.7	機械材料	4.2	

5.マイナーの内容と学修成果

マイナー名	「データサイエンスリテラシー」			
種別	パッケージ型マイナー	修了要件	test	
概要と教育目標	test			
取得マイナー単位数	18	マイナーGPA	3.3666	
マイナー成績平均	85			
マイナー科目のGP /成績	データサイエンス総論 I	4.1	データサイエンス総論 II	3.2
	基礎数理 A I	4.0	基礎数理 A II	2.0
	基礎数理 B	4.5	情報産業論	2.1
	プログラミング概論 A	3.5	プログラミング概論 B	5.0
	応用数理 A	3.2	応用数理 B	2.3
	統計入門	4.3		
マイナー名	自然災害に強い社会形成を目指して			
種別	学修創生型マイナー	修了要件	test	
概要と教育目標	test			
取得マイナー単位数	20	マイナーGPA	3.5900	
マイナー成績平均	86			
履修計画内容の説明	<p>包括的に自然災害と社会・防災の関係を学びながら、これらを実際の防災に役立てる方法を学ぶ。ソフト面の防災として教育に注目した。年齢を問わず、地域や社会で暮らす人々に自然災害や防災について正しく伝える方法を学びたい(③)。さらに、災害を通して人々や集団でどのような心理が働くのかを把握することで、より効果的な教育に繋げる案がでる他、災害現場で被害者支援や復興支援を行う際に必要である為、災害時や集団での心理について学びたい(④)。教育の為に伝わりやすい地図やハザードマップ等を作成する他、様々な研究や公的機関から出されている地図データから情報を収集する為、GISについて詳しく知りたい(⑤)。</p> <p>メジャーとマイナーの一部で、自然災害・防災と社会の関係について包括的に学びつつ、これらをもとに、災害時の人的被害の減少を目標としてソフト面から現状よりも効果的な防災を実現するために、マイナー学修により「教育」を通して地域社会に貢献できる人材となることを目的とする。</p>			
学修成果の説明	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然災害・防災・社会の関係をハード・ソフト面から理解し、現行の防災の課題を発見できる。 2. 災害に関わる個人・集団の心理を把握し、これをもとに防災教育活動に貢献する。 3. GIS等を用いた分かりやすく効果的な社会や地域への防災教育の方法を習得する。 			
マイナー科目のGP /成績	動物生産学概論	2.1	健康スポーツ科学実習 I	3.8
	地学概論 A	3.2	心と社会	1.2
	機械工学演習	3.5	複素・フーリエ解析	3.4
	機械工作実習 III	3.5	総合工学概論	2.9
	総合技術科学演習	3.9	社会基盤工学概論	1.7
	創造プロジェクト基礎	3.5		

6.資格・特筆すべき成果

資格・特筆すべき成果はありません。

【資料 2-③】

教育基盤機構の概要と組織図

・機構の概要

本学ではこれまで、教育の質の向上を目指し、教養教育と専門教育とを、連続性・体系的を有する一貫した学士課程教育の充実を行ってまいりました。平成 17 年度には、本学で開講する授業科目を従来型の教養科目と専門科目との区分を廃して「全学科目」と位置づけ、各学部の教育目的の達成に必要な全学科目の企画・実施体制を整備しました。さらに副専攻プログラムを導入し、学士課程教育のより一層の拡充を図りました。またこうした制度を円滑に運営するため、教育担当理事を機構長とする全学教育機構を設置しました。

平成 18 年度からは、従来の学部・学科の専門教育を中心とした教育課程を見直し、平成 21 年度に到達目標達成型の「主専攻プログラム」として再編しました。これらの教育改革を十全的に推進するため、平成 22 年度には、入学センター及びキャリアセンターを統合し、従来の全学教育機構を 6 つのセンターを抱える「教育・学生支援機構」として新たに発足させました。令和元年度には「グローバル教育センター」を発展的に改組し、新たに「留学センター」と「コモニテラシーセンター」を設置し、さらに、令和 2 年度からは、組織改編により既存のセンターを有機的に集約し、「教育プログラム支援センター」と「キャンパスライフ支援センター」を設置するとともに、「教職支援センター」に名称を変更し 5 センター体制としました。

令和 4 年 10 月には、「新潟大学将来ビジョン 2030」及び令和 4 年度から令和 9 年度に係る第 4 期中期目標・中期計画の達成に向け、従来の 5 センターから、4 部門・2 センターへと再編を行い、「教育基盤機構」として更なる教育改善・学生支援を促進出来る体制としました。また、学士課程から大学院課程への接続を含む大学院教育の充実・発展及び大学院学生の修学支援等を包括的に実施するため、「大学院教育支援機構」を設置し、教育基盤機構との連携のもと、学部・大学院を一体的に支援する体制を構築しました。

令和 5 年 4 月には、「教職支援センター」を「全学教職センター」に名称を変更し、【教育基盤機構】は、「教学マネジメント部門」・「アドミッション部門」・「キャンパスライフ支援部門」・「未来教育開発部門」・「全学教職センター」・「国際センター」の 4 部門・2 センター体制、【大学院教育支援機構】は、「大学院改革推進部門」・「PhD リクルート室」の 1 部門・1 室体制に整備しました。

第 4 期中期目標・中期計画期間においては、これまで以上のスピード感をもって教育改革・教育改善を全学的に支援していくことが求められます。これまで整備した学士課程における「主専攻プログラム」を更に深化させ、学位プログラムとして実質化し、更には大学院課程における学位プログラム化も視野に入れた学生が学修過程を自ら把握しながら主体的に学ぶことができる教育環境の整備を全学的に充実させていき、学生の入学から卒業（修了）までの学修を一貫してサポートしてまいります。

・教育基盤機構組織図





令和4年度 新潟大学学 F・D・SD 「主体的学修を推進する新潟大学の取り組み」令和4年度学長教育助成制度成果報告会

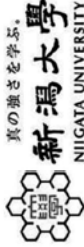
「大学での学びに関するアンケート」結果報告

(本学における 教育改革の取り組み - メジャー・マイナー制を中心に -)



Niigata University Interdisciplinary Creative Education Program

新潟大学 教育基盤機構
特任助教 長創一朗



令和5年3月14日

調査概要

調査名	「大学での学びに関するアンケート」
対象者	全学部生
回答方法	学務情報システムで連絡通知を行い、Googleフォーム(大学契約)で回答
回答期間	2022年12月15日～2023年1月31日
回答数(回収率)	421件(約4%)
主な設問	<ul style="list-style-type: none"> 大学での学びで身についた能力や態度 現在(2022年度2学期)のオンライン授業について マイナー学修プログラムについて

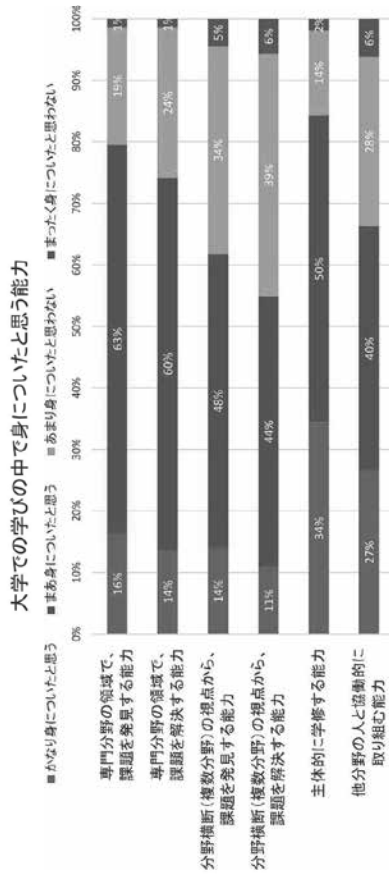
回答者の属性

	回答者(学部・学生)						合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
人文学部	14	20	15	19			68
教育学部	15	8	4	8			35
法学部	20	12	11	6			49
経済学部	15	13	17	7			52
理学部	15	14	9	8			46
医学部	14	12	4	7	1		39
歯学部	2	4	2	0			8
工学部	27	22	12	12		1	74
農学部	15	8	13	3		1	40
創生学部	2	1	3	4			10
合計	139	114	90	74	1	3	421
	33.0%	27.1%	21.4%	17.6%	0.2%	0.7%	100.0%

マイナー履修登録者の属性

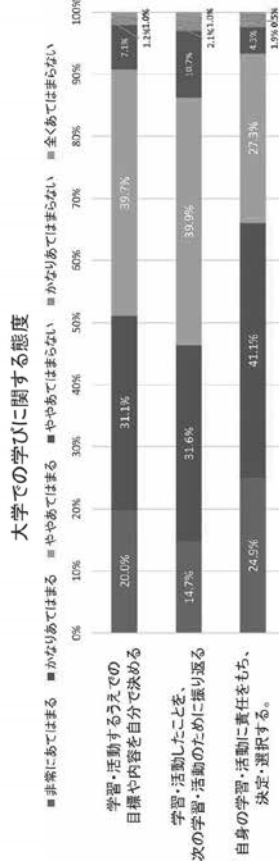
	マイナー履修登録者(学部・学生)				合計
	1年	2年	3年	4年	
人文学部	1	11	6	4	22
教育学部	4	50.0%	27.3%	18.2%	100.0%
法学部	7	66.7%		33.3%	100.0%
経済学部	2	4	4	3	13
理学部	2	5	3	3	10
医学部	2	20.0%	50.0%	30.0%	100.0%
歯学部	2	100.0%			100.0%
工学部	2	1	1	2	6
農学部	5	16.7%	16.7%	33.3%	100.0%
創生学部	2	41.7%	8.3%	50.0%	100.0%
合計	27	26	21	11	85
	31.8%	30.6%	24.7%	12.9%	100.0%

大学での学びの中で身についたと思う能力



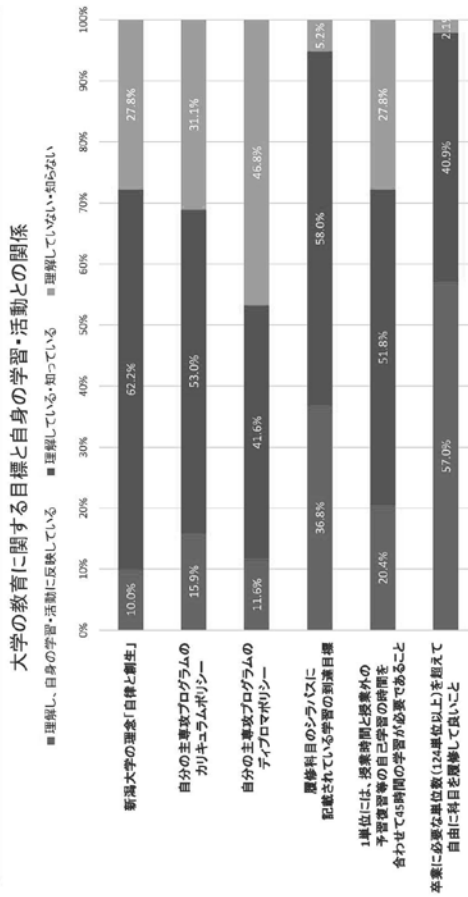
- ・マイナー履修を選択している学生とそうでない学生で大きな差はなし

大学での学びに関する態度(Agency)



- ・マイナー履修を選択している学生とそうでない学生で大きな差はなし

大学の教育に関する目標と自身の学修・活動との関係



- ・マイナー履修を選択している学生とそうでない学生で大きな差はなし

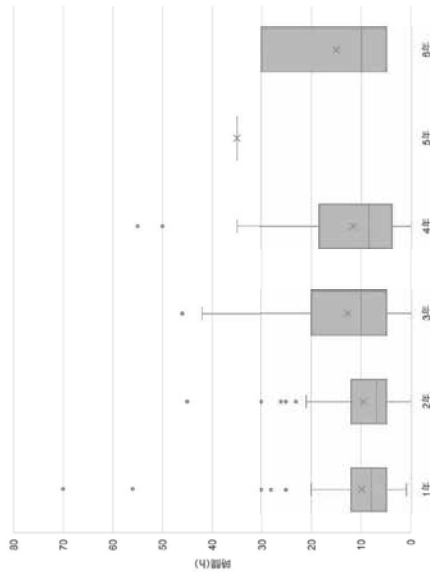
授業時間以外の学習時間(1週間)

1週間あたりの授業時間外の学習時間(h)

年度	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1年	9.89	8	8.8	1	70
2年	9.49	7	7.69	0	45
3年	12.6	10	10.4	0	46
4年	11.7	8.5	11.2	0	55
5年	35	35	35	35	35
6年	15	10	13.2	5	30
合計	10.8	8	9.5	0	70

- ・マイナー履修を選択している学生とそうでない学生で大きな差はなし

授業時間以外の学習時間(1週間)



授業時間以外の学習時間(1週間)

学部	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値	
人文学部	68	9.926	7.75	8.294	1	40
教育学部	35	12.56	8	13.81	1	70
法学部	48	9.563	7.5	9.851	0	56
経済学部	52	8.394	6	7.414	0	30
理学部	46	14.28	12	10.53	0	55
医学部	39	11.81	7	11.42	1	46
歯学部	8	12.56	10.5	9.679	1	25
工学部	74	11.42	10	8.096	0	50
農学部	40	9.25	7	7.529	0	38.5
創生学部	10	8.65	6	6.758	2	21
合計	420	10.79	8	9.497	0	70

・マイナー履修を選択している学生とそうでない学生で大きな差はなし

授業時間以外の学習時間(1週間)



マイナー学修プログラムを履修したしなかった理由

履修した理由([]内はプログラム名)	履修しなかった理由
<ul style="list-style-type: none"> 初修外国語の先生からの誘い、必修の語学を途中でやめるのはもったいない[ドイツ語、ロシア語、フランス語、中国語、コア] 何か新しいことに挑戦したくなったから[学修創生] 新潟大学でしかできないから[学修創生] その分野に興味があったから[経済学、法学、芸術学、] 自分の専門にも活かそうだから[医学物理学基礎] 将来役に立ちそうだから[データサイエンス] 	<ul style="list-style-type: none"> 忙しい、時間がない、大変(主専攻、教職、資格、部活、サークル) 興味関心がない、自分には必要ない プログラム、制度についてよく知らない まわりの学生で履修している人を知らない 必修科目との重なり 負担が大きそう、その割にメリットがない

マイナー学修プログラムを履修して良かったこと

- 多数のプログラムで言及
 - ・専門以外の分野を学ぶことで、幅広い多角的な視点や知識が得られた。
- 学修創生型
 - ・今後と見通した計画がたてられる。学問分野の壁を越えて、自分が研究したいものをより多角的に調べられる。
 - ・他の学部の人と交流ができた。
- 語学系
 - ・学習のモチベーションが維持できる[ドイツ語、英語]
 - ・語学だけでなく、フランス文学という分野に出会うことができた[フランス語]
- 科目リストがあるオナーズ型、パッケージ型
 - ・必修以外の科目を悩まずに履修が組める[ドイツ語、芸術学、物理学]

マイナー学修プログラムを履修して困ったこと

- 履修の問題
 - ・必修科目との重なりで計画通りに履修が進まない[多数]
 - ・履修したくても抽選で落ちてしまう[学修創生]
 - ・シラバスの履修対象の書き方が学部ごとに異なりわかりにくい[学修創生]
- (ピア)サポートの不足
 - ・同じプログラムを履修している人が少なく、相談する相手がいない[経済学、ドイツ語]

役に立った、必要だと思いうサポート

履修している学生()内はプログラム名)	履修しなかった学生
<ul style="list-style-type: none"> ・アカデミック・アドバイザーやプログラム担当の先生への相談が役に立った[学修創生、法律学、医学物理学基礎] ・パンフレットがわかりやすかった[ドイツ語] ・学務情報システムで履修状況がわかる[地域学] ・履修している学生同士で交流・相談したい[ドイツ語、英語] 	<ul style="list-style-type: none"> ・初学者に易しい科目を年に複数回開講する ・オンラインのオンデマンド型の授業を増やす ・長期休暇中の集中講義を増やす ・ガイダンスでの紹介、もっと情報が欲しい ・モデルとなる時間割、履修計画の例を知りたい ・履修している学生の話を知りたい ・旭町でも受講できるようにしてほしい

→4月の各種ガイダンス
やマイナー履修の先輩
学生が参加する相談会
等を実施予定です。

NICEウェブサイト



Twitter (@Niigata_u_NICE)



本発表のアウトライン

1. 背景と目的
2. 対象と方法
3. 結果
4. 考察と今後の課題

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表：部会16 評価・測定

2

新潟大学におけるマイナー履修学生の 学習行動と学習成果の認識

長 創一朗・斎藤 有吾
(新潟大学教育基盤機構)

第29回 大学教育研究フォーラム

第2日個人研究口頭発表：部会16 評価・測定

2023年3月16日@Zoom

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表：部会16 評価・測定

3

1. 背景と目的

主専攻・副専攻(メジャー・マイナー)制度

- 281の大学(約37%)が導入(学部段階、2021年度)
(文部科学省 2021)
- 新潟大学におけるメジャー・マイナー制度
 - 2004年の法人化以降の教育体制の整備
 - 教員所属組織の変更
 - 教養科目(全学共通科目)と専門科目の区分の撤廃(全学化)
 - 分野・水準表示方法の導入
 - 2006年度から副専攻制度の導入
(濱口 2008, 田中 2011)

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表：部会16 評価・測定

4

新潟大学の新しいメジャー・マイナー制度

- 全学分野横断創生プログラム
 - NICE Program: Niigata University Interdisciplinary Creative Education Program
 - 文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」メニューI「文理横断・学修の幅を広げる教育プログラム」
 - 新潟大学の副専攻制度の再編
 - 複雑化・多様化する社会課題に対して、複眼的な視野で問題を解決できる人材育成の強化
 - 総合大学の強みを活かしたメジャーとマイナーとマイナーの掛け合わせにより分野横断的な学びを実現

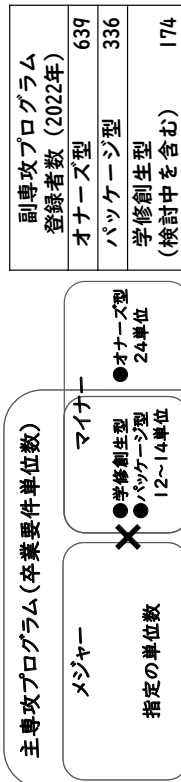
2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表：部会16 評価・測定

5

副専攻制度の再編 (NICE)

副専攻制度を3つに再編(学修創生型、パッケージ型、オナーズ型)



※オナーズ型は、当初からの副専攻制度の新たな名称
※パッケージ型は、2015(平成27)年のCOC+採択時より
展開しているマイナー制度
※学修創生型を本事業により新設

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表：部会16 評価・測定

7

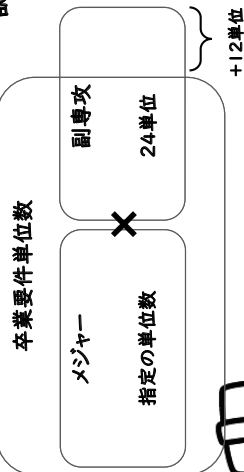
副専攻制度の導入時

【認定の要件(ポイントのみ)】

- 所定授業科目の24単位以上を修得
- 卒業要件単位数[標準124単位]+12単位以上
- 卒業時GPA 2.5以上

卒業要件単位数から見た副専攻制度

認定者は毎年60人程度



2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表：部会16 評価・測定

6

マイナー学修プログラム(2022年度)

学修創生型マイナー (自由選択から5単位以上)	
<ul style="list-style-type: none"> ○学修創生 ○パッケージ型マイナー (12単位以上) ○バックワードアジアーズ ○データサイエンスリテラシー ○ふるさと共創学 	<ul style="list-style-type: none"> ○ことづくり・マネジメント ○シオパーク ○外国語 (ロシア語) ○コミュニケーション ○地域実践連携システム ○MOT基礎 (統計・履修および他学部履修コース)
領域学修基礎パッケージ	
<ul style="list-style-type: none"> ○大衆・人間学 ○社会文化学 ○健康文化学 ○社会学 ○心理学 ○環境システム工学 ○工学 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会学 ○社会基礎工学 ○電子情報通信 ○知能情報システム ○情報連携科学 ○機械システム工学 ○材料科学 ○建築学 ○生物資源科学/流域環境学 ○応用生命科学/食品科学
オナーズ型マイナー (24単位以上)	
<ul style="list-style-type: none"> ○環境学 ○外国語 (ロシア語) ○外国語 (中国語) ○外国語 (英語) ○外国語 (フランス語) ○外国語 (ロシア) 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合化学 ○医学物理学基礎 ○学校教育実践 ○データサイエンス ○統合化学 ○医学物理学基礎 ○医学物理学基礎 ○GIS (地理情報システム)リテラシー ○経済学 ○電子・情報科学

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表：部会16 評価・測定

8

メジャー・マイナー制度の課題と先行調査

・課題

新潟大学のNICEプログラムのような、メジャーとマイナーの掛け合わせによる分野横断的な学びでは、従来のメジャーとマイナーそれぞれの認定ではなく、両者を掛け合わせた結果としての学習成果を可視化する必要性がある。

・先行調査(マイナー修了予定者の学習成果の認識)

・NICEプログラム導入前のマイナー修了予定者は、メジャーとマイナーを掛け合わせた結果としての学習成果を卒業研究や汎用的な能力(他者と協働的に学ぶ姿勢、コミュニケーション能力、主体的・自律的に学ぶ姿勢)に見出していた。

※長創一朗・高藤有吾(2022)「新潟大学におけるメジャー・マイナーの学習成果に関する学生の認識」第44回大学教育学会(於:岡山理科大学)

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表:部会16 評価・測定

10



アカデミック・アドバイザー
によるサポート体制

学部の枠を越えた
分野横断

社会課題を
発見・解決できる

Niigata University
Interdisciplinary
Creative
Education Program

【ナイス】
プログラム
全学分野横断創生プログラム

NICEプログラムWebサイトはこちらから→



2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表:部会16 評価・測定

9

本発表の目的

・マイナー履修学生とマイナーを履修しなかった学生との比較を通して、マイナー履修学生の学習行動・学習成果の認識の特徴を探索する。

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表:部会16 評価・測定

11

2. 対象と方法

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表:部会16 評価・測定

12

対象と方法—全学部生に対するアンケート調査—

調査名	「大学での学びに関するアンケート」
対象者	全学部生
回答方法	学務情報システムで連絡通知を行い、Googleフォーム(大学契約)で回答
回答期間	2022年12月15日～2023年1月31日
回答数(回収率)	421件(約4%) マイナー履修学生:85名 マイナー履修をしなかった学生:336名

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
発表表:部会16 評価・測定

13

主な質問項目

- 大学での学びの中で身についたと思う能力(4件法)
 - 専門分野の領域で課題を発見/解決する能力
 - 分野横断(複数分野)の視点から課題を発見/解決する能力
 - 主体的に学習する能力
 - 他分野の人と協働的に取り組む能力
- 大学での学びに関する態度(6件法)
 - 学習・活動するうえでの目標や内容を自分で決める。
 - 学習・活動したことを、次の学習・活動のために振り返る。
 - 自身の学習・活動に責任をもち、決定・選択する。
- 大学の教育に関する目標と自身の学習・活動との関係
 - 選択肢:理解し、自身の学習・活動に反映している/理解している・知っている/理解していない・知らない
- 授業期間中の平均的な1週間における、授業時間以外の学習時間(h)
 - マイナー履修に関する自由記述
 - 履修した・しなかった理由
 - 履修してよかったこと、困ったこと
 - 必要なサポート

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
発表表:部会16 評価・測定

14

回答者の属性

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
人文学部	14	20	15	19	19	68	100.0%
教育学部	15	8	4	8	35	35	100.0%
法学部	20	12	11	6	49	49	100.0%
経済学部	15	13	17	7	52	52	100.0%
理学部	15	14	9	8	46	46	100.0%
医学部	14	12	4	7	39	39	100.0%
歯学部	2	4	2	0	8	8	100.0%
工学部	27	22	12	12	74	74	100.0%
農学部	15	8	13	3	40	40	100.0%
創生学部	2	1	3	4	10	10	100.0%
合計	139	114	90	74	421	421	100.0%

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
発表表:部会16 評価・測定

15

マイナー履修学生の属性

	1年	2年	3年	4年	合計
人文学部	1	11	6	4	22
教育学部	4	50.0%	27.3%	18.2%	100.0%
法学部	7	3	2	33.3%	100.0%
経済学部	2	4	4	3	13
理学部	2	5	3	23.1%	100.0%
医学部	2	50.0%	30.0%	100.0%	100.0%
歯学部	2	100.0%		2	100.0%
工学部	2	16.7%	1	2	6
農学部	5	1	6	33.3%	100.0%
創生学部	2	1	1	4	4
合計	27	26	21	11	85

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
発表表:部会16 評価・測定

16

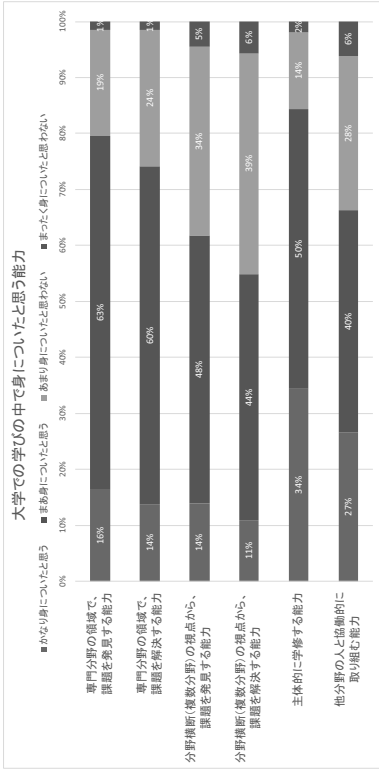
3. 結果

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表：部会16 評価・測定

17

大学での学びの中で身についていたと思う能力



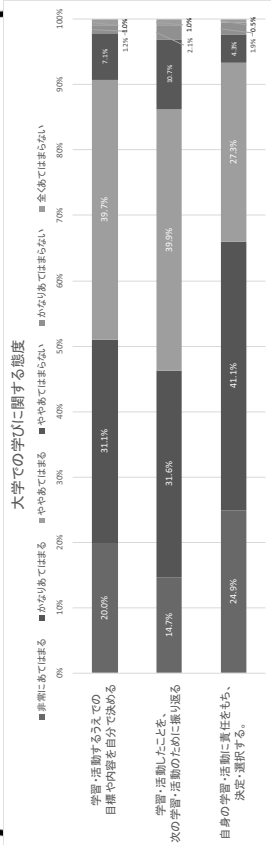
- マイナー履修を選択している学生とそうでない学生で回答傾向に大きな差はなし。

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表：部会16 評価・測定

18

大学での学びに関する態度 (Agency)



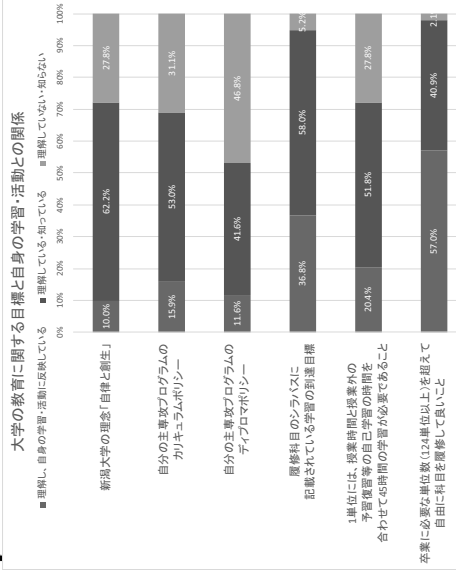
- マイナー履修を選択している学生とそうでない学生で回答傾向に大きな差はなし。

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表：部会16 評価・測定

19

大学の教育に関する目標と自身の学習・活動との関係



- マイナー履修を選択している学生とそうでない学生で回答傾向に大きな差はなし。

- 「卒業時に必要な単位数を超えて自由に科目を履修して良いこと」に関しては、マイナー履修学生が「反映させている」と回答する割合が相対的に高かった。

→マイナー制度(特にオナーズ型)によるもの

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表：部会16 評価・測定

20

1週間あたりの授業時間外の学習時間(h)

学年	1週間あたりの授業時間外の学習時間(h)				1週間あたりの授業時間外の学習時間(h)			
	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値	最小値	最大値
1年	139	9.892	8.8	8.8032	1	70	40	70
2年	114	9.491	7.7	7.6927	0	45	1	70
3年	89	12.64	10.10	10.394	0	46	56	56
4年	74	11.723	8.5	11.249	0	55	30	55
5年	1	35	35	35	35	35	46	46
6年	3	15	10.13	2.29	5	30	25	25
合計	420	10.785	8.9	4.967	0	70	38.5	70

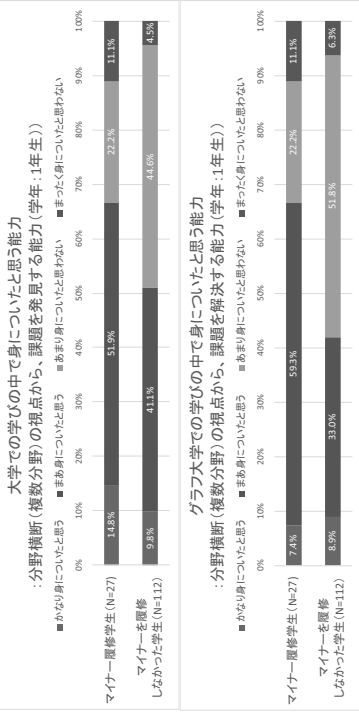
- ・ 学年(高学年>低学年)や学部(理系>文系)による差はあるものの、マイナー履修を選択している学生とそうでない学生で回答傾向に大きな差はなし。

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
発表表:部会16 評価・測定

21

マイナー履修学生の学年別の特徴



- ・ 学年別にみると、マイナー履修学生の1年生は、マイナーを履修しなかった1年生に比べて、分野横断(複数分野)の視点から、課題を発見・解決するの能力が身についたと思う割合が高い。

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
発表表:部会16 評価・測定

22

相関行列(マイナー履修学生)

1.1週間の授業外学習時間(h)	2.学年	3.専門分野の領域で、課題を発見する能力	4.専門分野の領域で、課題を解決する能力	5.分野横断(複数分野)の視点から、課題を発見する能力	6.分野横断(複数分野)の視点から、課題を解決する能力	7.主体的に学習する能力	8.他分野の人と協働的に取り組む能力	9.学習・活動するうえで、内容や内容を自分での目構め内容を自分と老、次の学習・活動のために振り返る	10.学習・活動したことの振り返り	11.自身の学習・活動の振り返り
度数	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85
Pearsonの相関係数	0.169	0.190	0.251*	0.024	0.024	0.000	0.128	0.120	0.368*	0.212
有意水準(両側)	0.169	0.169	0.021	0.024	0.024	0.000	0.052	0.000	0.000	0.000
度数	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85
Pearsonの相関係数	-0.048	0.158	0.335*	0.010	0.010	0.000	0.244	0.275	0.001	0.052
有意水準(両側)	0.811	0.148	0.001	0.177	0.177	0.000	0.049	0.019	0.000	0.000
度数	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85
Pearsonの相関係数	0.033	0.056	0.347*	0.000	0.000	0.000	0.037	0.049	0.001	0.000
有意水準(両側)	0.937	0.549	0.001	0.000	0.000	0.000	0.037	0.049	0.001	0.000
度数	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85
Pearsonの相関係数	0.340*	0.185	0.368*	0.000	0.000	0.000	0.080	0.080	0.000	0.000
有意水準(両側)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
度数	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85
Pearsonの相関係数	0.128	0.120	0.368*	0.000	0.000	0.000	0.128	0.120	0.368*	0.212
有意水準(両側)	0.052	0.052	0.000	0.000	0.000	0.000	0.052	0.052	0.000	0.000
度数	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85
Pearsonの相関係数	0.049	0.179	0.189	0.000	0.000	0.000	0.049	0.179	0.189	0.000
有意水準(両側)	0.600	0.037	0.037	0.000	0.000	0.000	0.600	0.037	0.037	0.000
度数	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85
Pearsonの相関係数	0.055	0.116	0.216*	0.000	0.000	0.000	0.055	0.116	0.216*	0.000
有意水準(両側)	0.555	0.289	0.047	0.000	0.000	0.000	0.555	0.289	0.047	0.000
度数	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85
Pearsonの相関係数	0.033	0.109	0.334*	0.000	0.000	0.000	0.033	0.109	0.334*	0.000
有意水準(両側)	0.811	0.037	0.000	0.000	0.000	0.000	0.811	0.037	0.000	0.000
度数	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85
Pearsonの相関係数	0.055	0.116	0.216*	0.000	0.000	0.000	0.055	0.116	0.216*	0.000
有意水準(両側)	0.555	0.289	0.047	0.000	0.000	0.000	0.555	0.289	0.047	0.000

** 相関係数は1.水準で有意 (両側)

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
発表表:部会16 評価・測定

23

相関行列(マイナー履修をしなかった学生)

1.1週間の授業外学習時間(h)	2.学年	3.専門分野の領域で、課題を発見する能力	4.専門分野の領域で、課題を解決する能力	5.分野横断(複数分野)の視点から、課題を発見する能力	6.分野横断(複数分野)の視点から、課題を解決する能力	7.主体的に学習する能力	8.他分野の人と協働的に取り組む能力	9.学習・活動するうえで、内容や内容を自分での目構め内容を自分と老、次の学習・活動のために振り返る	10.学習・活動したことの振り返り	11.自身の学習・活動の振り返り
度数	335	335	335	335	335	335	335	335	335	335
Pearsonの相関係数	0.037	0.037	0.037	0.000	0.000	0.000	0.037	0.037	0.037	0.000
有意水準(両側)	0.335	0.335	0.335	0.000	0.000	0.000	0.335	0.335	0.335	0.000
度数	335	335	335	335	335	335	335	335	335	335
Pearsonの相関係数	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
有意水準(両側)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
度数	335	335	335	335	335	335	335	335	335	335
Pearsonの相関係数	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
有意水準(両側)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
度数	335	335	335	335	335	335	335	335	335	335
Pearsonの相関係数	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
有意水準(両側)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
度数	335	335	335	335	335	335	335	335	335	335
Pearsonの相関係数	0.004	0.017	0.296*	0.000	0.000	0.000	0.004	0.017	0.296*	0.000
有意水準(両側)	0.531	0.757	0.000	0.000	0.000	0.000	0.531	0.757	0.000	0.000
度数	335	335	335	335	335	335	335	335	335	335
Pearsonの相関係数	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
有意水準(両側)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
度数	335	335	335	335	335	335	335	335	335	335
Pearsonの相関係数	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
有意水準(両側)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
度数	335	335	335	335	335	335	335	335	335	335
Pearsonの相関係数	0.004	0.004	0.004	0.000	0.000	0.000	0.004	0.004	0.004	0.000
有意水準(両側)	0.964	0.964	0.964	0.000	0.000	0.000	0.964	0.964	0.964	0.000

** 相関係数は1.水準で有意 (両側)

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
発表表:部会16 評価・測定

24

比較

相関係数 r $0.7 \leq r \leq 1.0$ 強い正の相関 ☆
 $0.4 \leq r \leq 0.7$ 正の相関 ○
 $0.2 \leq r \leq 0.4$ 弱い正の相関 ○

マイナー履修学生
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

1. 期間の授業外学習時間 (h)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2. 学生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3. 専門分野の領域で、課題を発見する能力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 専門分野の領域で、課題を解決する能力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5. 分野横断 (複数分野) の視点から、課題を発見する能力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6. 分野横断 (複数分野) の視点から、課題を解決する能力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7. 主体的に学習する能力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8. 他分野の人と協働的に取り組む能力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9. 学習・活動するうえでの目標や内容を自分で決める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10. 学習・活動したことを、次の学習・活動のために振り返る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11. 自身の学習・活動に責任をもち、決定・選択する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

マイナー履修しなかった学生
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

1. 期間の授業外学習時間 (h)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2. 学生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3. 専門分野の領域で、課題を発見する能力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 専門分野の領域で、課題を解決する能力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5. 分野横断 (複数分野) の視点から、課題を発見する能力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6. 分野横断 (複数分野) の視点から、課題を解決する能力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7. 主体的に学習する能力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8. 他分野の人と協働的に取り組む能力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9. 学習・活動するうえでの目標や内容を自分で決める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10. 学習・活動したことを、次の学習・活動のために振り返る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11. 自身の学習・活動に責任をもち、決定・選択する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

比較

- マイナー履修学生
 - 授業外学習時間が、主体的に学習する能力以外の項目と関連していない。
 - 他分野の人と協働的に取り組む能力が、分野横断の視点から課題発見・解決する能力、主体的に学習する能力と関連している。
- マイナー履修をしなかった学生
 - 授業外学習時間が、相対的に多くの項目と関連している(専門分野の課題発見・解決能力、主体的に学習する能力、学習・活動を振り返る態度)。
 - 専門分野の課題発見・解決能力、分野横断の視点での課題発見・解決能力、主体的に学習する能力が相対的に強い。

4. 考察と今後の課題

本発表の目的(再掲)

- マイナー履修学生とマイナーを履修しなかった学生との比較を通して、マイナー履修学生の学習行動・学習成果の認識の特徴を探索する。

考察

- 全体的な回答傾向は、マイナー履修学生とマイナーを履修しなかった学生との間で大きな差はなかった。
- 一方で、項目間の関連については、マイナー履修学生とマイナーを履修しなかった学生との間で違いが見られた。
- 分野横断の視点から課題発見・解決する能力、主体的に学習する能力を他分野の人と協働的に取り組む中で、身につけていると認識する傾向にあるのが、マイナー履修学生の学びの特徴である。

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表：部会16 評価・測定

29

(参考) 自由記述の例

- マイナーを履修して良かったこと
 - 「他学部との学生と交流できた、成功体験を経験できた、グループワークを経験できた、達成感を味わえる専門分野に活かせた」(メジャー：経済学、マイナー：地域学)
 - 「自分の専攻以外の同学部の人だけでなく、他学部の学生とも交流するきっかけができたこと。自分の決めたことを計画的に進め、そのことに自信を持って取り組めるようになってきたこと。」(メジャー：言語学、マイナー：フランス語)

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表：部会16 評価・測定

30

今後の課題

- 回答者の偏り
 - 今回の調査は回答率が低く、成績(GPA)が高い学生に偏っていた(データは割愛)。
 - そのため、マイナー履修学生とマイナーを履修しなかった学生の回答傾向に大きな差が見られなかった。
 - 先行調査(長・斎藤 2022)でのインタビューでも、成績の高い学生が、マイナーを履修しなくてもメジャー以外の科目をメジャーと関連させながら(分野横断)、主体的・自律的に履修を組む様子が見られた。
- 今後は、回答率を高めることで、マイナーを履修することによる学習行動や学習成果の実態を明らかにしたい。

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表：部会16 評価・測定

31

参考文献

- 濱口哲(2008)「教養教育と専門教育を統合したアウトカム評価型学士課程教育への取り組み」『大学教育学会誌』30(1), 14-19.
- 文部科学省(2021)「令和元年度の大学における教育内容等の改革状況について」
https://www.mext.go.jp/content/20211104-mxt_daiigakuc03-080018152_1.pdf(2022年5月29日閲覧)
- 田中正弘(2011)「より良い副専攻制度の探究—国立大学への訪問調査に基づく提案—」『21世紀教育フォーラム』6, 1-11.
- 長創一朗・斎藤有吾(2022)「新潟大学におけるメジャー・マイナーの学習成果に関する学生の認識」第44回大学教育学会(於：岡山理科大学)

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表：部会16 評価・測定

32

質問・ご意見等、お問い合わせはこちらまで

cho@ge.niigata-u.ac.jp (長)

yugo.saito@cc.niigata-u.ac.jp (斎藤)






ご清聴ありがとうございました。

※新潟大学全学分野横断創生プログラム及び本報告は、
文部科学省知識集約型社会を支える人材育成事業の助成
を受けたものです。

2023/03/16

第29回大学教育研究フォーラム個人研究口
頭発表:部会16 評価・測定

33

<div data-bbox="331 1160 568 2024" style="background-color: black; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> <p>マイナープログラム履修の有無が 学生の学習成果・学習プロセスに与える効果の検討</p> </div> <div data-bbox="593 1809 715 1935" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="609 1178 699 1568" style="text-align: center;"> <p>斎藤有吾¹・長創一朗²・神田麻衣子¹ ¹ 新潟大学 ² 武蔵野大学</p> </div> <div data-bbox="734 1724 775 1953" style="text-align: center;"> <p>https://onl.bz/atrnU33 こちから資料をDLできます</p> </div> <div data-bbox="746 1169 766 1187" style="text-align: right;"> <p>1</p> </div>	<div data-bbox="150 232 210 300" style="text-align: right;">  </div> <div data-bbox="162 864 210 1043" style="text-align: center;"> <h2>はじめに</h2> </div> <div data-bbox="280 286 641 1048"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 本報告の概要 <ul style="list-style-type: none"> □ 分野横断的（あるいは、文理融合、文理横断）な学習のための具体的なカリキュラムの工夫として、メジャー・マイナー制度の活用に注目 □ メジャー・マイナー制度を取り入れている国立総合大学において、学生調査のデータから、学習成果や学習プロセスについて、マイナープログラム履修の有無との関連を学生調査のデータから検討 </div> <div data-bbox="746 228 766 246" style="text-align: right;"> <p>2</p> </div>
<div data-bbox="820 1169 880 1236" style="text-align: right;">  </div> <div data-bbox="820 1361 906 1984" style="text-align: center;"> <h2>複数のディシプリンの学習を前提にした教育プログラムへの注目</h2> </div> <div data-bbox="957 1236 1334 1984"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 知識集約型社会を支える人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> □ Society 5.0時代等に向けた全学横断的な改善の循環を生み出すシステムの学内における形成の実現 □ 今後の社会や学術の新たな変化や展開に対して柔軟に対応しうる能力を有する幅広い教養と深い専門性を両立した人材の育成を目指す <ul style="list-style-type: none"> ▶ レイトスペシャライゼーション ▶ ダブル・メジャー、メジャー・マイナー ▶ 分野融合の学位プログラム </div> <div data-bbox="1426 1169 1445 1187" style="text-align: right;"> <p>3</p> </div>	<div data-bbox="820 232 880 300" style="text-align: right;">  </div> <div data-bbox="820 421 906 1043" style="text-align: center;"> <h2>複数のディシプリンの学習を前提にした教育プログラムへの注目</h2> </div> <div data-bbox="957 304 1078 1048"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 知識集約型社会を支える人材育成事業 → 文理横断・学修の幅を広げる教育プログラム <ul style="list-style-type: none"> □ 2020年度に5校採択 </div> <div data-bbox="1088 224 1417 1088" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1426 228 1445 246" style="text-align: right;"> <p>4</p> </div>



メジャー・マイナー制度

■ メジャー・マイナー制度（/制）

- メジャー（主専攻）分野以外の分野の授業科目を体系的に履修させる取組であって、学内で規程が整備されている等、組織的に行われているもの（文部科学省，2005）
- 文理横断、学修の幅を広げる教育として近年注目
 - グラントデザイン答申（2018）
 - 文理横断・文理融合教育の推進（大学振興部会，2022）

文部科学省「2005」我が国の高等教育の将来像（答申）用語解説。
https://www.mext.go.jp/_menu/shingi/chuukyoku/chukyo/rousini/attach/1335601.htm、2023年06月01日確認
 中央教育審議会（2018）2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）
 中央教育審議会（2022）文理横断・文理融合教育の推進について（審議経過）
https://www.mext.go.jp/content/20220921-mxc_koukou01-00023134_3.pdf、2023年06月01日確認

5



メジャー・マイナー制度と新潟大学の取り組み

■ 知識集約型社会を支える人材育成事業 →文理横断・学修の幅を広げる教育プログラム

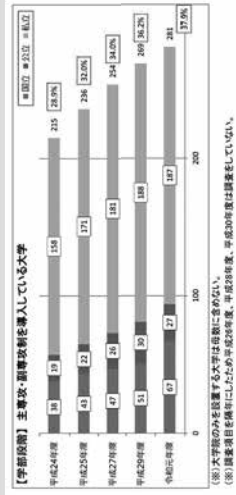
- 新潟大学：NICEプログラム（2021年度～）
 - 全学分野横断創生プログラム：Niigata University Interdisciplinary Creative Education Program
- 2006年度からすでに導入されていたメジャー・マイナー制度を発展
 - 新たな種類のマイナーを開設
 - サポート体制の強化
 - ・ 支援科目の開設
 - ・ アカデミック・アドバイザーによる学習相談の充実

7



メジャー・マイナー制度

- メジャー・マイナー制度の導入率
 - 日本における学部段階の導入率
 - 2019年度時点で281の大学（約37%）が導入（文部科学省，2021）
 - 全学生に履修を義務付けているのは58大学（約8%）



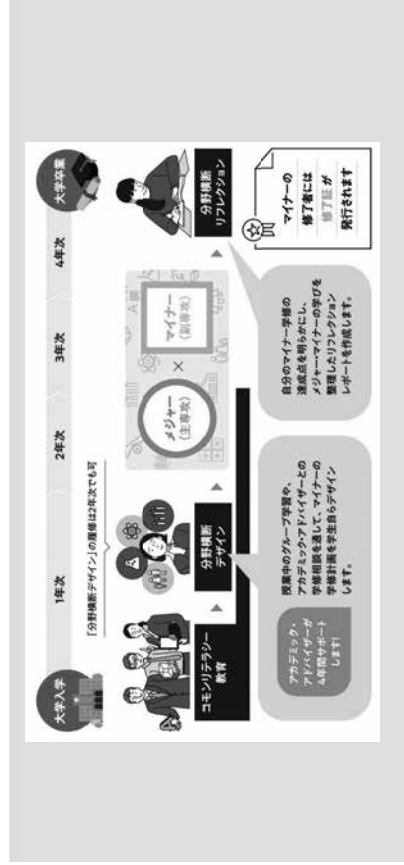
文部科学省（2021）令和元年度の大学における教育内容等の改革状況について | https://www.mext.go.jp/content/20211104_mxt_daigaku03-000018152_1.pdf（2023年4月20日閲覧）

6



メジャー・マイナー制度と新潟大学の取り組み

■ NICEプログラム



新潟大学 全学分野横断創生プログラム(n.i.c.e.)「ホーム」 | <https://www.ies.niigata-u.ac.jp/niceprogram/index.html>（2023年6月1日閲覧）

8

メジャー・マイナー制度と 新潟大学の取り組み

■ NICEプログラム

2021年度から新たに開設

	専修科型マイナー 1・2年	ハイクラス型マイナー 1・2・3・4年	オンデマンド型マイナー 1・2・3年
履修開始学年	14年度以上	12年度以上	24年度以上
修了認定単位数	4単位以上	12単位以上	24単位以上
必修科目	「分科履修コアイン」 (1・2年次に履修) 「分科履修リフレクショ ン」 (3・4年次に履修)	各プログラムの定める 入門科目 (3年次の末までに履修 し、 単位を併得しているこ と)	各プログラムの定める 入門科目 (3年次の末までに履修 し、 単位を併得しているこ と)
備考		各プログラムの定める 修了要件を満たして 科目履修する	・各単位の修得単位数 が、 卒業要件単位数にア ラ ス、 12単位以上 ・卒業生の進路別のGPA (2.3)以上

新潟大学 全学分野横断型プログラム(n.d.)「よくある質問/お問い合わせ」<https://www.ies.nigata-u.ac.jp/niceprogram/inquiry.html> (2023年6月1日閲覧)

9

新潟大学の取り組みと先行報告

- エージエンシー
 - 本報告ではOECD Education 2030 における「生徒エージエンシー (Student Agency) 」に依拠
 - ▶ 「変革を起こすために目標を設定し、ふり返りながら責任ある行動をとる能力」
 - ▶ 自ら積極的に学びの主体 (agent) となり、他者の判断や選択に左右されることなく、責任をもって自身の学習の目標を設定し、学習をふり返りながら学びを進めていく能力のこと (OECD, 2019; 扇原他, 2020)
 - ・ VUCA時代を生き抜く人間を説明する構成概念として注目 (草津・松本, 2021)

草津康平・松本大輔 (2021) 「エージエンシー概念の整理と理論的考察-「責任」を学習する前哨活動は学習活動-」西九州大学子ども学報第17巻 (2) 32-40
 OECD (2019) 「Future of Education and Skills 2030: Conceptual Learning Framework」
 扇原真生・松本大輔・押尾豊彦 (2020) 「中学生における生徒エージエンシーの関連要因および中学生が重視するウェルビーイングの分野」東京学芸大学紀要 総合教育科学系, 71, 669-681.

11

新潟大学の取り組みと先行報告

■ 全学生に履修を義務付けていない

- マイナー履修学生とそうでない学生の比較が可能
 - マイナー履修により学習時間の増加、エージエンシーの形成、分野横断的な視野や他分野のものと協働的に取り組む態度等の涵養が期待される
 - ▶ 比較して仮に見られなかったとしても、もともとそれが高い学生がマイナー履修をする可能性もあるため、単純な因果関係は結論づけれないが、検討の材料にはなると判断
- but
- 学生調査のデータから単純な履修の有無の比較をしたところ、それらに有意な差や大きい効果は見いだせず (長・斎藤, 2023)

長創一朗・斎藤有吾 (2023) 「新潟大学におけるマイナー履修学生の学習行動と学習成果の認識」第29回 大学教育研究フォーラム 口頭発表, 2023年3月16日

10

新潟大学の取り組みと先行報告

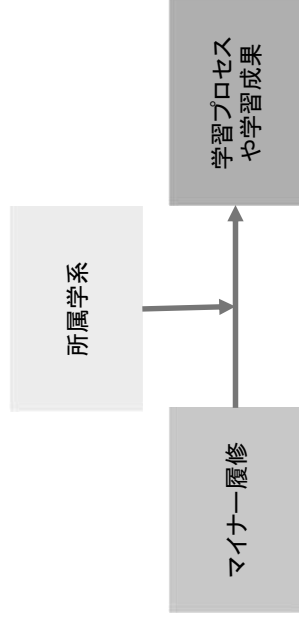
- メジャーの違いによってマイナー履修と諸変数との関係性が異なる可能性
 - 学部によって履修されるマイナーに違いが見られる
 - ▶ 100名以上のマイナー履修者のいる学部 (経済、理、工、農) において履修者数が多いのが「データサイエンス・リテラシー」「データサイエンス」
 - ▶ 一方人文学部は3つは「外国語」 (ドイツ語、英語、中国語)
 - どのような分野をメジャーとしているかによる調整効果への注目
 - ▶ ただし、メジャー (新潟大学では40弱の主要プログラムがある) で分割すると煩雑になり、サンプルサイズに大きな偏りが生じるため、本報告では大まかに「人文・社会科学系」「自然科学系」という所属学系で分割

12



本報告の目的

- マイナー履修の有無と、学習プロセスや学習成果との関連を、所属学系の調整効果も踏まえて学生調査から得られたデータによって検討



13



調査概要

■ 回答者の属性

	マイナー未履修	マイナー履修	合計
1年			
自然科学系	48	9	57
人文・社会科学系	50	14	64
合計	98	23	121
2年			
自然科学系	37	7	44
人文・社会科学系	35	18	53
合計	72	25	97
3年			
自然科学系	24	10	34
人文・社会科学系	37	10	47
合計	61	20	81
4年			
自然科学系	21	2	23
人文・社会科学系	31	9	40
合計	52	11	63

15



調査概要

- 方法
 - 自記式アンケート (Googleフォーム)
- 時期
 - 2022年12月15日～2023年1月31日
- 対象
 - 全学部生
 - ▶ このうち、1～4年生、人文・社会科学系 (人文・法・経済科学・教育) と自然科学系 (理・工・農) に属する学生のデータを分析に使用
 - 回答数 (回収率) → 分析に使用
 - ▶ 421名 (約4%) → 362名
 - ▶ マイナー履修学生：85名 → 79名
 - ▶ マイナー履修をしなかった学生：336名 → 283名

14



調査項目

- 属性に関する項目
- マイナー履修に関する項目
- 大学での学習成果に関する項目
 - 分野横断 (複数分野) の視点から課題を発見/解決する能力、他分野の人と協働的に取り組む能力等
- 大学での学習プロセスに関する項目
 - 学習時間、目標と学習や活動の関係の認識、エージェンシー等

16

調査項目

- **エージエンシー**
 - 本報告ではOECD Education2030 における「生徒エージエンシー (Student Agency) 」に依拠
 - OECD (2019) の定義をもとに作成された扇原他 (2020) の「エージエンシー尺度」(中学生対象) の3項目を大学生向けに語句を修正し使用
 - ・ 学習・活動するうえで目標や内容を自分で決める。
 - ・ 学習・活動したことを、次の学習・活動のために振り返る。
 - ・ 自身の学習・活動に責任をもち、決定・選択する。(6件法, 「全くあてはまらない」～「とてもあてはまる」)
 - α 係数は.840であり、学習成果の諸変数と弱～中程度の正の相関関係

OECD, O. (2019). Future of Education and Skills 2030: Conceptual Learning Framework. 扇原直志・桐本健太郎・相馬啓昌 (2020). 「中学生における生徒エージエンシーの関連要因および中学生が重視するウェルビーイングの分野」東京学芸大学紀要 総合教育科学系, 71, 669-681.

17



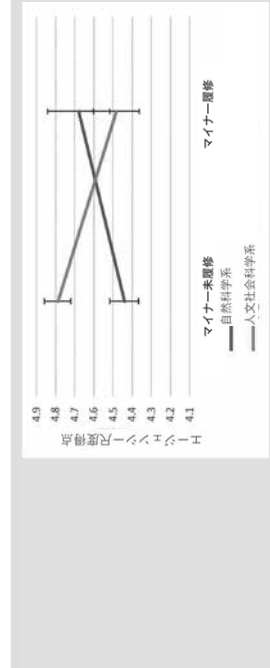
結果

- **マイナー履修者・未履修者の比較と学年差**
 - マイナー履修者と未履修者で有意な差や大きな効果量をもつものはなし
 - 「専門分野の領域で課題を発見する能力」「専門分野の領域で課題を解決する能力」「分野横断 (複数分野) の視点から課題を発見する能力」「分野横断 (複数分野) の視点から課題を解決する能力」は学年進行に従って上昇する傾向にあるが、マイナー履修してもしていないくても同様の傾向

変数名	マイナー履修		マイナー未履修	
	平均値	SD	平均値	SD
q5_1専門分野の領域で課題を発見する能力	2.92	0.66	2.95	0.64
q5_2専門分野の領域で課題を解決する能力	2.78	0.64	2.89	0.65
q5_3分野横断 (複数分野) の視点から課題を発見する能力	2.85	0.76	2.68	0.76
q5_4分野横断 (複数分野) の視点から課題を解決する能力	2.62	0.71	2.60	0.77
q5_5主体的に学習する能力	3.22	0.71	3.15	0.73
q5_6他分野の人と協働的に取り組む能力	2.94	0.86	2.85	0.88
q6エージェンシー	4.52	0.77	4.63	0.87
q6_1平均的授業外学習時間	10.02	8.15	10.98	9.81

結果

- **エージエンシーにのみマイナー履修と所属学系の有意な交互作用を確認**
 - $F(1, 358)=6.04, \eta_p^2=.02, p=.01$
 - 自然科学系の学生はマイナーを履修している学生のほうが得点が平均的に高く、人文・社会科学系の学生は低い

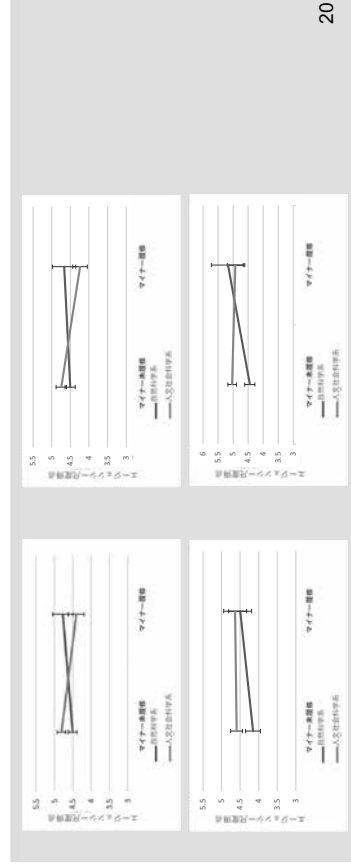


19



結果

- **エージエンシーにのみマイナー履修と所属学系の有意な交互作用を確認**
 - 学年別にみても、自然科学系と人文・社会科学系の学生は異なった傾向



20



考察

- 全体として
 - マイナー履修者と未履修者との間の回答傾向に、所属学系の有意な調整効果は認められない
 - 学年別に検討しても同様
 - ▶ マイナーを履修するということのみで、学習時間や学習成果が履修していない学生よりもそれらが高くなるということは本調査からはいえない
 - ▶ マイナーによって意図する学習プロセスや学習成果を促すためには、マイナーを履修する学生に対して、その学習の支援を意図的に行っていく必要性

21



考察

- ただし一部、所属学系の調整効果の確認
 - 「エージェンシー」に関して自然科学系と人文・社会科学系で異なる傾向
 - ▶ 人文・社会科学系の学生はマイナー履修の学生ほど低い
 - メジャー（すなわち主軸とする学問分野）によってマイナーの学習の様相は異なる可能性
 - ▶ アカデミック・アドバイザー教員のマイナー学習相談の実感とも合致

23



考察

- 全体として
 - NICEプログラムによって新たに取り組み始めたアカデミック・アドバイザーやマイナーの支援科目がどのように効果として現れるのか、今後検討する必要がある



22



考察

- アカデミック・アドバイザーングでは分野別に異なった相談内容の傾向
 - 自然科学系はマイナー制度に関して、人文・社会科学系は広げていくはどうかという点に関し
 - ▶ 自然科学系は足場が決まってて、迷う人が少ない。人文社会科学系は逆。
 - 相談内容の中で、「考えているうちに、何がしたいのかわからなくなつた」というものもある
 - ▶ 人文学部は各プログラム・専攻間で内容の重複があるがゆえの足場の定まらなさ、経済学部は配属選抜の厳しさと背景は異なるが、こうした迷いや不安感がエージェンシーの停滞の低下傾向の一因の可能性

24




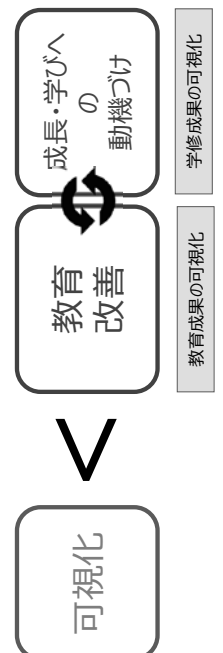
■ アカデミック・アドバイジングでは分野別に異なった相談内容の傾向

- 自然科学系で履修が多いデータサイエンス系のマイナーは「選択肢が広がる」「就職のこと考える」ことに相性が良く、スキルを獲得しているという感覚があることから履修者の満足度が高く、エージエンシーの向上につながっているのでは
- 一方人文・社会科学系の「外国語」偏重は（おそらく英語を除いて）「いろいろな経験をした。いろいろな学びたい」「好きだからやる」、特に後者の理由にもとづくものでは。「社会で役に立つ」というイメージを持ちにくく、エージエンシー尺度の「目標」を卒業後のキャリア（=就職）と解釈してしまった場合にエージエンシーの得点が低くなる可能性。



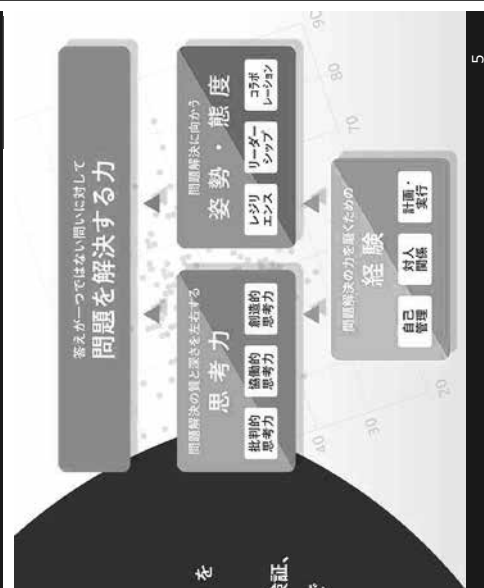
- あくまで学生の認識を通じたもの
- 構成概念の測定の精度
- 学生の具体的なマイナー学習プロセスはわからない
→今年度から「リフレクシオン科目」開始



<p style="text-align: center;">Benesse i-Career</p> <p style="text-align: center;">新潟大学 御中</p> <p style="text-align: center;">2023年度GPS-Academic ご報告（抜粋）</p> <p style="text-align: center;">株式会社 ベネッセ i-キャリア © Benesse i-Career Co., Ltd. All Rights Reserved.</p>	<p style="text-align: center;">Benesse i-Career</p> <p style="text-align: center;">まなぶとはたらくをつなぐ</p> <p style="text-align: center;">「はたらく」の変化は、まなびを変える。 「まなび」の変化は、はたらくを変える。</p> <p>私たちは、多様な学生の学びと経験、多様な企業が求める人材要件、大学が育成したい人材像の徹底的な可視化とマッチングの支援を通じて、これまで十分につかえていなかった学生と企業、大学とが結びつく新たな回路を創り出します。まなぶとはたらくがもつつながりは、学生はもと、自分がわかり、なりたい姿がわかり、努力の方向を見つけていく。キャリアに対する主体的な姿勢が生まれ、成長のために行動し、社会で活躍し続けることができる。キャリアオーナーシップを持つ人々が溢れる未来をつくるために。</p> <p style="text-align: center;">Benesse  PERSOL</p> <p style="text-align: center;">© Benesse i-Career Co., Ltd. All Rights Reserved. 2</p>
<p style="text-align: center;">Benesse i-Career</p> <p style="text-align: center;">内部質保証・教学マネジメント推進で大切にしたいこと</p> <p style="text-align: center;">“調査・アセスメントによる測定・把握”からはじめ、 “教育改善・学生の成長の機会としての活用”</p> <div style="text-align: center;"> <p>「教育目標」「ダイアログポリシー」の達成を目指すPDCA</p>  <p>可視化 < 教育改善 < 成長・学びへの動機づけ < 学修成果の可視化</p> <p>教育改善の可視化 < 学修成果の可視化</p> </div> <p style="text-align: center;">© Benesse i-Career Co., Ltd. All Rights Reserved. 3</p>	<p style="text-align: center;">Benesse i-Career</p> <p style="text-align: center;">「大学現場の声」の共通点</p> <p style="text-align: center;">先生方・職員の皆様からよくお聞きする課題感と解決の方向性</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px;"> <p>① 学生はどのように授業や学生指導を評価しているのかを明らかにして、ポストコロナに向けてブラッシュアップをしたい</p> <ul style="list-style-type: none"> → 対面/オンラインの授業の開催方法が多様化。最も効果的な授業方法を見つけない → 価値観の変化、入学時点で能力に差もあるため授業の理解度にバラツキがある <p>② 社会環境の変化も踏まえて、学生にどのような支援が必要なのかを検討したい</p> <ul style="list-style-type: none"> → 勉強は得意であっても、就活や資格取得試験等で苦戦する学生が増えている… → 自大学の学生は、社会に出る時に他大学に比べて競争力のある成長を遂げているのか…？ </div> <p>→ 「課題発見」「解決に向けた一歩」のために、まずは「把握」をしっかりと</p> <p style="text-align: center;">© Benesse i-Career Co., Ltd. All Rights Reserved. 4</p>

GPS Academic とは

課題解決のために必要な「思考力」「姿勢・態度」「経験」を可視化できるアセスメントです。学生の動機づけ、大学教育の成果検証、キャリア教育などで幅広いシーンで活用できます。



「問題解決力」の結果

基礎集計 1年生

■ 貴学

年度	思考力 (選択式)				姿勢・態度				経験			
	思考力総合	批判的思考力	論理的思考力	創造的思考力	レジリエンス	リーダーシップ	コアバリュー	エンゲージメント	自己管理	対人関係	計画・実行	経験総合
2023	50.8	52.0	51.6	49.3	48.8	49.8	50.3	60.3	58.8	64.3	57.6	64.3

■ 全国

年度	思考力				姿勢・態度				経験			
	思考力総合	批判的思考力	論理的思考力	創造的思考力	レジリエンス	リーダーシップ	コアバリュー	エンゲージメント	自己管理	対人関係	計画・実行	経験総合
2023 (5/31)	42.4	42.3	43.5	41.1	48.1	47.2	49.8	56.9	54.4	60.2	56.1	60.2

度数分布 1年生

■ 貴学 (%)

年度	思考力 (総合)				姿勢・態度 (リーダーシップ)				経験 (総合)						
	S	A	B	C	S	A	B	C	S	A	B	C	D		
2023	21.6	26.8	18.6	20.6	12.4	15.5	19.6	29.9	14.4	20.6	10.3	41.2	42.3	6.2	0.0

■ 全国 (%)

年度	思考力 (総合)				姿勢・態度 (リーダーシップ)				経験 (総合)							
	S	A	B	C	S	A	B	C	S	A	B	C	D			
2023 (5/31)	—	6.1	11.1	16.7	23.9	42.2	11.9	14.4	25.0	20.3	28.5	6.7	36.3	44.1	11.6	1.3

基礎集計/度数分布 (記述式) 1年生

■ 異字

年度	受験数	思考力 (記述式)		
		思考力総合	批判的思考力	創造的思考力
2023	97	51.1	54.9	51.5
				46.9

年度	受験数	思考力 (記述式・総合)			
		S	A	B	C
2023	97	0.0	30.9	57.7	11.3
					0.0

■ 全国

年度	受験数	思考力 (記述式)		
		思考力総合	批判的思考力	創造的思考力
2023 (5/31)	-	44.6	47.8	43.3
				42.6

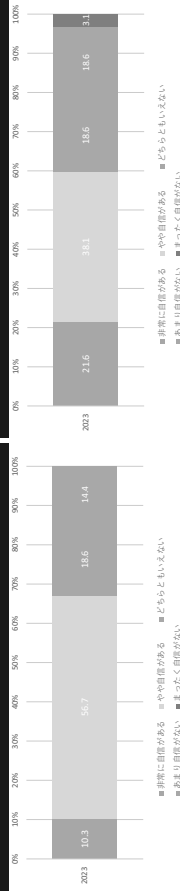
■ 全国 (%)

年度	受験数	思考力 (記述式・総合)			
		S	A	B	C
2023 (5/31)	-	0.1	20.7	52.5	23.7
					3.0

「思考力」の自己評価①

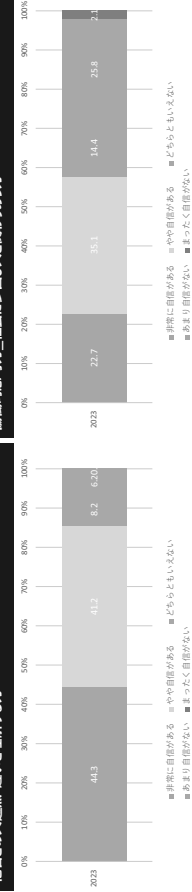
情報を抽出し吟味する力

論理的に組み立て表現する力



他者との共通点・違いを理解する力

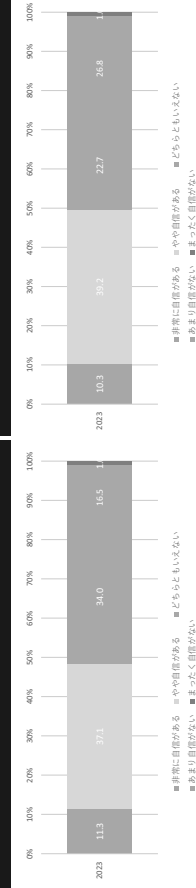
協働的思考力_社会に参画し人と関わりあう力



「思考力」の自己評価②

情報を関連づける力・整理する力

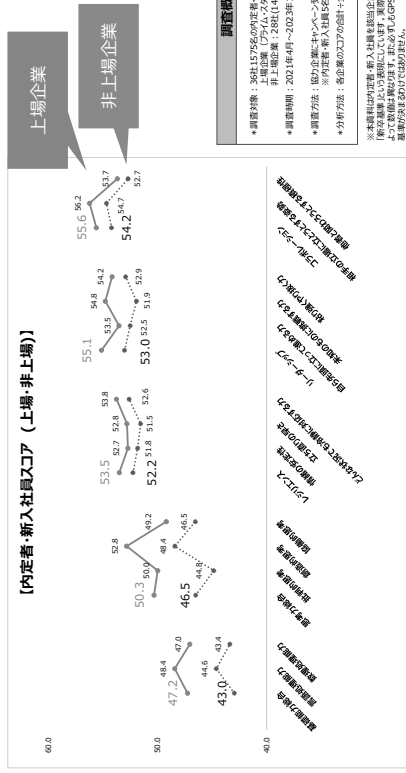
問題を思いだし解決策をさがす力



非常に同意がある やや同意がある どちらともいえない あまり同意がない まったく同意がない

非常に同意がある やや同意がある どちらともいえない あまり同意がない まったく同意がない

(参考) GPS-Business 内定者・新入社員スコア(新卒基準)調査 上場企業・非上場企業

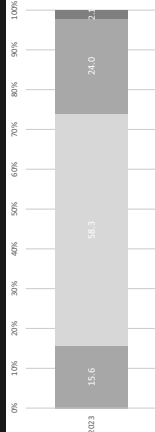


学生意識調査「成長実感」納得度「おすめ度」「イメージの変化」

Benesse i-Career

成長実感

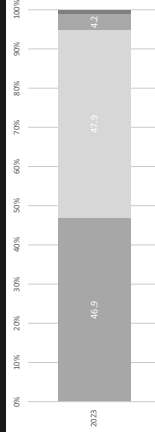
納得度（入学して良かったと思うか）



満足している ■ 満足していない ■ どちらとも思わない ■ 思ったより思わない ■ 思ったより思わない

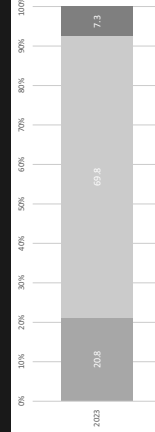
おすめ度

入学後のイメージの変化



満足している ■ 満足していない ■ どちらとも思わない ■ 思ったより思わない ■ 思ったより思わない

入学後のイメージの変化



満足している ■ 満足していない ■ どちらとも思わない ■ 思ったより思わない ■ 思ったより思わない

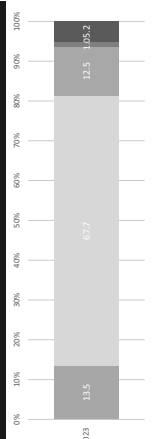
© Benesse i-Career Co., Ltd. All Rights Reserved.

学生意識調査「納得度」

Benesse i-Career

カリキュラム

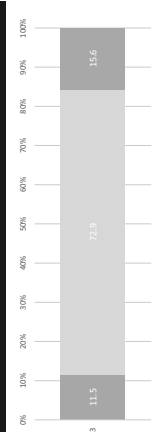
授業内容



満足している ■ 満足していない ■ どちらとも思わない ■ 思ったより思わない ■ 思ったより思わない

カリキュラム

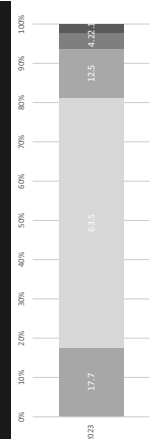
授業内容



満足している ■ 満足していない ■ どちらとも思わない ■ 思ったより思わない ■ 思ったより思わない

教員

友人との人間関係



満足している ■ 満足していない ■ どちらとも思わない ■ 思ったより思わない ■ 思ったより思わない

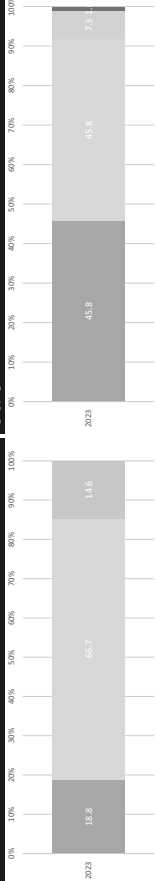
満足している ■ 満足していない ■ どちらとも思わない ■ 思ったより思わない ■ 思ったより思わない

© Benesse i-Career Co., Ltd. All Rights Reserved.

学生意識調査「目標・カリキュラム・授業内容の理解」

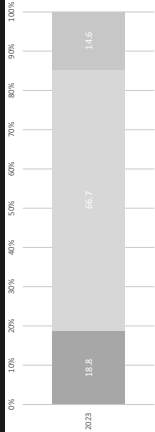
Benesse i-Career

科目目の関連やカリキュラムの全体像を理解できている



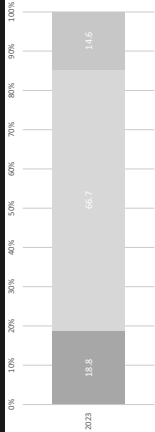
満足している ■ 満足していない ■ どちらとも思わない ■ 思ったより思わない ■ 思ったより思わない

あなたが通う大学で、自分の将来に必要な学びを得ることができると思う



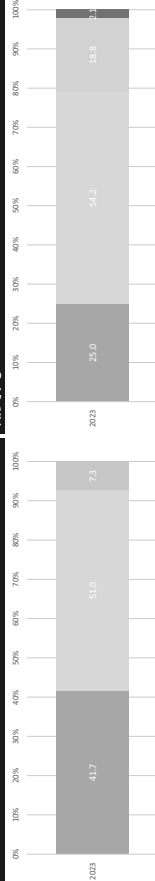
満足している ■ 満足していない ■ どちらとも思わない ■ 思ったより思わない ■ 思ったより思わない

大学は、シラバスやガイダンスなどで個々の履修内容に対する情報を十分に提供している



満足している ■ 満足していない ■ どちらとも思わない ■ 思ったより思わない ■ 思ったより思わない

あなた自身が、自分の将来に必要な学びを得ることができると思う



満足している ■ 満足していない ■ どちらとも思わない ■ 思ったより思わない ■ 思ったより思わない

© Benesse i-Career Co., Ltd. All Rights Reserved.

学生意識調査「授業・カリキュラムの評価」

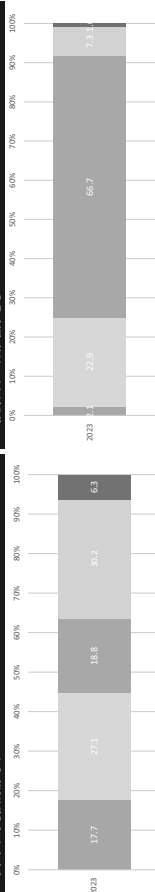
Benesse i-Career

A. 単位発表に取れる授業が多い B. 興味のある授業が多い



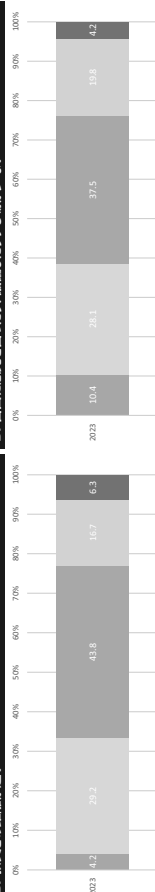
満足している ■ 満足していない ■ どちらとも思わない ■ 思ったより思わない ■ 思ったより思わない

A. 授業のレベルが高すぎる B. 授業のレベルが低すぎる



満足している ■ 満足していない ■ どちらとも思わない ■ 思ったより思わない ■ 思ったより思わない

A. 自由に意見を言ったり、議論したりする場が多い B. 自由に意見を言ったり、議論したりする場が少ない

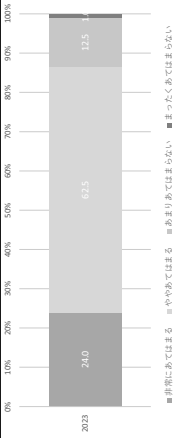


満足している ■ 満足していない ■ どちらとも思わない ■ 思ったより思わない ■ 思ったより思わない

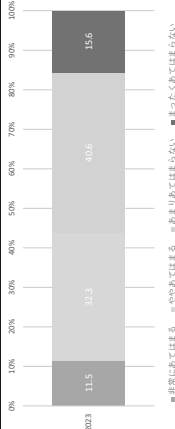
© Benesse i-Career Co., Ltd. All Rights Reserved.

学生意識調査「進路への準備状況」

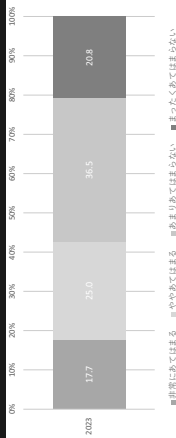
自分の性格や行動パターン、得意分野などを理解している



社会や職業のことを知るために、毎日、ニュースをチェックしている



自分が就きたい職業や仕事に明確になっている



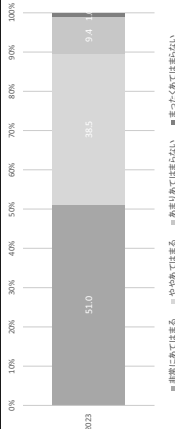
自分の将来やりたい仕事、やりたいことに向けて準備をしている



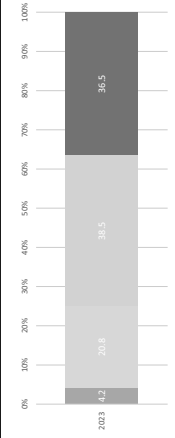
© Benesse i-Career Co., Ltd. All Rights Reserved.

学生意識調査「適応状況」

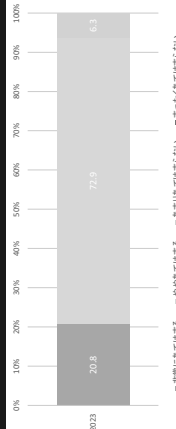
勉強面/進路面で相談できる友人が学内にいる



ちょっとしたことでも相談できる教員がいる



大学の教風や雰囲気は、自分に合っている



© Benesse i-Career Co., Ltd. All Rights Reserved.

学生意識調査「困っていること」

こままっていること



© Benesse i-Career Co., Ltd. All Rights Reserved.

記述式問題の解説

記述式で測定している思考力の観点

定義	観点
批判的 思考力 必要な情報を取り出し、いろいろな観点から考え、自分の考えを結論をたてて説明するための思考力	情報を抽出し吟味する(選択式) ・情報をのみにするのではなく、背景にある考え方や価値観で判断することができる。 ・情報の感じ方や価値観を踏まえて内容の正しさを判断できる。 論理的に組み立てて表現する(記述式) ・インプットした情報を論理的に組み立ててわかりやすく相手に伝えることができる。 ・自分の考えを相手に伝える際に、相手と共通の考えや価値観を踏まえて説明できる。 ・自分の考えや価値観を相手に伝える際に、相手と共通の考えや価値観を踏まえて説明できる。
協動的 思考力 他者との共通点・違いを理解し、解決し、同意を得たり、気づきを得たりして人と関わりあうための思考力	他者との共通点・違いを理解する(選択式) ・立場の異なる人の言葉に耳を傾け、思いやることができる。 ・他者との共通点や価値観の違いを客観的に理解し、その違いを尊重できる。 ・自分の考えや価値観を相手に伝える際に、相手と共通の考えや価値観を踏まえて説明できる。 社会に参画し人と関わりあう(記述式) ・社会の課題を自分ごととしてとらえ、その解決に向けて考えを深めることができる。 ・自分ごとから他者に関心を持ち、協力を促すことができる。 ・問題解決の主体として、他者と調整をとりあひ解決策を検討できる。
創造的 思考力	情報を関連づける・類推する(選択式) ・自分にある知識や情報を組み合わせることで問題の解決策を提示することができる。 ・情報の組み合わせによって比較検証した上で、最適な解を選択できる。 ・情報の組み合わせによって比較検証した上で、最適な解を選択できる。 問題をみいだし解決策を生み出す(記述式) ・問題の本質を的確にとらえ、解決すべき課題を設定できる。 ・問題の解決に向けて、効果的で実践性の高い解決策を提案できる。 ・解決策を問題の背景を踏まえて一般化し、他の事例に適切に応用することができる。

採点・評価ルーブリック

評価	イメージ
S	問題の範囲を超えた広い視野で、具体的な解決策を考え出せる。
A	問題を一般化・構造化して、解決策を提案できる。
B	問題の内容を把握し、解決策を検討できる。
C	自分なりの観点で、問題をとらえることができる。
D	問題に向き合うことができている。

批判的思考力

- 資料の情報を範囲内で、説得力のある主張(結論)やその根拠を提示できる。
- 主張とその根拠を結びつけた、論理的な説明ができる。

協動的思考力

- 資料全体に目を配り、必要に応じて身近なことから地球規模にまで視野を広げることができる。
- 問題の解決に主体的に参画し、他者とアイデアを出しあひながら解決策を検討できる。

創造的思考力

- 問題の本質を的確にとらえ、解決すべき課題を設定し、解決のための条件をすべて満たした解決策を提案できる。
- 解決策を一般化し、他の事例への応用を検討することができる。

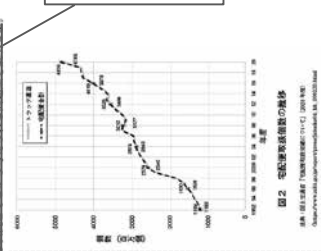
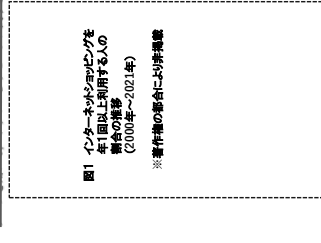
今回の出題のポイント

素材	ネットショッピングを取り巻く状況、転売とその影響
テーマ	私たちはネットショッピングを利用し、オンラインでいつでもどこでも商品やサービスを購入することができるようになりました。ネットショッピングの利用増加によって起こる影響や問題、また、近年問題になっている転売といった身近な問題について、改めて考える問題です。
考えるポイント	問題では、下記の観点を中心に問うています。 ・課題に応じて読み取った情報を根拠に、問題点を考察する。 ・ある状況について、多様な立場を考慮しつつミクロ・マクロの視点で検討する。 ・ある状況について多面的に評価し、自らの立場や解決策を表明できる。 問1(1)複数の資料をもとに、ネットショッピングに関する状況とその問題点を指摘する。 (2)設問で設定された仮定の状況になった際のメリットを様々な立場から考える。 問2(1)ある状況について、その影響を自分と社会の両面からとらえ、自らの立場を明らかにしつつ、解決策を検討する。 (2)具体的な事例からその構造を読み取り、別の事例と比較しながら問題点を指摘する。

批判的思考力(記述・論述式問題): 問1(1)

観点: 論理的に組み立てて表現する

(1) 図1・2から、ネットショッピングに関する様々な状況がわかるが、このような状況が引き起こす問題点にはどのようなものがあるか、加えて課題も踏まえて自らの考えを明確に考え、図1・2を根拠として、ネットショッピングに関する状況を踏まえて自らの考えを明確に表現しよう。



ネットショッピングに関する状況とそこから考えられる問題点を考察する問題。与えられた複数の資料を正確に読み取り、根拠となる必要な情報を抽出し、それらを組み合わせて論理的に説明する力を問うた。

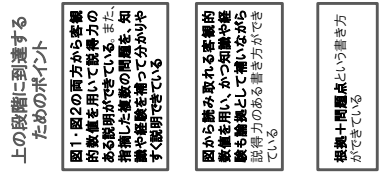
批判的思考力：問1 (1) 答案からみた評価の違い

S評価 客観的数値と知識経験を用いて問題を説明しきっている。
 ネットショッピングを利用する人の割合は年々増加しており、さらに10代も5割以上が利用していることから、住環境や法律などに関する知識不足により消費者トラブルが増加するという問題が考えられる。また、宅配取扱取扱数が増え、2020年には2000年の約2倍に増加している。それに伴いトラックでの輸送も増加しているため、交通渋滞が引き起こされたり、配達員の仕事の負担が増加したりすることが問題点として挙げられる。

A評価 テーマや論点を精って論理的に説明している。
 ネットショッピングを利用した宅間庫の個数は2020年には1000年の約5倍に増えている。トラックは重車などにより燃費への負担が大きいため、商品のトラック輸送によって地球温暖化を加速させてしまう可能性がある。

B評価 図の特徴を組織に問題点を指摘している。
 図1からわかるように、ネットショッピングは年々利用率が高くなってきている。これにより、実際の店舗で購入する人が減り、地元の商店街などの過疎化が加速する恐れがある。

C評価 図の説明のみ、または問題点の指摘のみにとどまる。
 図を見ると、ネットショッピングの利用率はどの世代でも抑えているが、30代をピークにその利用率は下がる傾向がある。



協働的思考力（記述・論述式問題）：問1 (2)

観点：視野を広げ、深める

(2) ネットショッピングが浸透し、買い手や売り手が今よりも利用しやすくなった場合、新たなを含め、人や社会にとどってどのようなメリットがあると考えられるか。様々な立場について考え、説明せよ。

自分と異なる多様な他者の立場にも立ちつ、個人〜社会というミクロ・マクロの幅広い視点で考える力を問うた。

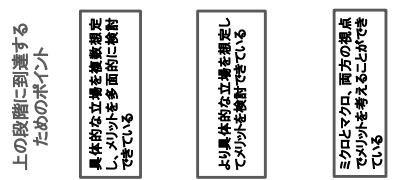
協働的思考力：問1 (2) 答案からみた評価の違い

S評価 ミクロ・マクロの両方の観点から幅広く考え、かつ様々な立場について説明している。
 高齢者や周りに居ない場所に住んでいる人も移動をせずに気軽に買い物をするので、過疎化の問題の一つである「買物弱者」の問題を解決できる手段になると考えられる。また、店舗にとってもネット上で多くの人に自社製品を見てもらい、興味を持ってもらう機会を提供できるというメリットがある。

A評価 ミクロ・マクロの両方の観点から幅広く考え、説明している。
 外で買い物をする人が大変な人たちが、ネットショッピングを使用して手軽に買い物ができるようになる。これにより、店舗にこれまで商品を知り買ったり買ってもらったりすることができなくなってしまう人に対してその機会が増え、結果的に経済全体が活性化される。

B評価 ミクロ・マクロの両方の観点から説明している。
 ネットショッピングが浸透すれば、店頭に行くことで購入するよりもっと手軽にどこからでも注文できるようになり便利になる。また、今まで以上に消費が促進され、経済が活発になる。

C評価 ミクロまたはマクロのどちらかの観点のみからの説明にとどまっている。
 インターネット環境があればどこでもショッピングができて、早朝や深夜でも買い物を楽しむことができる。



創造的思考力（記述・論述式問題）：問2 (2)

観点：具体を一般化して整理し、比較する

例1 (2) 次の2人の大学生による、インターネットでの売買に関する会話文である。これを読み、下の(1)・(2)の問いに答えよ。

スズキ 「それ、各店舗で10台しか手に入らない人気の新型ゲーム機だよ。どこでも売り切れになっているのに、よく買えたね」

スズキ 「それとこれは別だよ。この価格は、もう着なくなったものを、捨てるよりはいいかと思っただけだ。これも買ったものを人に売るといって点では転売になると思うんだけど、だれも僕を責めないと思うよ。僕がやっついていることは、いわゆるフリーマーケットのようなものだから。でもおまがやっついていることは、例えば本屋のときに100円の本を買ったのと同じで、1本1000円で売っているようなものじゃないか。個人にとっても企業にとっても迷惑な話だよ」

タナカ 「え、どういこと？」

例2 (2) 下欄の文を参考に、フリーマーケットと転売の違いに着目しながら、なぜこのように転売は正問題だと考えられるのか、説明せよ。

フリーマーケットと転売という具体的な二つの行為を抽象化してとらえ、比較する力を問うた。

創造的思考力：問2（2） 答案からみた評価の違い

評価	評価のポイント	特徴の観点で比較しながら転売の問題を指摘できている。
S評価	フリーマーケットは、自分が必要なくなくなったものを他人に安価で販売し、その品物を再利用してもらおうとする行為である。しかし、転売は自分が欲しいわけではない希少な商品を狙って仕入れて、本来消費者が支払う必要のない額を上乗せし高値で売り、自分の利益を得るためにやっていることが問題だ。	複数の観点で転売とフリーマーケットを比較しながら問題点を説明できている。
A評価	フリーマーケットは正規の値段よりも安く売るので問題はないが、転売は売るためだけに購入し、正規の値段より高く売って利益を得ることが目的なので問題だと考えられる。	一部の観点で転売とフリーマーケットを比較しながら問題点を指摘できている。
B評価	フリーマーケットは自分が使ったがいらなくなったものを他の人に売るのだが、転売はそもそも自分を使わなくなったものを他の人に売る行為だから。	転売とフリーマーケットを比較して問題点を指摘できている。
C評価	人々が手に入れたはずのものを譲取りして、価格を吊り上げて売る行為は悪いことだから。	転売とフリーマーケットを比較して問題点を説明できている。

上の段階に到達するためのポイント

複数の観点で転売とフリーマーケットを比較しながら問題点を説明できている

一部の観点で転売とフリーマーケットを比較しながら問題点を指摘できている

転売とフリーマーケットを比較して問題点を説明できている

【Appendix】GPS-Academicとは

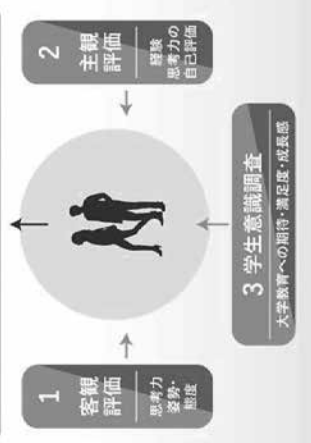
GPS-Academicの特徴

大学、学部、学科の学修成果を可視化し、次の施策につなげることができる。

GPS-Academicでは、**1. 客観評価** **2. 主観評価** **3. 学生意識調査**の3つの観点から学生を多面的に測定できます。

上記3つの視点を組み合わせることで、大学、学部、学科の学修成果を可視化し、次の改善策につなげることができます。

学生を3つの観点から多面的に測定できます




GPS-Academicの測定項目①


客観評価	主観評価
思考力 批判的思考力 創造的思考力 協働的思考力 レジリエンス リーダーシップ コラボレーション	経験 自己管理 対人関係 計画・実行 学生意識調査 新入生用・在校生用
・情報を抽出し吟味する ・情報を関連づける ・他者との共通点・違いを理解する ・情報の安定性 ・状況に応じた柔軟な対応力 ・自己充実に導く力 ・粘り強さや回復力 ・相手の立場にたもつ力 ・他者と関わりあう力 ・継続する経験 ・新しい状況に臨む経験 ・多様な人々と関わる経験 ・困難を乗り越える経験 ・目標を達成する経験 ・計画・実行する経験 ・新入生:志望度・納得度、大学観等 ・在校生:満足度・適応状況、進学意向等	学生の能力 項目を組み合わせて 多面的に評価する 学生を取り巻く背景

学生意識調査 アンケート項目例	
新入生版 (1年生) 61問	在校生版 (在校生) 89問
大学・学問への魅力	入学後のイメージ変化
大学選択の情報源	成長実感
授業内容への理解	学部・学科のお勧め度
履修選択の考え方	大学教育・学生生活への満足度
学習への取り組み	教育施設の利用度
力を入れたこと	授業の役立ち度
大学・学部・学科への志望度	授業・カリキュラムの評価
学生生活への不安	学びへの取り組み
職業・進路への心構え	大学納得度
	適応状況
	進路への準備状況
大学独自の設問 選択式：15問 フリーアンカー：3問	

「3つの思考力」を、
Point① より実社会とのつながりを重視した素材で、
Point② CBTならではの機能を使って、
Point③ 現実でのパフォーマンスに近い能力を、
測定するための出題



音声での出題例
※ YouTubeが閉じます



アニメーションでの出題例
※ YouTubeが閉じます

設問数	短音声	動画・長音声	テキスト
10			
15			
10			

日際における「聞く」「見る」「読む」を想定して出題

批判的思考力

「なぜ？」「本当？」から始める思考力

- 情報を抽出しゆ昧する
- 情報をのみにするのではなく、背景にある考え方や理論まで理解することができる。
- 目的に対して必要な情報を探し出して情報を取り出すことができる。
- 情報の成り立ちや背景を踏まえて内容の真偽を判断できる。

協働的思考力

「相手」「自分の理解から始める思考力

- 他者との共通点・違いを理解する
- 立場の異なる人の言葉に耳を傾け、思いやることができる。
- 他者の信念や価値観の違いを客観的に理解し、それらを尊重できる。
- お互いにアイデアを共有し、違いを認めつつ、建設的に合意形成ができる。

創造的思考力

「AをBにしてみると？」から始める思考力

- 情報を耳でつづける・気難する
- 自分にある知識と情報を組み合わせて問題を特定し、解決策を提示することができる。
- 解決策の仮説をもって比較検証した上で、最適な策を選択できる。
- 情報の成り立ち、背景を踏まえて問題を一般化し、他の事例の解決に活用できる。

「姿勢・態度」は、3つの選択肢から「最もよく当てはまるもの」「最も当てはまらないもの」を1つずつ選ぶという設問形式をとっています。すべての設問に答えることで、姿勢・態度の各項目における前向きさの度合いを診断しています。

以下のA～Cから、あなたに最もよく当てはまるものと、最も当てはまらないものをそれぞれ1つずつ選んでください。

- A. 自分から先に立って物事を始める。
B. 目標は常に高いところに置く。
C. 誰の切り返しもない。

問題解決をする際、どのような姿勢・態度で臨むかでその成否や質は変わってきます。GPS-Academicではレジリエンス(リソース)「コーピング」「コーラレーション」などの観点で、「姿勢・態度」の評価をしています。

レジリエンス(精神的なタフさ)	● 目標の明確 ● 立ち直りの早さ ● 状況のゆとりを認める
リーダーシップ(物事に向かう前向きさ)	● 自ら先頭はたつて進む ● 未知のものに挑戦する ● 恥が強くやり抜く
コーラレーション(後輩への働きかけ)	● 相手の立場に立ってとこととする ● 巻き込まれずとる積極性

【経典】出題例

「経典」は、これまでの学生生活（学校生活）において、問題解決の力を磨くための行動を振り返り行ってきたか、振り返りを行い、評価しています。（とてもよくやった」「多少やった」「少しやった」「全然やっていなかった」の5段階で自己評価）

Q あなたはこれまでの学生生活で、実際にどのような行動をとってきましたか。
5段階で回答してください。

- 自分の目標は達成するまであきらめずやり続けた
- チーム内でトラブルが起きたとき、自ら進んで解決した
- 試験の結果が出たとき、結果の良し悪しだけでなく、どうすればさらに良くなるかを考えた

「思考力」や「姿勢・態度」は、問題解決にかかわる経験を振り返ることによって磨かれます。GPS-Academicでは「自己管理」「対人関係」「計画・実行」の3つの観点で、現時点での程度問題解決の「経典」を評価することができます。

自己管理	● 進捗する経典 ● 遅れる経典 ● ストレスに耐える経典
対人関係	● 多人数をサポートする経典 ● 両向きを築く経典 ● 議論する経典
計画・実行	● 計画を改善する経典 ● 解決策を立案する経典 ● 実行・検証する経典

GPS-Academicの解説

GPS-Academicの開秀背景、コンセプト、各設問の定義・算出方法をまとめています。



PDFにてダウンロードが可能です（クリック）

大学への納品物

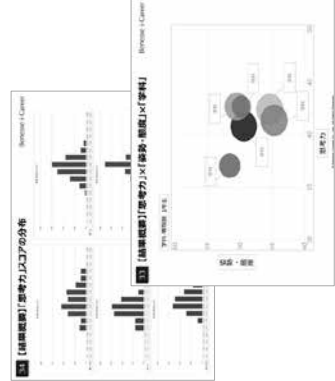
受検期間終了の翌日に、Excelの集計データを管理者サイトよりダウンロードいただけます。
結果データを元に、分析・報告させていただきます。

基礎集計

受検者一ター覧

結果報告書

※レポート作成の上、取組みや各重要割合等で報告いたします。



学生への返却物

受検終了後、約3分で結果レポートの閲覧が可能です。（PDF出力可）
複数回受検した場合、過去の結果を比較することによって自身の成長を客観視できます。

学生意識調査を含めた学生個人の結果を閲覧できます。(専用生成ツールを提供)
 新入生・キャリア面談等の手元資料として活用できます。



GPS-Academicの結果を活用した
 学生との面談を想定したマニュアル

ダウンロード



GPS-Academicの結果から
 大学生活を補助し、ES作成を補助するワークシート

ダウンロード

学生面談における

「GPS-Academic」結果集票活用法をご紹介
『面談サポートBOOK』

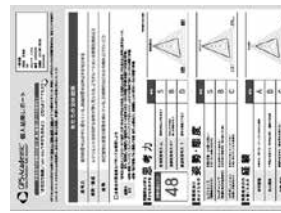
(A4 全12ページ)

- 「GPS-Academic」の内容、「GPS-Academic」を活用した面談の流れ、事例が端的にわかる*
- 実際に学生面談をされている大学教職員の方にヒアリングを行いながら作成
- 面談に不慣れな方でも取り組みやすいよう、実施時のヒントや心構えを掲載

*面談の流れと事例は、実施年の高い入学直後の面談に基づき作成しています。



▲紙面は作成中です。変更の可能性がございます。



GPS-Academicの「個人結果レポート」を使って自分の「強み」や「アピールポイント」の整理・職種による「求められる力」の理解からより納得感の高い「自己PR」・志望動機への作成をサポートします。

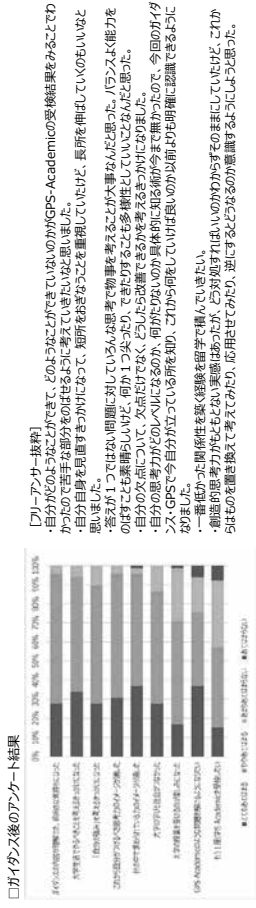
受検後のフォロー・ガイダンスでは、「業種・職種研究の方法」「就職活動に向けての行動計画作成」に至るプロセスをワークシートを活用しながら進めています。

【オプション受検後、学生向け解説ガイダンス 1年生向け（外国学部系統での事例）

□ガイダンスの目的
 大学生活における「目的意識」を深化させるために「自己理解」を深める
 …「留学」「語学の勉強」への意欲は高いので、「社会とのつながり」や
 「留学 + oJ」を意欲して授業や留学に参加してほしい。



□ガイダンスのテーマ
 大学での学びや社会で求められる力を鍛えるために身に付けたい力や
 今後の大学生活ですべきことを考える。
 ・思考力：活用シーンと併せてICTの理解
 ・姿勢・態度：自身の「強み・弱み」の発見と今後の取組み
 ・経験：「やりたいこと」と「成長に必要な経験」の結び付け



□リアンカー技術

- ・自分の考えが伝わるまで、どのような伝え方でもよいがGPS-Academicの受検結果をみることでも、自分の考えが伝わるように考えてみることもよいと思います。
- ・自分の意見を表現するのかわりに、短所をあげることを重視していいけれど、長所を伸ばしていくのもいいなと思います。
- ・怒りが1つでは無い問題に対していろいろな思考で物事を考えることが大事なんだと思った。バリエーションも能力を伸ばすことも素晴らしいけど、何か1つ決つたり、できたりするよりも多岐性としていくことなんだと思った。
- ・自分の欠点について、欠点だけでなく、向かいたいのか具体的な知識が今までなかったから、今回のガイダンス、GPSで今自分立っている所を知り、これから何をしたいか前よりも明確に認識できるよなりました。
- ・一番低かった関係性を強く経験を留学で積んでいきたい。
- ・創意的思考力もとてもいい運命はあったが、どう対処すればいいかわからずそのままにしていくけど、これからはものを聞き返して考えてみたり、活用させてみたり、逆にするとどうなるかを意識するよなように思った。

株式会社ベネッセ i キャリア

- 担当部門：大社接続営業部 東日本カスタマーサクセス課
- 担当姓名：黒田 紀夫
- TEL： 03-5320-1299
- M-Phone： 070-3627-1364
- E-mail： n-kuroda@benesse-i-career.co.jp

【資料 3-①】

新潟大学アカデミック・アドバイジング実務者ガイドライン（試行版）

1. 新潟大学におけるアカデミック・アドバイジングの定義

本学におけるアカデミック・アドバイジングは「学生の学習・将来目標に関わる支援を行う総合的な履修相談（清水，2015:11）」と定義する。より具体的には、学生自身による学修に関わる将来の目的・目標の決定とその達成に向けて、教職員等が、入学から卒業までの間に適宜アセスメントを行いながらマイナー学修面における学生個人のニーズに伴走的・継続的に支援することと定義する。¹

参考

清水（2015）のアメリカにおけるアカデミック・アドバイジングに関する記載を引用または参照して、以下にまとめる。

- ・大学での学修の成功のための履修に関わる総合的な助言。
- ・アカデミック・アドバイジングは全学生対象の活動であり以下の3つの取組がある。
 - ①カリキュラム、コース、専攻、卒業必修条件等の履修情報の提供
 - ②学生の将来目標の決定に関連する職業、資格等のキャリアに関わる情報の提供
 - ③学生が抱えている個人的な課題に対して、各学生の状況に即した助言や対応の実施
- ・学生の学習と人間形成的な側面を含めた支援。
- ・学生支援と教務の両方の要素を持ち合わせた特色を有する業務。
- ・個別教科の学習に対して行う支援（学習支援（ラーニング・サポート））ではなく、学生自身の主体的な将来設計（キャリアデザイン）とその遂行に関わる相談・支援。

2. アカデミック・アドバイジングを行うにあたっての前提

（1）学生の範囲

アカデミック・アドバイジングの対象とする学生とは、本学に在籍する学士課程学生（学士課程に在学する留学生を含む）とする。

（2）アカデミック・アドバイジングを担える者の範囲

- 1) 教育基盤機構に所属し学習支援を主たる業務とする教員
（学習支援に関する専門性を備えた特任専門職員含む）

（3）アカデミック・アドバイザーの名称

¹ 日本アカデミック・アドバイジング協会ホームページ「アカデミック・アドバイジングとは？」の記載を参考にした。（<https://academic-advising.jp/>）

上記（２）に定める新潟大学教職員がアカデミック・アドバイジングを職務として担うものをアカデミック・アドバイザーとして名乗ることができる。

3. アカデミック・アドバイザーに必要な基本的価値観²

（１）尊重

アカデミック・アドバイザーは、すべての学生を尊重する。アドバイザーは、学生の考え方や文化を理解しそれを認め、学生の立場に立った方法や気持ちを持ちながら、公平かつ思いやりをもって接することによって良好な関係を構築する。

（２）包摂

アカデミック・アドバイザーは、他者を尊重する雰囲気醸成するとともに、共感し大切にする。アドバイザーは、寛容・受容・公平な態度で学生・組織・同僚のニーズや視点を踏まえて、学習環境の構築・維持に努める。

（３）関与

アカデミック・アドバイザーは、学生の「成功」（注意書き入れる）を導けるよう尽力する。アドバイザーは、実践、学術的探究、（生涯学習）、専門職開発を通して、学生、同僚、組織、専門職団体に積極的に関わっていきます。

（４）プロフェッショナルリズム

アカデミック・アドバイザーは、アドバイジングに携わる教職員としての価値観に従い、学生、同僚、組織、高等教育全般のより大きな利益のために行動する。

（５）エンパワーメント

アカデミック・アドバイザーは、学生の可能性を認識し、課題に立ち向かい、個性を尊重・表現するために、学生にやる気を出させ、励まし、支援する。

（６）誠実性

アカデミック・アドバイザーは実践の振り返りを通じて生まれた倫理的かつプロフェッショナルとしての態度・意識をもって活動する。アドバイザーは、学生、組織、専門職に対する正直さ、透明性、説明責任を大切にする。

² アメリカのアカデミック・アドバイジング専門職団体「全国アカデミック・アドバイジング協会（NACADA：National Academic Advising Association）」が定めたアカデミック・アドバイジングの基本的価値観（千葉大学アカデミック・リンク・センターが当協会と連携して日本版を作成した）を参考に作成した。

(7) 思いやり

アカデミック・アドバイザーは、思いやりを持って親身に話を聞くことを通じて、学生、同僚そして他者との関係を構築する。

4. アカデミック・アドバイジング実践上の留意点³

(1) 面談

1) 面談の開始前

①面談の機会（時間と場所）を設定する

- ・新潟大学では毎週火・木・金の昼休み（11:55～12:45）と3限、4限に「学修デザイン相談タイム」として学生にアカデミック・アドバイジングを受けられる機会を設定している。
- ・場所は、NICE 学修デザイン相談室（A211 総合教育研究棟 A 棟 2 階）である。学生の相談内容が多岐にわたることを想定し、オープンな相談場所とクローズな場所を使い分けて対応することを念頭に置く。
- ・面談場所は、学生にとって入りやすく居心地の良い環境を整備しておく。
- ・なお、この時間と場所の設定については、学生が面談を受けやすいタイミングや場所を想定して決定することとする。

②面談へのアクセシビリティを高め、学生が使いやすいシステムを整備する。

- ・グーグルカレンダー等で、学生がアクセスしやすく面談予約を行える設計とする。

③面談で活用できる資料を作成する。

- ・次の2)～7)に記載する内容に関する注意事項をチェックリストとして作成する。
- ・面談記録のテンプレートを作成する。
- ・アカデミック・アドバイザーが対応できる範囲を超える際の選択肢を学生に提示するための、学内資源（連絡先・パンフレット等）を整理して、面談でいつでも提示できるようにしておく。
- ・面談に来た学生に、自分が何者であるのか示すために、アカデミック・アドバイザーは名刺を準備し、面接最初の段階で自己紹介とともに名刺を渡せるようにしておく。

④アカデミック・アドバイジングにおける倫理観を高める。

- ・一般的な倫理的配慮（学生に誠実に対応する、学生の人格を尊重する、約束したことを守る、不公平な扱いをしない、個人情報を守る）と大学で定められたコンプライア

³ 清水・中井編（2022：20-23）を参照して本学の実情に合わせて記載した。

ンスを理解する。

- ・アカデミックハラスメント、セクシャルハラスメントなどについて理解をする。
- ・公開できる範囲で所属部署内の教職員に、いつ、誰と、どこで面談するかを明示し、面談の場が密室とならないようにする。

2) 面談の開始

- ・面談時には、学生を大勢の中の一人ではなく、個人として対応していることを学生に意識させ、個人を尊重していることを行動から示すこととする。
- ・相談しやすい雰囲気作りを心がけ、ラポール（信頼関係）を形成する。
- ・面談の終了時間の大きな目安を学生と相談し決める。
- ・アカデミック・アドバイザーと学生が座る位置を工夫し、学生が圧迫感を感じないようにする。
- ・その日の天気や面談の時間に応じて、自然光を取り入れたり、快適な室温を設定したりするなど、面談を行う環境に配慮する。
- ・アカデミック・アドバイザーは面談に集中できる環境や行動様式を身につける。例えば、PC・スマホ、スマートウォッチ等の電源・通知を切り、面談学生に集中できる環境を整える。
- ・面談で知り得た情報は外部に漏らさないことを確約し、学生を安心させる。
- ・丁寧な言葉遣いを心がけつつ、学生にあわせた話し方を意識して面談を行う。
- ・面談記録（メモ・音声記録等）を取る前に、学生に丁寧に説明し事前に許諾を得る。

3) 課題の特定

- ・面談に来た学生の課題を明確にするために、学生が何を課題として考えているのか聞き出す。その際に、学生自身の言葉で課題を明確にしていくことに意味があることに留意する。
- ・学生の話す内容については、否定することなく傾聴に努めることとする。目の前の事実を確認するだけでなく、不安や悩みなどの気持ちも受け止めるように心がける。
- ・学生の語った課題や悩みを、より客観的で明確かつ学生にわかりやすい言葉に置き換えて伝える。
- ・学生が自分の課題を十分に整理できていない場合は、質問することを通して学生に考えさせ課題を整理し明確化させる。
- ・目先の課題の解決ばかりに集中してしまう学生もいることを想定し、本当に課題を明らかにできているか確認する。できていない場合は、学生に問いかけることを通して、学生自身に本当の課題とは何かを気づかせるように導けるようにする。

4) 課題解決の明確化

- ・課題の解決方法は、最初の段階では学生自身が考えることとする。
- ・学生が課題解決の方法のアイデアを出している際には、その適切性や実行可能性についてすぐに言及・指摘せずに、学生の考えを聞き出す姿勢に努める。
- ・学生が気づかない解決方法をアカデミック・アドバイザーが示す際には、学生の選択肢の一つとして提示する。
- ・学生が抱えている課題が、アカデミック・アドバイザーが対応できる範囲を超える場合は、正直にそのことを学生に伝え、学内の課題解決できる部署や専門家の協力を得るという選択肢を学生に提示する。
- ・最後に、様々な解決方法の選択肢が示された段階では、それぞれの解決方法が持つ長所・短所を学生と一緒に検討し、もっとも適切な方法を学生が選択できるように促す。

5) 履修計画の策定

- ・履修計画のためのテンプレート(マイナー学修デザイン)を学生に提示し、説明する。
- ・課題解決の方法が明確になった段階で、どのような順序で学習を進めるのかを明確化した具体的な履修計画を、まず学生に考えさせる。その際には、学生自身がこれならできると考える簡単な課題から取り組む履修計画を検討するように促す。また、履修計画はスモールステップで考えさせ、成功体験の積み重ねによって自己効力感が高まるようにする。
- ・履修計画を学生が完成させたら、マイナー履修をはじめめる学生の意思を「この計画であれば実行できそうですか？」などと問い、学生が自分の言葉で履修計画の実行をアカデミック・アドバイザーに約束するように促す。

6) 面談の振り返り

- ・面談の終わりは、冷淡な対応にならないように注意する。(例：時計を見て、「そろそろ時間がなくなって来たので終わります」と急に面談を終わらせる等。)
- ・面談で明らかになった課題と、課題解決に向けた履修計画の重要な点を学生自身の言葉で語らせて確認する。
- ・必要に応じて、次回の面談の日時を設定する。
- ・面談に来た学生をエンカレッジ(勇気づけて、背中を押す)するために、励ましやねぎらいの言葉をかけて明るく面談を終える。
- ・学生が部屋を出るまで、しっかりと見送る。
- ・面談を終えた後に、面談記録を作成する。
- ・学生の課題が、大学の課題として改善すべきものであった場合は、学内関係部署や担当者に伝え、組織的な改善に向けて働きかけていく。

7) その他⁴

- ・新入生には、高等学校までの勉強と大学における学習の違いを理解させ、必要であれば、アカデミック・アドバイザーは高校までの学びのスタイルをアンラーニング（学習棄却）させ、学生自らの大学生活の中での学習の文化を創造するように促す。
- ・大学の単位制度や学修成果、アクティブ・ラーニングの意義（教授パラダイムから学習パラダイムへの転換）などについて、適宜説明し、理解を促す。
- ・学生自らが入学した学部での専門の学び（メジャー）を改めて理解させる。
- ・大学における教員や学生同士の学修面における発展的なネットワークの構築を支援する。
- ・アドバイザーの仕事は、学生の責任がどのようなものであるのか教えることである。つまり、大学教育の「消費者」ではなく、大学教育の「主体的学修者」であることを理解させる必要がある。
- ・アカデミック・アドバイジングにおいて、アドバイザーが学生に与える影響は言葉だけでなく、ボディランゲージにもあることを理解する。

(2) 学内連携（パートナーシップ）の構築

- ・FD や SD でアカデミック・アドバイジングの定義や機能、事例、実績などについて報告し、学内理解を促進する。
- ・アカデミック・アドバイジングのミッション（例：大学生活の様々な領域において学生の成功を助ける、学生の成功や持続的な大学への参加を担保するなど）を部門単位（又は機構単位）で策定し、学務部・教育基盤機構の教職員とミッションを共有する。さらには、副学長・理事を通して、全学教職員、学長・理事等の執行部にもミッションを理解してもらう。
- ・学内の意思決定に関わる機関やその機能、関連規定、意思決定の流れ、所管する事務部署並びに担当者を知り、日常的にコミュニケーションを取り、適宜働きかけられるようにする。
- ・アカデミック・アドバイジング管理者と、日常的にコミュニケーションを取り、学生の成功を導くような新たな改革プランの提案や、業務内で明らかとなった大学の課題を改善する施策を積極的に提案していく。

(3) アセスメント

- ・アカデミック・アドバイジングに関する重要な問題について分析する時には、直感や経験に頼るのではなく、データに基づいて行う。
- ・アカデミック・アドバイジングに必要な学生のデータについて検討し、定義しておく。

⁴ 千葉大学アカデミック・リンク・センター（2019:32-62）に記載された NACADA 専務理事のチャーリー・ナット氏の講演録の発言を参照して作成した。

また、その取得方法について具体的に整理しておく。(例：学務情報システムから取得可能であるのか？その場合はどのような権限や手続きが必要か？既存のデータベースにデータがない場合は、アンケート調査やインタビュー調査で新たなデータを取得する必要がある、その調査計画を立て、学内の適切なオーソライズのもと実施し、分析に値する適切なサンプルサイズを確保するように努める等。)

- ・面談記録のデータをデータベースとして蓄積し、個人情報保護等のコンプライアンス遵守をしながらアカデミック・アドバイザー、管理者間で共有する。また、過去面談の記録を確認した上で、現状との比較をもとに学生を適切にアセスメントしていく。

(4) セルフケア

- ・面談において、学生の言動から予期せぬ心理的負担をアカデミック・アドバイザーが負ったと感じた場合は、学内のカウンセリング制度を積極的に利用しケアを行う。
- ・アカデミック・アドバイザーの同僚や管理者は、日常的なコミュニケーション相互に取り合い、心理的不安に感じる場合は安心・安全な環境で相談する体制を整えておく。
- ・健全な心身があってアカデミック・アドバイジングが可能であることを理解し、ワークライフバランスを意識して無理な業務や責任を負わないようにし、管理者もその支援に努める。

(5) 学生コミュニティの運営←令和5年度から実施する計画のため検討中

6. アカデミック・アドバイザーの質保証

(1) 省察と自己研鑽

- ・以下に記載するコンピテンシーは、アカデミック・アドバイザーに必要な力である。このコンピテンシーについて自己評価(セルフアセスメント)を行った後に、その結果を踏まえて国内外・学内外の各種研修を受け、自己研鑽に励むこととする。
- ・当該研修に必要な経費については事前に算出し、アカデミック・アドバイジングの管理者に相談し、適切に予算化する。
- ・アカデミック・アドバイジングは多様な学問分野に興味関心を抱いて幅広く触れ、教養を備えられるように、読書等を通じて日々研鑽を行う。

1) アカデミック・アドバイザーに必要とされるコンピテンシー⁵

①学生・学修・教育支援の内容

⁵ 千葉大学アカデミック・リンク・センター(2022)に記載された「教育・学修支援の専門性に必要な能力ルーブリック(第1版)」を引用の上、一部修正して記載している。

<input checked="" type="checkbox"/>	項目
<input type="checkbox"/>	学生の支援ニーズを調査し、学習者のニーズにあわせた学修支援を開発し、効果的に実施することができる。
<input type="checkbox"/>	様々な教育領域の教育上の最新の改善課題、論点、教育方法を把握し、個別の授業ニーズにあわせた教育支援に活用することができる。
<input type="checkbox"/>	学修支援・教育支援の結果を検証し、評価、改善することができる。

②担当業務の内容

<input checked="" type="checkbox"/>	項目
<input type="checkbox"/>	所属箇所における課題を発見し、改善することを目的に、課題設定、データ収集・分析、対応策の立案、実施を自律的に実現することができる。
<input type="checkbox"/>	担当業務に関連する新たな取り組みを企画立案し、周囲の協力を得て、実行することができる。

③大学についての知識

<input checked="" type="checkbox"/>	項目
<input type="checkbox"/>	高等教育の現状について批判的に分析・検討し、所属大学における教育のあり方について具体的な改善案を策定し、実践の場で提案することができる。
<input type="checkbox"/>	大学で教育研究されている学問領域全体の体系性や内容、構造についての理解に基づき、所属大学の教育の特徴や個々の施策・規則の意義や課題について説明することができる。

④学生への対応

<input checked="" type="checkbox"/>	項目
<input type="checkbox"/>	学生の対応に関わる学内外の利用可能な資源の現状について批判的に分析・検討を行うことができる。
<input type="checkbox"/>	より効果的な支援の体制・あり方を、実現可能性を含めて、企画・設計し、構築するなど、学生の対応について指導的役割を果たすことができる。

⑤担当業務への取り組み方

<input checked="" type="checkbox"/>	項目
<input type="checkbox"/>	学内外の組織横断的な、あるいは困難な担当業務について先を見通した計画を立て、主導的に実行することができる。
<input type="checkbox"/>	協働して業務を行うことの強みを活かして、高い成果を生み出すことができる。

⑥人間関係の構築

☑	項目
☐	勉強会・シンポジウム等の参加や情報交換の機会を利用し、学内外に幅広い人的ネットワークを形成している。
☐	学内外の人的ネットワークを活用し、様々な情報を収集し、所属大学の業務改善・開発に生かすことができる。

(2) 実践から得た知見の社会への還元

アカデミック・アドバイザーは新しい大学の専門職として、実践から得た知見等を研究活動につなげて、日本アカデミック・アドバイジング協会や大学教育に関する各種学会・研究会・フォーラム等で研究発表や事例紹介、論文投稿を行うことを通して、学問分野さらには社会に貢献を行う。

(3) ピア・レビュー、スーパーバイズ

アカデミック・アドバイザーは日々の実践に埋没してしまわないように、同・他大学のアカデミック・アドバイザーからのピア・レビュー又はスーパーバイズを受け、自己省察だけにとどまらない客観的な視点に基づいた日々の実践の振り返りを行う。

(4) 業績評価

アカデミック・アドバイザーは、管理者の業績評価のフィードバックをもとに、日常業務の振り返りを行い、必要に応じて業務に向かう姿勢ややり方について改善を試みる。

(参考文献)

清水栄子 (2015) 「アカデミック・アドバイジング その専門性と実践—日本の大学へのアメリカの示唆」、東信堂

清水栄子・中井俊樹編 (2022) 「大学の学習支援 Q&A」 玉川大学出版

千葉大学アカデミック・リンク・センター (2019) 「米国高等教育におけるアカデミック・アドバイジング—アカデミック・アドバイザー養成と専門職団体 (NACADA) の役割」、『ALPS ブックレットシリーズ』、第4巻

千葉大学アカデミック・リンク・センター (2022) 「アカデミック・リンク 教育・学修支援専門職養成プログラムパンフレット」

新潟大学アカデミック・アドバイジング運営者ガイドライン（試行版）

■はじめに

新潟大学は、文部科学省事業「知識集約型社会を支える人材育成事業」に全学分野横断創生プログラム（以下、NICE プログラム）が令和2年度に採択され、メジャー・マイナー制教育の全学的展開とそれを中核的に支えるアカデミック・アドバイジング制度を導入している。これら取組は「新潟大学将来ビジョン2030」で明示¹した学修者本位の教育システム実現に資するものであるとともに、さらには第4期中期計画²で示すメジャー・マイナー制を利用した複眼的視野をもった人材養成へと連なっていく、新潟大学における重要な教育改革である。

このような背景を踏まえて、今後のメジャー・マイナー制発展の鍵となるアカデミック・アドバイジング制度の整備充実を図るため、また他大学で同様な取組検討の参考となるよう、アカデミック・アドバイジングの運営上の重要な事項についてその望ましい在り方を示す「新潟大学アカデミック・アドバイジング運営者ガイドライン」を定める。同ガイドラインは以下の構成とする。

1. 新潟大学におけるアカデミック・アドバイジングのミッション
2. アカデミック・アドバイジング制度の導入
3. アカデミック・アドバイジング制度の運営
4. アカデミック・アドバイジングの評価

1. 新潟大学におけるアカデミック・アドバイジングのミッション

新潟大学では、「履修面を中心とした大学生活の様々な領域において学生の成功を助ける（仮）」をアカデミック・アドバイジングのミッションとして掲げる。

2. アカデミック・アドバイジング制度の導入

教育基盤機構〇〇部門長（以下「部門長」）は、本学アカデミック・アドバイジング制度

¹ 「新潟大学将来ビジョン2030」では、「1 教育・学生支援ビジョン」において【目標1-1】（社会とつながった学修者本位の教育システムの構築）専門性に根差した学びに加え、総合大学の利点を活かした文理にわたる幅広い分野の学びや、地域社会での課題解決学習を組み合わせることで、自身で課題と目標を持って学びができる学修者本位の教育システムを構築する、と示している。

² 「第4期中期計画」では、「2 教育に関する目標を達成するための措置」において、【⑥-1】（メジャー・マイナー制を利用した複眼的視野をもった人材養成）学士課程において、既存の副専攻プログラム等を発展させた本学独自の学部を越えたメジャー・マイナー制（主専攻と新副専攻の両プログラムを履修できる制度）を全学的に導入することにより、文理を横断した幅広い教養と深い専門性を持った人材を育成する、と示している。

の運営者としての役割を担っている。制度の導入にあたっては、部門長のリーダーシップのもと、次の（１）～（３）に記載する事項に着実に取り組んでいくことが重要である。

（１）アカデミック・アドバイジング制度導入前の現状把握

- １）本学の学修支援の現状を調べる。本学では、教育基盤機構、各学部、学務部、学生団体等の学修支援の現状を調べ、それぞれの制度、対象、特徴、問題点を明らかにする。
- ２）本学の学士課程教育システムや課題を踏まえて、アカデミック・アドバイジング制度を設計する。日本におけるアカデミック・アドバイジングの類型について調査分析した結果以下の３類型が考えられた^３。制度の検討にあたっては、この３類型が参考になるものと考えられる。

I 型「レイトスペシャライゼーション型」

東京大学のように１・２年生で教養教育を学んだ後に、３年時に学部・専門分野を選ぶ際にアカデミック・アドバイザーが支援するパターンである。

II 型「メジャー・マイナー型」

国際基督教大学のように教養学部に入學した後にメジャー・マイナーを選択する際にアドバイザーが支援するパターンである。

III 型「初年次教育支援型」

退学・休学率の高さに問題意識を抱いた大学が、学生の大学への愛着やコミットメントを高めるとともに、大学での基礎的な学びの習慣を定着させるために初年次教育においてアドバイザーが支援するパターンである。

新潟大学の教育プログラムは、入学時に学部が決まっており、２年次に学部の中の主専攻プログラムを選んでいくレイトスペシャライゼーション（限定型）である。これを踏まえると、新潟大学のメジャー・マイナー制は、主専攻プログラムがそれぞれのカリキュラムで定めた専門科目群の履修から形成されるメジャーと、主に教養に資する科目や自由選択科目等の履修から形成されるマイナーで成り立つことになる。したがって、本学では I 型と II 型掛け合わせ型アカデミック・アドバイジング制度ということになる。

実際に本学では、学部教員が I 型の支援を担っており学生にメジャーの選択を支援している。また、学部には属さない機構所属のアカデミック・アドバイザーは主に II 型のマイナー

^３ 当３類型は本ガイドライン（試行版）作成にあたり上畠（新潟大学）が調べた限りの私見に近いものであり、厳密な調査研究や学術的知見に基づいたものでない点を留意願う。

選択支援を行っている。今後は学部教員と機構アカデミック・アドバイザーの相互協力についてアカデミック・アドバイジングに関する全学委員会等の設立など検討していく。

(2) アカデミック・アドバイザーの雇用・任命

アカデミック・アドバイジング制度の直接的な運営を担っていくアカデミック・アドバイザーを雇用する必要がある。

部門長は求めるアカデミック・アドバイザーの人材像を示した募集要項を作成し、公募に関する学内決済を経た後、本学ホームページや JREC-IN ポータル等を用いて公募を行う。

選考では、書類選考と面接で行い、選考基準は以下のコンピテンシーを参考にする。例えば、面接において各コンピテンシーに関連した質問を応募者に問いかける方法などが考えられる。

・アカデミック・アドバイザーに必要とされるコンピテンシー⁴

①学生・学修・教育支援の内容

<input checked="" type="checkbox"/>	項目
<input type="checkbox"/>	学生の支援ニーズを調査し、学習者のニーズにあわせた学修支援を開発し、効果的に実施することができる。
<input type="checkbox"/>	様々な教育領域の教育上の最新の改善課題、論点、教育方法を把握し、個別の授業ニーズにあわせた教育支援に活用することができる。
<input type="checkbox"/>	学修支援・教育支援の結果を検証し、評価、改善することができる。

②担当業務の内容

<input checked="" type="checkbox"/>	項目
<input type="checkbox"/>	所属箇所における課題を発見し、改善することを目的に、課題設定、データ収集・分析、対応策の立案、実施を自律的に実現することができる。
<input type="checkbox"/>	担当業務に関連する新たな取り組みを企画立案し、周囲の協力を得て、実行することができる。

③大学についての知識

<input checked="" type="checkbox"/>	項目
<input type="checkbox"/>	高等教育の現状について批判的に分析・検討し、所属大学における教育のあり方について具体的な改善案を策定し、実践の場で提案することができる。
<input type="checkbox"/>	大学で教育研究されている学問領域全体の体系性や内容、構造についての理解に

⁴ 千葉大学アカデミック・リンク・センター（2022）に記載された「教育・学修支援の専門性に必要な能力ルーブリック（第1版）」を引用の上、一部修正して記載している。

	に基づき、所属大学の教育の特徴や個々の施策・規則の意義や課題について説明することができる。
--	---

④学生への対応

<input checked="" type="checkbox"/>	項目
<input type="checkbox"/>	学生の対応に関わる学内外の利用可能な資源の現状について批判的に分析・検討を行うことができる。
<input type="checkbox"/>	より効果的な支援の体制・あり方を、実現可能性を含めて、企画・設計し、構築するなど、学生の対応について指導的役割を果たすことができる。

⑤担当業務への取り組み方

<input checked="" type="checkbox"/>	項目
<input type="checkbox"/>	学内外の組織横断的な、あるいは困難な担当業務について先を見通した計画を立て、主導的に実行することができる。
<input type="checkbox"/>	協働して業務を行うことの強みを活かして、高い成果を生み出すことができる。

⑥人間関係の構築

<input checked="" type="checkbox"/>	項目
<input type="checkbox"/>	勉強会・シンポジウム等の参加や情報交換の機会を利用し、学内外に幅広い人的ネットワークを形成している。
<input type="checkbox"/>	学内外の人的ネットワークを活用し、様々な情報を収集し、所属大学の業務改善・開発に生かすことができる。

なお、雇用する予算がない、人事枠がない、雇用に関する人事権を持つものの許可が出ない場合は、学内の教職員の中から上に示したコンピテンシーを備えている、もしくは備える可能性を持った教職員に相談し承諾をもらった上、適宜学内機関でオーソライズした後、アカデミック・アドバイザーを任命する対応も考えられる。

(3)「新潟大学アカデミック・アドバイジング実務者ガイドライン」の策定

雇用したアカデミック・アドバイザーと部門長の連携のもと、アカデミック・アドバイジングを実践していく上での指針となる「新潟大学アカデミック・アドバイジング実務者ガイドライン（以下「実務者ガイドライン」）を策定する。

策定された「実務者ガイドライン」は学内でオーソライズした後、執行部、全教職員、学生に周知し理解を促す。アカデミック・アドバイザーは部門長の支援のもと、「実務者ガイドライン」にもとづき学内の教職員と連携しながら、計画的・組織的にアカデミック・アドバイジング制度の運営がなされるよう努める。

なお、「新潟大学アカデミック・アドバイジング実務者ガイドライン」は時代の変化にあわせて継続的に記載内容について見直し、改訂を行っていく。

3. アカデミック・アドバイジング制度の運用

(1) アカデミック・アドバイジングの実践

アカデミック・アドバイザーは、「新潟大学アカデミック・アドバイジング実務者ガイドライン」を参照して業務に取り組んでいく。

(2) アカデミック・アドバイジング制度を支える学内資源

1) 予算

部門長は学務部等と連携して、アカデミック・アドバイジング導入にあたってアドバイザーの person 費、アドバイジング制度運用に必要な経費（施設設備費、研究費、出張費、学生に関する経費）を検討し、予算請求を行う。導入後数年の運営に関する経常的経費も算出しておき、毎年度予算化する。

アカデミック・アドバイジング制度の導入や機能拡張にあたっては、文部科学省概算要求や各種補助金、科研費の獲得、ファンドレイジング、クラウドファンディング等の活用も視野に入れ、積極的に外部資金の獲得を検討する。

2) 施設・事務組織

大学内にアカデミック・アドバイザーの執務室（研究室）、面談を実施する面談室、アカデミック・アドバイジング制度を運営する事務室を整備する。事務室には、本学のアカデミック・アドバイジング制度が対象とする学生規模や業務量に対応できる人数の事務職員を置く。

3) 関係部局との連携

アカデミック・アドバイジングを実践する中で、学内資源として学生支援・学修支援を担う関係部局との連携が必要である。本学では、学生なんでも相談窓口、保健管理センター、学生支援相談ルーム、特別修学サポートルーム、学生相談室、キャリア・就職支援オフィスを有しており、それぞれが十分な支援体制を持ち、相談窓口やパンフレット等を作成し学生がアクセスしやすい環境を整えている。これら関係部局をアカデミック・アドバイザーは重要な学内資源と捉え、学生支援の選択肢としていつでも学生に提示できるようにしておく。

また、部門長はアカデミック・アドバイザーが学務部や学部などと連携しやすい体制を整備し、日頃から関係各所とコミュニケーションを取り、ネットワークの潤滑化に努める。

4. アカデミック・アドバイジングの評価

アカデミック・アドバイジングの運営の改善のため、PDCA サイクルの中で部門長はアカデミック・アドバイジング管理者として、アカデミック・アドバイジングの自己点検評価を組織的に行い、評価結果に基づき、運営の改善を図る。

評価に当たっては外部評価委員等の外部の視点を取り入れるとともに、評価結果や評価結果を踏まえた改善の方向性等の公表に努める。

評価は、アカデミック・アドバイジング制度の利活用の状況、アカデミック・アドバイジングの満足度等について行うよう努める。必要に応じて、アドバイジング利用学生へのアンケート調査やインタビュー調査を行う、継続的な改善のためのデータ収集に努める。収集したデータは報告書の作成・公表やFDを通して、学内や社会に還元する。

【資料 3-②】

「学修デザイン相談」相談件数

令和 4 年度の相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
メール	23	1	2	0	0	3	10	1	1	0	0	1	42
対面	21	6	24	33	4	2	9	11	14	21	14	3	162
電話	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
計	44	7	26	33	5	5	19	12	16	21	14	4	206

令和 5 年度 7 月までの相談件数

	4月	5月	6月	7月	総計
メール	5	0	0	3	8
対面	19	17	14	21	71
電話	0	0	0	0	0
計	24	17	14	24	79

令和 5 年度 4 月の相談件数が前年度と比較して約半分に留まっているのは、4 月に「NICE プログラム履修ガイダンス」を 7 日間にわたり実施したことによります。ガイダンスにて、マイナー学修全般に関する説明を実施したことで、これまで「相談」として受け付けていたマイナー学修全般（制度等）に関する問い合わせ件数が減少しました。

令和 5 年度は、「分野横断デザイン」において、履修者による「学修デザイン相談」の利用を評価する設計から、授業担当者が「学修デザイン相談」の利用を勧める形に変更したため、月別相談件数はほぼ均一に推移しました。

【参考】 令和 5 年度 1 学期：NICE プログラム履修ガイダンスの参加者数

	人文	教育	法	経済	理	医	歯	工	農	創生	合計
1 年	15	6	21	29	11	8	0	9	24	6	129
2 年	15	2	10	1	6	0	0	2	4	0	40
3 年	0	0	0	0	3	0	0	1	1	0	5
4 年	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	30	8	31	30	21	8	0	12	29	6	175

令和 5 年度 1 学期：【オーナーズ型対象】NICE プログラム履修ガイダンス

	人文	法	経済	理	医	工	農	創生	合計
1 年	1	45	10	2	4	3	14	10	89
2 年	0	5	0	4	0	1	0	0	10
合計	1	50	10	6	4	4	14	10	99

【資料3-③】

ピア・コミュニティ「NICE プレイス」

ピア・コミュニティ「NICE プレイス」紹介スライド（サポーターSA作成）

NICEプレイス
「分野横断デザイン」受講生とSAの共同スペース

NICEプレイスってどんな場所？
端緒に言わせて...
「受講生の皆さんと私たちSAが一緒に過ごせる空間です」
おしゃべりOK 質問相談OK
例えば...
・マイナーデザインどうすれば良い？
・○学部の授業が難しいんだけど...

アクセス
場所：総合教育研究棟D205
時間：11:55~12:45（水曜閉室）
行き方
①1食前入り口から入り右手へ
②キャリア・就職支援センターを右折
③そのまままっすぐ
開室時間はドアが開いています！

SA滞在日（時間は11:55~12:45）

火	小山（教育） ・コミュニケーション ・異文化理解	青柳（法） ・防災 ・地域活性化	竹田（法） ・自然環境
木	小山（教育） ・コミュニケーション ・異文化理解	福岡（工） ・防災 ・まちづくり ・自然のメカニズム	

「分野横断デザイン」の授業内で、サポーターSAが「NICE プレイス」について紹介しました。



番号	相談日時	対応者	相談者	在籍番号	学部	主専攻プログラム	学年	マイナータイプ	マイナー名称	相談のカテゴリ	相談形式	相談内容
1	2021/4/7	教務課	新潟太郎	A12B345C	工学部	協創経営プログラム	2	オナース型	MOT基礎	問い合わせ	メール	①MOT基礎の認定条件について、所属学部開講科目以外の科目を10単位以上修得とあるが、それはパンフレットの記載科目に限定されるのか、もしくはそれ以外の教養科目として履修した科目も含めていいのか。 →パンフレットに掲載されている科目リストのうち、10単位を所属学部開講科目以外から修得する必要がある。所属学部開講科目とは、学生の所属する学部の開講科目を指す。認定条件では、所属学部開講科目以外から10単位とあるので、工学部以外の科目から10単位以上を修得する必要がある。 また、パンフレットの科目一覧に記載している科目に限定される場合、所属が集中講義の「非常勤講師」や、「地域創生推進機構」というも所属学部開講科目以外の科目と考えてよいか。 ②所属学部以外の単位としてQコードは含まれるか。 →Qコードも含まれる。
2												
3												
⋮												
⋮												

分野横断的学修の相談事例にもとづく

「マイナー学修アドバイジング・マニュアル」の作成

○ 神田 麻衣子, 柿原 豪 (新潟大学)

1. はじめに

新潟大学では2021年度にメジャー・マイナー制を導入した。メジャーとは所属学部での専門教育学修、マイナーとはメジャー以外の分野についての学修を指す。両者を組み合わせた分野横断的学修により、複雑化した社会課題に複眼的視野でアプローチできる人材の育成がメジャー・マイナー制の目的である。

マイナーの学びを体系的なものにする支援の一環として「学修デザイン相談」が開設され、ここがアカデミック・アドバイジング(以下, AA)の場となっている。中野・井上(2022)の分類によると、現在のAAは専門員型である。しかし、2030年度までにマイナーを全学化するという大学の将来ビジョンを達成するには、学内の教職員がマイナー学修について理解し、学修支援ができる体制を構築する必要がある。そこで、相談事例からマイナー学修における困難を抽出・分析し、その対応をマニュアルとして整備することとした。

島田・河合(2022)が示すように、マニュアル整備には相談事例のデータベース活用が必要なことから、以下のような分析を行った。

2. 相談事例の類型化

学修デザイン相談は2021年4月より開始し、2023年6月までにのべ400件実施した。相談形式はメール(93件)と対面(オンライン, 電話も含めて307件)を採用してきた。

相談事例の類型化にあたっては、質的内容分析を採用し、類型の生成はデータを参照しながら適宜変更を行った。

メールではマイナー認定における単位の質問など教務に関わる履修相談が8割以上を占めていた。一方、対面における主要な相談では、マイナー学修の方向性の具体化や科目選択に関するものが多くを占めた。

3. 「マイナー学修アドバイジング・マニュアル」の作成

相談内容の質的差異を踏まえ、7月より相談形式を対面のみに限定した。対面の相談内容の分析では、分野を横断することへの障壁が顕著にみられた。個々の事例を精査したところ、学生が自身の「資源」に気づかず、マイナー選択を検討する際の視野が狭くなりがちであることが明らかとなった。

「資源」を言語化し、価値づけすることにAAの意義が認められるが、一定のスキルが必要なことも確かである。ゆえにアドバイジングの一連の流れを整理し、場面ごとのtipsを加えたマニュアル作成が求められている。

参考文献

島田敬久・河合涼介(2022)「立命館大学グローバル教養学部における『アカデミック・アドバイジング・データベース』活用実践報告」日本アカデミック・アドバイジング協会 第2回年次大会。

中野正俊・井上咲希(2022)「アカデミック・アドバイジングの実践的検証—金沢大学におけるアドバイジング需要について」『高等教育ジャーナル—高等教育と生涯学習』29, 39-47.

学修相談受付票

このたびは学修相談をご利用くださりありがとうございます。
本アンケートはみなさんのニーズを把握し、適切なアカデミック・アドバイジングを提供するために実施しています。
可能な範囲で詳しくご記入いただくと幸いです。
どうぞよろしくお願いたします。

* 必須

1. 相談希望日①*

2. 相談希望日②

3. 相談希望日③

4. 在籍番号*

5. 学部*

- 人文学部
- 教育学部
- 法学部
- 経済科学部
- 理学部
- 医学部医学科
- 医学部保健学科
- 歯学部歯学科
- 歯学部口腔生命福祉学科
- 工学部
- 農学部
- 創生学部
- オプション12

6. 主専攻プログラム*

- 未定
- 心理・人間学プログラム
- 社会化学プログラム
- 言語文化学プログラム
- 学校教員養成プログラム
- 法学プログラム
- 法曹養成プログラム
- 経済学プログラム
- 経営学プログラム
- 学際日本学プログラム
- 地域リーダープログラム
- 数学プログラム
- 物理学プログラム
- 化学プログラム
- 生物学プログラム
- 地質学プログラム
- 自然環境科学プログラム
- フィールド科学人材育成プログラム
- 医学教育プログラム
- 看護学プログラム
- 放射線技術科学プログラム
- 検査技術科学プログラム
- 歯学教育プログラム
- 口腔保健福祉学教育プログラム
- 機械システム工学プログラム

- 社会基盤工学プログラム
- 電子情報通信プログラム
- 知能情報システムプログラム
- 化学システム工学プログラム
- 材料科学プログラム
- 建築学プログラム
- 人間支援感性科学プログラム
- 協創経営プログラム
- 応用生命科学プログラム
- 食品科学プログラム
- 生物資源科学プログラム
- 流域環境学プログラム
- フィールド科学人材育成プログラム
- 創生学修プログラム

7. 学年*

- 1年生
- 2年生
- 3年生
- 4年生
- 5年生
- 6年生

8. 「分野横断デザイン」の履修について*

- 現在履修している、過去に履修した
- 履修したことがない

9. 「分野横断デザイン」を履修した時期

- 2021年度 1学期
- 2021年度 2学期
- 2022年度 1学期
- 2022年度 2学期
- 2023年度 第1ターム
- 2023年度 第2ターム
- 2023年度 第3ターム
- 2023年度 第4ターム

10. 「分野横断リフレグシオン」の履修について

- 履修した
- 履修していない

11. 「分野横断リフレグシオン」を履修した時期

- 2023年度 1学期 (8月・9月)
- 2023年度 2学期 (2月)

12. マイナータイプ*

- 学修創生型
- ハッケージ型
- オナーズ型
- 未定

13. 氏名*

14. マイナーを履修している人は、マイナーの名称をご記入ください (複数回答可)。

今回の相談内容をお知らせください。

NICEのウェブサイトでよくある質問 (FAQ) を掲載しています。
以下のアドレスよりご参照いただけます。
<https://www.ies.nigata-u.ac.jp/niceprogram/inquiry.html>

15. 相談の種類 *

- マイナーとして学ぶことが悪いのではない (具体的にならない)
- 自分にあつたマイナーの型を知りたい
- 履修科目、履修計画について相談したい
- メジャーとマイナーの関連づけについて助言がほしい
- マイナー学修の方向性を変更したい
- その他

16. 具体的な相談内容を教えてください。 *

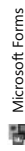
個人情報の取り扱いに関する許諾について

- ・本アンケートおよび学修相談で知り得た個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」にもとづいて厳正に管理いたします。
- ・学修相談の質を向上させる目的で、上記の個人情報を研究に利用することがあります。その際には、字内の倫理規定にもとづいて匿名性を確保した上実施いたします。

17. 個人情報の提供について

- 同意する
- 同意しない

このコンテンツはMicrosoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。



【資料4-①】

シラバス参照 / 授業情報参照

授業情報 / Course Information

戻る

● 授業基本情報

科目名 / Course Title	分野横断デザイン / Cross-Disciplinary Design		
担当教員 / Instructor	竹岡 篤永, 樋口 健, 斎藤 有吾, 神田 麻衣子, 長 創一郎, 高澤 陽二郎		
対象学年 / Eligible grade	1, 2	開講番号 / Registration Code	220G3958
講義室 / Classroom		開講学期 / Semester・Term	2022年度 / Academic Year 集中 / INTENSIVE
曜日・時限 / Class Period	他 / Others	単位数 / Credits	1
授業形態 / Class Format	講義・演習	科目区分 / Category	新潟大学個性化科目 自由主題 / Niigata University Original Subjects Other Themes
副専攻 / Minor	「学修創生」(自己選択方式), 「ふるさと共創学」	定員 / Capacity	160
分野 / Academic Field	75: 新潟大学個性化科目	水準 / Academic Standard	01: 全学学生受入可・大学学習法など
抽選方式 / Selection Method	手動		
実務経験を有する教員が実施する科目 / Conducted by instructor with work experience related to the field?		遠隔授業の実施形態 / Remote Class Style	

● 授業概要情報

更新日 / Updated on	2022/09/22
対象学部等 / Eligible Faculty	全学部 / 1, 2年
聴講指定等 / Designated Students	詳細は、「登録のための条件(注意)」を参照してください。
科目の概要 / Course Outline	「分野横断デザイン」は2つあるマイナー学修支援科目の1つで、「全学分野横断創生(NICE)プログラム」における導入科目です。★この科目は、おおむね隔週で開講します。
科目のねらい / Course Objectives	自らが持っている興味・関心を探究課題として捉えなおし、その探究課題に結びつく形で「マイナー学修デザイン」(自らのねらいに沿ったマイナー学修の計画書)をつくりあげることがねらいです。個人が持つ興味・関心は、社会からの影響を受けながら形づくられていきます。現代社会の課題に向かっていくためには、自分と社会と接点を複数領域の学びに展開させていくことが必要になってきます。例えば、貧困に関心があったとした場合、その課題は一つの分野では解決できません。人口、食糧、政治、制度など、貧困という課題に対するアプローチの方法は多岐にわたるといえるでしょう。つまり本科目では、ある課題に対して、自分の専門領域(メジャー)とは別のものの見方でとらえる力を養うためのマイナー学修について、自分なりのねらいと学修計画を立てることを目的としています。
学習の到達目標 / Specific Learning Objectives	(1) マイナー学修デザイン(自らのねらいに沿ったマイナー学修の計画書)を作成することができる。 (2) 自らの興味・関心を探究課題として捉えなおし、それをメジャー・マイナー両領域から説明できる。 (3) 協働学習を含む総合的な学修活動において、自らを動機づけ、自律的に学びに向かうことができる。
登録のための条件(注意) / Prerequisites	<p><履修のための必須条件></p> <p>① 1年生、または、2年生であること。 ② マイナー学修(副専攻)の履修希望者であること。 ③ 本科目の登録前に学務情報システムの「マイナー学修(副専攻)関連」で、「履修」申請をしておくこと。 ※未申請の場合は、履修不許可となります。</p> <p><推奨要件(なるべくしておいた方がよいこと)></p> <p>① ガイダンス動画の視聴 ・副専攻の位置づけ等と知るためにガイダンス動画を事前に視聴しておくことが望ましい。 ※配信日付などの詳細は学務情報システムで連絡します。 ② 学修デザイン相談 ・詳細が知りたい、履修を迷っているなどの場合には、事前に「学修デザイン相談」で相談することを推奨します。 ※相談日、相談方法は、下記関連リンクの「アカデミック・アドバイジング」「よくある質問/お問い合わせ」を参照してください。</p> <p><本科目の履修について></p> <p>・本科目は「学修創生型マイナー」の必修科目です。「学修創生型」希望者は、必ず履修してください。 ⇒本理由により、履修人数が定員を超えた場合は「学修創生型マイナー」希望者を優先します。 ・「分野横断デザイン」は複数開講されていますが、ほぼ同一内容ですので、どれか1つしか履修できません。</p> <p><履修登録・許可期間></p>

	<ul style="list-style-type: none"> 履修登録期間（学生）：10月3日（月）から10月14日（金）まで 履修許可期間（教員）：10月15日（土）から10月18日（火）まで
授業実施形態について /Class Format	<ul style="list-style-type: none"> 本科目の各回授業は「事前学習+授業（講義+グループ学習）+事後学習」という構成を取っています。加えて、5か月間の授業期間中の1回以上の「学修デザイン相談」（対面またはZoomでアドバイザーに相談）を強く推奨します。 授業（講義+グループ学習）はZoom（リアルタイムと動画配信を併用）により実施します。 ※他の授業等の都合により、リアルタイムで出席できない場合は、講義部分については動画配信で確認が可能です。ただし、本科目ではグループ学習を通じて協働学習のスキルを学んでもらうことも目標の一つであるため、1～2回程度を動画視聴の限度とします。 ★★★学部・主専攻の必修科目の都合で、「授業計画詳細情報」の授業日（水曜日6限）がどうしてもふさがっている場合は2学期に開講されているもう一つの「分野横断デザイン」の履修を検討してください。また、パッケージ型、オナーズ型の履修をすでに始めている方は、もう一つの「分野横断デザイン」の履修を検討してください（こちらの方でも差し支えありません）。
成績評価の方法と基準 /Grading Criteria	<ul style="list-style-type: none"> ルーブリックを用いて評価します。配点は以下の通りです。 (1) 各回の事前・事後課題、議論への参加状況：60% (2) 最終レポート：40% ※(1)(2)それぞれに、60%以上の得点を獲得していること。
使用テキスト /Textbooks	必要に応じて資料を配付する。
関連リンク /Related Links	新潟大学分野横断創生（NICE）プログラム http://www.iess.niigata-u.ac.jp/niceprogram/index.html
参考文献 /References	
キーワード /Keywords	副専攻 マイナー NICEプログラム 分野横断 分野融合
備考 /Notes	※授業の順番は進行の都合により前後することがあります。全体での内容は変わりません。

●授業計画詳細情報

No.	内容 /Content	授業時間外の学修 /Out-of-Class Study	備考 /Notes
1	授業の目的・目標と分野横断への理解を深める	グループ学習の練習があります。オンライン学修を中心にするため、カメラ・マイクなどZOOMへのアクセスが確実にできるPC等環境を整えておいてください。	10月19日（水）6限 （18:05～19:35）
2	自分の学修スタイルを把握し、学修の実行可能性を高める	学修における自らの強み・弱みを明確にし、整理し提出します（詳細はひとつ前の講義で説明します）。授業中に「仕事現場の分野横断」を学ぶコーナーがあります（参加企業未定）。	10月26日（水）6限 （18:05～19:35）
3	メジャーから何を学ぶかを確認する	メジャーという領域について掘り下げる調査をし、整理し提出します（詳細はひとつ前の講義で説明します）。授業中に「仕事現場の分野横断」を学ぶコーナーがあります（参加企業未定）。	11月9日（水）6限 （18:05～19:35）
4	興味・関心を探究につなげる	自らの興味・関心に関連する語を挙げ、調査し、整理し提出します（詳細はひとつ前の講義で説明します）。授業中に「仕事現場の分野横断」を学ぶコーナーがあります（参加企業未定）。	11月16日（水）6限 （18:05～19:35）
5	興味・関心とメジャーと社会とをつなぐ	探究したい興味・関心（マイナー）とメジャーと社会とのつながりを記述し、提出します（詳細はひとつ前の講義で説明します）。授業中に「仕事現場の分野横断」を学ぶコーナーがあります（参加企業未定）。	12月7日（水）6限 （18:05～19:35）
6	マイナー学修の科目・活動を見つける	マイナーとして履修したい科目の詳細について調べて、整理し提出します（詳細はひとつ前の講義で説明します）。	12月21日（水）6限 （18:05～19:35）
7	興味・関心をマイナー学修につなげる	自らの興味・関心からメジャー外の領域を見だし、マイナーとして調査し、整理し提出します（詳細はひとつ前の講義で説明します）。	1月11日（水）6限 （18:05～19:35）
8	授業をふりかえり、マイナー学修へ漕ぎ出す	本授業をふりかえるセルフインタビュー動画を作成し、提出します。また、マイナー学修デザイン（マイナー学修の計画表）と学びを総括した最終レポートを提出します（詳細はひとつ前の講義で説明します）。	1月25日（水）6限 （18:05～19:35）

授業情報 / Course Information

戻る

● 授業基本情報

科目名 / Course Title	分野横断デザイン / Cross-Disciplinary Design		
担当教員 / Instructor	竹岡 篤永, 高澤 陽二郎, 神田 麻衣子, 斎藤 有吾, 長 創一郎, 樋口 健		
対象学年 / Eligible grade	1, 2	開講番号 / Registration Code	220G3968
講義室 / Classroom		開講学期 / Semester · Term	2022年度 / Academic Year 集中 / INTENSIVE
曜日・時限 / Class Period	他 / Others	単位数 / Credits	1
授業形態 / Class Format	講義・演習	科目区分 / Category	新潟大学個性化科目 自由主題 / Niigata University Original Subjects Other Themes
副専攻 / Minor	「学修創生」(自己選択方式), 「ふるさと共創学」	定員 / Capacity	60
分野 / Academic Field	75: 新潟大学個性化科目	水準 / Academic Standard	01: 全学学生受入可・大学学習法など
抽選方式 / Selection Method	手動		
実務経験を有する教員が実施する科目 / Conducted by instructor with work experience related to the field?		遠隔授業の実施形態 / Remote Class Style	

● 授業概要情報

更新日 / Updated on	2022/09/29
対象学部等 / Eligible Faculty	全学部 / 1・2年生
聴講指定等 / Designated Students	詳細は、「登録のための条件(注意)」を参照してください。
科目の概要 / Course Outline	<p>「分野横断デザイン」は2つあるマイナー学修支援科目の1つで、「全学分野横断創生(NICE)プログラム」における導入科目です。</p> <p>★この科目は、講義形式ではなく、以下のような構成で成り立っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eラーニング(10月~1月) ・面談(11月までに1回、1月までに1回の合計2回) ・春休みの集中講義(2月15日の3・4限) <p>★時間割に縛られずに自由な時間に学習が可能な科目です。</p>
科目のねらい / Course Objectives	<p>自らが持っている興味・関心を探究課題として捉えなおし、その探究課題に結びつく形で「マイナー学修デザイン」(自らのねらいに沿ったマイナー学修の計画書)をつくりあげることがねらいです。</p> <p>個人が持つ興味・関心は、社会からの影響を受けながら形づくられていきます。現代社会の課題に向かっていくためには、自分と社会と接点を複数領域の学びに展開させていくことが必要になってきます。例えば、貧困に関心があったとした場合、その課題は一つの分野では解決できません。人口、食糧、政治、制度など、貧困という課題に対するアプローチの方法は多岐にわたるといえるでしょう。つまり本科目では、ある課題に対して、自分の専門領域(メジャー)とは別のものの見方でとらえる力を養うためのマイナー学修について、自分なりのねらいと学修計画を立てることを目的としています。</p>
学習の到達目標 / Specific Learning Objectives	<p>(1)マイナー学修デザイン(自らのねらいに沿ったマイナー学修の計画書)を作成することができる。</p> <p>(2)自らの興味・関心を探究課題として捉えなおし、それをメジャー・マイナー両領域から説明できる。</p> <p>(3)協働学習を含む総合的な学修活動において、自らを動機づけ、自律的に学びに向かうことができる。</p>
登録のための条件(注意) / Prerequisites	<p><履修のための必須条件></p> <p>①1年生、または、2年生であること。</p> <p>②マイナー学修(副専攻)の履修希望者であること。</p> <p>③本科目の登録前に学務情報システムの「マイナー学修(副専攻)関連」で、「履修」申請をしておくこと。</p> <p>※未申請の場合は、履修不許可となります。</p> <p><推奨要件(なるべくしておいた方がよいこと)></p> <p>①ガイダンス動画の視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副専攻の位置づけ等と知るためにガイダンス動画を事前に視聴しておくことが望ましい。 ※配信日付などの詳細は学務情報システムで連絡します。 <p>②学修デザイン相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳細が知りたい、履修を迷っているなどの場合には、事前に「学修デザイン相談」で相談することを推奨します。 ※相談日、相談方法は、下記関連リンクの「アカデミック・アドバイジング」「よくある質問/お問い合わせ」を参照してください。 <p><本科目の履修について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本科目は「学修創生型マイナー」の必修科目です。「学修創生型」希望者は、必ず履修してください。

	⇒本理由により、履修人数が定員を超えた場合は「学修創生型マイナー」希望者を優先します。 ・「分野横断デザイン」は複数開講されていますが、ほぼ同一内容ですので、どれか1つしか履修できません。 <履修登録・許可期間> ・履修登録期間(学生)：10月3日(月)から10月14日(金)まで(予定) ⇒なるべく多くの学生に登録してもらいたいため、期限を過ぎてしまった場合はお問い合わせください。
授業実施形態について /Class Format	・授業はくeラーニング+面談+春休みの集中講義>により実施します。 ※次の場合にあてはまる学生はこちらを受講してください。 ・学部・主専攻の必修科目の都合で、「授業計画詳細情報」の授業日(水曜日6限)がどうしてもふさがっている場合 ・すでにパッケージ型マイナー、オナーズ型マイナーの履修を始めていて、それらのマイナー学修の意義についてより深く考えたい場合 なお、この授業は、自分で計画的に進めることが強く求めます。自分ひとりでは計画通りに実施できない場合は、必要に応じて、アカデミック・アドバイザーに相談しながら進めてください。
成績評価の方法と基準 /Grading Criteria	ループリックを用いて評価します。配点は以下の通りです。 (1)各回の事前・事後課題：60% (2)最終レポート(マイナー学修デザインを含む)、議論への参加状況、学修デザイン相談の利用状況：40% ※(1)(2)それぞれに、60%以上の得点を獲得していること。
使用テキスト /Textbooks	必要に応じて資料を配付する。
関連リンク /Related Links	新潟大学分野横断創生(NICE)プログラム https://www.iess.niigata-u.ac.jp/niceprogram/index.html
参考文献 /References	
キーワード /Keywords	副専攻 マイナー NICEプログラム 分野横断 分野融合
備考 /Notes	担当教員の中に2人のアカデミック・アドバイザーがいます(神田・竹岡)。 アカデミック・アドバイジング(学生と履修等について話し合うこと)の目標は、マイナー履修計画の立案を個別に支援することです。その目標に向かって、アカデミック・アドバイザーと学生は互いに責任を持って話し合います。その結果として、「まさにこれが自分のやりたいことだ」「この計画ならうまくいく」という『マイナー学修デザイン(計画書)』をつくりあげます。

●授業計画詳細情報

No.	内容 /Content	授業時間外の学修 /Out-of-Class Study	備考 /Notes
1	【第1回】 ・授業の目的・目標への理解を深める ・大学生としての学び方を確認する ・自分の学修スタイルを把握し、学修の実行可能性を高める方法を探る	1)本授業の目的・目標を、資料・動画で確認する。理解度確認クイズを行う。 2)本授業から得たいものについて、他の受講者と掲示板で意見を交換する(兼自己紹介)。 3)資料・動画で、大学生としての学び方を確認し、学修における自らの強み・弱みについてのレポートを提出する。 ※選択したい/しているマイナータイプ、将来見通しなどについての簡単なアンケートがあります。 ★3回目の面談までに、「学修デザイン相談タイム(火・木・金の11:55~12:45/14:00~16:00)」に必ず1回以上来てください。予約は必要ありません。	以下の間に学習を行ってください。 【開始】10月6日(水)8:00~ 【終了】10月27日(木)23:59まで
2	【第2回】 ・興味・関心をマイナー学修(探究課題)につなげる ・マイナー履修の必要性について考える	1)自らの興味・関心に関連する語を挙げ、関連図を書き、調査内容を加え、レポートとして提出する。 2)「仕事現場の分野横断①」の動画を見て、分野横断の必要性についてのミニ・レポートを提出する。 3)第2回の授業内容についてふりかえりを掲示板に投稿し、他の受講者と意見交換をする。	【開始】10月6日(水)8:00~ 【終了】11月10日(木)23:59まで
3	【第3回】 ・興味・関心を深める【アカデミック・アドバイザーとの面談(30分~60分程度)】 ・マイナー履修の必要性について考える	1)自分の興味・関心について深めるため、アカデミック・アドバイザーと話をする。 2)面談のふりかえりを提出する。 3)「仕事現場の分野横断②」の動画を見て、分野横断の必要性についてのミニ・レポートを提出する。 4)第3回の授業内容についてふりかえりを掲示板に投稿し、他の受講者と意見交換をする。 ※面談日時は予約してください。先に予約してもかまいませんが、面談前に、必ず、第1回・第2回の学習を終えてください。	【開始】第1回・第2回の学習終了後~ 【終了】11月30日(水)までに予約の上、相談に来ること
4	【この回はオプションです】 ・マイナー学修者と知り合う	教員、SA(チュードントアシスタント)、受講者が知り合い、マイナー学修について話し合う回を設けます。受講仲間、先輩、教員と知り合うためのものです。 ※参加は必須ではありませんし、成績とも関係はありません。	【対面】11月29日(火)3限に開催

5	<p>【第4回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メジャーから何を学ぶかを確認する ・マイナー履修の必要性について考える 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 自分自身のメジャー領域について掘り下げる調査をし、レポートとして提出する。 2) 「仕事現場の分野横断③」の動画を見て、分野横断の必要性についてのミニ・レポートを提出する。 3) 第4回の授業内容についてふりかえりを掲示板に投稿し、他の受講者と意見交換をする。 	<p>【開始】11月30日 (水) 8:00～ 【終了】12月22日 (木) 23:59まで</p>
6	<p>【第5回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会に関心を広げる ・マイナー履修の必要性について考える 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「仕事現場の分野横断④」の動画を見て、分野横断の必要性についてのミニ・レポートを提出する。 2) これまでに見た4本の動画も参考に、マイナー学修の意義についてのレポートを提出する。 3) 第5回の授業内容についてふりかえりを掲示板に投稿し、他の受講者と意見交換をする。 	<p>【開始】11月30日 (水) 8:00～ 【終了】1月12月 (木) 23:59までに 提出すること</p>
7	<p>【第6回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナー学修の意義と自分なりのねらいを深める【アカデミック・アドバイザーとの面談(30分～60分程度)】 	<ol style="list-style-type: none"> 1) マイナー学修の意義と、自分なりのねらいについて深めるため、アカデミック・アドバイザーと話をする。 2) 面談のふりかえりを提出する。 3) 第6回の授業内容についてふりかえりを掲示板に投稿し、他の受講者と意見交換をする。 <p>※「学修創生型マイナー」を選択している学生は、科目選択について、追加の学習・面談を行う必要があります。</p>	<p>【開始】第4回・第5 回の学習終了後～ 【終了】1月31日 (火) までに予約の上、 相談に来ること</p>
8	<p>【第7回&第8回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナー学修へ漕ぎ出す 	<p>0) 対面授業に参加する前に、マイナー学修についてのセルフインタビュー動画を作成し、提出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業を受けた動機、得られたもの、マイナー学修の意義とねらいなど、これまでの授業の内容について受講者が集まってディスカッションする。 2) マイナー学修デザイン(マイナー学修の計画表)と学びを総括した最終レポートを提出する。 	<p>【セルフインタビュー動画】2月13日 (月) 23:59までに 提出すること 【対面授業】2月15日 (水) 3限・4限に実施 【最終課題】2月28日 (火) 23:59までに 提出すること</p>

【資料4-②】

授業情報 / Course Information

戻る

● 授業基本情報

科目名 / Course Title	分野横断デザイン / Cross-Disciplinary Design		
担当教員 / Instructor	上島 洋佑		
対象学年 / Eligible grade	1, 2, 3, 4, 5, 6	開講番号 / Registration Code	230G3949
講義室 / Classroom		開講学期 / Semester・Term	2023年度 / Academic Year 集中 / INTENSIVE
曜日・時限 / Class Period	水/Wed 6限	単位数 / Credits	1
授業形態 / Class Format	講義・演習	科目区分 / Category	新潟大学個性化科目 自由主題 / Niigata University Original Subjects Other Themes
副専攻 / Minor	「学修創生」(自己選択方式), 「ふるさと共創学」	定員 / Capacity	40
分野 / Academic Field	75: 新潟大学個性化科目	水準 / Academic Standard	01: 全学学生受入可・大学学習法など
抽選方式 / Selection Method	手動		
実務経験を有する教員が実施する科目 / Conducted by instructor with work experience related to the field?		遠隔授業の実施形態 / Remote Class Style	同時双方向型授業 / Interactive

● 授業概要情報

更新日 / Updated on	2023/04/28
対象学部等 / Eligible Faculty	全学部 / 1,2年次
聴講指定等 / Designated Students	なし
科目の概要 / Course Outline	<p>大学では、自分で学びをデザインできます。つまり、これまでの学校生活における「勉強」とは趣が異なるということです。</p> <p>卒業後に目標とするキャリアがはっきりしている人はもちろん、していない人にも、また、専門以外に自分の「好き」を追求したい人にも、大学で何をしたいのかわからない人にも、すべての学生にマイナーは開かれています。マイナーとは、学部の主専攻（メジャー）以外の分野を体系的に学ぶことのできる制度のことです。</p> <p>マイナー履修を通して、大学での学びがどういうものかを改めて考え、これからの学びの計画を立てるのが、「分野横断デザイン」です。</p> <p>本科目は、マイナー支援科目のひとつで、「全学分野横断創生(NICE)プログラム」における導入科目です。</p>
科目のねらい / Course Objectives	<p>所属する学部の専門以外にも「こんなことを学びたい」「これについてもっとよく知っておきたい」という興味・関心や、「視野を広げたい」という気持ちがあると思います。</p> <p>「分野横断デザイン」は、自分が持っている興味や関心、マイナーの探究課題としてとらえ直し、その探究課題に結びつくかたちで「マイナー学修デザイン」(=マイナー学修の計画書)をつくりあげていくことをねらいとしています。</p> <p>どんなトピックでも、社会のなかで起こっていることならば、複数の分野からアプローチすることが可能です。自分のなかで複数の視点を持てるようになること、また、違う視点を持つ異分野の人たちと協働できるようになること。これがマイナーの「分野横断型学修」の目指すところです。</p>
学習の到達目標 / Specific Learning Objectives	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「マイナー学修デザイン」(自らのねらいに沿ったマイナー学修の計画書)を作成することができる。 (2) 自らの興味・関心を探究課題として捉えなおし、それをメジャー・マイナー両領域から説明できる。 (3) 協働学習を含む総合的な学修活動において、自らを動機づけ、自律的に学びに向かうことができる。
登録のための条件(注意) / Prerequisites	<p>※ 「分野横断デザイン」は複数開講されていますが、ほぼ同一内容ですので、どれか1つしか履修できません。</p> <p>※ 【すでにマイナー履修の意思を固めている場合】学務情報システムの「マイナー学修(副専攻)関連」で、希望するマイナーパッケージ/プログラムの履修登録をおこなってください。特に、「学修創生型マイナー」、およびパッケージ型マイナー「ふるさと共創学」を履修する場合、本科目は必修科目となっています。</p> <p>(本科目履修後にもマイナー履修登録・変更・取り消しの機会があります。したがって、マイナー履修の意思が固まっていない場合は、本科目履修後にこちらの操作をしても差し支えありません。)</p> <p>※ 副専攻(マイナー)の位置づけなどを知るために、「ガイダンス動画」を事前に視聴しておいてください。https://youtu.be/KeJ1MYbugIs (学務情報システムを通じた配信もあります。)</p>

授業実施形態について /Class Format	・遠隔授業：講義，演習・グループワーク ※ NICEプログラムでは，マイナーの履修を支援するための「学修デザイン相談」が開設されています。授業課題への取り組み方のほか，本科目の履修やマイナー履修についてわからないことがあった場合には，「学修デザイン相談」を活用してください。（「学修デザイン相談」について，くわしくは「関連リンク」から「サポート体制・アカデミック・アドバイジング」のページを参照してください。）
成績評価の方法と基準 /Grading Criteria	ルーブリックを用いて評価します。配点は以下の通りです。 (1) 各回の事前・事後課題：60% (2) 最終レポート（「マイナー学修デザイン」を含む），議論への参加状況，「学修デザイン相談」の利用状況：40% ※ (1), (2) それぞれに，60%以上の得点を獲得していること。
使用テキスト /Textbooks	必要に応じて資料を配布します。
関連リンク /Related Links	新潟大学分野横断創生(NICE)プログラム
参考文献 /References	
キーワード /Keywords	副専攻 マイナー NICEプログラム 分野横断 分野融合 グループワーク
備考 /Notes	

●授業計画詳細情報

No.	内容 /Content	授業時間外の学修 /Out-of-Class Study	備考 /Notes
1	オリエンテーション 【説明】授業のねらい，成績評価など概要説明 【講義】グループワークの基礎スキル，ルール 【グループワーク】自己紹介	【事後課題】授業の振り返り 【次回グループワークに向けた事前ワーク】 ・高校など，これまでの学校生活における学び/勉強を振り返る。 ・大学でどう学びたいか	第1回 4月19日 (水)6限(18:05~19:35)
2	勉強思考をリセットする 【グループワーク】これまでの学校生活における学び/勉強を振り返る →よかったこと，いやだったことを共有 →大学でどんな風に学びたいか 【講義】大学での学びとは？	【事後課題】授業の振り返り 【次回グループワークに向けた事前ワーク】 マイナーとして何を学びたいか（構想）	第2回 4月26日 (水)6限(18:05~19:35)
3	それぞれの「定点」を理解する 【グループワーク】マイナーとして何を学びたいか →構想を共有 →どんな分野横断ができそうか	【事後課題】授業の振り返り 【次回グループワークに向けた事前ワーク】 自分の大学での学び（メジャー，マイナー）はどのように社会とつながるか	第3回 5月10日 (水)6限(18:05~19:35)
4	社会とつながる 【グループワーク】それぞれが「社会とつながる」方法，ルートにはどんなものがあるか →メジャーやマイナーとの関係は？ →「つながり」のタイムラインを考えてみる	【事後課題】授業の振り返り 【次回グループワークに向けた事前ワーク】 マイナー学修の「ねらいと概要」を書く	第4回 5月24日 (水)6限(18:05~19:35)
5	学びのキーワードを浮かび上がらせる：マイナー計画を立てる① 【グループワーク】「ねらいと概要」を共有する →それぞれのマイナーについて，キーワード候補を考える 【講義】科目リストの作り方	【事後課題】授業の振り返り 【次回グループワークに向けた事前ワーク】 キーワードをもとにして，科目リストを作る	第5回 6月14日 (水)6限(18:05~19:35)
6	学びのアイデアを共有する：マイナー計画を立てる② 【グループワーク】 ・マイナー学修の科目，視点について意見交換 →マイナーの方向性が同じ，似ている人と →自分のマイナーをメジャーとしている人と 【講義】「マイナー学修デザイン」の名称について	【事後課題】授業の振り返り 【次回グループワークに向けた事前ワーク】 「マイナー学修デザイン」をつくる	第6回 6月28日 (水)6限(18:05~19:35)
7	「マイナー学修デザイン」を発表する 【発表会】 自分の「マイナー学修デザイン」を発表する (ひとり4分程度，質疑応答も含む) 【説明】「(セルフ)インタビュー動画」について	【事後課題】授業の振り返り 【次回グループワークに向けた事前ワーク】 (セルフ)インタビュー動画のシナリオづくり	第7回 7月12日 (水)6限(18:05~19:35)
8	(セルフ)インタビュー動画をつくる	【事後課題】授業の振り返り 【最終課題】最終レポート，「マイナー学修デザイン」	第8回 7月26日 (水)6限(18:05~19:35)

【グループワーク】動画作成
→自分の決めた方式にもとづいて、協力しながら撮影する

(提出期限は授業中に指示します)

05～19:35)

授業情報 / Course Information

戻る

● 授業基本情報

科目名 / Course Title	分野横断デザイン / Cross-Disciplinary Design		
担当教員 / Instructor	神田 麻衣子		
対象学年 / Eligible grade	1, 2, 3, 4, 5, 6	開講番号 / Registration Code	231G3245
講義室 / Classroom	総合教育研究棟B棟5F7 th レゼナルーム	開講学期 / Semester・Term	2023年度 / Academic Year 第1ターム / the first term
曜日・時限 / Class Period	月 / Mon 4限	単位数 / Credits	1
授業形態 / Class Format	講義・演習	科目区分 / Category	新潟大学個性化科目 自由主題 / Niigata University Original Subjects Other Themes
副専攻 / Minor	「学修創生」(自己選択方式), 「ふるさと共創学」	定員 / Capacity	20
分野 / Academic Field	75 : 新潟大学個性化科目	水準 / Academic Standard	01 : 全学学生受入可・大学学習法など
抽選方式 / Selection Method	手動		
実務経験を有する教員が実施する科目 / Conducted by instructor with work experience related to the field?		遠隔授業の実施形態 / Remote Class Style	

● 授業概要情報

更新日 / Updated on	2023/03/03
対象学部等 / Eligible Faculty	全学部 / 1,2年次
聴講指定等 / Designated Students	なし
科目の概要 / Course Outline	<p>大学では、自分で学びをデザインできます。つまり、これまでの学校生活における「勉強」とは趣が異なるということです。</p> <p>卒業後に目標とするキャリアがはっきりしている人はもちろん、していない人にも、また、専門以外に自分の「好き」を追求したい人にも、大学で何をしたいのかわからない人にも、すべての学生にマイナーは開かれています。マイナーとは、学部の主専攻（メジャー）以外の分野を体系的に学ぶことのできる制度のことです。</p> <p>マイナー履修を通して、大学での学びがどういうものかを改めて考え、これからの学びの計画を立てるのが、「分野横断デザイン」です。</p> <p>本科目は、マイナー支援科目のひとつで、「全学分野横断創生(NICE)プログラム」における導入科目です。</p>
科目のねらい / Course Objectives	<p>所属する学部の専門以外にも「こんなことを学びたい」「これについてもっとよく知っておきたい」という興味・関心や、「視野を広げたい」という気持ちがあると思います。</p> <p>「分野横断デザイン」は、自分が持っている興味や関心、マイナーの探究課題としてとらえ直し、その探究課題に結びつくかたちで「マイナー学修デザイン」(=マイナー学修の計画書)をつくりあげていくことをねらいとしています。</p> <p>どんなトピックでも、社会のなかで起こっていることならば、複数の分野からアプローチすることが可能です。自分のなかで複数の視点を持てるようになること、また、違う視点を持つ異分野の人たちと協働できるようになること。これがマイナーの「分野横断型学修」の目指すところです。</p>
学習の到達目標 / Specific Learning Objectives	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「マイナー学修デザイン」(自らのねらいに沿ったマイナー学修の計画書)を作成することができる。 (2) 自らの興味・関心を探究課題として捉えなおし、それをメジャー・マイナー両領域から説明できる。 (3) 協働学習を含む総合的な学修活動において、自らを動機づけ、自律的に学びに向かうことができる。
登録のための条件(注意) / Prerequisites	<p>※ 「分野横断デザイン」は複数開講されていますが、ほぼ同一内容ですので、どれか1つしか履修できません。</p> <p>※ 【すでにマイナー履修の意思を固めている場合】学務情報システムの「マイナー学修(副専攻)関連」で、希望するマイナーパッケージ/プログラムの履修登録をおこなってください。特に、「学修創生型マイナー」、およびパッケージ型マイナー「ふるさと共創学」を履修する場合、本科目は必修科目となっています。</p> <p>(本科目履修後にもマイナー履修登録・変更・取り消しの機会があります。したがって、マイナー履修の意思が固まっていない場合は、本科目履修後にこちらの操作をしても差し支えありません。)</p> <p>※ 副専攻(マイナー)の位置づけなどを知るために、「ガイダンス動画」を事前に視聴しておいてください。https://youtu.be/Q6Gx0wzPSd0 (学務情報システムを通じた配信もあります。)</p>

授業実施形態について /Class Format	・対面授業：講義，演習・グループワーク ※ NICEプログラムでは，マイナーの履修を支援するための「学修デザイン相談」が開設されています。授業課題への取り組み方のほか，本科目の履修やマイナー履修についてわからないことがあった場合には，「学修デザイン相談」を活用してください。（「学修デザイン相談」について，くわしくは「関連リンク」から「サポート体制・アカデミック・アドバイジング」のページを参照してください。）
成績評価の方法と基準 /Grading Criteria	ルーブリックを用いて評価します。配点は以下の通りです。 (1) 各回の事前・事後課題：60% (2) 最終レポート（「マイナー学修デザイン」を含む），議論への参加状況，「学修デザイン相談」の利用状況：40% ※ (1), (2) それぞれに，60%以上の得点を獲得していること。
使用テキスト /Textbooks	必要に応じて資料を配布します。
関連リンク /Related Links	https://www.iess.niigata-u.ac.jp/niceprogram/index.html [名称:]新潟大学分野横断創生(NICE)プログラム
参考文献 /References	
キーワード /Keywords	副専攻 マイナー NICEプログラム 分野横断 分野融合 グループワーク
備考 /Notes	

●授業計画詳細情報

No.	内容 /Content	授業時間外の学修 /Out-of-Class Study	備考 /Notes
1	オリエンテーション 【説明】授業のねらい，成績評価など概要説明 【講義】グループワークの基礎スキル，ルール 【グループワーク】自己紹介	【事後課題】授業の振り返り 【次回グループワークに向けた事前ワーク】 ・高校など，これまでの学校生活における学び/勉強を振り返る。 ・大学でどう学びたいか	
2	勉強思考をリセットする 【グループワーク】これまでの学校生活における学び/勉強を振り返る →よかったこと，いやだったことを共有 →大学でどんな風に学びたいか 【講義】大学での学びとは？	【事後課題】授業の振り返り 【次回グループワークに向けた事前ワーク】 マイナーとして何を学びたいか（構想）	
3	それぞれの「定点」を理解する 【講義】「3つのポリシー」とは？ 大学，学部の制度について 【グループワーク】マイナーとして何を学びたいか →構想を共有 →どんな分野横断ができそうか	【事後課題】授業の振り返り 【次回グループワークに向けた事前ワーク】 自分の大学での学び（メジャー，マイナー）はどのように社会とつながるか	
4	社会とつながる 【講義】外部講師による講義 「いろんな場所・人とつながるといふこと」 ※ 外部講師については，決まり次第授業でお伝えします。 【グループワーク】それぞれが「社会とつながる」方法，ルートにはどんなものがあるか →メジャーやマイナーとの関係は？ →「つながり」のタイムラインを考えてみる	【事後課題】授業の振り返り 【次回グループワークに向けた事前ワーク】 マイナー学修の「ねらいと概要」を書く	
5	学びのキーワードを浮かび上がらせる：マイナー計画を立てる① 【グループワーク】「ねらいと概要」を共有する →それぞれのマイナーについて，キーワード候補を考える 【講義】科目リストの作り方	【事後課題】授業の振り返り 【次回グループワークに向けた事前ワーク】 キーワードをもとにして，科目リストを作る	
6	学びのアイデアを共有する：マイナー計画を立てる② 【グループワーク】 ・マイナー学修の科目，視点について意見交換 →マイナーの方向性が同じ，似ている人と →自分のマイナーをメジャーとしている人と 【講義】「マイナー学修デザイン」の名称について	【事後課題】授業の振り返り 【次回グループワークに向けた事前ワーク】 「マイナー学修デザイン」をつくる	

7	<p>「マイナー学修デザイン」を発表する</p> <p>【発表会】 自分の「マイナー学修デザイン」を発表する (ひとり4分程度, 質疑応答も含む) 【説明】「(セルフ)インタビュー動画」について</p>	<p>【事後課題】授業の振り返り 【次回グループワークに向けた事前ワーク】 (セルフ)インタビュー動画のシナリオづくり</p>	
8	<p>(セルフ)インタビュー動画をつくる</p> <p>【グループワーク】動画作成 →自分の決めた方式にもとづいて, 協力しながら撮影する</p>	<p>【事後課題】授業の振り返り 【最終課題】最終レポート, 「マイナー学修デザイン」 (提出期限は授業中に指示します)</p>	

授業情報 / Course Information

戻る

● 授業基本情報

科目名 / Course Title	分野横断デザイン / Cross-Disciplinary Design		
担当教員 / Instructor	樋口 健		
対象学年 / Eligible grade	1, 2, 3, 4, 5, 6	開講番号 / Registration Code	231G3246
講義室 / Classroom	総合教育研究棟 B-256	開講学期 / Semester・Term	2023年度 / Academic Year 第1ターム / the first term
曜日・時限 / Class Period	木/Thu 6限	単位数 / Credits	1
授業形態 / Class Format	講義・演習	科目区分 / Category	新潟大学個性化科目 自由主題 / Niigata University Original Subjects Other Themes
副専攻 / Minor	「学修創生」(自己選択方式), 「ふるさと共創学」	定員 / Capacity	20
分野 / Academic Field	75: 新潟大学個性化科目	水準 / Academic Standard	01: 全学学生受入可・大学学習法など
抽選方式 / Selection Method	手動		
実務経験を有する教員が実施する科目 / Conducted by instructor with work experience related to the field?		遠隔授業の実施形態 / Remote Class Style	

● 授業概要情報

更新日 / Updated on	2023/03/03
対象学部等 / Eligible Faculty	全学部 / 1,2年次
聴講指定等 / Designated Students	なし
科目の概要 / Course Outline	「分野横断デザイン」は2つあるマイナー学修支援科目の1つで、「全学分野横断創生(NICE)プログラム」における導入科目です。
科目のねらい / Course Objectives	自らが持っている興味・関心を探究課題として捉えなおし、その探究課題に結びつく形で「マイナー学修デザイン」(自らのねらいに沿ったマイナー学修の計画書)をつくりあげることがねらいです。 個人が持つ興味・関心は、社会からの影響を受けながら形づくられていきます。現代社会の課題に向かっていくためには、自分と社会と接点を複数領域の学びに展開させていくが必要になってきます。例えば、貧困に関心があるとした場合、その課題は一つの分野では解決できません。人口、食糧、政治、制度など、貧困という課題に対するアプローチの方法は多岐にわたるといえるでしょう。つまり本科目では、ある課題に対して、自分の専門領域(メジャー)とは別のもの見方でとらえる力を養うためのマイナー学修について、自分なりのねらいと学修計画を立てることを目的としています。
学習の到達目標 / Specific Learning Objectives	(1) マイナー学修デザイン(自らのねらいに沿ったマイナー学修の計画書)を作成することができる。 (2) 自らの興味・関心を探究課題として捉えなおし、それをメジャー・マイナー両領域から説明できる。 (3) 協働学習を含む総合的な学修活動において、自らを動機づけ、自律的に学びに向かうことができる。
登録のための条件(注意) / Prerequisites	※ 「分野横断デザイン」は複数開講されていますが、ほぼ同一内容ですので、どれか1つしか履修できません。 ※ 【すでにマイナー履修の意思を固めている場合】学務情報システムの「マイナー学修(副専攻)関連」で、希望するマイナーパッケージ/プログラムの履修登録をおこなってください。特に、「学修創生型マイナー」、およびパッケージ型マイナー「ふるさと共創学」を履修する場合、本科目は必修科目となっています。 (本科目履修後にもマイナー履修登録・変更・取り消しの機会があります。したがって、マイナー履修の意思が固まっていない場合は、本科目履修後にこちらの操作をしても差し支えありません。) ※ 副専攻(マイナー)の位置づけなどを知るために、「ガイダンス動画」を事前に視聴しておください。 https://youtu.be/Q6Gx0wzPSd0 (学務情報システムを通じた配信もあります。)
授業実施形態について / Class Format	・本科目の各回授業は「事前学習+授業(講義+グループ学習)+事後学習」という構成を取っています。加えて、5か月間の授業期間中の1回以上の「学修デザイン相談」(対面またはZoomでアドバイザーに相談)を強く推奨します。 ・授業(講義+グループ学習)は原則的に対面により実施します。このうち、遠隔地からゲスト講師が参加される場合に、オンラインで実施することがあります。 ※他の授業等の都合により、リアルタイムで出席できない場合は、講義部分については動画配信で確認が可

	能です。ただし、本科目ではグループ学習を通じて協働学習のスキルを学んでもらうことも目標の一つであるため、1～2回程度を動画視聴の限度とします。 ★★★「分野横断デザイン」は同じ内容のものが複数開講されています。
成績評価の方法と基準 /Grading Criteria	ルーブリックを用いて評価します。配点は以下の通りです。 (1) 各回の事前・事後課題：60% (2) 最終レポート（マイナー学修デザインを含む）、議論への参加状況、学修デザイン相談の利用状況：40% ※（1）（2）それぞれに、60%以上の得点を獲得していること。
使用テキスト /Textbooks	必要に応じて資料を配付する。
関連リンク /Related Links	新潟大学分野横断創生（NICE）プログラム http://www.iess.niigata-u.ac.jp/niceprogram/index.html
参考文献 /References	
キーワード /Keywords	副専攻 マイナー NICEプログラム 分野横断 分野融合
備考 /Notes	

●授業計画詳細情報

No.	内容 /Content	授業時間外の学修 /Out-of-Class Study	備考 /Notes
1	授業の目的・目標への理解を深め、グループ学習の基礎スキルを学ぶ	授業内容の確認とアンケートを提出します。	★第2回目から7回目のいずれの回で、授業中に「仕事現場の分野横断」を学ぶコーナーがあります。 ★状況を踏まえ、各回の授業の内容を柔軟に変更する場合があります。
2	自分の学修スタイルを把握し、学修の実行可能性を高める	学修における自らの強み・弱みを明確にし、整理し提出します。 ★第1回目の授業に参加していない学生は、動画を視聴の上で臨むようにしてください。	
3	メジャーから何を学ぶかを確認する	メジャーという領域について掘り下げる調査をし、整理し提出します。	
4	興味・関心を探究につなげる	自らの興味・関心に関連する語を挙げ、調査し、整理し提出します。	
5	興味・関心とメジャーと社会とをつなぐ	探究したい興味・関心（マイナー）とメジャーと社会とのつながりを記述し、提出します。	
6	マイナー学修の科目・活動を見つける	マイナーとして履修したい科目の詳細について、検索ワードをもとに調べ、整理し、「履修計画」として提出します。	
7	マイナー学修の計画を完成させる	マイナー学修のねらいを明確にし、マイナー学修のキーワードと履修計画との整合性を取り、到達目標を立て、「マイナー学修デザイン」として提出します。	
8	授業をふりかえり、マイナー学修へ漕ぎ出す	本授業をふりかえるセルフインタビュー動画を作成し、提出します。また、マイナー学修デザイン（マイナー学修の計画表）の完成版と学びを総括した最終レポートを提出します。	

【資料4-③】

授業情報 / Course Information

戻る

● 授業基本情報

科目名 / Course Title	分野横断リフレクション / Cross-Disciplinary Reflection		
担当教員 / Instructor	上島 洋佑, 樋口 健, 斎藤 有吾, 神田 麻衣子, 柿原 豪		
対象学年 / Eligible grade	1, 2, 3, 4, 5, 6	開講番号 / Registration Code	230G3950
講義室 / Classroom		開講学期 / Semester・Term	2023年度 / Academic Year 集中 / INTENSIVE
曜日・時限 / Class Period	他 / Others	単位数 / Credits	1
授業形態 / Class Format	講義・演習	科目区分 / Category	新潟大学個性化科目 自由主題 / Niigata University Original Subjects Other Themes
副専攻 / Minor	「学修創生」(自己選択方式), 「ふるさと共創学」	定員 / Capacity	60
分野 / Academic Field	75: 新潟大学個性化科目	水準 / Academic Standard	01: 全学学生受入可・大学学習法など
抽選方式 / Selection Method	手動		
実務経験を有する教員が実施する科目 / Conducted by instructor with work experience related to the field?		遠隔授業の実施形態 / Remote Class Style	

● 授業概要情報

更新日 / Updated on	2023/04/12
対象学部等 / Eligible Faculty	全学部 / 3・4・5・6年次
聴講指定等 / Designated Students	<p>本科目は、令和3年度にスタートした「全学分野横断創生 (NICE) プログラム」における集大成科目として位置づけられています。</p> <p>令和3、4年度の学生の実態把握等を通して「分野横断デザイン」を履修した学生だけでなく、本学専攻プログラムを学ぶすべての学生にとって、学びの振り返りをする機会を提供することが重要であると明らかになりました。</p> <p>そこで3年生以上のすべての学生に向けて開講します。</p>
科目の概要 / Course Outline	<p>本科目は、各専攻プログラムの学びや学生生活・課外活動 (インターンシップ、サークル・部活動、ボランティア等) など、みなさんの大切な人生の一部であるこれまでの大学生生活を総体的に振り返ることを通して、今後の就職活動や進学に役立てることのできる学びの資産 (リフレクションレポートとディプロマ・サプリメント等) の作成を目指す授業です。</p> <p>学びの資産を作る過程では、様々な学問分野を学んだ学生との対話や交流を通して、文理複眼的な視野を獲得していきます。またこの授業では、他者を知り自己を相対化できる経験や、自分自身の経験や価値観をポジティブに捉えなおす経験ができる機会を設けます。</p>
科目のねらい / Course Objectives	<p>本科目は、各専攻プログラムの学びや学生生活・課外活動などこれまでの大学生活について、他学部学生との対話や交流を通じた振り返りや個人での振り返りを中心に行います。この振り返りを通して、就職活動や進学に役立てることのできる学びの資産 (リフレクションレポートやディプロマ・サプリメント等) を構築し、振り返りの経験と学びの資産構築の経験を学生自らの将来に活かすことができるようになることが本科目のねらいです。</p>
学習の到達目標 / Specific Learning Objectives	<p>(1) これまでの履修科目での学びを振り返りながら科目間の関連性等を見出し、言語化・文書化することができる。</p> <p>(2) これまでの学生生活・課外活動 (インターンシップ、サークル・部活動、ボランティア等) を振り返り、言語化・文書化することができる。</p> <p>(3) 上記 (1) (2) の活動について総体的に整理しつつ、就職活動や進学に役立てることのできる学びの資産 (リフレクションレポートやディプロマ・サプリメント等) を構築することができる。</p>
登録のための条件(注意) / Prerequisites	<p><本科目の履修について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NICEプログラムの履修をしていない学生の受講も受け入れます。 ・ 本科目はNICEプログラム「学修創生型マイナー」の必修科目です。「学修創生型」でマイナー認定を希望する場合は、必ず履修してください。 ・ 2022年度以降に入学した学生について、本科目はNICEプログラム「パッケージ型マイナー」における「ふるさと共創学」の必修科目です。2022年度以降入学生で「ふるさと共創学」でマイナー認定を希望する場合は、必ず履修してください。 ・ 「パッケージ型マイナー」「オナーズ型マイナー」でマイナー認定を希望する場合も、これまでのマイナー学修の振り返りを行うことのできる本科目の履修をお勧めします。 <p><履修登録・許可期間></p>

	<ul style="list-style-type: none"> 履修登録期間（学生）：6月1日（木）から7月31日（月）まで 履修許可期間（教員）：8月1日（火）
授業実施形態について /Class Format	<ul style="list-style-type: none"> 対面授業：講義、演習・グループワーク <p>A日程+B日程選択履修方式（A日程、B日程ともに2限～5限） 1学期 A日程は8月7日（月）と8月8日（火）に同じ授業を開講※ 1学期 B日程は9月26日（火）と9月28日（木）に同じ授業を開講 ※8月10日（木）がオープンキャンパス開催日のため、8月7、8日に変更しました。（2023年4月12日（水）15時15分変更）</p> <p>A日程+B日程選択履修方式における履修の組み合わせは以下の4つから選択してください。</p> <p>①A日程は8月7日（月）+B日程は9月26日（火） ②A日程は8月7日（月）+B日程は9月28日（木） ③A日程は8月8日（火）+B日程は9月26日（火） ④A日程は8月8日（火）+B日程は9月28日（木）</p> <p>履修許可後に授業担当教員からどの組み合わせで履修するか事前質問の連絡を入れますので、必ず確認して回答してしてください。</p>
成績評価の方法と基準 /Grading Criteria	ループリックを用いて評価します。配点は以下の通りです。 (1) A日程・B日程それぞれの授業課題：80% (2) 最終レポート：20%
使用テキスト /Textbooks	必要に応じて資料を配付する。
関連リンク /Related Links	新潟大学NICEプログラム
参考文献 /References	
キーワード /Keywords	副専攻 マイナー NICEプログラム 分野横断 分野融合
備考 /Notes	

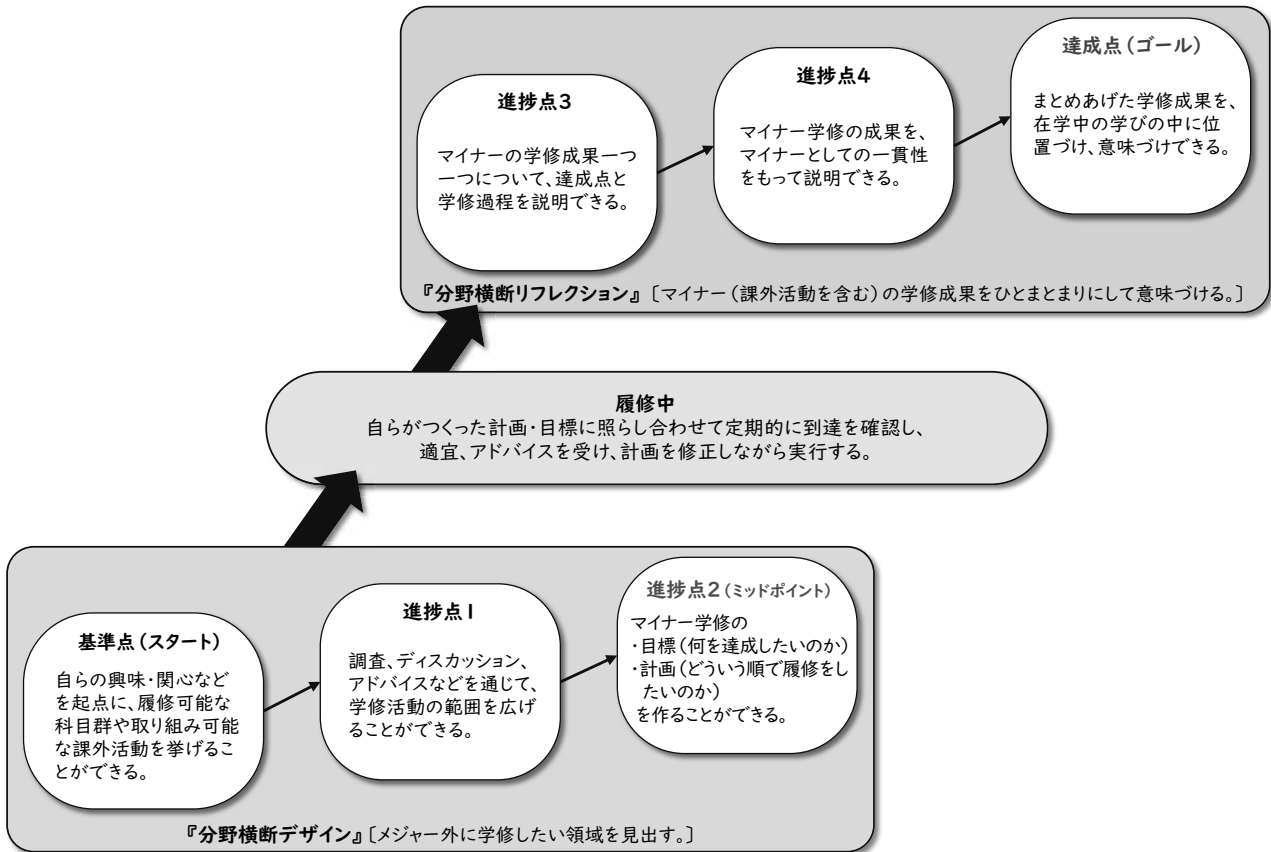
●授業計画詳細情報

No.	内容 /Content	授業時間外の学修 /Out-of-Class Study	備考 /Notes
1	<p>大学生活を振り返る（1）</p> <p>・学修デザイン（NICEプログラム履修者は「マイナー学修」デザイン）の作成方法について学ぶ。</p>	<p>【A日程の事前課題】</p> <p>これまで受講してきた授業科目に関する学びの資料（全受講科目の一覧、レポート等の授業課題）を整理し、A日程講義に当資料（紙・データどちらでも可とする）を持参できるように準備する。この資料をもとにA日程の授業を行うため、必ず準備すること。</p>	<p>A日程<8月7日（月）又は8月8日（木）のどちらかの日を選択して履修>2限</p> <p>左記「内容」「授業時間外の学修」については、記載内容の変更の可能性がある。その場合は、受講が開始する前に事前に丁寧に説明する。</p>
2	<p>大学生活を振り返る（2）</p> <p>・学修デザイン（NICEプログラム履修者は「マイナー学修」デザイン）を作成する。</p>	<p>A日程は2限から5限を通して行う集中講義のため、A日程の事前・事後課題はNo.1とNo.4に記載している。</p>	<p>A日程<8月7日（月）又は8月8日（木）のどちらかの日を選択して履修>3限</p> <p>左記「内容」「授業時間外の学修」については、記載内容の変更の可能性がある。その場合は、受講が開始する前に事前に丁寧に説明する。</p>
3	<p>大学生活を振り返る（3）</p> <p>・自らの学びをアセスメントする。</p>	<p>A日程は2限から5限を通して行う集中講義のため、A日程の事前・事後課題はNo.1とNo.4に記載している。</p>	<p>A日程<8月7日（月）又は8月8日（木）のどちらかの日を選択して履修>4限</p> <p>左記「内容」「授業時間外の学修」については、記載内容の変更の可能性がある。</p>

			る。その場合は、受講が開始する前に事前に丁寧に説明する。
4	<p>大学生生活を振り返る（４）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き自らの学びをアセスメントする。 ・作成した学修デザインを対話形式で共有し、B日程に向けて再検討する。 	<p>【A日程の事後課題】</p> <p>B日程に向けて学修デザインを完成させる。</p>	<p>A日程＜8月7日（月）又は8月8日（木）のどちらかの日を選択して履修＞5限</p> <p>左記「内容」「授業時間外の学修」については、記載内容の変更の可能性がある。その場合は、受講が開始する前に事前に丁寧に説明する。</p>
5	<p>学びの資産を構築する（１）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A日程並びに事後課題で完成させた学修デザインを対話形式で共有する。 ・B日程で作成するセルフ・カリキュラムマップと、B日程最後に着手するリフレクションレポートについて学ぶ。 	<p>【B日程の事前課題】</p> <p>A日程並びに事後課題として作成した学修デザインを完成させる。</p>	<p>B日程＜9月26日（火）又は9月28日（木）のどちらかの日を選択して履修＞2限</p> <p>左記「内容」「授業時間外の学修」については、記載内容の変更の可能性がある。その場合は、受講が開始する前に事前に丁寧に説明する。</p>
6	<p>学びの資産を構築する（２）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模造紙とポストイットを用いてセルフ・カリキュラムマップを作成し、学修成果の可視化を行う。 	<p>B日程は2限から5限を通して行う集中講義のため、B日程の事前・事後課題はNo.5とNo.8に記載している。</p>	<p>B日程＜9月26日（火）又は9月28日（木）のどちらかの日を選択して履修＞3限</p> <p>左記「内容」「授業時間外の学修」については、記載内容の変更の可能性がある。その場合は、受講が開始する前に事前に丁寧に説明する。</p>
7	<p>学びの資産を構築する（３）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したセルフ・カリキュラムマップを用いてポスターセッションで共有する。（NICEプログラム「学修創生型マイナー」受講者又は1、2年次に「分野横断デザイン」を受講した学生で希望者のみ、ポスター説明を動画として撮影する。） 	<p>B日程は2限から5限を通して行う集中講義のため、B日程の事前・事後課題はNo.5とNo.8に記載している。</p>	<p>B日程＜9月26日（火）又は9月28日（木）のどちらかの日を選択して履修＞4限</p> <p>左記「内容」「授業時間外の学修」については、記載内容の変更の可能性がある。その場合は、受講が開始する前に事前に丁寧に説明する。</p>
8	<p>学びの資産を構築する（４）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A日程で作成した学修デザインとB日程で作成したセルフ・カリキュラムマップを用いてリフレクションレポートの執筆に着手する。（NICEプログラム「学修創生型マイナー」受講者又は1、2年次に「分野横断デザイン」を受講した学生（希望者のみ）でポスター説明を動画として撮影した学生は、過去に「分野横断デザイン」で作成したセルフインタビュー動画を見ながら、自分自身の変化について記述する。） ・学務情報システム（NBAS含む）を用いて、ディプロマ・サブリメントを作成する。 	<p>【B日程の事後課題】</p> <p>リフレクションレポートを完成させ、期限までに提出する。</p>	<p>B日程＜9月26日（火）又は9月28日（木）のどちらかの日を選択して履修＞5限</p> <p>左記「内容」「授業時間外の学修」については、記載内容の変更の可能性がある。その場合は、受講が開始する前に事前に丁寧に説明する。</p>

【資料4-④】

① マイナーの創生 [メジャー外に学修したいことを見だし、学修成果に一貫した意味を与える]

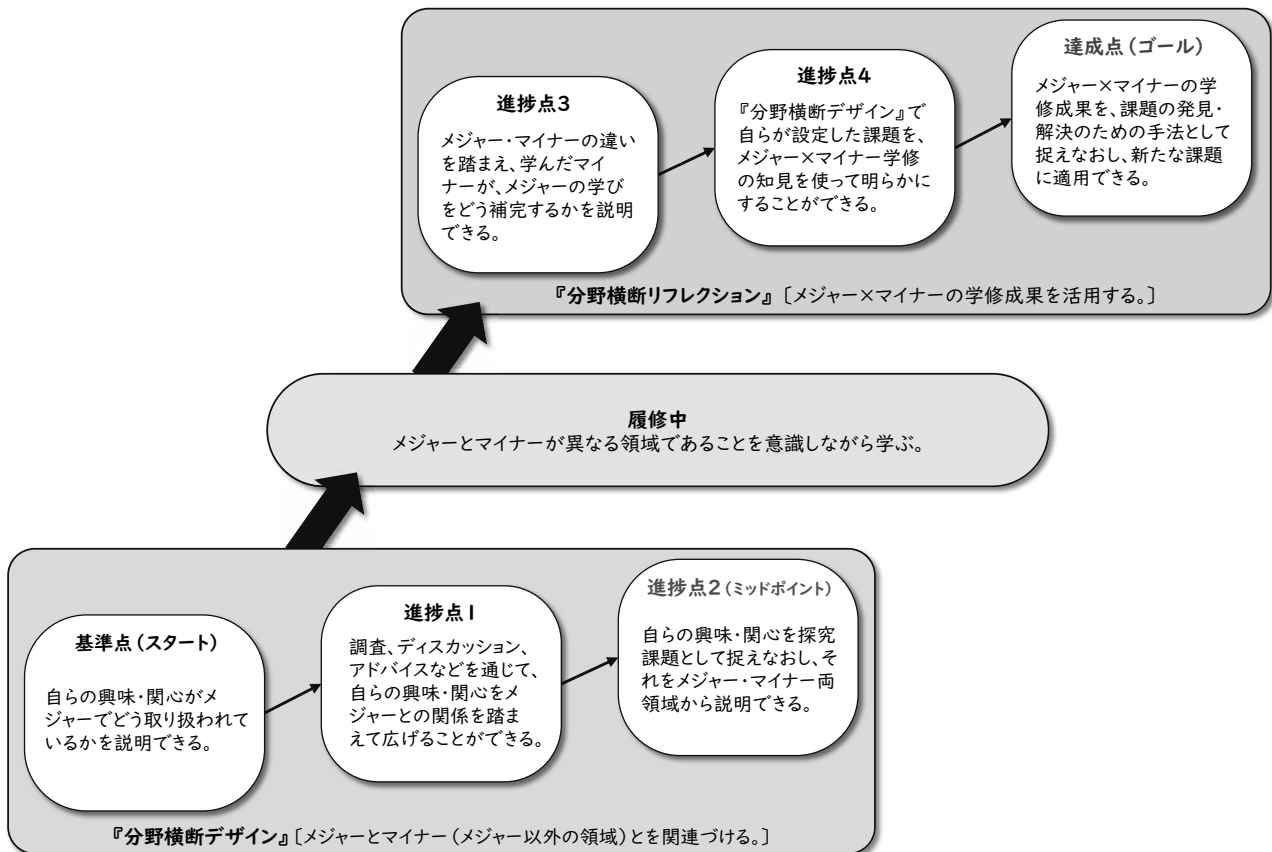


① マイナーの創生 [メジャー外に学修したいことを見だし、学修成果に一貫した意味を与える]

分野横断デザイナー進捗点2(ミッドポイント)における評価			
	レベル3	レベル2	レベル1
観点1 (「マイナー学修デザイン」で評価) マイナー学修の目標	<ul style="list-style-type: none"> マイナー学修によって何を達成したいのか、その理由とともに具体的に記述している マイナー学修をメジャーを補完するものとして、整合性のある形で記述している 	<ul style="list-style-type: none"> マイナー学修によって何を達成したいのかを記述している メジャーへの記述が含まれているが、マイナー学修との整合性がとれていない 	<ul style="list-style-type: none"> マイナー学修についてなんらかの記述があるが、獲得目標とはいえない
観点2 (「マイナー学修デザイン」で評価) マイナー科目数	<ul style="list-style-type: none"> メジャーの履修状況・課外活動・抽選漏れなどに対応できることが一目でわかるように、注記などを含めた学修計画が書けている 	<ul style="list-style-type: none"> メジャーの履修状況・課外活動・抽選漏れなどに対応できるだけの十分な科目数を挙げている 	<ul style="list-style-type: none"> 最低限の科目数を挙げている
観点3 (「マイナー学修デザイン」で評価) マイナー科目の難易度	<ul style="list-style-type: none"> 基礎科目・発展科目をバランスよく挙げている 基礎科目から発展科目へと難易度順の学修計画となっている 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎科目・発展科目の数にやや偏りがある 学修計画は書けているが、難易度順に考慮されていない部分がある 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎科目ばかり、発展科目ばかりなど、挙げた科目の難易度に偏りがある 学修計画に難易度が十分に反映されていない

分野横断リフレクシオンー達成点(ゴール)における評価			
	レベル3	レベル2	レベル1
観点1 (「最終レポート」で評価) マイナー科目群に与える名称	<ul style="list-style-type: none"> マイナーとして学んだ科目群に一貫性のある名称を与え、その中に、メジャーとの関連や単位の課外活動との関連が含まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> マイナーとして学んだ科目群に一貫性のある名称を与えている 	<ul style="list-style-type: none"> マイナーとして学んだ科目群になんらかの名称を与えている
観点2 (「最終レポート」で評価) マイナー科目群の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> マイナーとして学んだ科目群が、在学中のすべての学び(メジャー学修・課外活動を含む)の中でどのような意味を持っているかについて記述している(位置づけを明確にしている) 	<ul style="list-style-type: none"> マイナーとして学んだ科目群が、メジャー学修とどう関わるかを記述している 	<ul style="list-style-type: none"> マイナーとして学んだ科目群について説明をしている

② メジャー×マイナーの創生 [課題発見・課題解決に、複数の異なる地点を活用する]

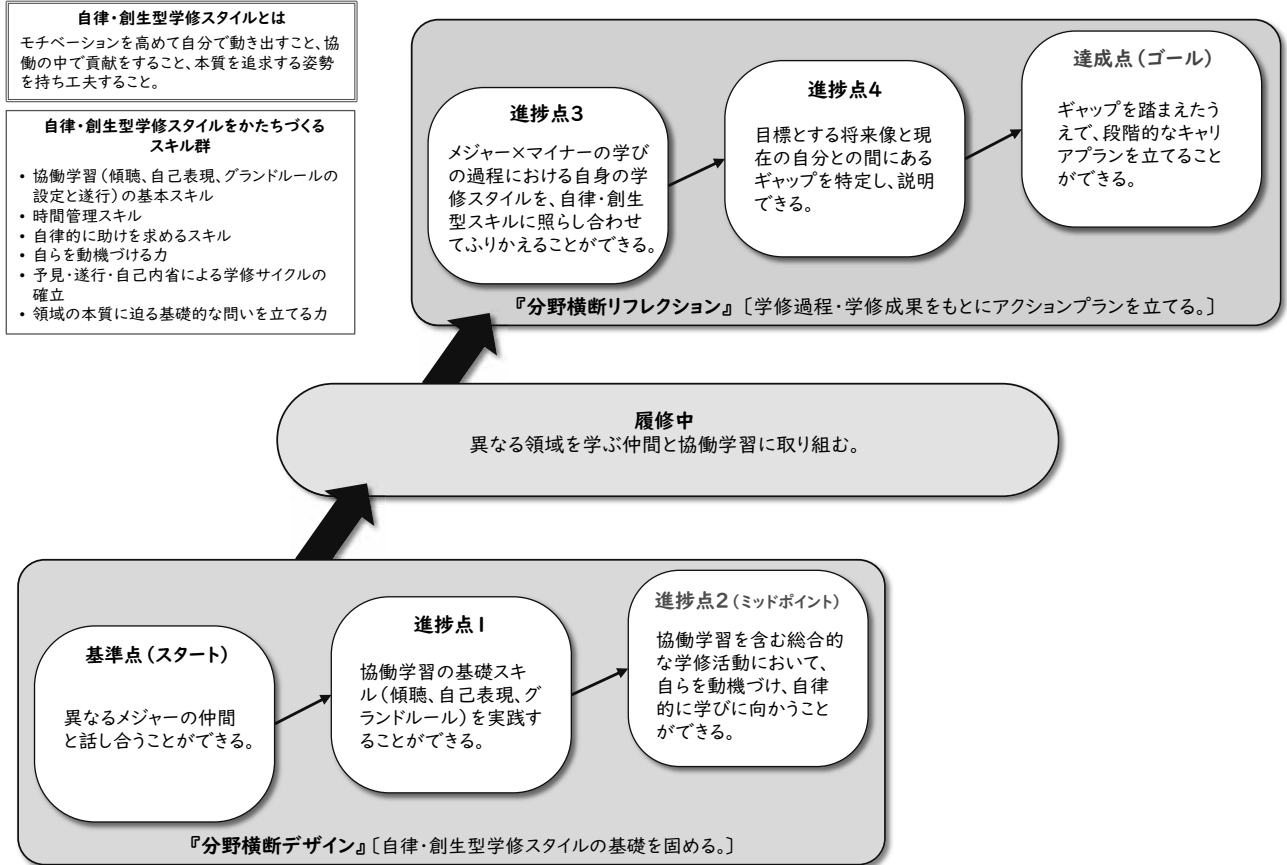


② メジャー×マイナーの創生 [課題発見・課題解決に、複数の異なる地点を活用する]

分野横断デザインー進捗点2(ミッドポイント)における評価			
	レベル3	レベル2	レベル1
観点1 (「最終レポート」で評価) メジャー・マイナーと個人の興味・関心との関わり	・自分の興味・関心を、メジャーとマイナー両方の、方法・考え方・社会への影響などの観点から記述している	・自分の興味・関心を、メジャーまたはマイナーどちらかの方法・考え方・社会への影響などの観点から記述している	・自分の興味・関心についてメジャーまたはマイナーと関連させて記述している
観点2 (「最終レポート」で評価) 個人の興味・関心に端を発する課題	・自分の興味・関心を、それが生まれてきた背景、それに取り組む動機・意義を含め、具体的な探究課題として記述している	・自分の興味・関心について、それが生まれてきた背景、それに取り組む動機・意義を記述している	・自分の興味・関心が何であるかを記述している

分野横断リフレクションー達成点(ゴール)における評価			
	レベル3	レベル2	レベル1
観点1 (「最終レポート」で評価) メジャー×マイナー学修を通じた課題定義・課題解決	・自らが設定した課題を、学修を通じて得た知見を用いて記述し、解決案を記述している	・授業で与えられた課題を、学修を通じて得た知見を用いて記述し、解決案を記述している	・学修と、課題定義・課題解決との関係について記述している
観点2 (「最終レポート」で評価) メジャー×マイナー学修成果のメタ把握	・メジャー×マイナー学修を、課題の発見・解決のための汎用性を持つ手法として捉えなおして記述している	・メジャー×マイナー学修から得られた手法について記述している	・マイナー学修から得られた手法について記述している

③ メジャー×マイナー学修による自律・創生型学修スタイルの形成 [協働学習・自己調整の方法を自分のものにする]



③ メジャー×マイナー学修による自律・創生型学修スタイルの形成 [協働学習・自己調整の方法を自分のものにする]

分野横断デザイナー進捗点2(ミッドポイント)における評価			
	レベル3	レベル2	レベル1
観点1(授業中のグループ学習で評価) グループ学習参加中の行動	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えと調査内容を区別し、筋道立てて話している 仲間の考え・調査内容を明確にする質問をしている 仲間の考え・調査内容を発展させるアイデアを話している 	<ul style="list-style-type: none"> 考えや調査内容などを話している 仲間の考え・調査内容に対して質問をしている 	<ul style="list-style-type: none"> 考えや調査内容などを話している
観点2(「最終レポート」で評価) メジャー・マイナーの調査行動	<ul style="list-style-type: none"> 「ある領域の学びから多くの収穫を得るための問い」を用いた調査過程を、得た結果を示しながら整合性のある形で記述している 	<ul style="list-style-type: none"> メジャー・マイナーについての調査過程を、得た結果を示しながら記述している 	<ul style="list-style-type: none"> メジャー・マイナーについての調査結果を記述している(調査過程は記述されていない)
観点3(「最終レポート」で評価) 学修の進め方についての計画	<ul style="list-style-type: none"> 学修への取り組みへの自らの強み・弱みを挙げ、それらを踏まえた上でメジャー・マイナーの学びをどう進めていくかを説明している 	<ul style="list-style-type: none"> 学修への取り組みへの自らの強みまたは弱みのどちらかを挙げ、それらを踏まえた上でメジャー・マイナーの学びをどう進めていくかを説明している 	<ul style="list-style-type: none"> 学修への取り組みへの自らの強みまたは弱みのどちらかを挙げている
観点4(学修デザイン相談で評価) アカデミック・アドバイザーの活用状況	<ul style="list-style-type: none"> 自分の学修計画の中にアドバイス依頼などを組み込み、適切なタイミングをとらえて行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 困ったときなど、どうしても必要なときにアドバイス依頼などを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での促しに応じてアドバイス依頼を行っている

分野横断リフレクションー達成点(ゴール)における評価			
	レベル3	レベル2	レベル1
観点1(「最終レポート」の記述) メジャー×マイナーの学修過程	<ul style="list-style-type: none"> メジャー×マイナーの学修過程について、協働的な活動結果(学外学修、インターンシップなども含まれる)を記述している 	<ul style="list-style-type: none"> メジャー×マイナーの学修過程について、個人による活動部分を記述している 	<ul style="list-style-type: none"> マイナーの学修過程について、個人による活動部分を記述している
観点2(「最終レポート」の記述) ＜目標とする将来像＞と＜現時点における自分＞とのギャップの分析	<ul style="list-style-type: none"> 将来と現時点のギャップ把握に基づいた現状の到達度を、複数の観点から説得力をもって記述している 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の不足を、将来と現時点のギャップ把握に基づいて記述している 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点における自分自身の不足の記述を記述している
観点3(「最終レポート」の記述) 段階的なキャリアプラン	<ul style="list-style-type: none"> ギャップ分析と整合する形でキャリアプランを、段階的(3か月後、1年後、5年後など)、かつ具体的に記述している 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアプランを、段階的(3か月後、1年後、5年後など)、かつ具体的に記述している 	<ul style="list-style-type: none"> なんらかのキャリアプランを記述している

メジャー×マイナー学修による自律と創生

ループリック

『分野横断デザイン』

20230525

①マイナーの創生

	レベル3	レベル2	レベル1	レベル0
<p>観点1：マイナー学修の内容と目標</p> <p>(マイナー学修デザインの【マイナーの概要】「ねらいと概要」「到達目標」で評価)</p>	<p>マイナー学修によってどのような目標を達成したいのか(到達目標)を具体的に記述しており、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学修内容と整合的である。 ・メジャーとの差別化ができて<u>いる。</u> の<u>どちらかも満たしている。</u> 	<p>マイナー学修によってどのような目標を達成したいのか(到達目標)を具体的に記述しており、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学修内容と整合的である。 ・メジャーとの差別化ができて<u>いる。</u> の<u>どちらかも満たしている。</u> 	<p>・マイナー学修によってどのような目標を達成したいのか(到達目標)を具体的に記述しているものの、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学修内容と整合的である。 ・メジャーとの差別化ができて<u>いない。</u> の<u>どちらかも満たしていない。</u> <p>あるいは、目標が抽象的すぎたり、目標といえるようなものになっていない。</p>	<p>レベル1を満たしていない。(目標が書けていない。)</p>
<p>観点2：マイナー学修の整合性と体系性</p> <p>(マイナー学修デザインの【マイナーの概要】「名称」「ねらいと概要」と、【学修計画(科目リスト)】で評価)</p>	<p>・【マイナーの概要】と【学修計画(科目リスト)】が合致しており、整合性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【学修計画(科目リスト)】において、基礎科目・発展科目をバランスよく挙げており、体系性がある。 の<u>どちらかも満たしている。</u> 	<p>・【マイナーの概要】と【学修計画(科目リスト)】が合致しており、整合性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【学修計画(科目リスト)】において、基礎科目・発展科目をバランスよく挙げており、体系性がある。 の<u>どちらかも満たしている。</u> 	<p>・【マイナーの概要】と【学修計画(科目リスト)】が合致しており、整合性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【学修計画(科目リスト)】において、基礎科目・発展科目をバランスよく挙げており、体系性がある。 の<u>どちらかも満たしていない。</u> 	<p>レベル1を満たしていない。(科目リストが書けていない。)</p>

② メジャー×マイナーの創生

	レベル3	レベル2	レベル1	レベル0
観点1：課題発見と設定 (最終レポートで評価)	<ul style="list-style-type: none"> • 具体的な探求課題を発見・設定したうえで、その課題設定に至った背景（自分の興味・関心との関連や、社会的意義・学術的意義など）を取り組みむ必要性）を記述しており、それらに整合性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> • 具体的な探求課題を発見・設定しているが、その課題設定に至った背景（自分の興味・関心との関連や、社会的意義・学術的意義など）を取り組みむ必要性）の記述に不足があったり、関連がなかったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 探求課題を発見・設定しているものの漠然としており、焦点がぼやけている。 	<p>レベル1を満たしていない。 (課題が書けていない)</p>
観点2：文理複眼／分野横断的な視野による課題の分析 (最終レポートで評価)	<ul style="list-style-type: none"> • 設定された課題に関して、メジャーとマイナーの<u>両方</u>の視点から分析し、それぞれの解決方法やアプローチの仕方、社会への影響などの観点から記述している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 設定された課題に関して、メジャーかマイナーの視点<u>どちらか</u>の視点から分析し、解決方法やアプローチの仕方、社会への影響などの観点から記述している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 課題を設定しているものの、メジャーとマイナーの<u>視点のどちらとも反映されていない</u>。 	<p>レベル1を満たしていない。 (課題が書けていない)</p>

③メジャー×マイナー学修による自律・創生型学修スタイルの形成

	レベル3	レベル2	レベル1	レベル0
<p>観点1：学修の進め方について の計画 (最終レポートで評価)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナー学修デザインに掲げた学修内容や目標がなぜ必要なのかを、自身の現状やメジャーとの関連を踏まえた上で説明している ・マイナー学修を進める際に起こりうる障壁を予想し、それを乗り越えるためにどのように学修を進めていくのかを説明している ・のどちらかも満たしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナー学修を進める際に起こりうる障壁を予想し、それを乗り越えるためにどのように学修を進めていくのかを説明している ・のどちらかも満たしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナー学修デザインに掲げた目標がなぜ必要なのかを、自身の現状やメジャーとの関連を踏まえた上で説明している ・マイナー学修を進める際に起こりうる障壁を予想し、それを乗り越えるためにどのように学修を進めていくのかを説明している ・のどちらかも満たしている。 	<p>レベル1を満たしていない。 (書いていない)</p>
<p>観点2：グループワーク中のコミュニケーション (授業中のグループワークで評価)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・考えや調査内容などを筋道立てて話している ・仲間の考え・調査内容を明確にする質問をしている ・仲間の考え・調査内容を発展させるアイデアを話している 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えや調査内容などを話している ・仲間の考え・調査内容に対して質問をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えや調査内容などを話している 	<p>レベル1を満たしていない。 (グループワークに参加していない)</p>

【資料4-⑥】

マイナー(副専攻)相談会 実施報告

■ 日時： 2022年4月5日(火)、6日(水) 10:00~17:00

■ 会場： 総合教育研究棟F棟 F271教室

■ 担当【教員】竹岡、長、神田

【SA】村松(創生3年)、福岡(工2年)、笹森、佐藤(理1年)、

角田(人文2年)、多田(人文2年/5日のみ)、佐々木(経2年/6日のみ)

→5日:6名、6日:6名

■ 来場者の内訳

	人文	教育	法	経済科学	理	医	歯	工	農	創生	合計
1年	6	1	9	9	3	2	0	4	5	4	43
2年	2	0	1	2	0	0	0	6	2	0	13
3年	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
4年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	1	11	11	3	2	0	10	7	4	58

■ 広報効果

・NICEプログラムを知ったきっかけ(複数回答)

大学ウェブ サイト	NICEウェブ サイト	大学案内	SNS	ガイダンス	チラシ	友人	勧誘	無回答
29	10	8	1	6	1	1	1	1

・マイナー(副専攻)相談会を知ったきっかけ(複数回答)

大学ウェブ サイト	NICEウェブ サイト	SNS	ガイダンス	チラシ	友人	勧誘	メール	無回答
14	14	8	3	3	14	1	2	1

※「メール」は、ダブルホーム部門からの連絡メール1件、NICEプログラムへの問い合わせ回答メール1件。

■ 相談内容

- ・教員免許を取りたい(オナーズ型マイナー「学校教育実践」に関して)
- ・両立は可能か(主専攻プログラム〔特に法/法曹養成〕、教免課程、サークル、アルバイト)
- ・複数のマイナーの履修は可能か(パッケージ型2つ、オナーズ型+パッケージ型2つなど)
- ・主専攻プログラムにおける履修要件の確認
- ・マイナー学修全般

マイナー(副専攻)履修相談会 実施報告

■ 日時： 2022年10月4日(火)、6日(木) 11:30~15:00

■ 会場： 中央図書館1階 エントランスラウンジ

■ 担当【教職員】竹岡、長、神田、諸藤、本間

【SA】〔10/4〕村松優希(創生3年)、福岡凌(工2年)、笹森玲那(理2年)、
角田花音(人文2年)、古田有菜(法3年)

〔10/6〕村松優希(創生3年)、笹森玲那(理2年)、古田有菜(法3年)
〔敬称略〕

■ 来場者の内訳

	人文	教育	法	経済科学	理	医	歯	工	農	創生	合計
1年	4	1	2	2	4	0	0	0	1	2	16
2年	2	2	0	0	1	0	0	1	0	0	6
	6	3	2	2	5	0	0	1	1	2	22

※ 理学部2年、工学部2年：すでにマイナー履修中

■ 広報効果

マイナー(副専攻)相談会を知ったきっかけ

NICEウェブサイト	学部からのメール	学内掲示のポスター	チラシ	大学の先輩	友人	その他
1	3	4	1	2	3	3

■ 相談内容

- ・マイナー学修全般
- ・複数のマイナーの履修は可能か
- ・オナーズ型マイナー「医学物理学基礎」で開講されている医学系開講科目の履修について(理学部1年)
- ・マイナーと創生学部との違いは何か(創生学部1年)
- ・学部との両立は可能か(法学部法曹コース1年)

* 領域学修基礎パッケージ「〇〇学」に興味を覚えた来場者が多かった

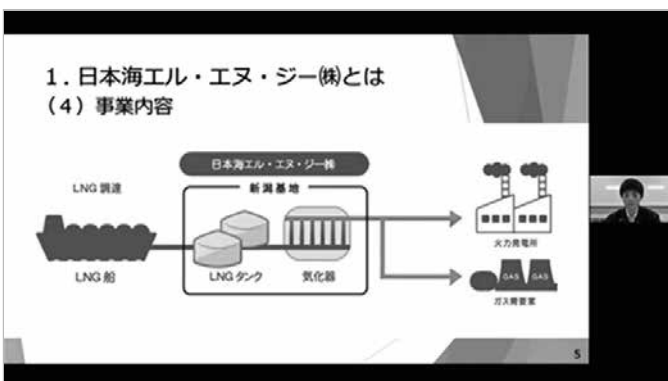
* パッケージ型やオナーズ型への履修に興味を示している場合でも、「分野横断デザイン」の履修を勧めた

ミニレクチャー「仕事現場の分野横断」

なぜメジャーに加えてマイナーを学ぶ必要があるのでしょうか。現実の仕事は、ひとつの領域の知識だけで対応できるのでしょうか。「仕事現場の分野横断」と題して、企業で活躍する現役社員の方々から日々の仕事について語っていただきました。

1. 日本海エル・エヌ・ジー株式会社

(2022年5月11日)



2. 三和ボーリング株式会社

(2022年5月18日)



3. 株式会社熊谷

(2022年6月15日)



4. アサヒアレックスホールディングス株式会社

(2022年10月26日)



5. 中越クリーンサービス株式会社

(2022年11月16日)



6. 株式会社南雲製作所

(2022年12月7日)



7. 弥彦村役場

(2022年12月7日)



文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」
 新潟大学「全学分野横断創生プログラム（NICEプログラム）」事業シンポジウム
 令和5年度新潟大学全学FD・SD

分野横断的学習を支援するための アカデミック・アドバイジングと教職協働

概要

昨今の大学教育において、ダブル・メジャー、メジャー・マイナー、分野融合プログラム等、複数の学問分野の学習によって、今後の社会や学術の新たな変化や展開に対して柔軟に対応しうる能力を有する人材の育成を目的とした教育プログラムや制度に注目が集まっています。

学生自身の将来の目的・目標や興味・関心をもとに、学問分野を横断する学習を促進するためには、大学はどのように組織的に取り組めばよいのでしょうか。新潟大学では、文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」の採択を受け、全学分野横断創生プログラム（Niigata University Interdisciplinary Creative Education Program）、通称NICEプログラムにおいて、学生が主体的にマイナーの学習を進められるよう、支援科目の開設やアカデミック・アドバイザーによる学習相談など、充実したサポート体制を構築してきました。また、そのようなサポートを全学的に広げ、持続的なものとしていけるように、運営者及び実務者向けのガイドラインを作成しました。

今回のシンポジウムでは、教学マネジメントのなかでも、特にアカデミック・アドバイジングに軸足を置き、学生の分野横断的学習を支援するために、教職協働でどのように取り組んでいけばよいのかを探ります。

事例：

法学部のAさん

新潟県内の自治体で
データサイエンティスト
として活躍したい！

メジャー



×

マイナー



事例：

農学部のBさん

食料問題を解決
するために政治
について学びたい！

メジャー



(生物資源科学)

×

マイナー



事例：

理学部のCさん

1年生のうちから
現場の数学教育を
経験したい！

メジャー



数学

×

マイナー

学校教育
実践

日時

2023年9月15日(金) 13:30～16:00

形式

Zoomによるオンライン開催（参加費無料）

対象

大学教職員、高等学校教職員、企業関係者、自治体関係者、
及び新潟大学教職員

お申込み方法

9月8日(金)正午までに以下のwebページ、ある
いは右のQRコードからお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/QRMSz6C3PZ>

お問い合わせ

新潟大学学務部教務課
renkeikyoku@adm.niigata-u.ac.jp

プログラム

13:30-13:35 開会挨拶

坂本 信 (新潟大学理事(教育・国際連携 担当) / 副学長)

13:35-14:15 基調講演「教職協働によるアカデミック・アドバイジング」

清水 栄子 氏 (追手門学院大学共通教育機構 / 教育支援センター准教授)

14:15-15:00 事業報告「NICEプログラムにおけるアカデミック・アドバイジングとその成果」

神田 麻衣子 (新潟大学教育基盤機構特任准教授)

柿原 豪 (新潟大学教育基盤機構特任准教授)

学生からの事例報告



15:00-15:50 パネルディスカッション

「分野横断的学習を支援する教学マネジメントとアカデミック・アドバイジング」

パネリスト

清水 栄子 氏 (追手門学院大学共通教育機構 / 教育支援センター准教授)

田中 一孝 氏 (桜美林大学リベラルアーツ学群准教授)

寺尾 謙 氏 (神奈川工科大学学生支援本部教務課課長)

山田 剛史 氏 (関西大学教育推進部教授 /
知識集約型社会を支える人材育成事業プログラムオフィサー)

福島 治 (新潟大学副学長 / 教育基盤機構副機構長)

浅賀 岳彦 (新潟大学副学長 / 教育基盤機構副機構長)

モデレーター

斎藤 有吾 (新潟大学教育基盤機構准教授)

15:50 閉会挨拶

浅賀 岳彦 (新潟大学副学長 / 教育基盤機構副機構長)

司会：上畠 洋佑 (新潟大学教育基盤機構准教授)

新着情報

2022.11.02 メディア掲載

『月刊先端教育』でNICEプログラムが紹介されました

先端教育機構の『月刊先端教育』2022年12月号の大特集「「教養」で終わらない、問題解決力 社会人のためのSTEAM教育」にて、NICEプログラムが「大学教育での領域横断の学び」として紹介されました。

『月刊先端教育』2022年12月号（2022年11月1日発行）
大特集「「教養」で終わらない、問題解決力 社会人のためのSTEAM教育」
Part2 リベラルアーツ 大学教育での領域横断の学び
新潟大学・全学分野横断創生プログラム
「メジャー・マイナー制」でソリューション志向型の人材を育成
<https://www.sentankyo.jp/articles/8af16efb-4ebe-4db9-96b8-f3f69ea314b4>

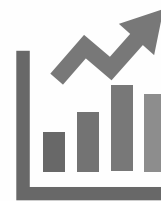
本プログラム責任者の福島治教授、副責任者の浅賀岳彦教授、本プログラムでアカデミック・アドバイザーを務める神田麻衣子特任准教授、竹岡篤永特任准教授、教学IR担当の長創一朗特任助教の5名がNICEプログラムでの分野横断について語っています。

[記事一覧へ](#)

新潟大学 教育基盤機構
全学分野横断創生プログラム(NICEプログラム)
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL:025-262-6309 FAX:025-262-6991
E-Mail : kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp

受講生の皆様 必ず期間内に【全員受検】してください

就活前の力試しをしよう！ GPS-Academic® 受検案内



GPS-Academicは、皆さんのキャリア選択や就職活動の準備にも役立つテストです。テスト結果から、将来に向けて意識すべきこと、社会に出て活躍するためのヒントを得ることができます。

受検期間	6月27日（火）～7月3日（月）
受検場所・所要時間	オンライン（パソコン）受検 約110分

受検後の
メリット

1

個人結果レポートを受検後最速3分で確認可能！ ※記述式を除く

個人結果レポートはスマホでも閲覧やダウンロードができます。
自分の強み、弱みを客観的に知ることができ、自己PRにも活用できます。

2

doda⁺ キャンパス へ受検結果を連携可能！

受検結果から見えたあなたの強みや、努力、経験をオファー型就活サービス
dodaキャンパスで公開することができます

受検時に表示される
dodaキャンパスの
案内からアカウントを作成する

受検後、
dodaキャンパスに
結果が連携される

あなたが受検結果を
「公開する」に変更すると
企業へのアピールになる

※初期は「公開しない」に設定されています

注意
事項

- 締切間際を受検の場合、アクセスの集中や端末のトラブル等により、期間内に受検できなくなることがあります。早めに受検をしてください。
- インターネットにつながったパソコンで受検してください。タブレットは一部機種で動作確認しています。「動作確認済み機種一覧」をご確認ください。
- 受検にあたっては、団体IDとあなた専用の受検者ID、パスワードが必要です。別紙「受検マニュアル」に記載された団体ID、受検者ID、初期パスワードのルールを確認し、受検時に入力してください。

動作確認済み
機種一覧
(タブレット)



<https://www.benesse-i-career.co.jp/md/>

フォローアップガイダンス
予定

8月1日（火） 3限
「分野横断デザイン」授業内

GPS-Academic[®]
受検前の準備
と注意事項

GPS-Academicはパソコンで受検するテストです。

(一部タブレットでも動作確認済み)

受検するには 団体IDとあなた専用の「受検者ID」「パスワード」が必要です

※次ページに記載されている団体ID、受検者ID、初期パスワードのルールを確認してください

【準備するもの】

インターネットに
接続しているパソコン
(タブレットは一部機種で動作確認)



※タブレットにつきましては
動作確認済み機種一覧でご確認ください
<https://www.benesse-i-career.co.jp/md/>
※スマートフォンでは受検できません。

イヤホン、ヘッドホン



※音量がオンに
なっているか
要チェック
AUXケーブル等でパソコンに
接続してください。
※ワイヤレスやライトニングケーブル
は接続できない場合があります。

メモと筆記用具



計算したり考えを
まとめたりするために
メモを取って受検が
できます。

団体ID、
受検者ID、
パスワード



次ページに記載しています。

GPS-Academic
受検者ページより動画でも
チェックできます

必要な動作環境

対応OS、ブラウザ等については、以下のページをご確認ください。
https://www.benesse-i-career.co.jp/gps/product_text/file/environment.pdf

- ⚠ **実施時間を確認・十分に確保してください。** ※一度受検を開始すると中断することができません。
- ⚠ **ブラウザの戻るボタン・再読み込みボタン・「×」ボタンは使わないでください。**
使用するとテストが止まります。再開する際は、ブラウザをすべて閉じ、再度ログインしてください。
- ⚠ **何かおかしいと思った時は、ブラウザを全部閉じて再ログインし直してください。**
解消しない場合は、時間をおいて再度お試しください。

【使用禁止】

- ×: ブラウザの矢印ボタン
- ×: ブラウザの再読み込みボタン
- ×: ブラウザやタブの「×」ボタン

テストを進める際には必ずこの
「前の問題」「次の問題」ボタンを
使ってください

前の問題

次の問題

- ✓ 音声や動画を使用した問題は
再生は一度のみです
- ✓ 前半の問題は制限時間があるため
過ぎると次のパートへ進みます

注意
事項

- パソコン/タブレットのトラブル等により最後まで受検ができなかった場合は、必ずGPS受検者サポートデスクに連絡してください。
- 定期メンテナンスのため、毎月第2日曜日(0:00~23:59)は受検、結果の閲覧ができませんので、ご注意ください。
この他にも、臨時メンテナンスが入る可能性がありますので、期間・時間に余裕をもって受検してください。

【よくある質問・お問い合わせ】

- Q: テストがスタートしません。
A: パソコン/タブレットのスペックやネットの環境に応じて、テスト問題の表示に時間を要する場合があります。画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。
- Q: 受検中にテスト(動画や音声など)が止まってしまいました。または、インターネットに接続されていませんなどの通信エラーがでてしまいました。
A: 数分待っても問題が再開しない場合は、一度ブラウザを閉じ、改めて立ち上げて、再度ログインしてください。途中から受検再開することができます。再開できない場合は「GPS受検者サポートデスク」での手続きが必要です。お電話でご連絡ください。
- Q: テストの残り時間がなくなった場合、どうなりますか。
A: 残り時間がなくなった時点で強制的にそのテストは終了となります。また、回答が完了するまで終了にならない問題があります。
- Q: 夜間に受検してトラブルが発生したらどうすればいいですか。
A: トラブルやご質問は「GPS受検者サポートデスク」でおうかがいします。翌日の営業時間内にご連絡ください。

GPS受検者サポートデスク TEL: 0120-830-229 (通話料無料)

受付時間: 月~土 9:00~12:00、13:00~17:30 (日祝・年末年始を除く) ※このサポートデスクでは、受検時の操作やログイン方法についてのみ対応いたします。

GPS-Academic 受検マニュアル(doda任意登録)

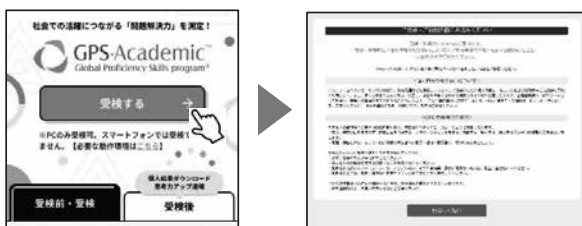
団体ID	受検者ID	初期パスワード
アルファベット大文字3文字+数字5文字	在籍番号	生年月日の数字8ケタ
NII00734		

1 【まずは検索】
GoogleやYahoo!等より **GPS 受検者ページ** 検索

GPS-Academic 受検者ページ - ベネッセ・キャリア
https://www.benesse-i-career.co.jp/gps_academic/exam/index.html

2 【受検者ページ】
受検方法、注意事項を確認してから、「受検する」をクリック。
 <個人情報の取り扱いについて> <受検者遵守事項>に同意の上、ログイン画面へ。

- ★まず、受検前に動画をチェック (各2-3分)
- ✓ 受検の目的を確認「GPS-Academicとは」
 - ✓ 「GPS受検にあたっての準備物や注意事項」
 - ✓ 「問題サンプル (音声・動画・テキスト)」で事前に体感



3 【マイページへログイン】
団体ID・受検者ID・パスワードを入力しログイン。



4 【テスト詳細ページへ】
「エントリー済みテスト一覧」にあるテストの「受検する」をクリックして進んでください。



5 【学年・大学入試区分 (どんな入試で入学したか)・学部名・学科名を選択】
選択後、「同意して登録」をクリックし、テスト詳細ページへ移動してください。



6 【注意事項/動作確認】
「受検時の注意事項」を読み、「動作確認チェック」で使用するパソコンが動作環境に適合しているかをチェックしてください。



※動作環境に適合していない時は、大学のPCや別の端末で受検してください



【dodaキャンパス登録】

受検したGPS-Academicの結果をdodaキャンパスでも見られるように設定できます。

- ①メールアドレス・パスワードを登録。
- ②「【dodaキャンパス】仮登録が完了しました」メールを受信
- ③仮登録のメールのリンクから本登録完了!

7 【テストスタート】
テストが始まる前に、注意・説明が表示されるので、しっかり確認しテストスタートしてください。
 ※テスト問題の表示に時間を要する場合がありますが、しばらくお待ちください。



※問題は「練習問題」で解答前に体感できます。
 ※「練習問題」は受検者ページの問題サンプルと同じものです。

8 【テスト終了】
最後の設問まで回答したら、「提出して終了する」をクリックし、テストを終了します。画面上に引き続き「記述式」「アンケート」の指示がある場合は回答を続けてください。



すべて受検済みの場合

こちらの画面が表示されたらテスト終了です。

未受検のものがあれば受検してください。
 この下にオレンジ色のボタンがあれば受検終了です。
 右下の「閉じる」ボタンを押してください。

未受検が残っている場合

※オレンジの表示がある場合は必ず受検してください

未受検のものがあれば受検してください。
 この下にオレンジ色のボタンがあれば受検終了です。
 右下の「閉じる」ボタンを押してください。

マイページ「テスト詳細」で表示されている問題にすべて解答したらテスト終了です。

GPS-Academic受検後の結果確認と事後学習

その1：個人結果レポートのダウンロード ※結果は翌日までに返却します。

⚠️ 「選択式問題」の結果は受検翌日までに、「記述式問題」（受検している場合のみ）の結果は7月27日以降に確認することができます。

1 【受検者ページ：受検後へ】
受検したときと同じように、端末を起動。ブラウザを立ち上げ、【受検者ページ：受検後】の【個人結果レポートをダウンロードする】から【マイページ】へアクセスする。
※アクセス方法：前ページの①を参照

2 【マイページへログイン】
団体ID・受検者ID・パスワードを入力しログイン。



3 【テスト詳細ページへ】
「エントリー済みテスト一覧」にあるテストのオレンジ色のボタン（受検済み）などをクリック



オレンジ色のボタン（受検済み）などをクリック

4 【dodaキャンパス登録】

受検したGPS-Academicの結果をdodaキャンパスにも登録しよう！
①「dodaキャンパスに登録する」をクリック。
②メールアドレス・パスワードを登録。
③「【dodaキャンパス】仮登録が完了しました」メールを受信。
④ 仮登録のメールのリンクから本登録完了！
※受検時に登録済みの方はこの手順は不要です。



5 【結果のダウンロード】
「テスト詳細」で、「個人結果レポート」と「個人結果レポートの見方」をダウンロードできます。

（推奨）「Menu」から「パスワード変更」で初期パスワードから自分しかわからないものへ変更しておきましょう。



「個人結果レポート閲覧」を押すと、ダウンロードできます。

「個人結果レポートの見方」を押すと、個人結果レポートの見方や解説が入ったファイルがダウンロードできます。

その2：『思考力アップ道場』で事後学習

【アクセス方法】
個人結果レポートのリンクからアクセス！

アクセスはこちら▶▶▶ **思考力アップ道場**



←2次元バーコード
↓URL からアクセスできる！

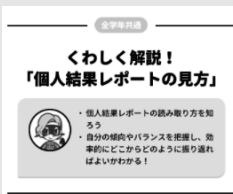
[URL]
https://www.benesse-i-career.co.jp/gps_academic/exam/index.html?tab=after

GPS-Academic思考力育成教材 『思考力アップ道場』

- ・ 日常に即した題材で「思考の型」が学べる！
- ・ 動画やクイズ形式の問題演習で、取り組みやすい！
- ・ スマホで1コンテンツ5分以内。スキマ時間でも学習できる！



個人結果レポートの見方



▲受検結果をどのように振り返ればよいかわかる。

思考力レクチャー



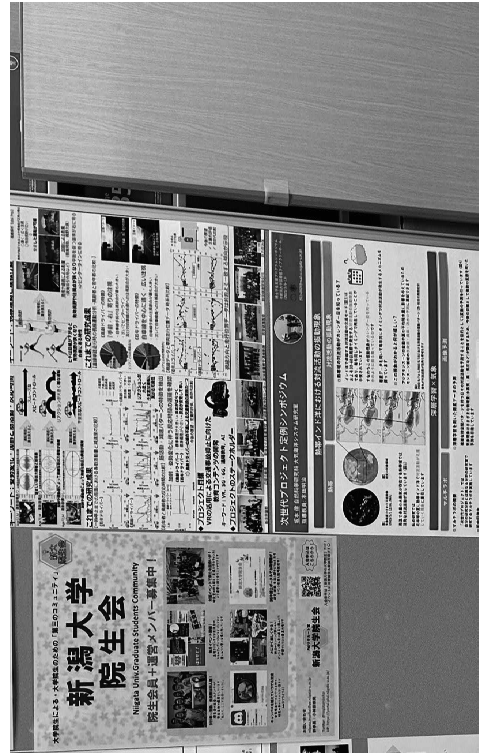
▲3つの思考力の概要や伸ばし方がわかる。

思考力トレーニング



▲思考スキルの使い方がわかる。

※「思考力トレーニング」へは、ログインが必要です。受検時の団体ID・受検者ID・パスワードを入力してご活用ください。



Schedule at Niigata for the delegation from Malaysia (Tentative)

●Date: Wednesday, May 24, 2023

●Delegation from Malaysia:

- 1) Dr. Nurzal Effiyana binti Ghazali: Acting Director, Centre for Engineering Education (CEE), Universiti Teknologi Malaysia (UTM)
- 2) Prof. Dr. Fatin Aliah Phang binti Abdullah: Fellow, CEE, UTM
- 3) Dr. Nor Farahwahidah binti Abdul Rahman: Fellow, CEE, UTM
- 4) Assoc. Prof. Ts. Alias Bin Masek: Deputy Dean of Research and Publication Faculty of Technical and Vocational Education, Universiti Tun Hussein Onn Malaysia (UTHM)
- 5) Assoc. Prof. Ts. Dr. Affero Bin Ismail: Coordinator of UNEVOC Centre, UTHM
- 6) Mr. Mohd Hatta Bin Md Hani: Head of IT Department, UTHM
- 7) Mr. Mohd Nizan Bin Abu Bakar: Research Fellow, UTHM
- 8) Ms. Siti Soleha Binti Razali: Research Assistance, UTHM
- 9) Ms. Nur Liyana Binti Rosman: Research Assistance, UTHM
- 10) Ms. Dayang Afiqah Binti Awang Jepri: Research Assistance, UTHM
- 11) Assoc. Prof. Ts. Dr. Muhd. Khaizer bin Omar: Deputy Director, Center for Academic Development and Leadership Excellence, Universiti Putra Malaysia (UPM)
- 12) Dr. Ahmad Salahuddin bin Harithuddin: Senior Lecturer, Department of Aerospace Engineering, UPM

●Schedule:

Time	Event	Place	Members from Niigata University
13:00	Meet at entrance of Faculty of Engineering	Faculty of Engineering	Staff from Intl Office Ms. UEHARA Kaoru (Intl Office)
13:05-13:20 (15min)	Brief Introduction of Niigata University	Faculty of Engineering	Prof. TSUBOI Nozomu, Vice President for Global Engagement, Director of International Education Center
13:20-13:40 (20min)	Presentation about Niigata University Interdisciplinary Creative Education Program	Faculty of Engineering	Specially Appointed Assoc. Prof. KANDA Maiko, Institute of Education and Student Affairs Division of Development of Future Education
13:40-13:50 (10min)	Presentation by the Malaysian delegation	Faculty of Engineering	Dr. Nurzal Effiyana binti Ghazali, Acting Director, Centre for Engineering Education, UTM
13:50-15:00 (70min)	Meeting with professors of the Faculty of Engineering:	Faculty of Engineering	Members from the Faculty: (1) Prof. SUZUKI Takamasa, Dean, Fac. of Eng. (2) Prof. SASAKI Tomohiro, Head of

	<p>1. Welcome Message.</p> <p>2. Introduction to Education Center of Engineering and Technology for Practical Engineering Education.</p> <p>3. Introduction to G-DORM: Global PBL with Regional Collaboration.</p> <p>4. Q and A. Discussion.</p> <p>5. (Optional) Observation of Education Center for Engineering Education.</p>		<p>Education Center for Engineering and Technology, Fac. of Eng.</p> <p>(3) Prof. BABA Akira, Vice Dean for Global Engagement, G-DORM Director, Fac. of Eng.</p> <p>(4) Assoc. Prof. UEDA Yasutaka, G-DORM Program Manager, Fac. of Eng.</p> <p>(5) Ms. NAKANO Sachiko, International Coordinator, Fac. of Eng.</p>
--	---	--	---



@ Faculty of Engineering, NU
May 24, 2023

Maiko KANDA (Academic Advisor / Specially Appointed Associate Professor)
NICE Program, Institute of Education and Student Affairs Division

1

OUTLINE

- What is NICE Program?
- Purpose of NICE Program
- Majors
- Minors
- Honors Minors
- Packaged Minors: Interdisciplinary Packages
- Packaged Minors: Academic-Foundation Packages
- Creative Design Minor
- Creative Design Minor: Learning Design Example
- Future of NICE Program

2

What is NICE Program?

- Abbreviation: Niigata University Interdisciplinary Creative Education Program
= Major/Minor Education System (2021~)
- Educational Project Selected by MEXT
as "Human Resource Developing Project
for Supporting Knowledge-Based Society"
→ Grade S (Best practice) in the intermediate evaluation (March, 2023)



4

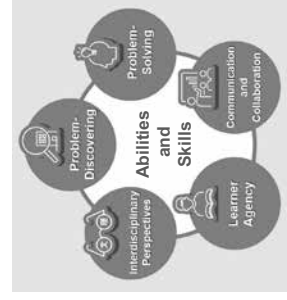
Purpose of NICE Program

- Purpose: Development of human resources who can respond flexibly to new changes and developments in society

Those who can tackle social issues
from an **interdisciplinary perspective**
with these **abilities and skills**.

through

- Majors: Deep Expertise
- Minors: Broad Education



Majors

37 Majors in 10 Faculties

- Humanities: Psychology and Human Studies / Society and Culture / Language and Cultures
- Education: Teacher Training
- Law: Legal Education / Legal Profession
- Economic Sciences: Economic Studies / Management Studies / Interdisciplinary Japanese Studies / Regional Leadership
- Science: Mathematics / Physics / Chemistry / Biology / Geology / Environmental Science / Field Research in the Environmental Sciences
- Engineering: Mechanical Engineering / Civil and Environmental Engineering / Electronics, Information and Communication Engineering / Smart Information Systems / Chemistry and Chemical Engineering / Materials Science / Architecture / Interdisciplinary Program of Biomedical Engineering, Assistive Technology and Art and Sports Sciences / Engineering Management
- Agriculture: Applied Life Science / Food Science / Agriculture and Bioresources / Environmental Science for Agriculture and Forestry / Field Research in the Environmental Sciences
- Medicine: Medicine / Nursing / Radiological Technology / Medical Technology
- Dentistry: Dentistry / Oral Health and Welfare
- Creative Studies: Creative Studies

5

Minors

Three Categories and 44 programs/packages

- Honors Minors (14 programs)
- Packaged Minors
 - Interdisciplinary Packages (11 packages)
 - Academic-Foundation Packages (18 packages)
- Creative Design Minor (1 package: NU Original)

6

Honors Minors

Honors Minors

- Environmental Studies
- Foreign Studies (German)
- Foreign Studies (English)
- Foreign Studies (French)
- Foreign Studies (Korean)
- Foreign Studies (Russian)
- Foreign Studies (Chinese)
- GIS (Geographic Information System) Literacy
- Economics
- Electronic Information Science
- Integrated Chemistry
- Basic Medical Physics
- School Education Practice
- Data Science

Requirement

- 24 credits (12 credits above graduation requirements [124 credits])
- GPA 2.5 or above in all credits

* It is necessary to follow the completion requirements set by each program.

7

Packaged Minors: Interdisciplinary Packages

Packaged Minors

Interdisciplinary Packages

- Agro Food-associates
- Experience Creation and Management
- Community Management
- Data Science Literacy
- Geopark
- Regional Disaster Environmental System
- Community-based Collaboration
- Foreign Studies (Russian)
- Management of Technology (Patent/Management/Product Development Basic Course)
- Nuclear Energy and Disaster Science
- Agriculture DX/GX

Requirement

- 12 credits

* It is necessary to follow the completion requirements set by each package.

8

Packaged Minors: Academic-Foundation Packages

Packaged Minors

Academic-Foundation Packages

- Psychology and Human Studies
- Society and Culture
- Languages and Cultures
- Legal Education
- Mathematics
- Physics
- Chemistry
- Biology
- Environmental Science
- Mechanical Engineering
- Civil and Environmental Engineering
- Electronics, Information and Communication Engineering
- Smart Information Systems
- Chemistry and Chemical Engineering
- Materials Science
- Architecture
- Agriculture and Bioresources / Field Research in the Environmental Sciences
- Applied Life Science / Food Science

Requirement

- 12 credits

* It is necessary to follow the completion requirements set by each package.

9

Creative Design Minor

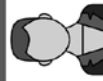
Unique Interdisciplinary Program developed by NU

- No Course List
Students choose courses and develop a study plan based on their research questions.
- New Active Learning Courses (2 courses)
 - **Cross-Disciplinary Design** [introductory]:
Creating a personal learning design (setting learning objectives, choosing courses and creating a study plan)



10

Creative Design Minor : Design Example



- 1st year [at the time of taking "Cross-Disciplinary Design"]
- Faculty of Engineering
(Aspiring to Interdisciplinary Program of Biomedical Engineering, Assistive Technology and Art and Sports Sciences)

Research Question and Its Backgrounds

- Wants to develop medical robotics (especially surgical robots)
- Interested in economic disparities between developed and developing countries.
→ Could medical robotics bridge one of the disparities at the global level?



Learning Design Title	International Understanding and Engineer Ethics for Solving Global Medical Problems with Biomedical Engineering
Learning Objectives	<ol style="list-style-type: none"> 1. Understanding the socio-political background of global disparities. 2. Acquiring an ethical attitude required as a biomedical engineer.
Keywords / Key Phrases	Courses (excerpted)
1 Medical, Technology and People	Bioethics [L], Health Care Ethics [M]
2 World Economy from a Political History	World Economic History [E], International Politics [L]
3 Economic System	Developing Economies [E], Introductory Macroeconomics [E]
4 International Understanding	Peace and Contemporary Security Studies [G], Development, Environment and Peace [G], History of Scientific Thoughts [H]

* Alphabets indicate the faculties offering the course; [L], Law, [M] Medicine, [E] Economic Sciences, [H] Humanities, [G] General Education

11

Creative Design Minor

Unique Interdisciplinary Program developed by NU

- New Active Learning Courses (2 courses)
 - **Cross-Disciplinary Design** [introductory]:
Creating a personal learning design (setting learning objectives, choosing courses and creating a study plan)
- **Cross-Disciplinary Reflection** [concluding]:
Finding value in learning outcomes and utilizing them in careers after graduation.



- Requirement
 - 14 credits (Including "Cross-Disciplinary Design" and "Cross-Disciplinary Reflection": 1 credit each)

12

Future of NICE Program

■ Sustainable Development for Educational System

- Developing Academic Advising specific to NU Majors and Minors
 - Extracting specific hurdles of learning Minors from Academic Advising cases.
 - Editing the Academic Advising Handbook.

■ Developing a Peer Support Community

- Motivating learner agency.
- A place for collaboration with students from different faculties.



13

R4_2「分野横断デザイン」参加会員さまアンケート

常日頃から新潟大学にご協力いただきありがとうございます。また、この度は授業へも参加くださり、ありがとうございました。今後の授業運営等に役立てるため、簡単なアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

1. 企業名・組織名と、お答えくださる方のお名前をお書きください。

2. 1) 10分という時間でお話したいことは十分に話せましたか？

1つだけマークしてください。

短かすぎた

1

2

3

4

長すぎた

3. 2) 学生からの質問・感想は期待通りのものでしたか？

1つだけマークしてください。

全く期待通りではなかった

1

2

3

4

ほとんど期待通りだった

4. 3) 貴社のことを学生に知ってもらえたと感じられましたか？

1つだけマークしてください。

全く知ってもらえなかった

1

2

3

4

十分に知ってもらえた

5. 4) 「分野横断」というテーマは話しやすいものでしたか？

1つだけマークしてください。

とても話しにくかった

1

2

3

4

話しやすかった

6. 5) このような機会があれば、また参加したいと思いますか？

1つだけマークしてください。

いいえ

どちらとも言えない

はい

7. 学生といっしょにやってみたいことなどがあればお書きください。

8. ご感想、ご質問等があれば、自由にお書きください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

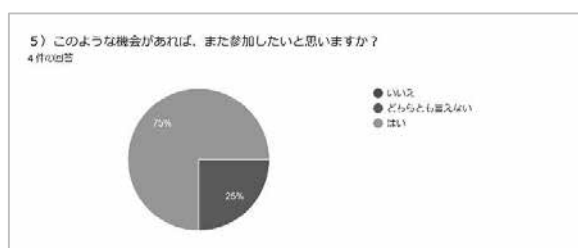
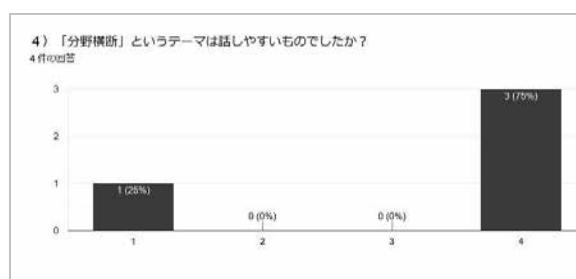
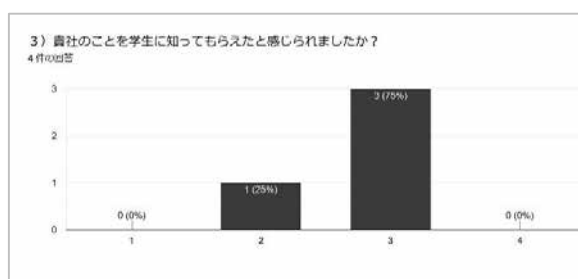
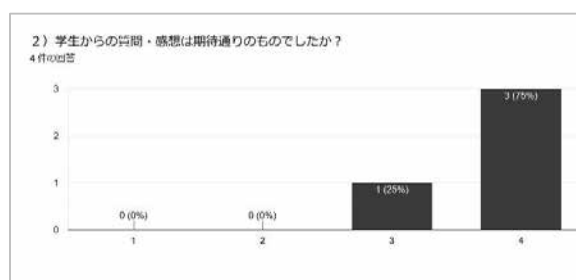
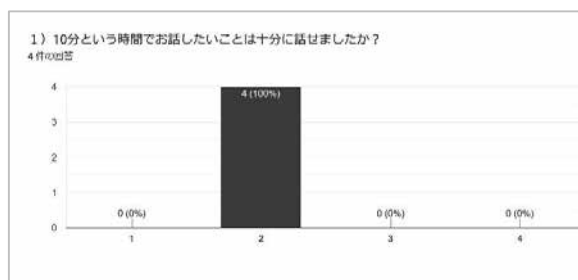
Google フォーム

「分野横断デザイン」 協力企業へのアンケート結果

- ◆ 各回授業のうち 10 分間でミニ・レクチャーを実施してもらい、職場で分野を横断した知識・スキルがどう使われているかを具体的に紹介してもらった。

R4 年度 1 学期の協力企業は 4 社（以下、アンケート結果）

- ◆ 10 分という時間は十分ではなかったが、学生からの反応は良かった。



学生といっしょにやってみたいことなどがあればお書きください。2 件の回答

- ◆ 今回はこちらから一方的に話ただけで終わってしまったので、今後は、授業でもそれ以外でも、学生さんと対面で話し合える機会があると嬉しいです。
- ◆ 例えば弊社で言えば、「フードロス削減」といったテーマで興味がある学生と、食品パッケージの課題発見からマーケティング、商品開発検討、販売戦略など一連の流れを学生と一緒に取り組めたら面白いなと思います。

ご感想、ご質問等があれば、自由にお書きください。2 件の回答

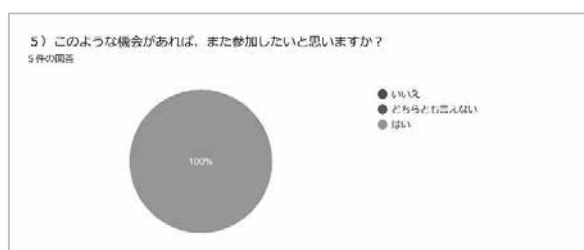
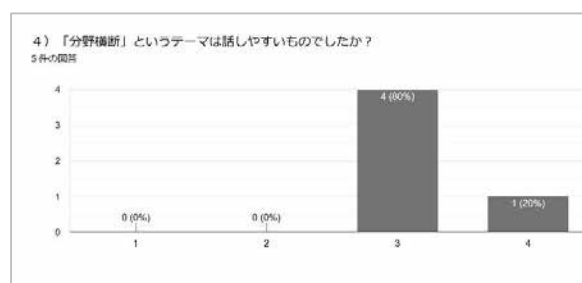
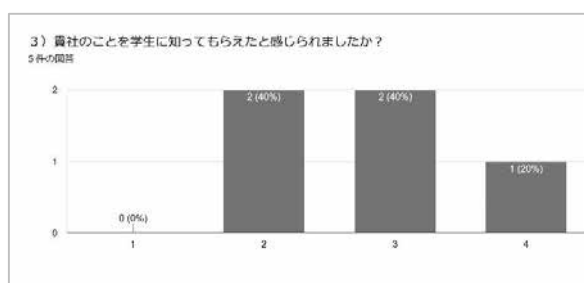
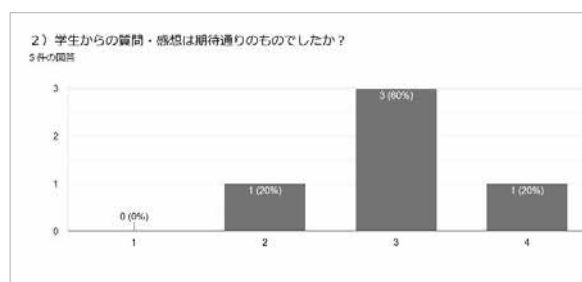
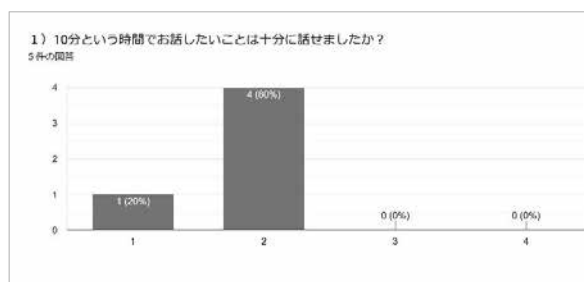
- ◆ 学生さんからの質問、感想を見ていて、真剣に聞いてくれたことに感動しました。貴重な機会をいただきありがとうございました。
- ◆ 非常に良い経験になったが、業務の都合上、準備等の対応が難しい部分もあった。

「分野横断デザイン」協力企業へのアンケート結果

- 各回授業のうち 10 分間でミニ・レクチャーを実施してもらい、職場で分野を横断した知識・スキルがどう使われているかを具体的に紹介してもらった。

R4 年度 2 学期の協力企業は 4 社（以下、アンケート結果）

* 回答は 5 件です。南雲製作所の方が、講演者の方と窓口の方の 2 名がお答えくださいました。



学生といっしょにやってみたいことなどがあればお書きください。5 件の回答

- 製造業を少しでも体感していただきたいので、金型の模型に触っていただく体験や、実際に来社いただけるのであれば、加工の体験をしていただきたいです。
- 今回の授業の発展形として、分野の知識を持った方がきたら、その職場は発展をする可能性があるかを可能性も含めてディスカッションが出来たら面白い発見がありそうだなと思います。例えば、IT系の方が、「もし、自分が営業職になったら、IT技術を駆使して・・・な顧客管理や××な営業方法ができると思います」とか、「英語専攻なので図面わからないですが、英語を駆使して設計分野で****からやってみたら、貢献できないでしょうか」など。学生さんにとっては就職活動で違う職種に応募する場合に役立つと思いますし、当社としても、視野を広げた採用活動に生きそうだなと思います。
- 今回リモートでの講義でしたが、実際に直接お話できる機会があれば良いなと感じました。

- ◆ 産官学といった形で連携を求める事業はたくさんあります。弥彦村は観光資源が豊富で従来から来てもらうことに慣れすぎていて、情報発信・PRが得意ではありません。一方、皆さんはほぼデジタルネイティブでいらっしゃるって、SNSを自然体で使いこなしていると思います。弥彦村の良いところを情報発信・PRする取組、バズる方法を我々に教えてくれないか。
- ◆ ざっくばらんな座談会

ご感想、ご質問等があれば、自由にお書きください。5件の回答

- ◆ お話しさせていただく機会をいただき、誠にありがとうございました。学生さんからたくさんのご質問やご感想をいただき嬉しく思っております。大学1年生のうちから学部や専攻にとらわれすぎずに視野を広げるという点でこの授業はとても有意義だと感じております。今後またこのような機会がありましたら是非お声がけいただきたく存じます。
- ◆ 今回は、ありがとうございました。弊社としても、採用活動の視野を更に広げる良いきっかけになりました。また、このような機会がありましたら、是非協力させていただきます。
- ◆ 貴重なお時間を頂きました。学生様皆様の思っている事を伺い、そういう風に考えるのかという新たな視点を感じることができましたし、私が学生だった頃の事も改めて思い出すことができ、良かったです。ありがとうございました。
- ◆ 長々お話ししてすいませんでした。様々な分野に飛び立った先輩から将来についてアドバイスがもらえる素晴らしい講義だと思います、学生の時あったら受けたかったです。引きつづきの取組と皆さんの活躍をご祈念申し上げます。
- ◆ 授業に参加させていただきありがとうございました。正直、「分野横断」というテーマについては詳細をお聞きするまではイメージがしづらかったです。授業に参加させていただくからには、テーマをしっかり理解して参加したいと思っているので何について話をしたらいいのか具体的なものがあると助かります。いろいろな授業にぜひ参加させていただければありがたいので、今後とも何卒よろしくお願い致します。

真の強さを学ぶ。

The Niigata University Education

メジャー・マイナー制による学び 真の意味の総合大学を目指して

主専攻(メジャー)

全学の理念「自律と創生」に基づいた、特色ある学位プログラム

大学に入学すると、自分の夢を実現するために、所属する学部が提示する学位プログラムのもとで学ぶことになります。新潟大学では、教養教育と専門教育が融合した学生主体の「到達目標達成型プログラム」上、「到達目標創生型プログラム」を提供しています。特色ある2つのプログラムで社会の諸問題に対して的確に対応できる、課題解決のために応用に活躍できる人材を育成します。

到達目標達成型プログラム

到達目標達成型プログラムとは？
到達目標達成型プログラムとは、入学後1年次から2年次まで、基礎的な知識・技能を身につけ、専門分野の基礎知識・技能を身につけることを目的としたプログラムです。このプログラムを通じて、学生は専門分野の基礎知識・技能を身につけ、卒業後の就職活動や進学活動に備えます。

到達目標創生型プログラム

到達目標創生型プログラムとは？
到達目標創生型プログラムとは、入学後2年次から3年次まで、専門分野の基礎知識・技能を身につけ、社会の諸問題に対して的確に対応できる人材を育成することを目的としたプログラムです。このプログラムを通じて、学生は専門分野の基礎知識・技能を身につけ、卒業後の就職活動や進学活動に備えます。

到達目標達成型プログラム

外国語(英・独・法・露・中)・経済・法・工学・農学



幅広い分野を専攻できるという考えのもと、1年次から2年次まで基礎的な知識・技能を身につけ、3年次から4年次まで専門分野の基礎知識・技能を身につけることを目的としたプログラムです。

到達目標創生型プログラム

外国語(英・独・法・露・中)・経済・法・工学・農学



幅広い分野を専攻できるという考えのもと、1年次から2年次まで基礎的な知識・技能を身につけ、3年次から4年次まで専門分野の基礎知識・技能を身につけることを目的としたプログラムです。

到達目標創生型プログラム

外国語(英・独・法・露・中)・経済・法・工学・農学



幅広い分野を専攻できるという考えのもと、1年次から2年次まで基礎的な知識・技能を身につけ、3年次から4年次まで専門分野の基礎知識・技能を身につけることを目的としたプログラムです。

副専攻(マイナー)

複数の分野を体系的に学ぶ

新潟大学では、多岐に幅広い視野を身に付けるためのメジャー・マイナー制を導入しています。学位プログラムの主専攻(メジャー)と並行して、自分の興味・関心に基づいた学びを促進する、6つの全学分野横断型プログラム(通称NICEプログラム)を提供しています。「NICEプログラム」には、3つのマイナー(副専攻)があり、興味・関心に基づいて、メジャーとは異なる分野・専門領域を学ぶことができます。マイナー卒業の修了者は、修了証が発行されます。

全学分野横断型プログラム



(NICE) Niigata University Interdisciplinary Creative Education Program

NICEプログラムは、教養を広い人、何をやりたいか迷っている人、とにかく何かに関心したい人、人となく自信が持てない人など、すべての学生に開かれたプログラムです。少しでもマイナーに関心のある人は、お気軽に「学務デザイン相談」までお話しください！

01

新潟大学の教育

総合大学だから実現できるメジャー・マイナー制による学び

主専攻(メジャー)

全学の理念「自律と創生」に基づいた特色ある学位プログラム

大学に入学すると、自分の夢を実現するために、所属する学部が提示する学位プログラムのもとで学ぶことになります。新潟大学では、教養教育と専門教育が融合した学生主体の「到達目標達成型プログラム」上、「到達目標創生型プログラム」を提供しています。特色ある2つのプログラムで社会の諸問題に対して的確に対応できる、課題解決のために応用に活躍できる人材を育成しています。

Check Point 01

到達目標達成型プログラム

外国語(英・独・法・露・中)・経済・法・工学・農学

到達目標達成型プログラムとは？
到達目標達成型プログラムとは、入学後1年次から2年次まで、基礎的な知識・技能を身につけ、専門分野の基礎知識・技能を身につけることを目的としたプログラムです。



幅広い分野を専攻できるという考えのもと、1年次から2年次まで基礎的な知識・技能を身につけ、3年次から4年次まで専門分野の基礎知識・技能を身につけることを目的としたプログラムです。



幅広い分野を専攻できるという考えのもと、1年次から2年次まで基礎的な知識・技能を身につけ、3年次から4年次まで専門分野の基礎知識・技能を身につけることを目的としたプログラムです。

到達目標創生型プログラム

外国語(英・独・法・露・中)・経済・法・工学・農学

到達目標創生型プログラムとは？
到達目標創生型プログラムとは、入学後2年次から3年次まで、専門分野の基礎知識・技能を身につけ、社会の諸問題に対して的確に対応できる人材を育成することを目的としたプログラムです。



幅広い分野を専攻できるという考えのもと、1年次から2年次まで基礎的な知識・技能を身につけ、3年次から4年次まで専門分野の基礎知識・技能を身につけることを目的としたプログラムです。



幅広い分野を専攻できるという考えのもと、1年次から2年次まで基礎的な知識・技能を身につけ、3年次から4年次まで専門分野の基礎知識・技能を身につけることを目的としたプログラムです。

副専攻(マイナー)

主専攻以外の分野を体系的に学ぶ

新潟大学では、「メジャー・マイナー制」を導入しています。「メジャー・マイナー制」とは、主専攻(メジャー)以外の領域を副専攻(マイナー)として、体系的に学習するしくみです。この制度は全学分野横断型プログラム(通称NICEプログラム)と連動して整備されています。NICEプログラムには、3種類のマイナーがあります。学生のみならず、自分の興味・関心や問題意識に沿って学習を進められるよう、マイナー支援科の開設やアカデミックアドバイザーによる相談などのサポート体制が整えられています。

Check Point 02

全学分野横断型プログラム(NICEプログラム)

Niigata University Interdisciplinary Creative Education Program

NICEプログラムは、学位プログラムの主専攻(メジャー)と副専攻(マイナー)を柔軟に組み合わせた学びによって、社会的課題に対して積極的視野でアプローチできる人材の育成を目指す教育プログラムです。マイナー卒業の修了者は、修了証が発行されます。

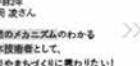


事例1



工学部2年 磯岡 凌さん
自然のめみ三次元のわかる北米探検者として、旅先やまちづくりに携わりたい!

事例2



法学部1年 田代 夏理さん
地方公務員として、地域課題の解決に取り組むためのスキルを伸ばしたい!

事例3



人文学部3年 Cho Yunbinさん
グローバルな視点から、コミュニケーションの未来について考えたい!

事例4



工学部2年 佐藤 誠さん
自然のめみ三次元のわかる北米探検者として、旅先やまちづくりに携わりたい!

事例5



工学部2年 佐藤 誠さん
自然のめみ三次元のわかる北米探検者として、旅先やまちづくりに携わりたい!

NICEプログラムは、教養を広い人、何をやりたいか迷っている人、とにかく何かに関心したい人、人となく自信が持てない人など、すべての学生に開かれたプログラムです。少しでもマイナーに関心のある人は、お気軽に「学務デザイン相談」までお話しください！

【資料 6-②】

2023年度 新潟大学出前講義一覧

学部名	No.	対象学年	分野	テーマ(タイトル)		職名	教員氏名	対応可能時期	対面対応可否	Zoom対応可否
				講	義					
教育基盤機構	1	全学年	分野横断的な課題の探究	探究的な学び、分野横断的学習、高大接続		特任 准教授	柿原豪 (他:教育基盤 機構担当教員)	応相談	○	○
				◆「総合的な探究の時間」等を対象として、大学入学前から文系・理系を横断する分野横断的な学びの視点を獲得する授業である。本年度はSDGs(持続可能な開発目標:17の目標、169のターゲット)を題材として取り上げる。(教職員対象の研修も可)						

【資料 6 - ③】

資料 6-③：オープンキャンパス 教育プログラム合同イベント

「学部を越えたみらい教育～社会とつながる、分野をつなげる～」実施報告

【実施プログラム】

未来教育開発部門【学部を越えたみらい教育 ～社会とつながる、分野をつなげる～】

8月9日（水）・8月10日（木）

10:00～16:00	展示企画：NICE プログラム、ダブルホーム、長期学外学修プログラム（常設会場）場所：総合教育研究棟（B254）
11:00～12:00	NICE プログラム：ポスターセッション「わたしの学修デザイン」在學生との交流タイム 場所：総合教育研究棟（B254）
11:00～12:00	ダブルホーム：-地域と共に創る「新たなふるさと」- 在學生との交流タイム 場所：総合教育研究棟（B254）
12:00～12:20	【合同説明会】NICE プログラム履修ガイダンス 場所：総合教育研究棟（B255）
12:20～12:30	【合同説明会】ダブルホーム -地域と共に創る「新たなふるさと」- 場所：総合教育研究棟（B255）
12:30～12:45	【合同説明会】長期学外学修プログラム -キャンパスを飛び越えた学び、経験- 場所：総合教育研究棟（B255）
13:00～14:00	NICE プログラム：アカデミック・アドバイザーによる相談会 場所：総合教育研究棟（B252）
14:00～15:00	NICE プログラム：ポスターセッション「わたしの学修デザイン」在學生との交流タイム 場所：総合教育研究棟（B254）
14:00～15:00	長期学外学修プログラム：ポスターセッション 在學生との交流タイム 場所：総合教育研究棟（B254）
15:00～15:20	【合同説明会】NICE プログラム履修ガイダンス 場所：総合教育研究棟（B255）
15:20～15:35	【合同説明会】長期学外学修プログラム -キャンパスを飛び越えた学び、経験- 場所：総合教育研究棟（B255）

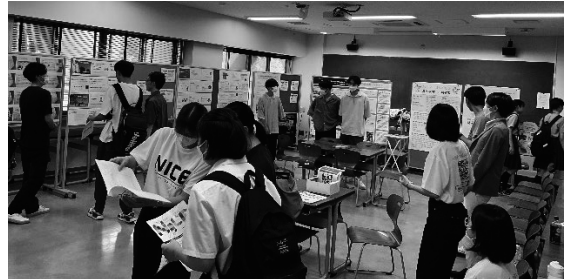
アカデミック・アドバイザーによる相談会



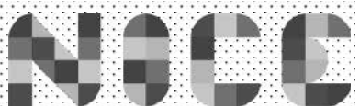
2日間で4件の相談があり、相談者内訳は高校2年生、3年生、社会人、保護者でした。高校2年生の相談者からは、高校の総合探究での取り組みを大学でもマイナーとして継続したいとの相談があり、パッケージ型マイナー「ふるさと共創学」とダブルホームについて説明しました。合同説明会（NICE プログラム、ダブルホーム、長期学外学修プログラム）



ポスター展示、ポスターセッション「わたしの学修デザイン」、来場者との交流



ポスターセッションでは、ポスター制作を行った学生が、自身のマイナーでの学びを具体的に紹介だけでなく、マイナープログラムの詳細や自身のメジャーについて、来場者に丁寧に説明していました。



わたしの学習デザイン

学修創生型マイナー

「自然のメカニズムや人々の暮らしを考えた防災・まちづくり」

福岡 凌
工学部・社会基盤工学プログラム
青森県十和田市出身(三本木高校)



マイナーを始めたきっかけ

元々、自分の専門に関わらず様々な分野を学んでみたいと考えており、一つのキャンパスに多くの学部が集まっている新潟大学に進学しました。入学後、興味のある分野を自由に学べる「学修創生型マイナー」のことを知り、面白そうだと思い、マイナー学修を始めました。

マイナーを通じて得たもの

メジャーにマイナー学修を加えたことで幅広い視点が得られたと考えています。また、他にマイナーを学んでいる、高い意欲を持った人たち交流することで、自分の大学生活をこれまで以上に充実したものにできたと考えています。

高校生・受験生へのメッセージ

大学は様々な学問に触れることができる場所であり、またいろんなことにチャレンジできる場所です。特に、自分が学びたい科目を自由に選べる点は高校との大きな違いです。

新潟大学のマイナー学修を通して、今まで以上に自分の考え方の引き出しを増やしてみませんか。

おすすめの科目

①「新潟発福祉学」

地域福祉に携わる各界の教員たちがオムニバス形式で講義を行う内容です。里親制度や障がい者スポーツなど、自分が今まで関心を持ってこなかった分野について幅広く学ぶことで、視野を広げるきっかけになりました。

②「都市計画学Ⅰ」

日本や海外の都市計画の事例を通じて、都市計画の基本的知識のほか、あるべきまちの在り方などについて学びました。欧米での先進的な取り組みや日本の現状と取り組み、新潟の都市計画などについて学び、まちづくりについて深く考えさせられました。

③「科学・技術と社会」

「新潟発福祉学」と同様のオムニバス形式で、理学部の各主専攻プログラムの教員が講義を行います。最先端の研究を学ぶことに加え、科学と社会問題との関係などについて学ぶことで、これらのトピックを意識するきっかけになりました。

新潟大学には他にもおすすめの科目がたくさんあります。ぜひ、大学生活の中で自分の一生ものの科目を見つけてみてください。



わたしの学修デザイン

「自然環境と新潟に着目して学ぶ環境問題」

(学修創生型マイナー)



竹田 琳香

法学部・法学科・法学プログラム2年
新潟県上越市出身(高田高校)

マイナーを始めたきっかけ

高校時代、新潟大学でどのようなことが学べるのかを調べた際に、NICEプログラムの副専攻(マイナー)制度のことを知りました。その時に見つけたのは、オナーズ型マイナーの「環境学」でした。人文社会科学系学部への進学を考えていましたが、以前から植物や気象など自然環境に関心がありました。主専攻(メジャー)のほかに、興味がある分野について学べることに、とても魅力を感じ、大学でマイナーに取り組もうと思いました。

現在は、学修創生型マイナーで、以前から関心のある「自然環境」と、新潟大学だからこそ学べる分野である「新潟」をテーマにマイナー学修に取り組んでいます。

マイナーとメジャーのかかわり

メジャー(法学)とマイナー(自然環境)

メジャーである法学での学びは、マイナーにも活かされる部分があると思います。

法学では、決まった1つの正解はなく、利害の調節をし、妥当な結論を導くことが必要だと考えられています。

例えば、環境問題という「自然環境」に関する社会問題について考える際に、メジャーである法学での学びを通して得た多角的視点や、考えられうる妥当な結論を導き出す思考を活かすことができると思います。

メジャーとマイナーの知識を生かすことで、社会問題の解決についてより深く考えることができると思います。

マイナーでの学習を活かして

植物に関する講義を受けていると、様々な植物の名前を耳にします。大学周辺に植えられている植物の名前も、知ることができます。名前を知っていると、何気なく通り過ぎていた道でも、植物に目が行くようになりました。メジャーの法学だけを学んでいては、見えてこなかった景色だと思っています。

気象について学び、雲ができる仕組み、雨が降る仕組み、風がふく仕組みを知ることができました。それがきっかけで、気象情報や空の様子を、以前よりも気に掛けるようになりました。

現在は、気象についてさらに知識を深めるために、気象予報士試験の勉強をしたいと考えています。気象の知識は、社会の様々な場面で活かせると思います。近年、毎年のように、各地で豪雨による洪水や土砂災害の被害が起きています。気象に関する知識は、防災を考えることにもつながると思います。また、仕入れ量や生産量の調整など、ビジネスにも活用できます。興味・関心の探究の一部ではありますが、社会に出てから、活用できたらよいと考えています。

おすすめの科目

「野生植物生態学」

植物の分類法、花粉媒介・種子散布の様式など野生植物の生活戦略(生き残りのための戦略)について解説していただきます。送粉という視点で花を見ると、形や色の違いにも意味があることが分かり、興味深かったです。

「地球と気象」

地球上で見られる様々な大気現象を解説していただきます。計算等もありますが、図を用いた解説で分かりやすいです。

「新潟の農林業」

オムニバス形式で、新潟の農林業の特徴や課題を学ぶことができます。新潟の特産品についても知ることができます。

高校生・受験生へのメッセージ

大学では、高校までと違い、皆が同じ時間割で学ぶわけではありません。学びたいと思う分野を学ぶことができます。自分の興味関心がどこにあるのか、学びたいことは何なのか、目的をもって学ぶことが大切だと思います。

1つのキャンパスで複数の分野の学ぶことのできるメジャー・マイナー制は、総合大学である新潟大学ならではのプログラムだと思います。視野を広げたい人、大学で何かに挑戦したい人には、マイナーとして、主専攻とは異なる分野を学んでみてほしいです。



《学修創生型マイナー》

当事者として「マイノリティ」を考える

村松 優希

創生学部 社会・地域文化学パッケージ 4年
静岡県出身（私立星陵高校）

マイナーを始めたきっかけ

1. 友人がオナーズ型マイナー「データサイエンス」の履修を始めたと聞き、焦りを感じたこと。
2. 自主的に始めていたSDGsについての活動をマイナーという形で認証してもらえるのはいいなと思ったこと。



おすすめの科目

《表象文化論》

ジェンダー、セクシュアリティというキーワードに関心がある方におすすめの科目です。夏目漱石「草枕」や三島由紀夫「仮面の告白」等の文学作品を読みながら、「性」や「日本」について考えます。



マイナーの説明

目的：ジェンダー問題の当事者として、社会における女性の立場や性的マイノリティについて現状を知り、問題にどう関わっていくかを考えること。その上で問題提起し続けていくこと。

科目：「ジェンダー論」、「セクシュアリティ・スタディーズ」、「文化社会論基礎」など。



マイナーにつながる活動

性教育講師として、月経やジェンダーをテーマに講座やイベントを開催しています。

大学3年生の4月から2月までの期間でNPO法人「せいしとらんし熊本」で性教育を勉強し、3月に月経について語るイベントを開催しました。

学びは、日常の「危うい瞬間」に自分の支えになる

「個人的なことは政治的なこと」

自分はひとりぼっちで苦しみと闘っているわけではなく、学問として研究されるほど多くの人が感じている苦しみで、実際に行動を起こして解決に向けて闘っている人もいると知ることが気持ちを内側から支えてくれる。



オナーズ型マイナー「医学物理学基礎」

氏名：笹森 玲那

所属：理学部 理学科 物理学プログラム 3年

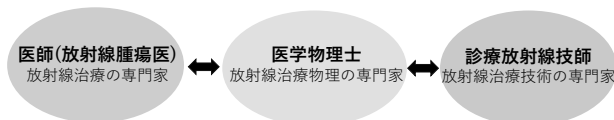
出身：青森県（青森高校）

◆マイナーを始めたきっかけ

1年次第1タームの「理学スタディ・スキルズ」という授業では理学部の各プログラムの特色について学びます。その中で、理学部物理学プログラムと関連するマイナーとして「医学物理学基礎」があることを知りました。物理学にも医学にも興味があったため、履修してみようと思いました。

◆医学物理学とは？

物理学の知識・成果を医学に応用する学術分野です。主に放射線治療・放射線診断・各医学・放射線防護の4つの領域があり、人類の健康に寄与する学問であることが特徴です。医学物理学の専門家「医学物理士」は、医師と連携をとり、放射線を用いたがん医療が適切に行われるための専門医療職者で、近年注目されています。



◆おすすめの科目

「人体の構造と機能及び疾病」

Gコード（教養科目）ですが、実際に医師の経験のある先生が講義をされるので、専門的なお話が聞けます。学部を問わず、医学に少しでも興味のある人におすすめです。

※「医学物理学基礎」の対象科目ではありません。

◆わたしの大学生生活

授業を受けるほかに、空き時間をうまく使って課題に取り組んでいます。そのほかに、週に3日程度カフェでアルバイトをしています。小学1年生から始めた書道・硬筆（ペン字）を通信教育で続けていて、先日ペン字の教授免許を取得しました。

高校生・受験生へのメッセージ

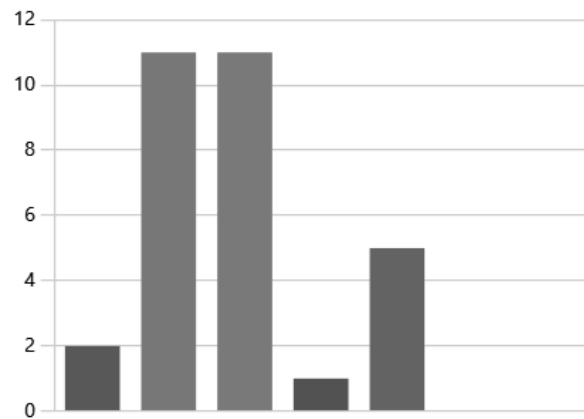
量子力学や統計力学など、大学で学ぶ物理学は、高校までと異なり「目で見てわかる」レベルではなく難易度も高いです。ですが、計算から答えを導いたり友人と議論したりすることはとても楽しく、勉強すればするほど関心が深まります。

医学について学ぶのは大変に見えるかもしれませんが、学びたいことを学べる喜びを感じながら、充実した大学生活を送ることができています。入学時には自分の将来について具体的なイメージができていませんでしたが、マイナー学修を通して将来の目標が定まりました。

新潟大学オープンキャンパス2023「学部を越えたみらい教育」NICEプログラムアンケート

1. ご自身の立場に当てはまるものを一つ選択してください。

● 高校1年生	2
● 高校2年生	11
● 高校3年生	11
● 高卒生	1
● 保護者	5
● 高校教職員	0
● その他	0



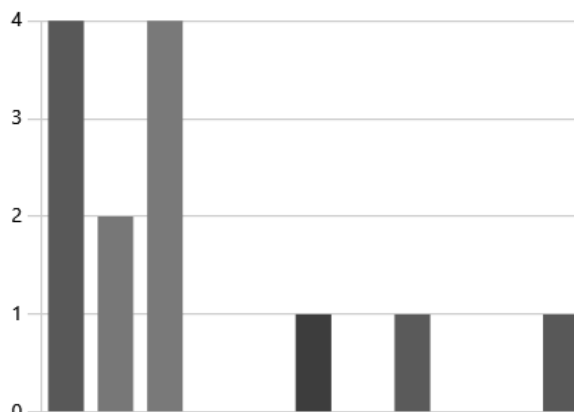
2. NICEプログラムについて以前から知っていましたか。

● 1 知っていた	4
● 2 知らなかった	26



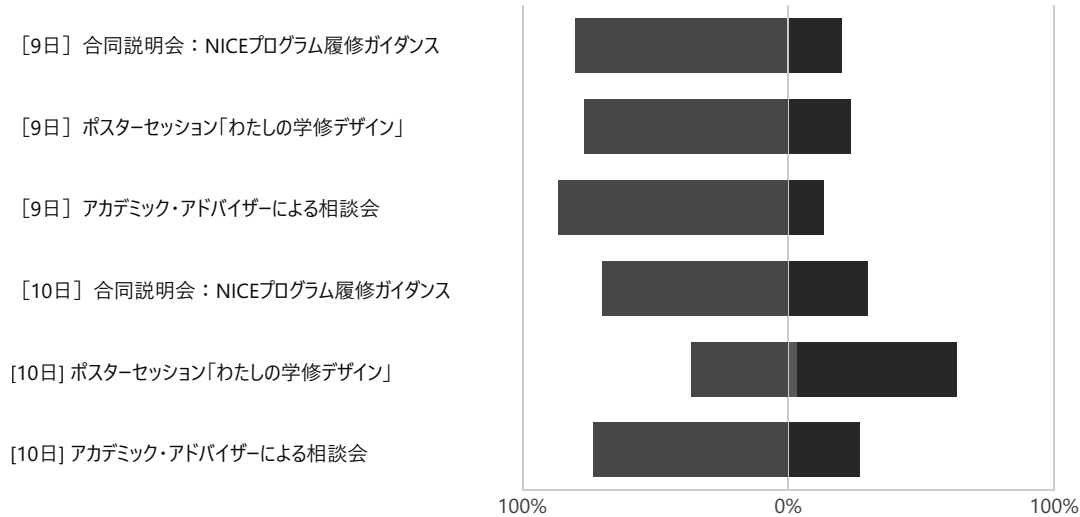
3. 前の質問で1と回答した人におたずねします。何でNICEプログラムを知りましたか。

● 新潟大学ウェブサイト	4
● 入試情報サイト	2
● 新潟大学パンフレット（大学案内2...	4
● X（旧 Twitter）	0
● Instagram	0
● 高校の先生	1
● 塾の先生	0
● 先輩	1
● 友人	0
● 保護者	0
● その他	1



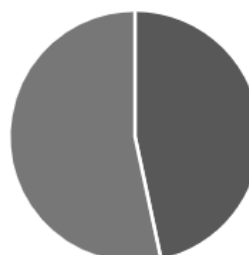
4. 各プログラムの満足度について当てはまるものを一つ選択してください。参加しなかったプログラムについては「参加しなかった」を選択してください。

■ 参加しなかった ■ まったく満足していない ■ あまり満足していない ■ 少し満足した ■ 大変満足した



5. NICEプログラムについて興味をもちましたか。当てはまるものを一つ選択してください。

● かなり興味をもった	14
● 少し興味をもった	16
● あまり興味をもたなかった	0
● まったく興味をもたなかった	0



6. 感想や質問、ご要望等ございましたら、ご自由に記入してください。

9 応答

ID ↑	名前	回答
1	anonymous	親切に対応して頂きありがとうございました。
2	anonymous	いい！
3	anonymous	マイナー学修の説明を聞いて大変そうだけど、自分のやりたい事に取り組めるのでとても興味が湧きました。
4	anonymous	知らなかったことを知れたので楽しかったです。
5	anonymous	初めて知ったのですが、自分のようにやりたいことが明確に決まってない人には良いプログラムだと思いました。
6	anonymous	NICEプログラムに取り組む学生自身が説明したのが良かったです。
7	anonymous	学習デザインの事例がもう一つあれば、マイナープログラムのイメージが掴みやすくなると思います。
8	anonymous	自分の悩みを解決するうえでとても良い参考になりました。
9	anonymous	私はNICEプログラムを知らなかったのですが、今回説明やポスターなどを聞いたり見たりして、興味をもつことができました。今後、進路を考えていく上で参考にしていきたいと思いました。ありがとうございました。

What's NICE?

新潟大学では、2021年度より、メジャー・マイナー制を導入した新しい教育プログラム、全学分野横断創生(NICE)プログラムがスタートしました。NICEプログラムは、複数の分野を体系的に学ぶことのできる、新潟大学独自の制度です。

➤ NICEプログラム履修ガイダンスを開催します

【日時・会場】 2023年 4月 4日(火)、5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階 エントランス・ラウンジ
- ② 16:00-18:00 総合教育研究棟 E260教室 (15:50から受付)

【内容】

- ① 3種類のマイナーの特徴や違い、マイナー履修の手順、時間割の組み方に関する疑問や不安にアカデミック・アドバイザーやマイナー履修中の学生が対応します。
- ② マイナー履修の全体説明のほか、学修創生型・パッケージ型合同ブース、各オナース型プログラムのブースを設け、個別相談をおこないます。

➤ マイナー支援科目「分野横断デザイン」の開講数を拡大しました

第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)
月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)
木6限(対面)	火3限(遠隔)	火4限(対面)	火4限(対面)
第1学期		第2学期	
[集中]隔週 水6限(遠隔)		[集中]隔週 火6限(遠隔)	

「分野横断デザイン」は、マイナー学修のテーマやねらい、履修計画の立案を目標とするマイナー学修の導入科目です。関心を持っている学生にご案内ください。

人文学部のマイナー履修登録者動向

人文学部のマイナー履修登録者の特徴

マイナー登録者： 158名 (2023年 2月現在)

【学年別】 1年生：19名、2年生：33名、3年生：54名、4年生：31名

※ 2017、2018年度入学の登録者：21名

- 【プログラム別】
- ① オナース型「外国語(ドイツ語)」：21名
 - ② オナース型「外国語(英語)」：18名
 - ③ 学修創生型(テーマは各自で設定)：13名
 - ④ オナース型「外国語(ロシア語)」：12名
 - オナース型「芸術学」：12名 (2022年度より募集停止)

学修創生型マイナー

学修創生 13 未定(分野横断デザイン受講後に決定) 15

パッケージ型マイナー

アグロ・フードアソシエーツ	2	データサイエンスリテラシー	11	ふるさと共創学	6
ことづくり・マネジメント	2	ジオパーク	2	外国語(ロシア語)	
コミュニティ・マネジメント	5	地域災害環境システム	1	MOT基礎	
				(特許・経営および製品開発基礎コース)	

領域学修基礎パッケージ

心理・人間学	2	化学		知能情報システム	
社会文化学	4	生物学		化学システム工学	
言語文化学	1	自然環境科学		材料科学	
法学	3	機械システム工学		建築学	
数学		社会基盤工学		生物資源科学/流域環境学	1
物理学		電子情報通信		応用生命科学/食品科学	

オナース型マイナー

環境学	5	外国語(ロシア語)	6	統合化学	
外国語(ドイツ語)	21	外国語(中国語)	12	医学物理学基礎	
外国語(英語)	18	GIS(地理情報システム)リテラシー	5	学校教育実践	5
外国語(フランス語)	9	経済学	4	データサイエンス	5
外国語(ロシア語)	8	電子・情報科学			

※登録者数上位5プログラム赤字

マイナー履修登録者動向(全学・各学部)

	全学	人文	教育	法	経済	理	医	歯	工	農	創生
在学生数	9610	947	812	757	1058	894	1443	360	2305	757	277
登録学生数	822	158	33	67	147	114	29	0	148	103	23
登録プログラム数	1179	208	40	88	207	169	32	0	232	158	45

学生の声 ~Voice of Student~

マイナー学修に意欲的に取り組んでいる、人文学部生を紹介します



Cho Yunbinさん
人文学部
言語文化学プログラム
2020年度入学
オナーズ型マイナー
「データサイエンス」

Q なぜ「データサイエンス」の履修をはじめたのですか？

A メジャーである言語学への関心がその理由です。近年、自然言語処理技術に大きな発展があり、パソコン上で言語を処理するという重要なタスクに、従来の言語学知識がそれほど使われなくなりました。長らく人間の言語を扱ってきた言語学と、現代に登場した自然言語処理技術の間のギャップは何なのか。その疑問を解決するために、人間の言語だけでなく、コンピュータ言語を学んでみようと思いました。

Q 文系の学生がデータサイエンスを学ぶことに難しさを感じませんでしたか？

A もちろん感じました。履修科目の多くが理系学部で開設されていることが第一のハードルでした。また、理系と文系科目の結びつきが多くないため、勉強の時間を十分に取らないと講義の内容を理解することすらできません。何よりも、マイナーがメインにならないように、メジャーをサポートできるマイナーの応用方法を自ら工夫していくのが必要でした。

確かに文系学生にとってデータサイエンスの履修は簡単ではありませんが、大きな可能性があると思います。データサイエンスを勉強することで、まったく異なる分野の知識が私たちの日常を形成していることに気づかされます。この気づきは、視野を広げ、他分野の人々とのコミュニケーションができる能力を育てます。CHAT GPTのようなAIモデルの導入で、課題の設定と知識の応用がより重要になった今、分野の境界を越えて、既存の知識や現象に文系の想像力を加えると、新しいアイデアを生み出せるのではないのでしょうか。

ひとこと

フェミニストとして、言語学とデータサイエンスという「武器」をもって、現代を切り拓くパイオニアになりたいと思っています。

お問い合わせ先

NICC スタッフ・オフィス (総合教育研究棟D棟2階 D205)



分野横断型学修に役立つ書籍を集めた「NICEライブラリー」を併設しています。お気軽にお立ち寄りください。

NICC 学修デザイン相談室 (総合教育研究棟A棟2階 A211)



学修デザイン相談室
開室曜日・時間

- 火・木・金曜日
- 11:55-12:45, 3限, 4限
- 予約の必要はありません (休業期間を除く)

アカデミック・アドバイザーが、マイナー学修全般について相談を受け付けています。学生からマイナーに関する問い合わせがあった場合は、こちらをご紹介します。

アカデミック・アドバイザー 神田麻衣子 (特任准教授)
TEL: 025-262-6105 (内線: 6105) Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp

【お問い合わせ先】
新潟大学 教育基盤機構 未来教育開発部門 未来教育支援室
全学分野横断創生プログラム(NICEプログラム)

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL: 025-262-6303 Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp



これからのスケジュール

NICEプログラム履修ガイダンス

4月4日(火), 5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階エントランス・ラウンジ
- ② 16:00-18:00 総合教育研究棟E260教室(15:50から受付)

※ 履修ガイダンスは以下の予定でも開催予定です(場所未定)。

4月6日(木), 7日(金), 11日(火): HT (11:55-12:45), 5限
4月10日(月), 12日(水): HT (11:55-12:45)

詳細が決まり次第、ホームページ等で案内します。

マイナー学修(副専攻)履修申請締め切り

4月28日(金) (4月1日より、学務情報システムにて申請開始)

※ 履修申請期間は、各学期はじめの年2回です。
原則として、履修許可申請期間(科目の履修登録期間)と同じです。

パッケージ型マイナーの修了認定について

各学期末にパッケージ型マイナーの修了認定を実施しています。マイナー学修の修了要件を満たしている場合、証明書発行機から修了証の発行が可能です。

各学期末の終了2ヶ月前をめぐりに、学務情報システムを通して、修了認定に関する全学連絡通知を行う予定です。

不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

What's
NICE?

新潟大学では、2021年度より、メジャー・マイナー制を導入した新しい教育プログラム、全学分野横断創生(NICE)プログラムがスタートしました。NICEプログラムは、複数の分野を体系的に学ぶことのできる、新潟大学独自の制度です。

▶ NICEプログラム履修ガイダンスを開催します

【日時・会場】 2023年 4月 4日(火)、5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階 エントランス・ラウンジ
② 16:00-18:00 総合教育研究棟 E260教室 (15:50から受付)

【内容】

- ① 3種類のマイナーの特徴や違い、マイナー履修の手順、時間割の組み方に関する疑問や不安にアカデミック・アドバイザーやマイナー履修中の学生が対応します。
② マイナー履修の全体説明のほか、学修創生型・パッケージ型合同ブース、各オナーズ型プログラムのブースを設け、個別相談をおこないます。

▶ マイナー支援科目「分野横断デザイン」の開講数を拡大しました

第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)
月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)
木6限(対面)	火3限(遠隔)	火4限(対面)	火4限(対面)
第1学期		第2学期	
[集中]隔週 水6限(遠隔)		[集中]隔週 火6限(遠隔)	

「分野横断デザイン」は、マイナー学修のテーマやねらい、履修計画の立案を目標とするマイナー学修の導入科目です。関心を持っている学生にご案内ください。

教育学部のマイナー履修登録者動向

教育学部のマイナー履修登録者の特徴

マイナー登録者： 33名 (2023年 2月現在)

【学年別】 1年生：9名、2年生：11名、3年生：7名、4年生：4名

【プログラム別】

- ① 学修創生型 (テーマは各自で設定) : 6名
② 未定 (分野横断デザイン受講後に決定) : 4名
③ パッケージ型「心理・人間学」 : 3名
オナーズ型「GISリテラシー」 : 3名
④ パッケージ型「コミュニティ・マネジメント」 : 2名

※ 2017, 2018年度入学の登録者：2名

学修創生型マイナー

学修創生	6	未定 (分野横断デザイン受講後に決定)	4
------	---	---------------------	---

パッケージ型マイナー

アグロ・フードアソシエーツ	1	データサイエンスリテラシー	ふるさと共創学
ことづくり・マネジメント		ジオパーク	外国語 (ロシア語)
コミュニティ・マネジメント	2	地域災害環境システム	MOT基礎 (特許・経営および製品開発基礎コース)

領域学修基礎パッケージ

心理・人間学	3	化学	知能情報システム
社会文化学		生物学	化学システム工学
言語文化学	1	自然環境科学	材料科学
法学	1	機械システム工学	建築学
数学	1	社会基盤工学	生物資源科学/流域環境学
物理学		電子情報通信	応用生命科学/食品科学

オナーズ型マイナー

環境学		外国語 (ロシア語)	1	統合化学
外国語 (ドイツ語)	1	外国語 (中国語)	1	医学物理学基礎
外国語 (英語)		GIS (地理情報システム) リテラシー	3	学校教育実践
外国語 (フランス語)		経済学	1	データサイエンス
外国語 (コリア)		電子・情報科学		

※登録者数上位5プログラム赤字

マイナー履修登録者動向 (全学・各学部)

	全学	人文	教育	法	経済	理	医	歯	工	農	創生
在学生数	9610	947	812	757	1058	894	1443	360	2305	757	277
登録学生数	822	158	33	67	147	114	29	0	148	103	23
登録プログラム数	1179	208	40	88	207	169	32	0	232	158	45

学生の声 ~Voice of Student~

マイナー学修に意欲的に取り組んでいる、教育学部生を紹介します



小山 凱人さん

教育学部 教科教育コース
国語教育専修
2022年度入学

学修創生型マイナー
「様々な人と繋がるための
コミュニケーション」

Q なぜマイナー学修をはじめたのですか？

A 出身が上越なのですが、高校生のときに進学先を上越教育大にするか、新大にするか迷いました。決め手になったのは、新大が総合大学だということでした。いろいろな学部にかかわったほうが知見が広がるし、それは教員となる上でもプラスになると思い、新潟大学の教育学部に進学しました。入学後にNICEプログラムを知って、自分が思っていた通りのものがあると思い、マイナー学修をはじめました。この大学でしかできないことだと思います。

Q マイナー支援科目「分野横断デザイン」はどうでしたか？

A 自分のマイナー学修計画を立てることが主眼ですが、その過程で他学部や上学年の学生とグループワークをする機会が持てます。他の人のマイナー学修の目的やテーマ、興味・関心の広がり方は自分とは異なるので、「知らないことを知る」という感覚でした。

わたしは1年次の1学期に履修したので、「コミュニケーション」という自分の興味・関心を深掘りして、それを2学期からの科目履修に活かすことができました。教育学部生は2年から忙しくなるので、1年1学期に履修するとよい科目だと思います。

Q 将来についてどのように考えていますか？

A 自分が学校教育を受けてきて、足りないと感じたこと、もっと知りたいと思ったことがあります。それを教えられる人、そういう授業のできる人になりたいです。一方的に教えるのではなく、教えることを通して得られるものがあるはずです。1年2学期から「分野横断デザイン」で、グループワークのファシリテーターを務めています。それもこの思いの延長線上にあります。自分の価値観や認識を絶対のものとして譲らないのではなく、他の人とすり合わせてみることで、新しい方法が拓けていくように感じています。

お問い合わせ先

NICC スタッフ・オフィス (総合教育研究棟D棟2階 D205)



分野横断型学修に役立つ書籍を集めた「NICEライブラリー」を併設しています。お気軽にお立ち寄りください。

NICC 学修デザイン相談室 (総合教育研究棟A棟2階 A211)



学修デザイン相談室 開室曜日・時間

- 火・木・金曜日
- 11:55-12:45, 3限, 4限
- 予約の必要はありません (休業期間を除く)

アカデミック・アドバイザーが、マイナー学修全般について相談を受け付けています。学生からマイナーに関する問い合わせがあった場合は、こちらをご紹介します。

アカデミック・アドバイザー 神田麻衣子 (特任准教授)
TEL: 025-262-6105 (内線: 6105) Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp

【お問い合わせ先】
新潟大学 教育基盤機構 未来教育開発部門 未来教育支援室
全学分野横断創生プログラム(NICEプログラム)

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL: 025-262-6303 Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp



これからのスケジュール

NICEプログラム履修ガイダンス

4月4日(火), 5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階エントランス・ラウンジ
- ② 16:00-18:00 総合教育研究棟 E260教室(15:50から受付)

※ 履修ガイダンスは以下の予定でも開催予定です (場所未定)。

4月6日(木), 7日(金), 11日(火): HT (11:55-12:45), 5限
4月10日(月), 12日(水): HT (11:55-12:45)

詳細が決まり次第、ホームページ等で案内します。

マイナー学修(副専攻)履修申請締め切り

4月28日(金) (4月1日より、学務情報システムにて申請開始)

※ 履修申請期間は、各学期はじめの年2回です。
原則として、履修許可申請期間(科目の履修登録期間)と同じです。

パッケージ型マイナーの修了認定について

各学期末にパッケージ型マイナーの修了認定を実施しています。マイナー学修の修了要件を満たしている場合、証明書発行機から修了証の発行が可能です。

各学期末の終了2ヶ月前をめぐりに、学務情報システムを通して、修了認定に関する全学連絡通知を行う予定です。

不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

What's
NICE?

新潟大学では、2021年度より、メジャー・マイナー制を導入した新しい教育プログラム、全学分野横断創生(NICE)プログラムがスタートしました。NICEプログラムは、複数の分野を体系的に学ぶことのできる、新潟大学独自の制度です。

▶ NICEプログラム履修ガイダンスを開催します

【日時・会場】 2023年 4月 4日(火)、5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階 エントランス・ラウンジ
- ② 16:00-18:00 総合教育研究棟 E260教室 (15:50から受付)

【内容】

- ① 3種類のマイナーの特徴や違い、マイナー履修の手順、時間割の組み方に関する疑問や不安にアカデミック・アドバイザーやマイナー履修中の学生が対応します。
- ② マイナー履修の全体説明のほか、学修創生型・パッケージ型合同ブース、各オナーズ型プログラムのブースを設け、個別相談をおこないます。

▶ マイナー支援科目「分野横断デザイン」の開講数を拡大しました

第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)
月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)
木6限(対面)	火3限(遠隔)	火4限(対面)	火4限(対面)
第1学期		第2学期	
[集中]隔週 水6限(遠隔)		[集中]隔週 火6限(遠隔)	

「分野横断デザイン」は、マイナー学修のテーマやねらい、履修計画の立案を目標とするマイナー学修の導入科目です。関心を持っている学生にご案内ください。

法学部のマイナー履修登録者動向

法学部のマイナー履修登録者の特徴

マイナー登録者： 67名 (2023年 2月現在)

【学年別】1年生：17名、2年生：21名、3年生：14名、4年生：8名

※ 2017, 2018年度入学の登録者：7名

【プログラム別】	登録者数
① オナーズ型「経済学」	13名
② 学修創生型 (テーマは各自で設定)	12名
③ 未定 (分野横断デザイン受講後に決定)	11名
④ パッケージ型「データサイエンスリテラシー」	6名
⑤ オナーズ型「外国語 (中国語)」	5名

学修創生型マイナー

学修創生	12	未定 (分野横断デザイン受講後に決定)	11
------	----	---------------------	----

パッケージ型マイナー

アグロ・フードアソシエーツ	1	データサイエンスリテラシー	6	ふるさと共創学	3
ことづくり・マネジメント	1	ジオパーク		外国語 (ロシア語)	
コミュニティ・マネジメント	2	地域災害環境システム	1	MOT基礎	1
				(特許・経営および製品開発基礎コース)	

領域学修基礎パッケージ

心理・人間学	2	化学		知能情報システム	
社会文化学		生物学		化学システム工学	
言語文化学		自然環境科学		材料科学	
法学		機械システム工学		建築学	
数学		社会基盤工学		生物資源科学/流域環境学	
物理学		電子情報通信		応用生命科学/食品科学	

オナーズ型マイナー

環境学		外国語 (ロシア語)	2	統合化学	
外国語 (ドイツ語)	2	外国語 (中国語)	5	医学物理学基礎	
外国語 (英語)	4	GIS (地理情報システム) リテラシー		学校教育実践	2
外国語 (フランス語)		経済学	13	データサイエンス	3
外国語 (ロシア)	4	電子・情報科学			

※登録者数上位5プログラム赤字

マイナー履修登録者動向 (全学・各学部)

	全学	人文	教育	法	経済	理	医	歯	工	農	創生
在学生数	9610	947	812	757	1058	894	1443	360	2305	757	277
登録学生数	822	158	33	67	147	114	29	0	148	103	23
登録プログラム数	1179	208	40	88	207	169	32	0	232	158	45

学生の声 ～Voice of Student～

マイナー学修に意欲的に取り組んでいる、法学部生を紹介します



青柳 匠馬さん

法学部
2022年度入学

学修創生型マイナー
「地域住民と協力した防災
活動によるまちづくり」

Q なぜマイナー学修をはじめたのですか？

A 高校時代にボランティア活動で福島の被災地を訪れたのですが、沿岸の景色を目にして被災の現実を実感したことが原点にあります。
その後、地元の栃木県小山市で大雨による大規模な浸水被害が起こり、身近な人たちが被災するという経験を経て、日本赤十字社の防災教育プログラムに参加しました。そこで学んだのは、同じ日本でも地域によって災害のリスクが大きく異なるということです。
将来は防災に関わる仕事がしたいと思い、マイナーで防災への理解を深めたいと思いました。

Q マイナー履修で印象に残った科目は何ですか？

A 「現代社会論」を履修しました。社会学の講義なのですが、「災害の社会学」という授業回で中越地震を経験した地域コミュニティの復興例が印象深かったです。震災という非常時に力を発揮できたコミュニティは、震災以前から町内会や婦人会での活動を通して人と人とのつながりが強かったことを知り、まちづくりの大切さを学びました。

Q マイナーでの学びを活かしていることがあれば教えてください。

A 2022年の夏に、地元の同級生や部活の後輩たちとボランティア団体を立ち上げました。まだ立ち上げて間もないので（インタビュー時は2022年11月）、ほかの団体が実施している活動（小学生の夏休みの学習支援、ナイジェリアの教育支援のための物販活動など）のサポートをしていますが、将来的には自分がマイナーで得た知識を実践する場になれば、と考えています。

お問い合わせ先

NICC スタッフ・オフィス（総合教育研究棟D棟2階 D205）



分野横断型学修に役立つ書籍を集めた「NICEライブラリー」を併設しています。お気軽にお立ち寄りください。

NICC 学修デザイン相談室（総合教育研究棟A棟2階 A211）



学修デザイン相談室 開室曜日・時間

- 火・木・金曜日
- 11:55-12:45, 3限, 4限
- 予約の必要はありません（休業期間を除く）

アカデミック・アドバイザーが、マイナー学修全般について相談を受け付けています。学生からマイナーに関する問い合わせがあった場合は、こちらをご紹介します。

アカデミック・アドバイザー 神田麻衣子（特任准教授）
TEL: 025-262-6105（内線：6105）Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp

【お問い合わせ先】
新潟大学 教育基盤機構 未来教育開発部門 未来教育支援室
全学分野横断創生プログラム(NICEプログラム)

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL: 025-262-6303 Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp



これからのスケジュール

NICEプログラム履修ガイダンス

4月4日(火), 5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階エントランス・ラウンジ
- ② 16:00-18:00 総合教育研究棟 E260教室(15:50から受付)

※ 履修ガイダンスは以下の予定でも開催予定です（場所未定）。
4月6日(木), 7日(金), 11日(火): HT (11:55-12:45), 5限
4月10日(月), 12日(水): HT (11:55-12:45)
詳細が決まり次第、ホームページ等で案内します。

マイナー学修(副専攻)履修申請締め切り

4月28日(金) (4月1日より、学務情報システムにて申請開始)

※ 履修申請期間は、各学期はじめの年2回です。
原則として、履修許可申請期間（科目の履修登録期間）と同じです。

パッケージ型マイナーの修了認定について

各学期末にパッケージ型マイナーの修了認定を実施しています。マイナー学修の修了要件を満たしている場合、証明書発行機から修了証の発行が可能です。

各学期末の終了2ヶ月前をめぐりに、学務情報システムを通して、修了認定に関する全学連絡通知を行う予定です。

不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

What's
NICE?

新潟大学では、2021年度より、メジャー・マイナー制を導入した新しい教育プログラム、全学分野横断創生(NICE)プログラムがスタートしました。NICEプログラムは、複数の分野を体系的に学ぶことのできる、新潟大学独自の制度です。

▶ NICEプログラム履修ガイダンスを開催します

【日時・会場】 2023年 4月 4日(火)、5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階 エントランス・ラウンジ
② 16:00-18:00 総合教育研究棟 E260教室 (15:50から受付)

【内容】

- ① 3種類のマイナーの特徴や違い、マイナー履修の手順、時間割の組み方に関する疑問や不安にアカデミック・アドバイザーやマイナー履修中の学生が対応します。
② マイナー履修の全体説明のほか、学修創生型・パッケージ型合同ブース、各オナーズ型プログラムのブースを設け、個別相談をおこないます。

▶ マイナー支援科目「分野横断デザイン」の開講数を拡大しました

第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)
月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)
木6限(対面)	火3限(遠隔)	火4限(対面)	火4限(対面)
第1学期		第2学期	
[集中]隔週 水6限(遠隔)		[集中]隔週 火6限(遠隔)	

「分野横断デザイン」は、マイナー学修のテーマやねらい、履修計画の立案を目標とするマイナー学修の導入科目です。関心を持っている学生にご案内ください。

経済科学部のマイナー履修登録者動向

経済科学部のマイナー履修登録者の特徴

マイナー登録者： 147名 (2023年 2月現在)

【学年別】 1年生：35名、2年生：55名、3年生：38名、4年生：13名

※ 2017、2018年度入学の登録者：6名

【プログラム別】

① パッケージ型「データサイエンスリテラシー」	42名
② オナーズ型「データサイエンス」	24名
③ 未定(分野横断デザイン受講後に決定)	21名
④ 学修創生型(テーマは各自で設定)	15名
⑤ パッケージ型「ことづくり・マネジメント」	11名

学修創生型マイナー

学修創生	15	未定(分野横断デザイン受講後に決定)	21
------	----	--------------------	----

パッケージ型マイナー

アグロ・フードアソシエーツ	データサイエンスリテラシー	42	ふるさと共創学	8
ことづくり・マネジメント	ジオパーク	11	外国語(ロシア語)	
コミュニティ・マネジメント	地域災害環境システム	5	MOT基礎	1
			(特許・経営および製品開発基礎コース)	

領域学修基礎パッケージ

心理・人間学	3	化学	1	知能情報システム
社会文化学	2	生物学		化学システム工学
言語文化学	1	自然環境科学		材料科学
法学	4	機械システム工学		建築学
数学	1	社会基盤工学		生物資源科学/流域環境学
物理学	1	電子情報通信		応用生命科学/食品科学

オナーズ型マイナー

環境学	4	外国語(ロシア語)	1	統合化学
外国語(ドイツ語)	3	外国語(中国語)	5	医学物理学基礎
外国語(英語)	5	GIS(地理情報システム)リテラシー	2	学校教育実践
外国語(フランス語)	2	経済学	4	データサイエンス
外国語(ロシア)	6	電子・情報科学	3	24

※登録者数上位5プログラム赤字

マイナー履修登録者動向(全学・各学部)

	全学	人文	教育	法	経済	理	医	歯	工	農	創生
在学生数	9610	947	812	757	1058	894	1443	360	2305	757	277
登録学生数	822	158	33	67	147	114	29	0	148	103	23
登録プログラム数	1179	208	40	88	207	169	32	0	232	158	45

学生の声 ~Voice of Student~

マイナー学修に意欲的に取り組んでいる、経済科学部生を紹介します



佐々木 真理也さん

経済科学部
経済学プログラム
2021年度入学

学修創生型マイナー
「日本から見る国際支援」

Q なぜマイナー学修をはじめたのですか？

A 大学に入る前から、将来は国際支援にかかわりたいと思っていました。国際支援の現場では、資金が尽きると事業が進まなくなってしまうので、経済的な視点を持つことは大切です。そこで、メジャーは経済学を選びました。ですが、せっかく総合大学に入ったのに、経済学を学ぶだけでは物足りない気がして、マイナー学修を始めました。将来やりたいことにつながるものを学んだほうが充実するだろうと思ったからです。

Q マイナーとしてどのような科目を履修しましたか？

A 「平和学概論」や「平和を考える」といった、平和学に関する科目を履修しました。「平和学概論」は、紛争や環境問題といった国際レベルの問題をテーマとして扱っていて、学生同士でディスカッションをして意見を共有します。ほかの受講者のひらめきや意見などは、自分の発想にはないものなので、視野が広がって刺激的でした。

Q メジャーとマイナーの両立はどうですか？

A 1年次の1学期でマイナー支援科目「分野横断デザイン」を履修し、1年2学期からマイナー履修を本格的にスタートしました。1年次の第3、4タームは、アカデミック・スキル科目（スタディ・スキルズ、データサイエンス総論I）や英語、初修外国語（フランス語）とあわせて、マイナー科目を履修していたので、週5日毎日授業があり、多い日には5コマ連続で受講していました。2年生になってからのほうが、時間的に余裕をもってメジャー・マイナーの履修を進められています。

お問い合わせ先

NICC スタッフ・オフィス（総合教育研究棟D棟2階 D205）



分野横断型学修に役立つ書籍を集めた「NICEライブラリー」を併設しています。お気軽にお立ち寄りください。

NICC 学修デザイン相談室（総合教育研究棟A棟2階 A211）



学修デザイン相談室
開室曜日・時間

- 火・木・金曜日
- 11:55-12:45, 3限, 4限
- 予約の必要はありません（休業期間を除く）

アカデミック・アドバイザーが、マイナー学修全般について相談を受け付けています。学生からマイナーに関する問い合わせがあった場合は、こちらをご紹介ください。

アカデミック・アドバイザー 神田麻衣子（特任准教授）
TEL: 025-262-6105（内線：6105）Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp

【お問い合わせ先】
新潟大学 教育基盤機構 未来教育開発部門 未来教育支援室
全学分野横断創生プログラム(NICEプログラム)

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL: 025-262-6303 Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp



これからのスケジュール

NICEプログラム履修ガイダンス

4月4日(火)、5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階エントランス・ラウンジ
- ② 16:00-18:00 総合教育研究棟 E260教室(15:50から受付)

※ 履修ガイダンスは以下の予定でも開催予定です（場所未定）。

4月6日(木)、7日(金)、11日(火): HT(11:55-12:45), 5限
4月10日(月)、12日(水): HT(11:55-12:45)

詳細が決まり次第、ホームページ等で案内します。

マイナー学修(副専攻)履修申請締め切り

4月28日(金) (4月1日より、学務情報システムにて申請開始)

※ 履修申請期間は、各学期ははじめの年2回です。
原則として、履修許可申請期間(科目の履修登録期間)と同じです。

パッケージ型マイナーの修了認定について

各学期末にパッケージ型マイナーの修了認定を実施しています。マイナー学修の修了要件を満たしている場合、証明書発行機から修了証の発行が可能です。

各学期末の終了2ヶ月前をめぐりに、学務情報システムを通して、修了認定に関する全学連絡通知を行う予定です。

不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

What's
NICE?

新潟大学では、2021年度より、メジャー・マイナー制を導入した新しい教育プログラム、全学分野横断創生(NICE)プログラムがスタートしました。NICEプログラムは、複数の分野を体系的に学ぶことのできる、新潟大学独自の制度です。

▶ NICEプログラム履修ガイダンスを開催します

【日時・会場】 2023年 4月 4日(火)、5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階 エントランス・ラウンジ
② 16:00-18:00 総合教育研究棟 E260教室 (15:50から受付)

【内容】

- ① 3種類のマイナーの特徴や違い、マイナー履修の手順、時間割の組み方に関する疑問や不安にアカデミック・アドバイザーやマイナー履修中の学生が対応します。
② マイナー履修の全体説明のほか、学修創生型・パッケージ型合同ブース、各オナース型プログラムのブースを設け、個別相談をおこないます。

▶ マイナー支援科目「分野横断デザイン」の開講数を拡大しました

第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)
月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)
木6限(対面)	火3限(遠隔)	火4限(対面)	火4限(対面)
第1学期		第2学期	
[集中]隔週 水6限(遠隔)		[集中]隔週 火6限(遠隔)	

「分野横断デザイン」は、マイナー学修のテーマやねらい、履修計画の立案を目標とするマイナー学修の導入科目です。関心を持っている学生にご案内ください。

理学部のマイナー履修登録者動向

理学部のマイナー履修登録者の特徴

マイナー登録者： 114名 (2023年 2月現在)

【学年別】 1年生：20名， 2年生：39名， 3年生：35名， 4年生：16名

※ 2017, 2018年度入学の登録者：4名

【プログラム別】

① パッケージ型「データサイエンスリテラシー」	：34名
② オナース型「データサイエンス」	：20名
③ オナース型「医学物理学基礎」	：15名
④ 学修創生型 (テーマは各自で設定)	：12名
⑤ オナース型「GISリテラシー」	：9名

学修創生型マイナー

学修創生	12	未定 (分野横断デザイン受講後に決定)	9
------	----	---------------------	---

パッケージ型マイナー

アグロ・フードアソシエーツ	データサイエンスリテラシー	34	ふるさと共創学
ことづくり・マネジメント	ジオパーク	4	外国語 (ロシア語)
コミュニティ・マネジメント	地域災害環境システム	2	MOT基礎
			(特許・経営および製品開発基礎コース)

領域学修基礎パッケージ

心理・人間学	化学	2	知能情報システム
社会文化学	生物学	1	化学システム工学
言語文化学	自然環境科学	2	材料科学
法学	機械システム工学		建築学
数学	社会基盤工学	1	生物資源科学/流域環境学
物理学	電子情報通信		応用生命科学/食品科学

オナース型マイナー

環境学	7	外国語 (ロシア語)	3	統合化学	7
外国語 (ドイツ語)	3	外国語 (中国語)		医学物理学基礎	15
外国語 (英語)	4	GIS (地理情報システム) リテラシー	9	学校教育実践	6
外国語 (フランス語)		経済学	4	データサイエンス	20
外国語 (ロシア)	1	電子・情報科学	3		

※登録者数上位5プログラム赤字

マイナー履修登録者動向 (全学・各学部)

	全学	人文	教育	法	経済	理	医	歯	工	農	創生
在学生数	9610	947	812	757	1058	894	1443	360	2305	757	277
登録学生数	822	158	33	67	147	114	29	0	148	103	23
登録プログラム数	1179	208	40	88	207	169	32	0	232	158	45

学生の声 ~Voice of Student~

マイナー学修に意欲的に取り組んでいる、理学部生を紹介します



笹森 玲那さん

理学部
物理学プログラム
2021年度入学

オナーズ型マイナー
「医学物理学基礎」

Q なぜマイナー学修をはじめたのですか？

A 1年次の第1タームの「理学スタディ・スキルズ」でマイナーについて知ったことがきっかけです。この授業で物理学プログラムと関連するマイナーとして「医学物理学基礎」があることを知り、履修してみようと思いました。

Q 「医学物理学基礎」で印象に残っている科目は何ですか？

A 「放射線治療技術学I」です。がん治療をはじめとする放射線治療全般について、医療現場での実例も扱うような専門的な内容です。医学部保健学科の放射線技術科学専攻の学生向けの科目ですが、先生の説明には、理解を促すような工夫が凝らされているので、理学部生でも授業についていくことができています。

Q メジャーとマイナーの両立は大変ではないですか？

A 「医学物理学基礎」は、その名の通り、「医学」と「物理学」を並行して学んでいるという感じで、個人的には「メジャー×マイナー」というより、ふたつのメジャーをやっている感覚に近いです。もちろん大変ですが、アルバイトや書道の通信教育とも両立できています。

入学したときには、大学での学びや自分の将来について、具体的なイメージを持っていたわけではありませんが、物理学プログラムやマイナーの学びを通して、やりたいことを見つけられました。

ひとこと

2022年度、マイナー支援科目「分野横断デザイン」で、授業中のグループワークのファシリテーターを務めていました。所定の研修のうちに実践経験を積み、無事「認定証」を授与されました。

お問い合わせ先

NICC スタッフ・オフィス (総合教育研究棟D棟2階 D205)



分野横断型学修に役立つ書籍を集めた「NICEライブラリー」を併設しています。お気軽にお立ち寄りください。

NICC 学修デザイン相談室 (総合教育研究棟A棟2階 A211)



学修デザイン相談室
開室曜日・時間

- 火・木・金曜日
- 11:55-12:45, 3限, 4限
- 予約の必要はありません (休業期間を除く)

アカデミック・アドバイザーが、マイナー学修全般について相談を受け付けています。学生からマイナーに関する問い合わせがあった場合は、こちらをご紹介します。

アカデミック・アドバイザー 神田麻衣子 (特任准教授)
TEL: 025-262-6105 (内線: 6105) Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp

【お問い合わせ先】
新潟大学 教育基盤機構 未来教育開発部門 未来教育支援室
全学分野横断創生プログラム(NICEプログラム)

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL: 025-262-6303 Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp



これからのスケジュール

NICEプログラム履修ガイダンス

4月4日(火), 5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階エントランス・ラウンジ
- ② 16:00-18:00 総合教育研究棟E260教室(15:50から受付)

※ 履修ガイダンスは以下の予定でも開催予定です (場所未定)。

4月6日(木), 7日(金), 11日(火): HT (11:55-12:45), 5限
4月10日(月), 12日(水): HT (11:55-12:45)

詳細が決まり次第、ホームページ等で案内します。

マイナー学修(副専攻)履修申請締め切り

4月28日(金) (4月1日より、学務情報システムにて申請開始)

※ 履修申請期間は、各学期ははじめの年2回です。
原則として、履修許可申請期間(科目の履修登録期間)と同じです。

パッケージ型マイナーの修了認定について

各学期末にパッケージ型マイナーの修了認定を実施しています。マイナー学修の修了要件を満たしている場合、証明書発行機から修了証の発行が可能です。

各学期末の終了2ヶ月前をめぐりに、学務情報システムを通して、修了認定に関する全学連絡通知を行う予定です。

不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

NICE NEWSLETTER

Niigata University Interdisciplinary Creative Education Program

What's NICE?

新潟大学では、2021年度より、メジャー・マイナー制を導入した新しい教育プログラム、全学分野横断創生(NICE)プログラムがスタートしました。NICEプログラムは、複数の分野を体系的に学ぶことのできる、新潟大学独自の制度です。

▶ NICEプログラム履修ガイダンスを開催します

【日時・会場】 2023年 4月 4日(火)、5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階 エントランス・ラウンジ
- ② 16:00-18:00 総合教育研究棟 E260教室 (15:50から受付)

【内容】

- ① 3種類のマイナーの特徴や違い、マイナー履修の手順、時間割の組み方に関する疑問や不安にアカデミック・アドバイザーやマイナー履修中の学生が対応します。
- ② マイナー履修の全体説明のほか、学修創生型・パッケージ型合同ブース、各オナーズ型プログラムのブースを設け、個別相談をおこないます。

▶ マイナー支援科目「分野横断デザイン」の開講数を拡大しました

第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)
月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)
木6限(対面)	火3限(遠隔)	火4限(対面)	火4限(対面)
第1学期		第2学期	
[集中]隔週 水6限(遠隔)		[集中]隔週 火6限(遠隔)	

「分野横断デザイン」は、マイナー学修のテーマやねらい、履修計画の立案を目標とするマイナー学修の導入科目です。関心を持っている学生にご案内ください。

工学部のマイナー履修登録者動向

工学部のマイナー履修登録者の特徴

マイナー登録者： 148名 (2023年 2月現在)

【学年別】1年生：18名、2年生：57名、3年生：51名、4年生：17名

※ 2017, 2018年度入学の登録者：5名

【プログラム別】

① パッケージ型「データサイエンスリテラシー」	58名
② オナーズ型「データサイエンス」	33名
③ 未定(分野横断デザイン受講後に決定)	14名
④ オナーズ型「電子・情報科学」	13名
⑤ パッケージ型「ことづくり・マネジメント」	10名

学修創生型マイナー

学修創生	9	未定(分野横断デザイン受講後に決定)	14
------	---	--------------------	----

パッケージ型マイナー

アグロ・フードアソシエーツ	データサイエンスリテラシー	58	ふるさと共創学	1
ことづくり・マネジメント	ジオパーク		外国語(ロシア語)	
コミュニティ・マネジメント	地域災害環境システム	2	MOT基礎	4
			(特許・経営および製品開発基礎コース)	

領域学修基礎パッケージ

心理・人間学	化学		知能情報システム	2
社会文化学	生物学	1	化学システム工学	1
言語文化学	自然環境科学		材料科学	
法学	機械システム工学	2	建築学	
数学	社会基盤工学		生物資源科学/流域環境学	
物理学	電子情報通信		応用生命科学/食品科学	

オナーズ型マイナー

環境学	5	外国語(ロシア語)	1	統合化学	7
外国語(ドイツ語)	1	外国語(中国語)	1	医学物理学基礎	4
外国語(英語)	6	GIS(地理情報システム)リテラシー	2	学校教育実践	1
外国語(フランス語)	2	経済学	7	データサイエンス	33
外国語(コリア)	1	電子・情報科学	13		

※登録者数上位5プログラム赤字

マイナー履修登録者動向(全学・各学部)

	全学	人文	教育	法	経済	理	医	歯	工	農	創生
在学生数	9610	947	812	757	1058	894	1443	360	2305	757	277
登録学生数	822	158	33	67	147	114	29	0	148	103	23
登録プログラム数	1179	208	40	88	207	169	32	0	232	158	45

学生の声 ~Voice of Student~

マイナー学修に意欲的に取り組んでいる、工学部生を紹介します



福岡 凌さん

工学部
社会基盤工学プログラム
2021年度入学

学修創生型マイナー
「自然のメカニズムや人々の暮らしを考えた防災・まちづくり」

Q なぜマイナー学修をはじめたのですか？

A 入学時に進みたい方向はある程度決まっていたのですが、専門にかかわらずいろいろな分野を学んでみたいと思っていました。だからこそ、多数の学部がひとつのキャンパスに集まっていることが、新潟大学に進学した理由のひとつでした。NICEプログラムのことは、入学してから知りました。興味のある分野を自由に学べる「学修創生型マイナー」が面白そうだったので、マイナー学修をはじめました。

Q マイナーとしてどのような科目を履修しましたか？

A 「地学E」や「地学C」、「新潟発福祉学」を履修しました。「新潟発福祉学」は、アカデミック・アドバイザーから提案があった科目です。マイナーの履修計画を立てるために「学修デザイン相談」を利用したのですが、まちづくりというマイナー学修のテーマとの関連でこの科目を提案されました。新潟で福祉の現場に携わる人たちが講義をするオムニバス形式の授業だったので、さまざまな角度から人々の暮らしと福祉について考えることができました。

Q マイナー履修を通して得られたものはありますか？

A 1年1学期にマイナー支援科目「分野横断デザイン」を履修しました。履修後にスチューデント・アシスタント (SA) として、授業中のグループワークのファシリテーターを務めています。この科目では、自分の学びと社会とのつながりを考えたり、それをグループで共有したりします。グループでの話し合いという経験がベースにあるので、受講者間やSA同士で、政治や時事問題などについて自然に意見を交換することができます。学年や学部を越えて、同じ関心を持つ仲間と出会えたことは、自分の大学生活を充実したものにしてくれています。

お問い合わせ先

NICC スタッフ・オフィス (総合教育研究棟D棟2階 D205)



分野横断型学修に役立つ書籍を集めた「NICEライブラリー」を併設しています。お気軽にお立ち寄りください。

NICC 学修デザイン相談室 (総合教育研究棟A棟2階 A211)



学修デザイン相談室 開室曜日・時間

- 火・木・金曜日
- 11:55-12:45, 3限, 4限
- 予約の必要はありません (休業期間を除く)

アカデミック・アドバイザーが、マイナー学修全般について相談を受け付けています。学生からマイナーに関する問い合わせがあった場合は、こちらをご紹介します。

アカデミック・アドバイザー 神田麻衣子 (特任准教授)
TEL: 025-262-6105 (内線: 6105) Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp

【お問い合わせ先】
新潟大学 教育基盤機構 未来教育開発部門 未来教育支援室
全分野横断創生プログラム(NICEプログラム)

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL: 025-262-6303 Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp



これからのスケジュール

NICEプログラム履修ガイダンス

4月4日(火), 5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階エントランス・ラウンジ
- ② 16:00-18:00 総合教育研究棟 E260教室(15:50から受付)

※ 履修ガイダンスは以下の予定でも開催予定です (場所未定)。

4月6日(木), 7日(金), 11日(火): HT (11:55-12:45), 5限
4月10日(月), 12日(水): HT (11:55-12:45)

詳細が決まり次第、ホームページ等で案内します。

マイナー学修(副専攻)履修申請締め切り

4月28日(金) (4月1日より、学務情報システムにて申請開始)

※ 履修申請期間は、各学期はじめの年2回です。
原則として、履修許可申請期間(科目の履修登録期間)と同じです。

パッケージ型マイナーの修了認定について

各学期末にパッケージ型マイナーの修了認定を実施しています。マイナー学修の修了要件を満たしている場合、証明書発行機から修了証の発行が可能です。

各学期末の終了2ヶ月前をめぐりに、学務情報システムを通して、修了認定に関する全学連絡通知を行う予定です。

不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

What's NICE?

新潟大学では、2021年度より、メジャー・マイナー制を導入した新しい教育プログラム、全学分野横断創生(NICE)プログラムがスタートしました。NICEプログラムは、複数の分野を体系的に学ぶことのできる、新潟大学独自の制度です。

▶ NICEプログラム履修ガイダンスを開催します

【日時・会場】 2023年 4月 4日(火)、5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階 エントランス・ラウンジ
- ② 16:00-18:00 総合教育研究棟 E260教室 (15:50から受付)

【内容】

- ① 3種類のマイナーの特徴や違い、マイナー履修の手順、時間割の組み方に関する疑問や不安にアカデミック・アドバイザーやマイナー履修中の学生が対応します。
- ② マイナー履修の全体説明のほか、学修創生型・パッケージ型合同ブース、各オナーズ型プログラムのブースを設け、個別相談をおこないます。

▶ マイナー支援科目「分野横断デザイン」の開講数を拡大しました

第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)
月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)
木6限(対面)	火3限(遠隔)	火4限(対面)	火4限(対面)
第1学期		第2学期	
[集中]隔週 水6限(遠隔)		[集中]隔週 火6限(遠隔)	

「分野横断デザイン」は、マイナー学修のテーマやねらい、履修計画の立案を目標とするマイナー学修の導入科目です。関心を持っている学生にご案内ください。

農学部のマイナー履修登録者動向

農学部のマイナー履修登録者の特徴

マイナー登録者： 103名 (2023年 2月現在)

【学年別】 1年生：27名，2年生：26名，3年生：27名，4年生：13名

※ 2017、2018年度入学の登録者：10名

- 【プログラム別】
- ① 未定(分野横断デザイン受講後に決定) : 14名
 - ② パッケージ型「アグロ・フードアソシエーツ」 : 13名
 - パッケージ型「データサイエンスリテラシー」 : 13名
 - オナーズ型「データサイエンス」 : 13名
 - ⑤ 学修創生型(テーマは各自で設定) : 10名

学修創生型マイナー

学修創生	10	未定(分野横断デザイン受講後に決定)	14
------	----	--------------------	----

パッケージ型マイナー

アグロ・フードアソシエーツ	13	データサイエンスリテラシー	13	ふるさと共創学	2
こつくり・マネジメント	3	ジオパーク	1	外国語(ロシア語)	
コミュニティ・マネジメント	5	地域災害環境システム	1	MOT基礎	
				(特許・経営および製品開発基礎コース)	

領域学修基礎パッケージ

心理・人間学		化学		知能情報システム	
社会文化学		生物学	1	化学システム工学	
言語文化学		自然環境科学		材料科学	
法学		機械システム工学		建築学	
数学		社会基盤工学		生物資源科学/流域環境学	
物理学	1	電子情報通信		応用生命科学/食品科学	6

オナーズ型マイナー

環境学	9	外国語(ロシア語)	2	統合化学	8
外国語(ドイツ語)	3	外国語(中国語)	4	医学物理学基礎	
外国語(英語)	3	GIS(地理情報システム)リテラシー	5	学校教育実践	1
外国語(フランス語)	4	経済学	4	データサイエンス	13
外国語(コリア)	8	電子・情報科学	2		

※登録者数上位5プログラム赤字

マイナー履修登録者動向(全学・各学部)

	全学	人文	教育	法	経済	理	医	歯	工	農	創生
在学学生数	9610	947	812	757	1058	894	1443	360	2305	757	277
登録学生数	822	158	33	67	147	114	29	0	148	103	23
登録プログラム数	1179	208	40	88	207	169	32	0	232	158	45

学生の声 ~Voice of Student~

マイナー学修に意欲的に取り組んでいる、農学部生を紹介します



小林 成美さん

農学部
2022年度入学

学修創生型マイナー
「異文化理解と相手を意識
したコミュニケーション」

Q なぜマイナー学修をはじめたのですか？

A 高校のときからやりたいことがたくさんありましたが、自分の軸としてあるのは、人の役に立つこと、人を助ける研究がしたい、という思いです。どんな学問分野を専攻したとしても人を助けることができますが、食糧の面からアプローチしたいと思い、農学部に入学しました。メジャーとしては選ばなかったその他の分野をマイナーで学びたいと思ったのがきっかけです。

Q マイナー履修で印象に残った科目は何ですか？

A 「日本語教育I-B」です。外国人に日本語をいかに教えるか、というのではなく、在日外国人が置かれた環境やその苦勞といった教育の周辺状況について学ぶものでした。学生寮で中国人留学生と友だちになったこともあり、自分の経験と照らし合わせながら、言語習得の問題だけではなく、多様な「ことばの壁」について考えることができるようになりました。

Q はじめたばかりかもしれませんが、マイナー履修から得られたものはありますか？

A マイナー支援科目の「分野横断デザイン」を受講して、自分のやりたいことや大学での科目履修について時間をかけて考えました。その上でマイナー履修をはじめましたが、一度何かやってみることで、次に「やってみたい」ことが広がっていく感覚があります。たとえば、いまオーストラリアの留学プログラムに行ってみたいと思っているのですが、マイナーをやる前の自分なら、実現性のあるものとして考えなかったような気がします。そういう意味で、マイナーは挑戦を後押ししてくれるものだと思います。

ひとこと 子どものころから民謡を歌っていて、いまも週2日教室に通っています。昨年、「NHKのど自慢」に出場し、合格の鐘をいただきました！

お問い合わせ先

NICC スタッフ・オフィス (総合教育研究棟D棟2階 D205)



分野横断型学修に役立つ書籍を集めた「NICEライブラリー」を併設しています。お気軽にお立ち寄りください。

NICC 学修デザイン相談室 (総合教育研究棟A棟2階 A211)



学修デザイン相談室
開室曜日・時間

- 火・木・金曜日
- 11:55-12:45, 3限, 4限
- 予約の必要はありません (休業期間を除く)

アカデミック・アドバイザーが、マイナー学修全般について相談を受け付けています。学生からマイナーに関する問い合わせがあった場合は、こちらをご紹介します。

アカデミック・アドバイザー 神田麻衣子 (特任准教授)
TEL: 025-262-6105 (内線: 6105) Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp

【お問い合わせ先】
新潟大学 教育基盤機構 未来教育開発部門 未来教育支援室
全分野横断創生プログラム(NICEプログラム)

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL: 025-262-6303 Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp



これからのスケジュール

NICEプログラム履修ガイダンス

4月4日(火), 5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階エントランス・ラウンジ
- ② 16:00-18:00 総合教育研究棟E260教室(15:50から受付)

※ 履修ガイダンスは以下の予定でも開催予定です (場所未定)。

4月6日(木), 7日(金), 11日(火): HT (11:55-12:45), 5限
4月10日(月), 12日(水): HT (11:55-12:45)

詳細が決まり次第、ホームページ等で案内します。

マイナー学修(副専攻)履修申請締め切り

4月28日(金) (4月1日より、学務情報システムにて申請開始)

※ 履修申請期間は、各学期はじめの年2回です。
原則として、履修許可申請期間(科目の履修登録期間)と同じです。

パッケージ型マイナーの修了認定について

各学期末にパッケージ型マイナーの修了認定を実施しています。マイナー学修の修了要件を満たしている場合、証明書発行機から修了証の発行が可能です。

各学期末の終了2ヶ月前をめどに、学務情報システムを通して、修了認定に関する全学連絡通知を行う予定です。

不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

What's
NICE?

新潟大学では、2021年度より、メジャー・マイナー制を導入した新しい教育プログラム、全学分野横断創生(NICE)プログラムがスタートしました。NICEプログラムは、複数の分野を体系的に学ぶことのできる、新潟大学独自の制度です。

▶ NICEプログラム履修ガイダンスを開催します

【日時・会場】 2023年 4月 4日(火)、5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階 エントランス・ラウンジ
② 16:00-18:00 総合教育研究棟 E260教室 (15:50から受付)

【内容】

- ① 3種類のマイナーの特徴や違い、マイナー履修の手順、時間割の組み方に関する疑問や不安にアカデミック・アドバイザーやマイナー履修中の学生が対応します。
② マイナー履修の全体説明のほか、学修創生型・パッケージ型合同ブース、各オナーズ型プログラムのブースを設け、個別相談をおこないます。

▶ マイナー支援科目「分野横断デザイン」の開講数を拡大しました

第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)
月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)
木6限(対面)	火3限(遠隔)	火4限(対面)	火4限(対面)
第1学期		第2学期	
[集中]隔週 水6限(遠隔)		[集中]隔週 火6限(遠隔)	

「分野横断デザイン」は、マイナー学修のテーマやねらい、履修計画の立案を目標とするマイナー学修の導入科目です。関心を持っている学生にご案内ください。

創生学部のマイナー履修登録者動向

創生学部のマイナー履修登録者の特徴

マイナー登録者： 23名 (2023年 2月現在)

【学年別】 1年生：3名、2年生：6名、3年生：9名、4年生：3名

【プログラム別】

- ① パッケージ型「データサイエンスリテラシー」：7名
② パッケージ型「アグロ・フードアソシエーツ」：5名
③ パッケージ型「ことづくり・マネジメント」：3名
未定(分野横断デザイン受講後に決定)：3名

※ 2017, 2018年度入学の登録者：2名

学修創生型マイナー		
学修創生	2	未定(分野横断デザイン受講後に決定) 3

パッケージ型マイナー			
アグロ・フードアソシエーツ	5	データサイエンスリテラシー	7
ことづくり・マネジメント	3	ジオパーク	1
コミュニティ・マネジメント	2	地域災害環境システム	2
		ふるさと共創学	2
		外国語(ロシア語)	
		MOT基礎	1
		(特許・経営および製品開発基礎コース)	

領域学修基礎パッケージ			
心理・人間学	2	化学	
社会文化学		生物学	
言語文化学		自然環境科学	1
法学	1	機械システム工学	
数学		社会基盤工学	
物理学		電子情報通信	
		知能情報システム	
		化学システム工学	
		材料科学	
		建築学	
		生物資源科学/流域環境学	
		応用生命科学/食品科学	

オナーズ型マイナー			
環境学		外国語(ロシア語)	
外国語(ドイツ語)		外国語(中国語)	1
外国語(英語)	1	GIS(地理情報システム)リテラシー	
外国語(フランス語)		経済学	2
外国語(コリア)	1	電子・情報科学	1
		統合化学	1
		医学物理学基礎	
		学校教育実践	
		データサイエンス	1

※登録者数上位5プログラム赤字

マイナー履修登録者動向(全学・各学部)

	全学	人文	教育	法	経済	理	医	歯	工	農	創生
在学学生数	9610	947	812	757	1058	894	1443	360	2305	757	277
登録学生数	822	158	33	67	147	114	29	0	148	103	23
登録プログラム数	1179	208	40	88	207	169	32	0	232	158	45

学生の声 ~Voice of Student~

マイナー学修に意欲的に取り組んでいる、創生学部生を紹介します



村松 優希さん

創生学部
社会文化学パッケージ
2020年度入学

学修創生型マイナー
「中国語を中心とした他者
理解と自己理解、実践」

Q なぜマイナー学修をはじめたのですか？

A 創生学部の友人がオナーズ型マイナー「データサイエンス」の履修を始めたこと聞いたことがきっかけです。「みんなこういうのをしているんだ」と思っていたときに、学務情報システムのスタート画面で、マイナー支援科目の「分野横断デザイン」の履修案内を目にして、興味を持ったのがそもそもの始まりです。

Q マイナー支援科目「分野横断デザイン」はどんな科目ですか？

A 履修したのは、昨年度1学期(4~7月)でした。正直、自分のマイナー履修計画を考えるので精いっぱいでしたが、今から振り返ると、自分の設定した「自分の限界」を打ち破っていくための科目だったと思います。「自分はここまでできない」と思い込んで、自分の世界を狭めてしまうのではなく、自分の目標のために「ここまで行こう」と、境界を越える挑戦に送り出してくれる授業でした。「分野横断デザイン」履修後に、スチューデント・アシスタントとして、授業中のグループワークのファシリテーターを務めました。多くの受講生の挑戦的な姿勢に接したことで、自分のマイナー履修を相対化し、大学での学びについて深く考えるきっかけとなりました。

Q 将来の長期的な展望とマイナー履修との関連について教えてください。

A 「他者理解と自己理解」がマイナー履修のテーマだったので、社会の多様性について性の観点から考えようと、「ジェンダー論」や「セクシュアリティ・スタディーズ」を履修しました。授業履修だけでなく、NPO法人が主催する性教育講師養成講座を受講し、先日、修了認定を受けたところです。特に、性に関することはオープンに語られない傾向があり、そのために当事者の声が届かないという状況を生んでしまっています。こうした状況を変えるために、性教育活動を続けていくだけでなく、性について気軽に話せる場を作りたいと考えています

お問い合わせ先

NICC スタッフ・オフィス (総合教育研究棟D棟2階 D205)



分野横断型学修に役立つ書籍を集めた「NICEライブラリー」を併設しています。お気軽にお立ち寄りください。

NICC 学修デザイン相談室 (総合教育研究棟A棟2階 A211)



学修デザイン相談室
開室曜日・時間

- 火・木・金曜日
- 11:55-12:45, 3限, 4限
- 予約の必要はありません (休業期間を除く)

アカデミック・アドバイザーが、マイナー学修全般について相談を受け付けています。学生からマイナーに関する問い合わせがあった場合は、こちらをご紹介ください。

アカデミック・アドバイザー 神田麻衣子 (特任准教授)
TEL: 025-262-6105 (内線: 6105) Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp

【お問い合わせ先】
新潟大学 教育基盤機構 未来教育開発部門 未来教育支援室
全学分野横断創生プログラム(NICEプログラム)

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL: 025-262-6303 Email: kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp



これからのスケジュール

NICEプログラム履修ガイダンス

4月4日(火), 5日(水)

- ① 10:00-15:30 中央図書館1階エントランス・ラウンジ
- ② 16:00-18:00 総合教育研究棟E260教室(15:50から受付)

※ 履修ガイダンスは以下の予定でも開催予定です (場所未定)。

4月6日(木), 7日(金), 11日(火): HT (11:55-12:45), 5限
4月10日(月), 12日(水): HT (11:55-12:45)

詳細が決まり次第、ホームページ等で案内します。

マイナー学修(副専攻)履修申請締め切り

4月28日(金) (4月1日より、学務情報システムにて申請開始)


※ 履修申請期間は、各学期はじめの年2回です。
原則として、履修許可申請期間(科目の履修登録期間)と同じです。

パッケージ型マイナーの修了認定について

各学期末にパッケージ型マイナーの修了認定を実施しています。マイナー学修の修了要件を満たしている場合、証明書発行機から修了証の発行が可能です。

各学期末の終了2ヶ月前をめぐりに、学務情報システムを通して、修了認定に関する全学連絡通知を行う予定です。

不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。



4 / 2023 April

mon	tue	wed	thu	fri	sat	sun
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

4月4日 (火), 5日 (水)


① 10:00-15:30
中央図書館1階 ラウンジ

② 16:00-18:00
総合教育研究棟 E260教室
(15:50から受付)

4月6日 (木), 7日 (金), 11日 (火) : 11:55-12:45、5限 総合教育研究棟 B棟2階 B251

4月10日 (月), 12日 (水) : 11:55-12:45 総合教育研究棟 B棟3階 B353

NICEプログラム履修ガイダンス



- NICEプログラムは、メジャー・マイナー制という新しい教育プログラム
- NICEプログラムでは、所属する学部で専門分野をメジャーとして学ぶことと並行して、自分のチャレンジしたい、他の分野や専門領域、テーマなどをマイナーとして学ぶことができます。

学問分野の枠にとらわれず、自分の興味・関心に沿って学びたい!

マイナーとして学びたい分野やテーマが決まっている!

マイナーでの学びを「第二の専門分野」として深めたい!

学修創生型マイナー

ハッカー型マイナー

オナーズ型マイナー

こんな人におすすめ!

新潟大学 NICE 検索

NICEプログラムとは?





NICEプログラムについて




新潟大学 教育基盤機構
未来教育開発部門 未来教育開発室
全学分野横断創生プログラム(NICEプログラム)
E-mail: kyoumu-mino@ge.niigata-u.ac.jp

真の幅を学ぶ。

新潟大学

NIIGATA UNIVERSITY

NACE Niigata University Interdisciplinary Creative Education Program



中央教育審議会大学分科会
「学修者本位の大学教育の実現に向けた今後の振興方策について」

主専攻・副専攻制の活用等を含む文理横断・文理融合教育の推進

「採用と大学改革への期待に関するアンケート」
(令和 4 年 1 月 1 8 日一般社団法人日本経済団体連合会)

大卒者に特に期待する知識

- 「文系・理系の枠を超えた知識・教養」 (85%)
- 「専攻分野における基礎知識」 (75.8%)
- 「専攻分野における専門知識」 (61.8%)

専門教育に加えて文理横断・融合教育が期待されている。

社会や企業から期待されているこれからの大学教育

パッケージ型マイナー

- アグロ・フードアソシエーツ
- ことづくり・マネジメント
- コミュニティ・マネジメント
- テーマサイエンスリテラシー
- ジオパーク
- 地域災害環境システム
- 心ごと共創学
- 外国語(ロシア語)
- MOT基礎(特許・経営および製品開発基礎コース)
- 核エネルギー・災害科学
- 農学から始めるDXとGX

● 領域学修基礎パッケージ

- 心理・人間学
- 社会文化学
- 言語文化学
- 法学
- 数学
- 物理学
- 化学
- 生物学
- 自然環境科学
- 機械システム工学
- 社会基盤工学
- 電子情報通信
- 知能情報システム
- 化学システム工学
- 材料科学
- 建築学
- 生物資源科学／流域環境科学／
- 応用生命科学／食品科学

オナーズ型マイナー

- 環境学
- 外国語(ドイツ語)
- 外国語(英語)
- 外国語(フランス語)
- 外国語(ロシア)
- 外国語(ロシア語)
- 外国語(中国語)
- GIS(地理情報システム)リテラシー
- 経済学
- 電子・情報科学
- 統合化学
- 医学物理学基礎
- 学校教育実践
- テーマサイエンス

パッケージ型マイナー
オナーズ型マイナー

学修創生型マイナー

自分で、学びのテーマや履修科目を決めるマイナー

「学修創生型マイナー」での、学びのデザイン例

- ICT技術を活用した発展途上国の教育システム(工学部)
- 社会的弱者のための心理サポート実践(人文学部)
- 地域格差による子供たちへの影響(教育学部)
- 持続可能な社会づくりに向けた経済政策プロフェッショナル(法学部)
- 小規模な地域や農村地域におけるまちづくり(経済科学部)
- 異文化理解と相手を意識したコミュニケーション(農学部)
- 数学の面白さを伝えるには？(理学部)
- 新潟の地域連携とまちづくりをケーススタディとして学ぶ(創生学部)

まちづくり、居場所づくり、地域活性化、国際支援、環境問題、格差の問題など、テーマはさまざま！

学修創生型マイナー

マイナー支援科目「分野横断デザイン」

第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)	月4限(対面)
月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)	月5限(対面)
木6限(対面)	火3限(遠隔)	火4限(対面)	火4限(対面)
第1学期		第2学期	
[集中]隔週 水6限(遠隔)		[集中]隔週 火6限(遠隔)	

第1ターム or 第2タームでの受講がおすすめ！

- マイナーで学ぶがテーマやねらいを決める
- マイナーの履修計画を立てる
- 大学での学びがどう将来につながるかを考える

分野横断デザイン

【新大Week】幅広い学びで力をつける！マイナー（副専攻）履修ナビゲーション

2022年10月15日 土曜日 - 10月23日 日曜日 展示

シェアする ツイート 印刷

日時： 10/15（土）～10/23（日）

開催方法： [Youtubeによる動画配信](#)

対象： 高校生

内容： 本学では、メジャー・マイナー制を導入しています。

「メジャー・マイナー制」とは、学部での専門の学び（メジャー／主専攻）と異なる領域を、マイナー（副専攻）として体系的に学ぶしくみです。学部の枠を越えて、分野横断的な学び方ができます。

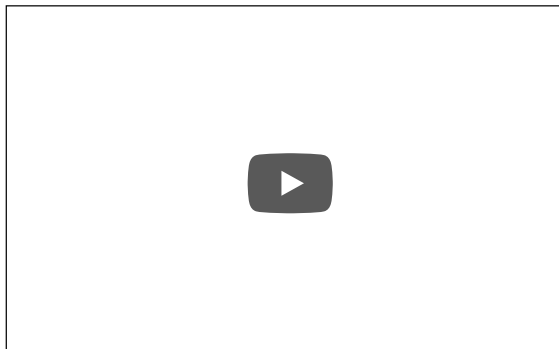
やってみたいことがすでに決まっている人はもちろん、入学後になにか新しいことを始めてみたい人など、みなさんの十人十色の学びをサポートするのがNICEプログラムです。

NICEプログラムでは、マイナー（副専攻）として学べる学修パッケージや、アカデミック・アドバイザーによる学修相談など、多様な学びを応援するためのサポートを提供しています。

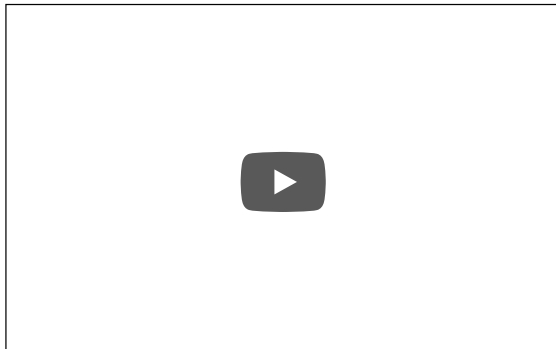
「マイナーって何？」「マイナーを学ぶメリットは？」といった素朴な疑問から、「マイナーではどんなことが学べるの？」といったより具体的な疑問まで、マイナー履修についてわかる動画を公開します。

関連サイト： [教育・学生支援機構 NICEプログラムWebサイト](#)

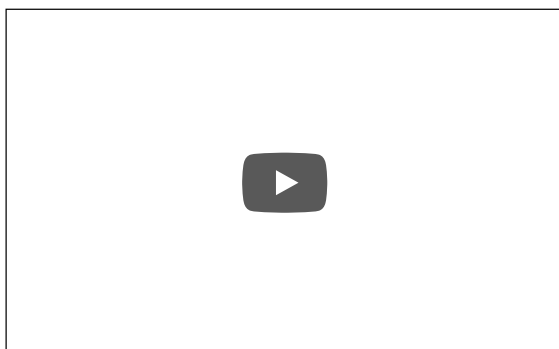
【YouTube配信動画】



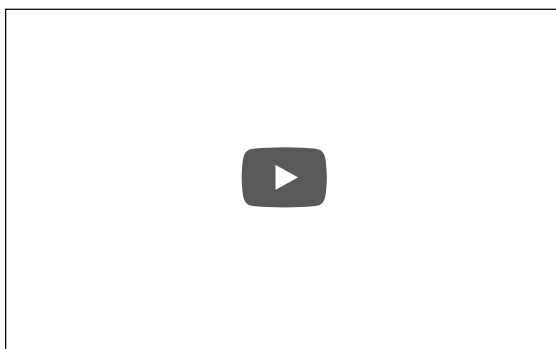
①マイナーの基本Q&A その1：マイナーって何ですか？



②マイナーの基本Q&A その2：マイナーのメリットは？



③一歩前進！マイナーQ&A その1：マイナーのくわしい内容を知りたい！



④一歩前進！マイナーQ&A その2：こんなこと、マイナーでできますか？

お問い合わせ先

教育・学生支援機構 NICEプログラム E-mail kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp

科目リスト

学修創生型

パッケージ名	学修創生
概要	今日の社会課題は複雑化・多様化しており、単一の専門分野の知見だけでは解決することが難しくなっている。そこで「学修創生」では、自己の興味関心と社会課題をベースとして、学生自らが既存の学問分野の枠組みにとらわれず、本学の多様な学問分野の科目から、一人一人の関心に適合する魅力的なオリジナル学修パッケージを創生する。また分野横断的な学修および履修計画を支援する授業科目群を通じて、メジャー・マイナーの掛け合わせが自分のキャリアにどのように役立つかを意識化・言語化できるようにする。以上を通じて、自己の目標をベースとしたオーダーメイド型の学修を進め、分野横断的な視点から社会課題にアプローチできる人材の育成を目指す。
履修資格	全学部学科（課程）の学生
履修定員	
修了要件	所定の授業科目について14単位以上を修得
その他特記事項	「分野横断デザイン」および「分野横断リフレクション」を必修科目とする。 必修科目以外の授業科目については、「分野横断デザイン」の履修およびアカデミック・アドバイザーの指導を通じて、学生自身が科目群となるパッケージを作成する。 「分野横断デザイン」「分野横断リフレクション」各授業科目の重複履修は認めない。

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	230G3949	分野横断デザイン	1	集中（1学期）	水6（隔週）	講義・演習	1, 2	40	1
	230G3976	分野横断デザイン	1	集中（2学期）	火6（隔週）	講義・演習	1, 2	40	1
	231G3245	分野横断デザイン	1	第1ターム	月4	講義・演習	1, 2	20	
	231G3247	分野横断デザイン	1	第1ターム	月5	講義・演習	1, 2	20	
	231G3246	分野横断デザイン	1	第1ターム	木6	講義・演習	1, 2	20	
	232G3248	分野横断デザイン	1	第2ターム	月4	講義・演習	1, 2	20	
	232G3250	分野横断デザイン	1	第2ターム	月5	講義・演習	1, 2	20	
	232G3249	分野横断デザイン	1	第2ターム	火3	講義・演習	1, 2	20	1
	233G3744	分野横断デザイン	1	第3ターム	月4	講義・演習	1, 2	20	
	233G3745	分野横断デザイン	1	第3ターム	月5	講義・演習	1, 2	20	
	233G3752	分野横断デザイン	1	第3ターム	火4	講義・演習	1, 2	20	
	234G3746	分野横断デザイン	1	第4ターム	月4	講義・演習	1, 2	20	
	234G3747	分野横断デザイン	1	第4ターム	月5	講義・演習	1, 2	20	
	234G3753	分野横断デザイン	1	第4ターム	火4	講義・演習	1, 2	20	
	230G3950	分野横断リフレクション	1	集中（夏期）	他	講義・演習	3, 4	60	
	230G3977	分野横断リフレクション	1	集中（2学期末）	他	講義・演習	3, 4	60	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

1 備考欄に1と記載ある科目は遠隔授業「同時双方向型遠隔授業」形式で開講します。

科目リスト

パッケージ型マイナー

パッケージ名	アグロ・フードアソシエーツ
概要	新潟県及び新潟市を初めとする県内市町村の産業や暮らしの改善に関心を持ち、地域に潜む課題解決や地域活性化及び産業振興に積極的に関与できる人材を本プログラムにおける新潟創生人材とする。その中でも「食・農と社会の関係性を科学的な視点で理解する素養を持った人材」の育成を目指す。
履修資格	全学部学科（課程）の学生
履修定員	
修了要件	A) 新潟地域志向科目：2単位以上 B) 農・食関連科目：4以上 C) 実践科目群：4以上 以上の合計12単位を修得
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
A	230G3203	キャリアデザイン	2	第1,2ターム	水4	講義	1,2,3,4,5,6	200	
A	休講	キャリア形成							
A	230G3704	近世越後諸地域の歴史と社会	2	第3,4ターム	水5	講義	1,2,3,4,5,6	150	
A	231G3205	ダブルホーム活動入門Ⅰ	1	第1ターム	火5,他	講義・演習	1,2,3,4,5,6	30	
A	231G3206	ダブルホーム活動入門Ⅰ	1	第1ターム	水5,他	講義・演習	1,2,3,4,5,6	30	
A	231G3207	ダブルホーム活動入門Ⅰ	1	第1ターム	木5,他	講義・演習	1,2,3,4,5,6	30	
A	232G3915	ダブルホーム活動入門Ⅱ	1	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	120	
A	休講	新潟産業フィールドワーク・オンライン							
A	233G3701	新潟の農林業	2	第3ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	500	
A	230G3212	地域から文化を考える	2	第1,2ターム	月5	講義・実習	1,2,3,4,5,6	50	
A	230G3916	学校支援フィールドワークA(小学校)	2	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230G3917	学校支援フィールドワークA(中学校)	2	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230G3918	学校支援フィールドワークA(高等学校)	2	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230G3919	学校支援フィールドワークB(小学校)	4	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230G3920	学校支援フィールドワークB(中学校)	4	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	休講	新潟地域研究							
A	230G3234	新聞を体験する－新潟日報との連携授業－	2	第1,2ターム	水2	講義	1,2,3,4,5,6	80	
A	233G3716	トキをシンボルとした自然再生	2	第3ターム	月4,木4	講義	1,2,3,4,5,6	90	
A	230G3943	表現プロジェクト演習Q	2	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	休講	インターンシップ実習							
A	230S0536	科学・技術と社会	2	第1,2ターム	水3	講義	1,2,3,4	200	
A	230S0538	新素材の物性	2	第1,2ターム	水2	講義	2,3,4	60	
A	230S4523	臨海実習Ⅰ	2	集中	他	実習	3,4	30	
A	230S5503	地質調査法実習Ⅰ	2	集中	他	実習	2,3,4	30	
A	233S5504	地質調査法実習Ⅱ	1	第3ターム	火3	実習	2,3,4	30	
A	230S5524	地質構造解析法	1	第1,2ターム	金2	講義	3,4	30	
A	233S5528	古生物学実験	1	第3ターム	金4	実験	3,4	8	
A	230S5529	海洋生物学実験	1	集中	他	実験	2,3,4	16	
A	230S5538	環境地質学実習	1	集中	他	実習	3,4	30	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
A	230S5541	応用地質学実習	1	集中	他	実習	3,4	30	
A	230S6530	環境生物学野外実習A	1	通年	他	実習	3,4	40	
A	230S6531	環境生物学野外実習B	1	通年	他	実習	2,3,4	12	
A	231S0526	地学基礎実習a	1	第1ターム	金3	実習	1,2,3,4	25	
A	231S0527	地学基礎実習a	1	第1ターム	金3		2,3,4	25	
A	232S0528	地学基礎実習a	1	第2ターム	水1	実習	1,2,3,4	25	
A	休講	総合力アクティブ・ラーニング							
A	232S0529	地学基礎実習b	1	第2ターム	金3	実習	1,2,3,4	25	
A	233S0530	地学基礎実習b	1	第3ターム	水2	実習	1,2,3,4	25	
A	230S4503	系統動物学	2	集中	他	講義	2,3,4	30	
A	234S6532	環境生物学野外実習C	1	第4ターム	他	実習	2,3,4	40	
A	233G6524	くらしを支える機械システム工学	2	第3ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	200	
A	231T0415	建築計画演習I	1	第1ターム	水2,水3	実習	3,4,5,6	60	
A	232T0416	建築計画演習II	1	第2ターム	水2,水3	実習	3,4,5,6	60	
A	232T0434	都市計画学I	2	第2ターム	火4,金4	講義	2,3,4,5,6	100	
A	234T0435	都市計画学II	2	第4ターム	火4,金4	講義	2,3,4,5,6	120	
A	231T0436	都市デザイン論	2	第1ターム	火4,金4	講義	3,4,5,6	80	
A	233T0437	都市計画・デザイン演習	2	第3ターム	木4,木5	演習	3,4,5,6	55	
A	233T0409	建築設計製図I	2	第3ターム	水2,水3,水4,金4	実習	2,3,4,5,6	55	
A	231T0001	総合工学概論	2	第1ターム	木3,木4	講義	1,2,3,4,5,6	600	
A	231T0504	アントレプレナーシップ	2	第1ターム	火3,金3	講義	1,2,3,4,5,6	100	
A	休講	キャリアデザイン・インターンシップ I							
A	233T0103	機械工学概論	2	第3ターム	月4,木4	講義	1,2,3,4,5,6	170	
A	233T0201	電子情報通信概論	1	第3ターム	木1	講義	1,2,3,4,5,6	250	
A	233A0046	醸造学	2	第3ターム	木3,木4	講義	3,4	70	
A	開講番号については、所属、次期別に区別され、また教育実習の中でも、本実習と事前事後実習で細分化しているため、省略します。	初等教育実習 I	6	集中	他	実習			
A		初等教育実習 II	5	集中	他	実習			
A		中等教育実習 I	4	集中	他	実習			
A		中等教育実習 II	3	集中	他	実習			
A		中等教育実習 III	2	集中	他	実習			
A	230L3801	特殊講義(新潟を学ぶ)	2	第3,4ターム	木4	講義	1,2,3,4,5,6	70	
A	230L3807	特殊講義(新潟市の行政)	2	第3,4ターム	火5	講義	2,3,4,5,6	250	
A	230E1095	公共経営特殊講義	2	第3,4ターム	水3	講義	1,2,3,4,5,6	20	
A	230E1005	公共経営特殊講義	2	第3,4ターム	月6	講義	1,2,3,4,5,6	50	
A	230E6241	特殊講義(新潟県の行財政)	2	第3,4ターム	水3	講義	1,2,3,4,5,6	400	
A	230DA403	社会福祉現場実習	4	通年	他	実習	4	26	
A	230M1102	医学入門	2	第3,4ターム	月3,月4	講義	1,2,3,4,5,6	140	
A	230M1408	臨床実習 I A	7	第2学期	他	実習	1,2,3,4,5,6	127	
A	230M1501	臨床実習 I B	15	第1学期	他	実習	1,2,3,4,5,6	127	
A	230M5136	新潟地域看護学実習	2	第1,2ターム	他	実習	4	95	
A	230M5165	公衆衛生看護学実習	2	第1,2ターム	他	実習	4	95	
A	230M5359	放射線治療技術学実習	2	第1,2ターム	他	実習	4	45	
A	230M5557	臨床検査実習	8	通年	他	実習	4	45	
A	234M5164	地域保健学実習	1	第4ターム	他	実習	3,4	95	
A	230DA401	訪問歯科診療	1	通年	他	実習	4	26	
A	230DA320	歯科衛生士臨床実習 II	2	第2学期	他	演習	3	26	
A	230DS221	地域歯科保健実習	1	第2学期	他	実習・実験	2	50	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
A	230DS508	臨床実習Ⅰ	17	第2学期	他	演習	5	50	
A	230DS603	臨床実習Ⅱ	18	通年	他	実習	6	50	
A	233G8508	新潟発福祉学	2	第3ターム	水3,水4	講義	1,2,3,4,5,6	100	
A	231G8007	「食べる」	2	第1ターム	火3,火4	講義	1,2,3,4,5,6	50	
B	231A0166	資源動物科学概論	2	第1ターム	水1,水2	講義	2,3,4	70	
B	231A0101	食料資源経済学	2	第1ターム	月2,木2	講義	2,3,4	70	
B	231A0165	資源植物生産学概論	2	第1ターム	月1,木1	講義	2,3,4	70	
B	232A0164	植物育種学	2	第2ターム	月1,木1	講義	2,3,4	50	
B	233A0105	植物病理学	2	第3ターム	月3,木3	講義	2,3,4	70	
B	232A0026	動物遺伝学	2	第2ターム	金3,金4	講義	2,3,4	80	
B	234A0113	農産物流通論	2	第4ターム	水1,水2	講義	2,3,4	90	
B	233A0104	環境保全型農業論	2	第3ターム	月2,木2	講義	2,3,4	60	
B	232A0112	国際フードシステム論	2	第2ターム	月2,木2	講義	2,3,4	70	
B	233A0047	花卉園芸学	2	第3ターム	火2,金2	講義	2,3,4	70	
B	234A0168	果樹・蔬菜園芸学	2	第4ターム	火2,金2	講義	2,3,4	50	
B	231A0035	植物ウイルス学	2	第1ターム	火2,金2	講義	2,3,4	50	
B	234A0167	作物学	2	第4ターム	月3,木3	講義	2,3,4	60	
B	232A0106	動物解剖生理学	2	第2ターム	火2,金2	講義	2,3,4	60	
B	234A0039	動物発生生殖学	2	第4ターム	金3,金4	講義	2,3,4	50	
B	休講	作物学Ⅱ							
B	232A0038	植物細胞工学	2	第2ターム	月1,木1	講義	3,4	70	
B	休講	植物育種学Ⅱ							
B	233A0041	動物遺伝増殖学	2	第3ターム	月1,木1	講義	3,4	25	
B	234A0116	農業農村開発論	2	第4ターム	月3,木3	講義	3,4	70	
B	休講	蔬菜園芸学							
B	休講	乳牛生産管理学							
B	休講	食品産業論							
B	230A4007	海外語学研修	4	通年	他	演習	1,2,3,4	10	
B	232A0005	微生物学	2	第2ターム	水1,水2	講義	2,3,4	100	
B	232A0008	食品化学	2	第2ターム	火3,火4	講義	1,2,3,4	120	
B	231A0011	植物栄養生理学	2	第1ターム	月2,木2	講義	2,3,4	100	
B	232A0004	生物化学Ⅰ	2	第2ターム	月1,木1	講義	2,3,4	90	
B	233A0007	有機化学(農)	2	第3ターム	月2,木2	講義	2,3,4	90	
B	231A0009	分析化学(農)	2	第1ターム	月1,木1	講義	2,3,4	80	
B	234A0012	植物成分化学	2	第4ターム	火2,金2	講義	2,3,4	60	
B	233A0010	生物化学Ⅱ	2	第3ターム	月1,木1	講義	2,3,4	70	
B	231A0032	生物有機化学	2	第1ターム	水1,水2	講義	3,4	90	
B	234A0049	畜産食品学	2	第4ターム	火1,火2	講義	2,3,4	100	
B	231A0084	食品衛生学	2	第1ターム	火1,火2	講義	1,2,3,4	120	
B	233A0095	食品科学概論	1	第3ターム	他	講義	3,4	30	
B	233A0029	応用微生物学	2	第3ターム	火1,金1	講義	2,3,4	80	
B	231A0040	分子微生物学	2	第1ターム	月2,木2	講義	3,4	70	
B	232A0019	遺伝子工学	2	第2ターム	火1,金1	講義	3,4	90	
B	232A0043	細胞分子生物学	2	第2ターム	水1,水2	講義	3,4	40	
B	233A0033	肥料学	2	第3ターム	水1,水2	講義	2,3,4	80	
B	234A0045	土壌生化学	2	第4ターム	月2,木2	講義	2,3,4	70	
B	232A0037	植物バイオマス利用科学	2	第2ターム	月2,木2	講義	3,4	40	
B	234A0036	植物環境応答学	2	第4ターム	金3,金4	講義	3,4	40	
B	232A0093	畜産食品製造学	2	第2ターム	水1,水2	講義	3,4	70	
B	231A0092	栄養生化学	2	第1ターム	月2,木2	講義	3,4	80	
B	232A0087	食品機能学	2	第2ターム	木1,木2	講義	2,3,4	90	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
B	233A0085	農産食品学	2	第3ターム	水1,水2	講義	2,3,4	100	
B	232A0086	食品安全学	2	第2ターム	月1,月2	講義	3,4	193	
B	233A0048	動物栄養学	2	第3ターム	火2,金2	講義	2,3,4	80	
B	231A0034	酵素化学	2	第1ターム	月1,木1	講義	3,4	70	
B	233A0042	免疫学概論	2	第3ターム	火3,火4	講義	3,4	90	
B	230A0050	応用生命科学セミナー	1	集中	他	講義	2,3,4	80	
B	230A0098	食品科学セミナー	1	集中	他	講義	3,4	60	
B	230M1403	公衆衛生学	2	第1学期	他	講義	1,2,3,4,5,6	127	
B	230A0097	水産食品学	2	集中	他	講義	3,4	20	
B	231A0082	食品工学	2	第1ターム	月2,木2	講義	2,3,4	50	
B	230A0094	調理科学	2	第3,4ターム	木2	講義	3,4	30	
B	230A0083	食品マーケティング論	2	集中	他	講義	2,3,4	50	
B	233A0051	食品・農業情報工学	2	第3ターム	金3,金4	講義	2,3,4	50	
B	232T6033	生物材料工学	2	第2ターム	月2,木2	講義	3,4,5,6	68	
B	231T4039	人間工学	2	第1ターム	金3,金4	講義	3,4,5,6	40	
B	231T7020	人間工学	2	第1ターム	金3,金4	講義	2,3,4,5,6	60	
B	233T4044	生体計測	2	第3ターム	月2,木2	講義	3,4,5,6	70	
B	233T7030	生体計測	2	第3ターム	月2,木2	講義	2,3,4,5,6	80	
B	231T6029	高分子材料化学	2	第1ターム	火2,金2	講義	3,4,5,6	68	
B	234T5049	有機合成化学	2	第4ターム	月1,木1	講義	3,4,5,6	50	
B	休講	品質管理							
B	231T5001	高分子化学概論	2	第1ターム	火1,金1	講義	2,3,4,5,6	100	
B	233T0302	基礎有機化学	2	第3ターム	月5,木5	講義	1,2,3,4,5,6	170	
B	234T7035	機能生理学	2	第4ターム	金4,金5	講義	2,3,4,5,6	80	
B	232T4048	バイオメディカル・エンジニアリング	2	第2ターム	火3,火4	講義	3,4,5,6	40	
B	232T7055	生体医工学	2	第2ターム	火3,火4		2,3,4,5,6	80	
B	231T5013	反応工学I	2	第1ターム	水1,水2	講義	2,3,4,5,6	100	
B	233T5048	プロセス制御	2	第3ターム	水1,水2	講義	3,4,5,6	100	
B	休講	安全工学							
B	231T7040	看護工学	2	第1ターム	水3,水4	講義	3,4,5,6	60	
B	230T7041	スポーツバイオメカニクス	2	第3,4ターム	木3	講義	3,4,5,6	60	
B	234T7048	診断支援工学	2	第4ターム	金3,金4	講義	3,4,5,6	60	
B	230T7050	スポーツ心理学	2	第3,4ターム	水1	講義	3,4,5,6	60	
B	休講	バイオシグナルプロセッシング							
B	231A0001	農学入門Ⅰ	2	第1ターム	月1,木1	講義	1,2,3,4	190	
B	231A0002	農学入門Ⅱ	2	第1ターム	月2,木2	講義	1,2,3,4	190	
B	233S0570	基礎生物化学	2	第3ターム	月3,木3	講義	2,3,4	50	
B	230K5606	人文地理学	2	第1,2ターム	水4	講義	1,2,3,4,5,6	150	
B	231S0568	基礎植物学	2	第1ターム	火2,金2	講義	2,3,4	50	
B	234X0016	領域概説F(農学)	2	第4ターム	金1,金2	講義・演習	1,2,3,4,5,6	75	
B	232G6018	生物学ー植物Aー	2	第2ターム	月1,木1	講義	1,2,3,4,5,6	150	
B	231T6032	生体分子工学	2	第1ターム	木3,木4	講義	3,4,5,6	68	
B	232T5002	基礎物理化学	2	第2ターム	月2,木2	講義	2,3,4,5,6	100	
B	234G3702	食と健康の科学	2	第4ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	250	
B	234G3703	土と水	2	第4ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	250	
C	232A0099	食品科学プログラム実地見学	1	第2ターム	他	実習・実験	3,4	20	
C	休講	グローバル農力							
C	230A4008	グローバル防災・復興学	2	通年	他	演習	2,3,4	3	
C	232A5007	フィールド科学インターンシップ	2	第2ターム	他	実習・実験	3,4	23	
C	230A5003	学科インターンシップ	2	通年	他	実習・実験	3,4	45	
C	230A5004	学科インターンシップ	2	通年	他	実習・実験	3,4	30	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
C	230A5005	学科インターンシップ	2	通年	他	実習・実験	3,4	40	
C	230A5006	学科インターンシップ	2	集中	他	実習・実験	3,4	50	
C	230A5008	キャリアビジョン研修	4	通年	他	演習・実習	1,2,3,4	5	
C	230A5001	地域交流サテライト実習	1	通年	他	実習	1,2,3,4	200	
C	230A5002	基礎農力	1	集中	他	講義	2,3,4	100	
C	230T0013	マーケット・インターンシップ	2	第1,2ターム	他	演習・講義・ 実習	1,2,3,4,5,6	999	
C	230T0014	マーケット・インターンシップ	2	第3,4ターム	他	演習・講義・ 実習	1,2,3,4,5,6	999	
C	230T0015	テクノロジー・インターンシップ	2	第1,2ターム	他	実習・演習・ 実験	1,2,3,4,5,6	999	
C	230T0016	テクノロジー・インターンシップ	2	第3,4ターム	他	実習・演習・ 実験	1,2,3,4,5,6	999	
C	230E1064	インターンシップ	2	集中	他	講義	1,2,3,4,5,6	20	
C	230E6009	インターンシップ	2	集中	他	実習	1,2,3,4,5,6	20	
C	230G3947	森・里・海フィールド実習	1	集中	他	実習	1,2,3,4,5,6	7	
C	休講	インターンシップ実習							
C	232X0005	フィールドスタディーズ(学外学修)	6	第2ターム	火1,火2,火3,火4,火5, 水1,水2,水3,水4,水5, 木1,木2,木3,木4,木5	演習・実習	1,2,3,4,5,6	70	
C	230S0542	インターンシップ特別実習a	1	集中	他	実習	2,3,4	15	
C	230S0543	インターンシップ特別実習b	2	集中	他	実習	2,3,4	15	
C	休講	キャリアデザイン・インターンシップ I							

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	ことづくり・マネジメント
概要	これからの製造業には、生産性や技術力の向上、そして産官学のあらゆる資源を有機的に結合したイノベーション、すなわち、従来型の「ものづくり」から「ことづくり」への産業構造の「脱皮」による新規産業の創出が求められる。このような背景を理解し、特に地域製造業に関連した「地域経営」を担うべき人材の育成を目指す。
履修資格	全学部学科（課程）の学生
履修定員	
修了要件	A)新潟地域志向科目：2単位以上 B)ものづくり関連科目：4単位以上 C)地域社会と経済・経営関連科目：4単位以上 D)実践科目：2単位以上 以上の合計12単位を修得
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
A	休講	インターンシップ実習							
A	230G3203	キャリアデザイン	2	第1,2ターム	水4	講義	1,2,3,4,5,6	200	
A	休講	キャリア形成							
A	230G3704	近世越後諸地域の歴史と社会	2	第3,4ターム	水5	講義	1,2,3,4,5,6	150	
A	233G3701	新潟の農林業	2	第3ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	500	
A	休講	新潟産業フィールドワーク・オンライン	2	集中	他	講義・演習	1,2,3,4,5,6	24	
A	230G3202	日本酒学A	2	第1,2ターム	水4	講義	1,2,3,4,5,6	460	
A	232G3201	日本酒学C	1	第2ターム	水2	講義	1,2,3,4,5,6	100	
A	230G3912	日本酒学B	1	集中	他	講義	1,2,3,4,5,6	25	
A	231G3205	ダブルホーム活動入門Ⅰ	1	第1ターム	火5,他	講義・演習	1,2,3,4,5,6	30	
A	231G3206	ダブルホーム活動入門Ⅰ	1	第1ターム	水5,他	講義・演習	1,2,3,4,5,6	30	
A	231G3207	ダブルホーム活動入門Ⅰ	1	第1ターム	木5,他	講義・演習	1,2,3,4,5,6	30	
A	232G3915	ダブルホーム活動入門Ⅱ	1	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	120	
A	230G3210	ボランティア開発論Ⅰ	2	第1,2ターム	金5	講義	1,2,3,4,5,6	20	
A	230G3710	ボランティア開発論Ⅱ	2	第3,4ターム	金5	講義	1,2,3,4,5,6	20	
A	230G3916	学校支援フィールドワークA(小学校)	2	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230G3917	学校支援フィールドワークA(中学校)	2	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230G3918	学校支援フィールドワークA(高等学校)	2	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230G3919	学校支援フィールドワークB(小学校)	4	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230G3920	学校支援フィールドワークB(中学校)	4	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230G3922	現場訪問とデータから読み解く新潟の今－新潟地域産業の可能性を探る－Ⅰ	2	集中	他	演習・実習	1,2,3,4,5,6	15	
A	休講	新潟地域研究							
A	230G3212	地域から文化を考える	2	第1,2ターム	月5	講義・実習	1,2,3,4,5,6	50	
A	休講	P.F.ドラッカー理論とそこから学ぶキャリアデザイン							
A	休講	キャリアを共に考える-自己理解・他者理解							
A	休講	キャリアを共に考える-自己理解・他者理解							
A	休講	キャリアを共に考える-自己理解・他者理解							
A	休講	キャリアを共に考える-自己理解・他者理解							

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
A	休講	キャリア意識形成と自己成長							
A	233G3716	トキをシンボルとした自然再生	2	第3ターム	月4,木4	講義	1,2,3,4,5,6	90	
A	232X0005	フィールドスタディーズ(学外学修)	6	第2ターム	火1,火2,火3,火4,火5,水1,水2,水3,水4,水5,木1,木2,木3,木4,木5	演習・実習	1,2,3,4,5,6	70	
A	休講	社会とキャリア選択A							
A	休講	社会とキャリア選択B							
A	230G3939	朱鷺・自然再生フィールドワーク	1	集中	他	実習	1,2,3,4,5,6	30	
A	230G3234	新聞を体験するー新潟日報との連携授業ー	2	第1,2ターム	水2	講義	1,2,3,4,5,6	80	
A	230G3947	森・里・海フィールド実習	1	集中	他	実習	1,2,3,4,5,6	7	
A	233G3714	表現プロジェクト演習T	2	第3ターム	火3,火4	演習	1,2,3,4,5,6	15	
A	休講	表現プロジェクト演習B							
A	233G3718	表現プロジェクト演習G	2	第3ターム	木1,木2	演習	1,2,3,4,5,6	15	
A	230G3739	表現プロジェクト演習H	2	第3,4ターム	火3	演習	1,2,3,4,5,6	15	
A	休講	表現プロジェクト演習F							
A	休講	表現プロジェクト演習J							
A	230G3943	表現プロジェクト演習Q	2	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230S0542	インターンシップ特別実習a	1	集中	他	実習	2,3,4	15	
A	230S0543	インターンシップ特別実習b	2	集中	他	実習	2,3,4	15	
A	230S5541	応用地質学実習	1	集中	他	実習	3,4	30	
A	230S0536	科学・技術と社会	2	第1,2ターム	水3	講義	1,2,3,4	200	
A	230S5529	海洋生物学実験	1	集中	他	実験	2,3,4	16	
A	230S6530	環境生物学野外実習A	1	通年	他	実習	3,4	40	
A	230S6531	環境生物学野外実習B	1	通年	他	実習	2,3,4	12	
A	234S6532	環境生物学野外実習C	1	第4ターム	他	実習	2,3,4	40	
A	230S5538	環境地質学実習	1	集中	他	実習	3,4	30	
A	230S4503	系統動物学	2	集中	他	講義	2,3,4	30	
A	230S0538	新素材の物性	2	第1,2ターム	水2	講義	2,3,4	60	
A	休講	総合力アクティブ・ラーニング							
A	231S0526	地学基礎実習a	1	第1ターム	金3	実習	1,2,3,4	25	
A	231S0527	地学基礎実習a	1	第1ターム	金3		2,3,4	25	
A	232S0528	地学基礎実習a	1	第2ターム	水1	実習	1,2,3,4	25	
A	230S5524	地質構造解析法	1	第1,2ターム	金2	講義	3,4	30	
A	233S5504	地質調査法実習II	1	第3ターム	火3	実習	2,3,4	30	
A	230S5503	地質調査法実習I	2	集中	他	実習	2,3,4	30	
A	230S4523	臨海実習I	2	集中	他	実習	3,4	30	
A	休講	キャリアデザイン・インターンシップ II							
A	230T0015	テクノロジー・インターンシップ	2	第1,2ターム	他	実習・演習・実験	1,2,3,4,5,6	999	
A	230T0016	テクノロジー・インターンシップ	2	第3,4ターム	他	実習・演習・実験	1,2,3,4,5,6	999	
A	230T7045	芸術プロジェクト表現実習I	1	集中	他	演習・実習	3,4,5,6	60	
A	230T7051	芸術プロジェクト表現実習II	1	集中	他	演習・実習	3,4,5,6	60	
A	231T0415	建築計画演習I	1	第1ターム	水2,水3	実習	3,4,5,6	60	
A	232T0416	建築計画演習II	1	第2ターム	水2,水3	実習	3,4,5,6	60	
A	233T0409	建築設計製図I	2	第3ターム	水2,水3,水4,金4	実習	2,3,4,5,6	55	
A	231T0436	都市デザイン論	2	第1ターム	火4,金4	講義	3,4,5,6	80	
A	休講	都市環境法							

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
A	233T0437	都市計画・デザイン演習	2	第3ターム	木4,木5	演習	3,4,5,6	55	
A	232T0434	都市計画学I	2	第2ターム	火4,金4	講義	2,3,4,5,6	100	
A	234T0435	都市計画学II	2	第4ターム	火4,金4	講義	2,3,4,5,6	120	
A	230A5002	基礎農力	1	集中	他	講義	2,3,4	100	
A	233A0046	醸造学	2	第3ターム	木3,木4	講義	3,4	70	
A	230A5008	キャリアビジョン研修	4	通年	他	演習・実習	1,2,3,4	5	
A	230A5001	地域交流サテライト実習	1	通年	他	実習	1,2,3,4	200	
A	開講番号については、所属、次期別に 区別され、また教育実習 の中でも、本実習と事前事後 実習で細分化しているため、 省略します。	初等教育実習 I	6	集中	他	実習			
A		初等教育実習 II	5	集中	他	実習			
A		中等教育実習 I	4	集中	他	実習			
A		中等教育実習 II	3	集中	他	実習			
A		中等教育実習 III	2	集中	他	実習			
A	230L3801	新潟を学ぶ／特殊講義(新潟を学ぶ)	2	第3,4ターム	木4	講義	1,2,3,4,5,6	70	
A	230L3807	新潟市の行政／特殊講義(新潟市の行政)	2	第3,4ターム	火5	講義	2,3,4,5,6	250	
A	230E1095	公共経営特殊講義	2	第3,4ターム	水3	講義	1,2,3,4,5,6	20	
A	230E1005	公共経営特殊講義	2	第3,4ターム	月6	講義	1,2,3,4,5,6	50	
A	230E6241	特殊講義(新潟県の行財政)	2	第3,4ターム	水3	講義	1,2,3,4,5,6	400	
A	230M1102	医学入門	2	第3,4ターム	月3,月4	講義	1,2,3,4,5,6	140	
A	230M5165	公衆衛生看護学実習	2	第1,2ターム	他	実習	4	95	
A	230M5136	新潟地域看護学実習	2	第1,2ターム	他	実習	4	95	
A	234M5164	地域保健学実習	1	第4ターム	他	実習	3,4	95	
A	230M5359	放射線治療技術学実習	2	第1,2ターム	他	実習	4	45	
A	230M5557	臨床検査実習	8	通年	他	実習	4	45	
A	230M1408	臨床実習 I A	7	第2学期	他	実習	1,2,3,4,5,6	127	
A	230M1501	臨床実習 I B	15	第1学期	他	実習	1,2,3,4,5,6	127	
A	230M1502	臨床実習 I C	15	第2学期	他	実習	1,2,3,4,5,6	127	
A	231G8007	「食べる」	2	第1ターム	火3,火4	講義	1,2,3,4,5,6	50	
A	230DA320	歯科衛生士臨床実習 II	2	第2学期	他	演習	3	26	
A	230DA403	社会福祉現場実習	4	通年	他	実習	4	26	
A	233G8508	新潟発福祉学	2	第3ターム	水3,水4	講義	1,2,3,4,5,6	100	
A	230DS221	地域歯科保健実習	1	第2学期	他	実習・実験	2	50	
A	230DA401	訪問歯科診療	1	通年	他	実習	4	26	
A	230DS508	臨床実習 I	17	第2学期	他	演習	5	50	
A	230DS603	臨床実習 II	18	通年	他	実習	6	50	
B	232A0008	食品化学	2	第2ターム	火3,火4	講義	1,2,3,4	120	
B	232A0019	遺伝子工学	2	第2ターム	火1,金1	講義	3,4	90	
B	232A0037	植物バイオマス利用科学	2	第2ターム	月2,木2	講義	3,4	40	
B	234A0049	畜産食品学	2	第4ターム	火1,火2	講義	2,3,4	100	
B	233A0051	食品・農業情報工学	2	第3ターム	金3,金4	講義	2,3,4	50	
B	233A0052	食料環境工学	2	第3ターム	火1,金1	講義	2,3,4	50	
B	234A0055	精密農業工学	2	第4ターム	火3,火4	講義	2,3,4	90	
B	232A0056	バイオマスエネルギー論	2	第2ターム	月1,木1	講義	2,3,4	50	
B	234A0069	構造デザイン工学	2	第4ターム	火2,金2	講義	2,3,4	60	
B	231A0082	食品工学	2	第1ターム	月2,木2	講義	2,3,4	50	
B	231A0084	食品衛生学	2	第1ターム	火1,火2	講義	1,2,3,4	120	
B	233A0085	農産食品学	2	第3ターム	水1,水2	講義	2,3,4	100	
B	232A0086	食品安全学	2	第2ターム	月1,月2	講義	3,4	193	
B	232A0093	畜産食品製造学	2	第2ターム	水1,水2	講義	3,4	70	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
B	233A0095	食品科学概論	1	第3ターム	他	講義	3,4	30	
B	230A0097	水産食品学	2	集中	他	講義	3,4	20	
B	231A0145	環境材料工学	2	第1ターム	月2,木2	講義	3,4	50	
B	231A0058	測量学(農)	2	第1ターム	火3,金3	講義	2,3,4	56	
B	231G6024	最先端技術を支える化学I	2	第1ターム	火3,金3	講義	1,2,3,4,5,6	250	
B	233G6525	材料科学概論	2	第3ターム	月3,木3	講義	1,2,3,4,5,6	150	
B	233G6524	くらしを支える機械システム工学	2	第3ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	200	
B	230G8005	人間工学論	2	第1,2ターム	月4	講義	1,2,3,4,5,6	150	
B	230K2123	機械I	2	第1,2ターム	金1	講義	2,3,4,5,6	56	
B	230K2127	電気II	2	第1,2ターム	火2	講義	2,3,4,5,6	40	
B	休講	機械IV							
B	230K2122	金属加工III	2	第3,4ターム	水1	講義	3,4,5,6	15	
B	230K2120	金属加工I	2	第3,4ターム	水2	講義	2,3,4,5,6	15	
B	230K2128	電気III	2	第1,2ターム	水2	講義	2,3,4,5,6	40	
B	230K2124	機械II	2	第3,4ターム	金1	講義	2,3,4,5,6	56	
B	230K2165	電気I	2	第3,4ターム	火1	講義	1,2,3,4,5,6	40	
B	230K2125	機械III	2	第3,4ターム	金4	講義	3,4,5,6	15	
B	230K2121	金属加工II	2	第1,2ターム	水2	講義	2,3,4,5,6	15	
B	230K2134	金属加工IV	2	第3,4ターム	木2	講義	3,4,5,6	15	
B	230K2129	電気IV	2	第3,4ターム	水2	講義	2,3,4,5,6	40	
B	230M8012	人間工学論	2	第1,2ターム	月4	講義	1,2,3,4	150	
B	230S0540	情報産業論	2	第3,4ターム	金3	講義	1,2,3,4	60	
B	231T0001	総合工学概論	2	第1ターム	木3,木4	講義	1,2,3,4,5,6	600	
B	休講	化学プロセス概論							
B	231T5001	高分子化学概論	2	第1ターム	火1,金1	講義	2,3,4,5,6	100	
B	233T0103	機械工学概論	2	第3ターム	月4,木4	講義	1,2,3,4,5,6	170	
B	233T0401	建築学概論	2	第3ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	60	
B	233T0201	電子情報通信概論	1	第3ターム	木1	講義	1,2,3,4,5,6	250	
B	233T0202	知能情報システム概論	1	第3ターム	木2	講義	1,2,3,4,5,6	250	
B	休講	建築材料・構造概論							
B	234T0104	社会基盤工学概論	2	第4ターム	月4,木4	講義	1,2,3,4,5,6	170	
B	231T4039	人間工学	2	第1ターム	金3,金4	講義	3,4,5,6	40	
B	231T7020	人間工学	2	第1ターム	金3,金4	講義	2,3,4,5,6	60	
B	232T1006	流体工学I	2	第2ターム	月1,木1	講義・演習	2,3,4,5,6	70	
B	232T1007	流体工学I	2	第2ターム	月1,木1	講義・演習	2,3,4,5,6	70	
B	232T1027	加工学	2	第2ターム	月2,木2		2,3,4,5,6	110	
B	232T1032	機械材料	2	第2ターム	火2,金2	講義	3,4,5,6	100	
B	233T1034	システム制御I	2	第3ターム	火1,金1	講義・演習	3,4,5,6	110	
B	232T1039	エネルギー変換工学	2	第2ターム	月2,木2	講義	3,4,5,6	100	
B	休講	メカトロニクス							
B	234T1045	ロボット工学	2	第4ターム	火2,金2	講義	3,4,5,6	90	
B	231T2012	社会基盤設計基礎	2	第1ターム	月1,月2,木1,木2	演習	2,3,4,5,6	50	
B	230T2034	土木計画学	2	第1,2ターム	他	講義	2,3,4,5,6	50	
B	休講	プログラミング基礎							
B	休講	プログラミング基礎 I							
B	233T0205	プログラミング基礎 I	2	第3ターム	火3,火4	演習・講義・実習	1,2,3,4,5,6	200	
B	233T0506	プログラミング基礎 I	2	第3ターム	火1,金1	演習・講義・実習	1,2,3,4,5,6	100	
B	休講	プログラミング基礎 II							
B	234T0206	プログラミング基礎 II	2	第4ターム	火3,火4	演習・講義・実習	1,2,3,4,5,6	200	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
B	234T0507	プログラミング基礎Ⅱ	2	第4ターム	水1,水2	演習・講義・実習	1,2,3,4,5,6	100	
B	231T3009	電気回路I	2	第1ターム	月1,木1	講義	2,3,4,5,6	100	
B	234T3027	電子回路	2	第4ターム	木3,木4	講義	2,3,4,5,6	100	
B	234T7029	電子回路	2	第4ターム	月4,木3	講義	2,3,4,5,6	70	
B	231T3030	デジタル信号処理	2	第1ターム	月1,木1	講義	3,4,5,6	100	
B	234T3033	電子デバイスI	2	第4ターム	月1,木2	講義	2,3,4,5,6	80	
B	234T3037	通信方式基礎	2	第4ターム	火1,金1	講義	3,4,5,6	100	
B	230T7053	電気回路	2	第1,2ターム	金1		2,3,4,5,6	60	
B	233T4024	論理回路	2	第3ターム	水1,水2	講義	2,3,4,5,6	90	
B	234T7060	論理回路	2	第4ターム	火1,火2		2,3,4,5,6	60	
B	232T4025	コンピュータネットワーク	2	第2ターム	月2,木2	講義	2,3,4,5,6	80	
B	232T7026	コンピュータネットワーク	2	第2ターム	月2,木2	講義	2,3,4,5,6	40	
B	234T4028	コンピュータアーキテクチャ	2	第4ターム	火1,火2	講義	2,3,4,5,6	80	
B	休講	コンピュータアーキテクチャ							
B	休講	人工知能							
B	休講	人工知能							
B	234T4036	基礎電子回路	2	第4ターム	月1,木2	講義	2,3,4,5,6	100	
B	234T4037	データベース	2	第4ターム	火3,火4	講義	3,4,5,6	80	
B	234T7039	データベース	2	第4ターム	火3,火4	講義	3,4,5,6	40	
B	231T5013	反応工学I	2	第1ターム	水1,水2	講義	2,3,4,5,6	100	
B	232T5014	拡散操作I	2	第2ターム	月1,木1	講義	2,3,4,5,6	100	
B	232T5023	移動論基礎	2	第2ターム	水1,水2	講義	2,3,4,5,6	100	
B	234T5026	プロセス伝熱工学	2	第4ターム	火4,金4	講義	2,3,4,5,6	50	
B	234T6028	高分子科学	2	第4ターム	月4,木4	講義	2,3,4,5,6	68	
B	233T6030	機能性高分子材料	2	第3ターム	月3,木3	講義	3,4,5,6	68	
B	231T5042	無機工業化学	2	第1ターム	月1,木1	講義	3,4,5,6	70	
B	233T5055	分子設計化学	2	第3ターム	火4,金4	講義	2,3,4,5,6	100	
B	232T6009	基礎材料組織学	2	第2ターム	火1,金1	講義	2,3,4,5,6	68	
B	234T6023	半導体物性・デバイス	2	第4ターム	月3,木3	講義	3,4,5,6	68	
B	234T6031	工業生化学	2	第4ターム	月2,木2	講義	2,3,4,5,6	68	
B	231T6034	材料評価学	2	第1ターム	火1,金1	講義	3,4,5,6	68	
B	231T6032	生体分子工学	2	第1ターム	木3,木4	講義	3,4,5,6	68	
B	232T6033	生物材料工学	2	第2ターム	月2,木2	講義	3,4,5,6	68	
B	233T0414	建築計画学I	2	第3ターム	火2,金2	講義	2,3,4,5,6	55	
B	231T7027	福祉情報工学	2	第1ターム	金3,金4	講義	3, 4, 5, 6	60	
B	休講	福祉情報工学							
B	231T0504	アントレプレナーシップ	2	第1ターム	火3,金3	講義	1,2,3,4,5,6	100	
C	230A0083	食品マーケティング論	2	集中	他	講義	2, 3, 4	50	
C	休講	食品産業論							
C	234A0114	農業統計学	1	第4ターム	月4	講義	2,3,4	60	
C	231A0115	農業経営学	2	第1ターム	月1,木1	講義	3,4	40	
C	234A0113	農産物流通論	2	第4ターム	水1,水2	講義	2,3,4	90	
C	233A0120	農業協同組合論	2	第3ターム	月2,木2	講義	3,4	70	
C	233E1062	人的資源管理論 I	2	第3ターム	月2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	100	
C	233E6142	人的資源管理論 I	2	第3ターム	月2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	95	
C	231E1090	組織の経済学 I	2	第1ターム	月3,木3	講義	1,2,3,4,5,6	100	
C	231E6056	組織の経済学 I	2	第1ターム	月3,木3	講義	1,2,3,4,5,6	100	
C	231E6005	入門ミクロ経済学	2	第1ターム	月5,木5	講義	1,2,3,4,5,6	400	
C	233E1050	財務会計論 I	2	第3ターム	火3,金3		1,2,3,4,5,6	20	
C	233E6192	財務会計論 I	2	第3ターム	火3,金3		1,2,3,4,5,6	100	
C	231E6002	経営学入門	2	第1ターム	他	講義	1,2,3,4,5,6	400	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
C	231E6001	経済学入門	2	第1ターム	火5,金5	講義	4,5,6	400	
C	231E1077	経営組織論I	2	第1ターム	火5,金5	講義	2,3,4,5,6	30	
C	231E6128	経営組織論 I	2	第1ターム	火5,金5	講義	1,2,3,4,5,6	250	
C	231E1036	管理会計論 I	2	第1ターム	火5,金5	講義	1,2,3,4,5,6	50	
C	231E6187	管理会計論 I	2	第1ターム	火5,金5	講義	1,2,3,4,5,6	100	
C	233E1017	マクロ経済学 I	2	第3ターム	月2,木2	講義	1,2,3,4,5,6	100	
C	233E6050	マクロ経済学 I	2	第3ターム	月2,木2	講義	1,2,3,4,5,6	200	
C	232E1079	金融論 I	2	第2ターム	月2,木2	講義	1,2,3,4,5,6	50	
C	232E6061	金融論 I	2	第2ターム	月2,木2	講義	1,2,3,4,5,6	200	
C	232E1081	計量経済学 I	2	第2ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	30	
C	232E6051	計量経済学 I	2	第2ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	220	
C	232E6245	公共経済学 I	2	第2ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	300	
C	232E1096	公共経済論 I	2	第2ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	50	
C	232E1047	会計学概論 I	2	第2ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	20	
C	232E6185	会計学概論 I	2	第2ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	200	
C	232E1041	会計学特殊講義	2	第2ターム	火4,金4		1,2,3,4,5,6	40	
C	232E1049	経営戦略論 I	2	第2ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	100	
C	232E6189	経営戦略論 I	2	第2ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	100	
C	休講	入門ミクロ経済学							
C	休講	入門ミクロ経済学							
C	230E1098	経営学概論 I	2	第1,2ターム	他	講義	1,2,3,4,5,6	30	
C	230E6140	経営学概論 I	2	第1,2ターム	他	講義	1,2,3,4,5,6	340	
C	234E6184	中小企業論	2	第4ターム	他	講義	1,2,3,4,5,6	50	
C	234E1034	企業経営特殊講義	2	第4ターム	他	講義	1,2,3,4,5,6	150	
C	233E6200	経済社会論基礎	2	第3ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	50	
C	休講	市場と組織の理論	2	第1,2ターム	火5	講義	2,3,4,5,6	20	
C	230E6058	市場と組織の理論	2	第3,4ターム	火5	講義	1,2,3,4,5,6	40	
C	231E1060	マーケティング論 I	2	第1ターム	月3,火3	講義	1,2,3,4,5,6	20	
C	231E6139	マーケティング論 I	2	第1ターム	月3,火3	講義	1,2,3,4,5,6	250	
C	233E6006	入門マクロ経済学	2	第3ターム	他	講義	1,2,3,4,5,6	400	
C	233E6003	人文社会科学入門	2	第3ターム	月3,木3	講義	1,2,3,4,5,6	400	
C	234E1089	企業分析入門	2	第4ターム	月3,月4		1,2,3,4,5,6	10	
C	234E6141	企業分析入門	2	第4ターム	月3,月4		1,2,3,4,5,6	50	
C	234E6190	原価計算論	2	第4ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	200	
C	234E1035	原価計算論 I	2	第4ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	50	
C	233E1020	日本経済入門	2	第3ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	100	
C	233E6004	日本経済入門	2	第3ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	400	
C	233G7512	現代社会と科学技術	2	第3ターム	金1,金2	講義	1,2,3,4,5,6	100	
C	233G7509	現代社会論	2	第3ターム	水1,水2	講義	1,2,3,4,5,6	150	
C	休講	社会心理学							
C	234H2004	社会・集団・家族心理学	2	第4ターム	金3,金4	講義・実習	2,3,4	70	
C	231H2022	社会解析論	2	第1ターム	木1,木2	講義	2,3,4	40	
C	234H2021	社会学概説	2	第4ターム	月2,木2	講義	2,3,4	50	
C	休講	社会学概説B							
C	231H2041	社会調査法A	2	第1ターム	金3,金4	講義	2,3,4	40	
C	232H2042	社会調査法B	2	第2ターム	金3,金4	講義	2,3,4	40	
C	232S0541	情報社会論	2	第2ターム	火5,金5	講義	1,2,3,4	100	
D	230A5003	学科インターンシップ	2	通年	他	実習・実験	3,4	45	
D	230A5004	学科インターンシップ	2	通年	他	実習・実験	3,4	30	
D	230A5005	学科インターンシップ	2	通年	他	実習・実験	3,4	40	
D	230A5006	学科インターンシップ	2	集中	他	実習・実験	3,4	50	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
D	232A5007	フィールド科学インターンシップ	2	第2ターム	他	実習・実験	3,4	23	
D	230E6009	インターンシップ	2	集中	他	実習	1,2,3,4,5,6	20	
D	230E1064	インターンシップ	2	集中	他	講義	1,2,3,4,5,6	20	
D	230E5036	インターンシップ	2	集中	他	講義	1,2,3,4,5,6	20	
D	230E6129	会計税務インターンシップ	2	集中	他	実習	1,2,3,4,5,6	10	
D	230E1043	会計税務インターンシップ	2	集中	他	実習	1,2,3,4,5,6	10	
D	休講	会計税務インターンシップ							
D	230G3902	データサイエンス・インターンシップ	6	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
D	230L3892	インターンシップ(基礎)	1	集中	他	講義・実習	3,4,5,6	150	
D	230L3893	インターンシップ(実習1)	1	集中	他	講義・実習	3,4,5,6	150	
D	230L3894	インターンシップ(実習2)	1	集中	他	講義・実習	3,4,5,6	150	
D	230L3895	インターンシップ(実習3)	1	集中	他	講義・実習	3,4,5,6	150	
D	230L3896	インターンシップ(実習4)	1	集中	他	講義・実習	3,4,5,6	150	
D	230L3897	インターンシップ(実習5)	1	集中	他	講義・実習	3,4,5,6	150	
D	230L3898	インターンシップ(実習6)	1	集中	他	講義・実習	3,4,5,6	150	
D	230L3899	インターンシップ(実習7)	1	集中	他	講義・実習	3,4,5,6	150	
D	230T6040	インターンシップ	2	第3,4ターム	他	実習	3,4,5,6	68	
D	230T0013	マーケット・インターンシップ	2	第1,2ターム	他	演習・講義・実習	1,2,3,4,5,6	999	
D	230T0014	マーケット・インターンシップ	2	第3,4ターム	他	演習・講義・実習	1,2,3,4,5,6	999	
D	230T0025	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	2	第1,2ターム	他	実習・演習・実験	1,2,3,4,5,6	999	
D	230T0026	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	2	第3,4ターム	他	実習・演習・実験	1,2,3,4,5,6	999	
D	230T0027	国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	3	第1,2ターム	他	実習・演習・実験	1,2,3,4,5,6	999	
D	230T0028	国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	3	第3,4ターム	他	実習・演習・実験	1,2,3,4,5,6	999	
D	230T0029	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	2	第1,2ターム	他	実習・演習・実験	1,2,3,4,5,6	999	
D	230T0030	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	2	第3,4ターム	他	実習・演習・実験	1,2,3,4,5,6	999	
D	230T0031	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	3	第1,2ターム	他	実習・演習・実験	1,2,3,4,5,6	999	
D	230T0032	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	3	第3,4ターム	他	実習・演習・実験	1,2,3,4,5,6	999	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	コミュニティ・マネジメント
概要	地震や風水害、雪などの厳しい自然条件や災害と折り合いをつけながら、豊かな郷土を築き、維持・発展している新潟の地域とそこで活動する人たちに学び、地域の素材を発見し磨き育て上げる力、自助・共助・公助を考え合わせながら人と人をつないでいくことのできる力を有する、コミュニティ・コーディネーター、災害ボランティア・コーディネーターの素養を持った人材育成を目指す。
履修資格	全学部学科（課程）の学生
履修定員	
修了要件	A) 新潟地域志向科目（Bの科目を除く）科目：4単位以上 B) ボランティア開発論Ⅰ・Ⅱ，コミュニティ開発論Ⅰ・Ⅱ：8単位 以上の合計12単位を修得
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
A	230G3916	学校支援フィールドワークA(小学校)	2	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230G3917	学校支援フィールドワークA(中学校)	2	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230G3918	学校支援フィールドワークA(高等学校)	2	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230G3919	学校支援フィールドワークB(小学校)	4	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230G3920	学校支援フィールドワークB(中学校)	4	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230G3922	現場訪問とデータから読み解く新潟の今－新潟地域産業の可能性を探る－Ⅰ	2	集中	他	演習・実習	1,2,3,4,5,6	15	
A	休講	新潟地域研究							
A	230G3212	地域から文化を考える	2	第1,2ターム	月5	講義・実習	1,2,3,4,5,6	50	
A	休講	インターンシップ実習							
A	230G3203	キャリアデザイン	2	第1,2ターム	水4	講義	1,2,3,4,5,6	200	
A	休講	キャリア形成							
A	休講	技術者としてのキャリア形成入門演習							
A	230G3704	近世越後諸地域の歴史と社会	2	第3,4ターム	水5	講義	1,2,3,4,5,6	150	
A	233G3701	新潟の農林業	2	第3ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	500	
A	休講	新潟産業フィールドワーク・オンライン							
A	230G3912	日本酒学B	1	集中	他	講義	1,2,3,4,5,6	25	
A	230M5165	公衆衛生看護学実習	2	第1,2ターム	他	実習	4	95	
A	230M5136	新潟地域看護学実習	2	第1,2ターム	他	実習	4	95	
A	234M5164	地域保健学実習	1	第4ターム	他	実習	3,4	95	
A	230M5359	放射線治療技術学実習	2	第1,2ターム	他	実習	4	45	
A	230M5557	臨床検査実習	8	通年	他	実習	4	45	
A	231G8007	「食べる」	2	第1ターム	火3,火4	講義	1,2,3,4,5,6	50	
A	233G8508	新潟発福祉学	2	第3ターム	水3,水4	講義	1,2,3,4,5,6	100	
A	231T0504	アントレプレナーシップ	2	第1ターム	火3,金3	講義	1,2,3,4,5,6	100	
A	休講	キャリアデザイン・インターンシップⅠ							
A	休講	キャリアデザイン・インターンシップⅡ							
A	233G6524	くらしを支える機械システム工学	2	第3ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	200	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
A	230T0015	テクノロジー・インターンシップ	2	第1,2ターム	他	実習・演習・実験	1,2,3,4,5,6	999	
A	230T0016	テクノロジー・インターンシップ	2	第3,4ターム	他	実習・演習・実験	1,2,3,4,5,6	999	
A	233T0103	機械工学概論	2	第3ターム	月4,木4	講義	1,2,3,4,5,6	170	
A	231T0001	総合工学概論	2	第1ターム	木3,木4	講義	1,2,3,4,5,6	600	
A	231T0436	都市デザイン論	2	第1ターム	火4,金4	講義	3,4,5,6	80	
A	233T0437	都市計画・デザイン演習	2	第3ターム	木4,木5	演習	3,4,5,6	55	
A	232T0434	都市計画学I	2	第2ターム	火4,金4	講義	2,3,4,5,6	100	
A	234T0435	都市計画学II	2	第4ターム	火4,金4	講義	2,3,4,5,6	120	
A	233A0046	醸造学	2	第3ターム	木3,木4	講義	3,4	70	
A	230S5541	応用地質学実習	1	集中	他	実習	3,4	30	
A	230S0536	科学・技術と社会	2	第1,2ターム	水3	講義	1,2,3,4	200	
A	230S5529	海洋生物学実験	1	集中	他	実験	2,3,4	16	
A	230S6530	環境生物学野外実習A	1	通年	他	実習	3,4	40	
A	230S6531	環境生物学野外実習B	1	通年	他	実習	2,3,4	12	
A	234S6532	環境生物学野外実習C	1	第4ターム	他	実習	2,3,4	40	
A	230S4503	系統動物学	2	集中	他	講義	2,3,4	30	
A	230S0538	新素材の物性	2	第1,2ターム	水2	講義	2,3,4	60	
A	休講	総合力アクティブ・ラーニング							
A	231S0526	地学基礎実習a	1	第1ターム	金3	実習	1,2,3,4	25	
A	231S0527	地学基礎実習a	1	第1ターム	金3		2,3,4	25	
A	232S0528	地学基礎実習a	1	第2ターム	水1	実習	1,2,3,4	25	
A	232S0529	地学基礎実習b	1	第2ターム	金3	実習	1,2,3,4	25	
A	233S0530	地学基礎実習b	1	第3ターム	水2	実習	1,2,3,4	25	
A	230S5524	地質構造解析法	1	第1,2ターム	金2	講義	3,4	30	
A	230S5503	地質調査法実習I	2	集中	他	実習	2,3,4	30	
A	233S5504	地質調査法実習II	1	第3ターム	火3	実習	2,3,4	30	
A	230S4523	臨海実習I	2	集中	他	実習	3,4	30	
A	休講	P.F.ドロッカー理論とそこから学ぶキャリアデザイン							
A	休講	キャリアを共に考える-自己理解・他者理解							
A	休講	キャリアを共に考える-自己理解・他者理解							
A	休講	キャリアを共に考える-自己理解・他者理解							
A	休講	キャリアを共に考える-自己理解・他者理解							
A	休講	キャリア意識形成と自己成長							
A	233G3716	トキをシンボルとした自然再生	2	第3ターム	月4,木4	講義	1,2,3,4,5,6	90	
A	232X0005	フィールドスタディーズ(学外学修)	6	第2ターム	火1,火2,火3,火4,火5,水1,水2,水3,水4,水5,木1,木2,木3,木4,木5	演習・実習	1,2,3,4,5,6	70	
A	休講	社会とキャリア選択A(企業人と学生のハイブリッド)							
A	休講	社会とキャリア選択B(キャリア・進路選択)							
A	230G3939	朱鷺・自然再生フィールドワーク	1	集中	他	実習	1,2,3,4,5,6	30	
A	230G3234	新聞を体験するー新潟日報との連携授業ー	2	第1,2ターム	水2	講義	1,2,3,4,5,6	80	
A	233G3714	表現プロジェクト演習T	2	第3ターム	火3,火4	演習	1,2,3,4,5,6	15	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
A	休講	表現プロジェクト演習J							
A	休講	表現プロジェクト演習F							
A	233G3718	表現プロジェクト演習G	2	第3ターム	木1,木2	演習	1,2,3,4,5,6	15	
A	休講	表現プロジェクト演習B							
A	230G3739	表現プロジェクト演習H	2	第3,4ターム	火3	演習	1,2,3,4,5,6	15	
A	230G3943	表現プロジェクト演習Q	2	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
A	230E1095	公共経営特殊講義	2	第3,4ターム	水3	講義	1,2,3,4,5,6	20	
A	230E1005	公共経営特殊講義	2	第3,4ターム	月6	講義	1,2,3,4,5,6	50	
A	230E6241	特殊講義(新潟県の実行政)	2	第3,4ターム	水3	講義	1,2,3,4,5,6	400	
A	230L3801	新潟を学ぶ/特殊講義(新潟を学ぶ)	2	第3,4ターム	木4	講義	1,2,3,4,5,6	70	
B	230G3210	ボランティア開発論 I	2	第1,2ターム	金5	講義	1,2,3,4,5,6	20	
B	230G3710	ボランティア開発論 II	2	第3,4ターム	金5	講義	1,2,3,4,5,6	20	
B	230G3211	コミュニティ開発論 I	2	第1,2ターム	金6	講義	1,2,3,4,5,6	10	
B	230G3711	コミュニティ開発論 II	2	第3,4ターム	金6	講義	1,2,3,4,5,6	10	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	データサイエンスリテラシー
概要	様々なデータに内在する本質的構造を理解し数理的思考に基づいて解析・問題解決を行うデータサイエンスは、データ駆動型社会において多様な分野で新たな知見を創出するカギとなることが期待されています。データサイエンスは数理的知識・計算処理技術・問題発見課題解決からなる複合的な領域であり、旧来の学問分野や領域を越えた学習が必要となります。データサイエンスを構成する各要素に対応した授業科目を満遍なく履修することで知識・技能を分野横断的かつ体系的に学び、データサイエンスに関わる基礎的知識・技能の習熟と実践的経験を通してデータサイエンスの基礎的な能力を修得するとともに、データ駆動型社会において活躍できるための幅広い視野と行動力を身に付ける。
履修資格	全学部学科（課程）の学生
履修定員	
修了要件	A) [データサイエンス入門科目群]から2単位 B) [統計科目群]または[数学科目群]から2単位以上 C) [情報概論科目群]から2単位以上 D) [情報処理演習科目群]または[プログラミング基礎科目群]から2単位以上 以上の合計12単位を修得
その他特記事項	パッケージ型マイナー「データサイエンスリテラシー」は文部科学省数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）の認定を取得しています。 https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/suuri_datascience_ai/00002_00003.htm

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
A	231G3007	データサイエンス総論Ⅰ	1	第1ターム	月5	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	231G3008	データサイエンス総論Ⅰ	1	第1ターム	月1	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	231G3009	データサイエンス総論Ⅰ	1	第1ターム	火1	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	231G3010	データサイエンス総論Ⅰ	1	第1ターム	火1	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	231G3011	データサイエンス総論Ⅰ	1	第1ターム	金1	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	231G3012	データサイエンス総論Ⅰ	1	第1ターム	金4	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	231G3013	データサイエンス総論Ⅰ	1	第1ターム	金4	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	231G3014	データサイエンス総論Ⅰ	1	第1ターム	月1	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	231G3015	データサイエンス総論Ⅰ	1	第1ターム	木1	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	231G3016	データサイエンス総論Ⅰ	1	第1ターム	金5	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	231G3017	データサイエンス総論Ⅰ	1	第1ターム	火1	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	233G3507	データサイエンス総論Ⅰ	1	第3ターム	火3	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	233G3508	データサイエンス総論Ⅰ	1	第3ターム	水4	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	233G3509	データサイエンス総論Ⅰ	1	第3ターム	金3	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	233G3510	データサイエンス総論Ⅰ	1	第3ターム	金3	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	233G3511	データサイエンス総論Ⅰ	1	第3ターム	火3	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	233G3512	データサイエンス総論Ⅰ	1	第3ターム	火3	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	233G3513	データサイエンス総論Ⅰ	1	第3ターム	火1	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	233G3514	データサイエンス総論Ⅰ	1	第3ターム	火1	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	232G3031	データサイエンス総論Ⅱ	1	第2ターム	月5	講義	1,2,3,4,5,6	125	
A	232G3032	データサイエンス総論Ⅱ	1	第2ターム	月1	講義	1,2,3,4,5,6	125	
A	232G3033	データサイエンス総論Ⅱ	1	第2ターム	火1	講義	1,2,3,4,5,6	125	
A	232G3034	データサイエンス総論Ⅱ	1	第2ターム	火1	講義	1,2,3,4,5,6	125	
A	232G3035	データサイエンス総論Ⅱ	1	第2ターム	金1	講義	1,2,3,4,5,6	125	
A	232G3036	データサイエンス総論Ⅱ	1	第2ターム	金4	講義	1,2,3,4,5,6	125	
A	232G3037	データサイエンス総論Ⅱ	1	第2ターム	木1	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	232G3038	データサイエンス総論Ⅱ	1	第2ターム	金5	講義	1,2,3,4,5,6	135	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
A	232G3039	データサイエンス総論Ⅱ	1	第2ターム	月1	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	232G3040	データサイエンス総論Ⅱ	1	第2ターム	火1	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	234G3523	データサイエンス総論Ⅱ	1	第4ターム	火3	講義	1,2,3,4,5,6	125	
A	234G3524	データサイエンス総論Ⅱ	1	第4ターム	水4	講義	1,2,3,4,5,6	125	
A	234G3525	データサイエンス総論Ⅱ	1	第4ターム	金3	講義	1,2,3,4,5,6	125	
A	234G3526	データサイエンス総論Ⅱ	1	第4ターム	金3	講義	1,2,3,4,5,6	125	
A	234G3527	データサイエンス総論Ⅱ	1	第4ターム	火3	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	234G3528	データサイエンス総論Ⅱ	1	第4ターム	火1	講義	1,2,3,4,5,6	135	
A	231G3018	エンジニアのためのデータサイエンス入門(力学分野)	2	第1ターム	火4,金4	講義・演習	1,2,3,4,5,6	75	
A	231G3019	エンジニアのためのデータサイエンス入門(力学分野)	2	第1ターム	火4,金4	講義・演習	1,2,3,4,5,6	75	
A	231G3020	エンジニアのためのデータサイエンス入門(化学材料分野)	2	第1ターム	火4,金4	講義・演習	1,2,3,4,5,6	75	
A	231G3021	エンジニアのためのデータサイエンス入門(化学材料分野)	2	第1ターム	火4,金4	講義・演習	1,2,3,4,5,6	75	
A	231G3022	エンジニアのためのデータサイエンス入門(融合領域分野)	2	第1ターム	月1,月2	講義・演習	1,2,3,4,5,6	50	
A	231G3023	エンジニアのためのデータサイエンス入門(融合領域分野)	2	第1ターム	月1,月2	講義・演習	1,2,3,4,5,6	50	
A	232G3041	エンジニアのためのデータサイエンス入門(情報電子分野)	2	第2ターム	火3,金3	講義・演習	1,2,3,4,5,6	65	
A	232G3042	エンジニアのためのデータサイエンス入門(情報電子分野)	2	第2ターム	火3,金3	講義・演習	1,2,3,4,5,6	65	
A	232G3043	エンジニアのためのデータサイエンス入門(情報電子分野)	2	第2ターム	火3,金3	講義・演習	1,2,3,4,5,6	65	
A	232G3044	エンジニアのためのデータサイエンス入門(建築分野)	2	第2ターム	月2,木2	講義・演習	1,2,3,4,5,6	50	
A	233X0009	データサイエンス概説	2	第3ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	70	
B	230H9217	メディア・表現文化実習D	1	第3,4ターム	木5	実習	4	50	
B	230H2048	メディア論実習D	1	第3,4ターム	木5	実習	2,3,4	50	
B	231H2041	社会調査法A	2	第1ターム	金3,金4	講義	2,3,4	40	
B	230K1307	統計学I	2	第1,2ターム	火4	講義	2,3,4,5,6	88	
B	230K1308	統計学II	2	第3,4ターム	火4	講義	2,3,4,5,6	88	
B	230K5103	教育統計学(心理学統計法)	2	第1,2ターム	水3	講義・演習	2,3,4,5,6	40	
B	231E1056	統計入門Ⅱ	2	第1ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	10	
B	232E1081	計量経済学Ⅰ	2	第2ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	30	
B	232E6051	計量経済学Ⅰ	2	第2ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	220	
B	231E6007	統計入門	2	第1ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	300	
B	233E6008	統計入門	2	第3ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	300	
B	230M1214	医学情報学(基礎)	1.5	第2学期	他	講義	1,2,3,4,5,6	133	
B	230M8019	医療統計学	2	第3,4ターム	金2	講義	2,3,4	160	
B	230DA212	社会調査法	2	第1学期	他	演習	2	26	
B	230DS202	医療統計学	2	第1学期	他	講義	2	50	
B	231T3003	応用数理E	2	第1ターム	火3,金4	講義	2,3,4,5,6	80	
B	231T4001	応用数理E	2	第1ターム	月2,木2	講義	2,3,4,5,6	90	
B	231T7002	応用数理E	2	第1ターム	月2,木2	講義	2,3,4,5,6	60	
B	232T2003	応用数理E	2	第2ターム	月4,木4	講義	3,4,5,6	50	
B	232T6002	応用数理E	2	第2ターム	月4,木4	講義	2,3,4,5,6	170	
B	232A0044	生物統計学	2	第2ターム	金3,金4	講義	2,3,4	100	
B	233A0080	環境統計学	2	第3ターム	水3,水4	講義	2,3,4	41	
B	234T0503	ビジネス統計学	2	第4ターム	木3,木4	講義	1,2,3,4,5,6	100	
B	234A0114	農業統計学	1	第4ターム	月4	講義	2,3,4	60	
B	231G5006	統計学基礎1	1	第1ターム	月5	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	231G5005	統計学基礎1	1	第1ターム	水1	講義	1,2,3,4,5,6	160	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
B	233G5504	統計学基礎1	1	第3ターム	火5	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	233G5505	統計学基礎1	1	第3ターム	月5	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	232G5011	統計学基礎2	1	第2ターム	月5	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	232G5012	統計学基礎2	1	第2ターム	水1	講義	1,2,3,4,5,6	160	
B	234G5509	統計学基礎2	1	第4ターム	火5	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	234G5510	統計学基礎2	1	第4ターム	月5	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	232H2042	社会調査法B	2	第2ターム	金3,金4	講義	2,3,4	40	
B	230K1303	線形代数学I	2	第1,2ターム	水4	講義	2,3,4,5,6	99	
B	230K1304	線形代数学II	2	第3,4ターム	水4	講義	2,3,4,5,6	88	
B	230K1305	微分積分学I	2	第1,2ターム	月5	講義	2,3,4,5,6	88	
B	230K1311	代数学序説	2	第1,2ターム	火5	講義	1,2,3,4,5,6	150	
B	231E1059	経済数学	2	第1ターム	月3,木3	講義	1,2,3,4,5,6	20	
B	231E6047	経済数学 I	2	第1ターム	月3,木3	講義	1,2,3,4,5,6	300	
B	233S0545	線形代数IA	1	第3ターム	木1	講義	1,2,3,4	160	
B	233S0547	集合と写像	1	第3ターム	月5	講義	1,2,3,4	70	
B	233S0559	基礎物理数学	2	第3ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4	70	
B	234S0551	オペレーションズ・リサーチ	2	第4ターム	月5,木5	講義	1,2,3,4	160	
B	234S0560	基礎ベクトル解析	2	第4ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4	70	
B	231T1001	応用数理A	2	第1ターム	月5,木5	講義	2,3,4,5,6	120	
B	231T1003	応用数理B	2	第1ターム	火4,金4	講義	2,3,4,5,6	120	
B	232T4003	応用数理B	2	第2ターム	月3,木3	講義	2,3,4,5,6	90	
B	231T4023	離散数学	2	第1ターム	金1,金2	講義	2,3,4,5,6	110	
B	232T1002	応用数理A	2	第2ターム	月1,木1	講義	2,3,4,5,6	68	
B	232T3001	応用数理B	2	第2ターム	月3,木3	講義	2,3,4,5,6	150	
B	232T4002	電気数理I	2	第2ターム	月1,木1	講義	2,3,4,5,6	90	
B	233T5004	応用数理B	2	第3ターム	火1,金1	講義	2,3,4,5,6	100	
B	233T6003	物理数学	2	第3ターム	火1,金1	講義	2,3,4,5,6	68	
B	231G5001	解析学基礎1	1	第1ターム	水1	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	231G5002	数学基礎A1	1	第1ターム	水1	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	231G5003	数学基礎B1	1	第1ターム	金3	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	231G5004	数学基礎B1	1	第1ターム	水3	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	233G5503	数学基礎B1	1	第3ターム	金3	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	232G6010	基礎数理A I	2	第2ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	100	
B	232G5007	解析学基礎2	1	第2ターム	水1	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	232G5008	数学基礎A2	1	第2ターム	水1	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	232G5009	数学基礎B2	1	第2ターム	金3	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	232G5010	数学基礎B2	1	第2ターム	水3	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	234G5508	数学基礎B2	1	第4ターム	金3	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	232G6006	基礎数理A I	2	第2ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	150	
B	232G6007	基礎数理A I	2	第2ターム	月4,木4	講義	1,2,3,4,5,6	150	
B	232G6008	基礎数理A I	2	第2ターム	月4,木4	講義	1,2,3,4,5,6	120	
B	232G6009	基礎数理A I	2	第2ターム	火3,金3	講義	1,2,3,4,5,6	150	
B	233G5501	数学基礎A1	1	第3ターム	水3	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	233G5502	数学基礎B1	1	第3ターム	水2	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	233G6501	数学の世界	2	第3ターム	水4,水5	講義	1,2,3,4,5,6	100	
B	233G6502	基礎数理B	2	第3ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	100	
B	233G6503	基礎数理B	2	第3ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	150	
B	233G6504	基礎数理B	2	第3ターム	月4,木4	講義	1,2,3,4,5,6	150	
B	233G6505	基礎数理B	2	第3ターム	月4,木4	講義	1,2,3,4,5,6	120	
B	233G6506	基礎数理B	2	第3ターム	火3,金3	講義	1,2,3,4,5,6	150	
B	234G5506	数学基礎A2	1	第4ターム	水3	講義	1,2,3,4,5,6	138	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
B	234G5507	数学基礎B2	1	第4ターム	水2	講義	1,2,3,4,5,6	138	
B	234G6512	基礎数理A II	2	第4ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	100	
B	234G6513	基礎数理A II	2	第4ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	150	
B	234G6514	基礎数理A II	2	第4ターム	月4,木4	講義	1,2,3,4,5,6	150	
B	234G6515	基礎数理A II	2	第4ターム	月4,木4	講義	1,2,3,4,5,6	120	
B	234G6516	基礎数理A II	2	第4ターム	火3,金3	講義	1,2,3,4,5,6	150	
C	休講	基礎情報論							
C	234K0385	教育情報論	1	第4ターム	水4	講義	2,3,4,5,6	431	
C	休講	情報処理概論 I							
C	休講	情報処理概論 I							
C	休講	情報処理概論 II							
C	休講	情報処理概論 II							
C	230S0540	情報産業論	2	第3,4ターム	金3	講義	1,2,3,4	60	
C	232S0541	情報社会論	2	第2ターム	火5,金5	講義	1,2,3,4	100	
C	230M1402	医学情報学(応用)	0.5	第1学期	他	講義	1,2,3,4,5,6	127	
C	232T4021	データ構造とアルゴリズム	2	第2ターム	金1,金2	講義	2,3,4,5,6	110	
C	休講	人工知能							
C	休講	人工知能							
C	233T0202	知能情報システム概論	1	第3ターム	木2	講義	1,2,3,4,5,6	250	
C	234T3048	ネットワーク工学	2	第4ターム	月2,木1		2,3,4,5,6	40	
C	234T4035	ネットワーク工学	2	第4ターム	月2,木1	講義	2,3,4,5,6	80	
C	230G3046	情報処理概論A I	2	第1,2ターム	水5	講義	1,2,3,4,5,6	200	
C	230G3529	情報処理概論A II	2	第3,4ターム	水5	講義	1,2,3,4,5,6	200	
C	231G3024	情報リテラシー概論	2	第1ターム	金4,金5	講義	1,2,3,4,5,6	250	
C	231T4050	人工知能基礎	2	第1ターム	月3,木3		2,3,4,5,6	90	
C	231T7061	人工知能基礎	2	第1ターム	月3,木3		3,4,5,6	30	
D	230K1309	情報数学I	2	第1,2ターム	月2	講義	2,3,4,5,6	50	
D	230K1310	情報数学II	2	第3,4ターム	月2	講義	2,3,4,5,6	50	
D	230K2108	情報基礎及び実習	2	第3,4ターム	水3,水4		2,3,4,5,6	20	
D	233M5346	医療情報学	1	第3ターム	水3	講義	3,4	45	
D	231T0203	コンピュータ基礎	1	第1ターム	火3	演習・講義・実習	1,2,3,4,5,6	100	
D	231T0204	コンピュータ基礎	1	第1ターム	火4	演習・講義・実習	1,2,3,4,5,6	100	
D	232T3022	デジタル回路	2	第2ターム	水1,水2	講義	2,3,4,5,6	100	
D	231G3001	データサイエンス基礎演習	2	第1ターム	月2,木2	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	231G3002	データサイエンス基礎演習	2	第1ターム	月3,木3	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	231G3003	データサイエンス基礎演習	2	第1ターム	月4,木4	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	231G3004	データサイエンス基礎演習	2	第1ターム	火2,金2	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	231G3005	データサイエンス基礎演習	2	第1ターム	火3,金3	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	231G3006	データサイエンス基礎演習	2	第1ターム	火4,金4	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	232G3025	データサイエンス基礎演習	2	第2ターム	月2,木2	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	232G3026	データサイエンス基礎演習	2	第2ターム	月3,木3	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	232G3027	データサイエンス基礎演習	2	第2ターム	月4,木4	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	232G3028	データサイエンス基礎演習	2	第2ターム	火2,金2	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	232G3029	データサイエンス基礎演習	2	第2ターム	火3,金3	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	232G3030	データサイエンス基礎演習	2	第2ターム	火4,金4	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	233G3501	データサイエンス基礎演習	2	第3ターム	月2,木2	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	233G3502	データサイエンス基礎演習	2	第3ターム	月3,木3	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	233G3503	データサイエンス基礎演習	2	第3ターム	月4,木4	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	233G3504	データサイエンス基礎演習	2	第3ターム	火2,金2	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	233G3505	データサイエンス基礎演習	2	第3ターム	火3,金3	演習	1,2,3,4,5,6	50	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
D	233G3506	データサイエンス基礎演習	2	第3ターム	火4,金4	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	234G3515	データサイエンス基礎演習	2	第4ターム	月1,木1	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	234G3516	データサイエンス基礎演習	2	第4ターム	月2,木2	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	234G3517	データサイエンス基礎演習	2	第4ターム	月3,木3	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	234G3518	データサイエンス基礎演習	2	第4ターム	月4,木4	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	234G3519	データサイエンス基礎演習	2	第4ターム	火1,金1	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	234G3520	データサイエンス基礎演習	2	第4ターム	火2,金2	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	234G3521	データサイエンス基礎演習	2	第4ターム	火3,金3	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	234G3522	データサイエンス基礎演習	2	第4ターム	火4,金4	演習	1,2,3,4,5,6	50	
D	231S0554	計算機演習A	1	第1ターム	月1	演習	2,3,4	75	
D	232S0557	計算機演習B	1	第2ターム	月1	演習	2,3,4	75	
D	233S1506	プログラミング概論A	1	第3ターム	木4	講義	2,3,4	70	
D	234S1512	プログラミング概論B	1	第4ターム	木4	講義	2,3,4	70	
D	231T3020	プログラミングBI	2	第1ターム	金1,金2	演習・講義・実習	2,3,4,5,6	80	
D	233T0205	プログラミング基礎 I	2	第3ターム	火3,火4	演習・講義・実習	1,2,3,4,5,6	200	
D	233T0506	プログラミング基礎 I	2	第3ターム	火1,金1	演習・講義・実習	1,2,3,4,5,6	100	
D	234T0206	プログラミング基礎 II	2	第4ターム	火3,火4	演習・講義・実習	1,2,3,4,5,6	200	
D	234T0507	プログラミング基礎 II	2	第4ターム	水1,水2	演習・講義・実習	1,2,3,4,5,6	100	
D	231X2003	データサイエンス実践 A	2	第1ターム	月3,木3	講義	2,3,4,5,6	70	
D	232X2004	データサイエンス実践 B	2	第2ターム	月3,木3	講義	2,3,4,5,6	70	
D	休講	データサイエンスのためのPython入門							
D	休講	データサイエンスのためのPython入門							

パッケージ名	ジオパーク
概要	ユネスコの正式プログラムである世界ジオパークおよび国内のジオパークの活動を牽引する人材養成を意識したパッケージである。持続可能な地域発展を目指すジオパーク活動を理解するために、その基礎として地層、岩石、鉱物、化石などについて学習する。私たちを取り巻く自然環境に興味をもち、各種の地質現象を理解する。ジオパークの拠点施設であるミュージアムでの活動についての理解を深める。地域活動の実践を通じて、大地の成り立ちと人々の暮らしの関係について学ぶ。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること ・ 所定の授業科目について12単位以上を修得 ・ 修得単位に、S, H, Gコードのすべてを含むこと
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
S	230S5534	東アジアの地質形成史	2	第1,2ターム	金1	講義	3,4	30	
S	233S5511	古生物学A	1	第3ターム	火4	講義	2,3,4	30	
S	233S5506	岩石学A	1	第3ターム	月2	講義	2,3,4	30	
S	233S5509	鉱物学A	1	第3ターム	木2	講義	2,3,4	30	
S	231S5530	地史学A	1	第1ターム	火4	講義	3,4	30	
S	232S5531	地史学B	1	第2ターム	火4	講義	3,4	30	
G	231G5034	地学基礎A	2	第1ターム	月3,木3	講義	1,2,3,4,5,6	150	
G	233G5524	地学基礎A	2	第3ターム	月3,木3	講義	1,2,3,4,5,6	150	
G	231G5035	地学基礎B	2	第1ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	400	1
G	234G5525	地学基礎C	2	第4ターム	月1,木1	講義	1,2,3,4,5,6	250	
G	231G6001	地学概論A	2	第1ターム	月1,木1	講義	1,2,3,4,5,6	150	
G	234G6518	地学概論A	2	第4ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	150	
G	230G6523	地学概論B	2	第3,4ターム	金2	講義	1,2,3,4,5,6	150	
G	230G6021	地学実験A	2	第1,2ターム	水2	実験	1,2,3,4,5,6	20	
G	231G3205	ダブルホーム活動入門Ⅰ	1	第1ターム	火5,他	講義・演習	1,2,3,4,5,6	30	4
G	231G3206	ダブルホーム活動入門Ⅰ	1	第1ターム	水5,他	講義・演習	1,2,3,4,5,6	30	4
G	231G3207	ダブルホーム活動入門Ⅰ	1	第1ターム	木5,他	講義・演習	1,2,3,4,5,6	30	4
G	232G3915	ダブルホーム活動入門Ⅱ	1	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	120	4
G	休講	新潟地域研究							3
G	230G7527	人文系展開科目D	2	第3,4ターム	水3	講義	1,2,3,4,5,6	150	
H	230H2031	博物館概論	2	第1,2ターム	月5	講義	2,3,4	150	
H	230H4034	ミュージアム論	2	第3,4ターム	水3		3,4	100	
H	230H4031	博物館資料保存論	2	第3,4ターム	月5		3,4	100	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

- 備考 1) 自然系学部(理)・他、2) 自然系学部〔理(化学、地質)〕、3) 理学部を優先として全学部、
4) 全学部・ダブルホーム新規参加学生(1年次及び編入初年次学生)

パッケージ名	地域災害環境システム
概要	日本は豊かな自然環境の恩恵を受ける一方自然災害も多く、豊かさと災害は表裏一体の関係にある。世界の自然災害は過去20年間で倍増しており、防災・減災や災害レジリエンスの高度化・精緻化が進む一方、人口減・高齢化による地域力の低下など地域の実情に合わせた方策・施策の集約化も必須である。また企業においても環境や社会等に配慮したESG経営が求められており、SDGsの達成に向けこの分野への備えは欠かせない。「地域災害環境システム学」は自然災害の頻発化・激甚化が予測される時代を迎え、「災害や環境変化に強い地域社会」の構築を目指す新しい学問分野である。
履修資格	
履修定員	
修了要件	所定の授業科目について12単位以上（必修2単位。環境(E)系、社会(S)系、ガバナンス(G)系各2単位以上で10単位以上）を修得
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
必修	232G3232	地域災害環境システム学入門	1	第2ターム	水5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	30	
必修	233G3715	地域災害環境システム学演習	1	第3ターム	水5	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	30	
E	231S0581	環境気象学	2	第1ターム	火3, 金3	講義	2, 3, 4	40	
E	234G6519	地球と気象	2	第4ターム	火4, 金4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
E	休講	環境政策論							
E	230G2901	野外活動	1	集中	他	実技	1, 2, 3, 4, 5, 6	40	
E	231T2032	河川工学	2	第1ターム	金1, 金2	講義	3, 4, 5, 6	70	
E	234T2033	海岸工学	2	第4ターム	月3, 木3	講義	3, 4, 5, 6	50	
G	231G7078	組織マネジメント論	2	第1ターム	木3, 木4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
G	234T0004	技術者の心がまえ	2	第4ターム	水3, 水4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	600	
G	休講	経営管理と社会的責任							
S	230G3705	SDGs入門	2	第3, 4ターム	月2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	200	
S	233G7509	現代社会論	2	第3ターム	水1, 水2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
S	233T8006	マーケティング基礎	2	第3ターム	木3, 木4	講義	3, 4, 5, 6	35	
S	233E1061	マーケティング論Ⅱ	2	第3ターム	月3, 火3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	ふるさと共創学
概要	ダブルホームの地域活動をとおして地域づくりに関心を持ち、地域の思いに寄り添いながら地域や社会における課題を探究し、解決に向けて積極的に取り組む人材を育成していくことを目指す。
履修資格	ダブルホームに参加する全学部学科の学生
履修定員	
修了要件	所定の授業科目について12単位以上を修得 A) 分野横断デザイン・分野横断リフレクション：2単位 ※ 2021年度以前入学の学生で履修できなかった場合は、BまたはCから2単位 B) ダブルホーム科目：4単位以上 C) 地域づくりと自分づくりのための基礎知識や実践知識：6単位以上
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
A	230G3949	分野横断デザイン	1	集中(1学期)	水6(隔週)	講義・演習	1,2	40	1
A	230G3976	分野横断デザイン	1	集中(2学期)	火6(隔週)	講義・演習	1,2	40	1
A	231G3245	分野横断デザイン	1	第1ターム	月4	講義・演習	1,2	20	
A	231G3247	分野横断デザイン	1	第1ターム	月5	講義・演習	1,2	20	
A	231G3246	分野横断デザイン	1	第1ターム	木6	講義・演習	1,2	20	
A	232G3248	分野横断デザイン	1	第2ターム	月4	講義・演習	1,2	20	
A	232G3250	分野横断デザイン	1	第2ターム	月5	講義・演習	1,2	20	
A	232G3249	分野横断デザイン	1	第2ターム	火3	講義・演習	1,2	20	1
A	233G3744	分野横断デザイン	1	第3ターム	月4	講義・演習	1,2	20	
A	233G3745	分野横断デザイン	1	第3ターム	月5	講義・演習	1,2	20	
A	233G3752	分野横断デザイン	1	第3ターム	火4	講義・演習	1,2	20	
A	234G3746	分野横断デザイン	1	第4ターム	月4	講義・演習	1,2	20	
A	234G3747	分野横断デザイン	1	第4ターム	月5	講義・演習	1,2	20	
A	234G3753	分野横断デザイン	1	第4ターム	火4	講義・演習	1,2	20	
A	230G3950	分野横断リフレクション	1	集中(夏期)	他	講義・演習	3,4	60	
A	230G3977	分野横断リフレクション	1	集中(2学期末)	他	講義・演習	3,4	60	
B	231G3205	ダブルホーム活動入門Ⅰ	1	第1ターム	火5,他	講義・演習	1,2,3,4,5,6	30	
B	231G3206	ダブルホーム活動入門Ⅰ	1	第1ターム	水5,他	講義・演習	1,2,3,4,5,6	30	
B	231G3207	ダブルホーム活動入門Ⅰ	1	第1ターム	木5,他	講義・演習	1,2,3,4,5,6	30	
B	232G3915	ダブルホーム活動入門Ⅱ	1	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	120	
B	234G3966	リーダーシップ演習Ⅰ	1	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
B	233G3984	リーダーシップ演習Ⅰα	1	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
B	231G3931	リーダーシップ演習Ⅱ1	1	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
B	232G3933	リーダーシップ演習Ⅱ2	1	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
B	233G3965	リーダーシップ演習Ⅱ3	1	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	15	
B	234G3967	リーダーシップ演習Ⅱ4	1	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	15	
B	231G3932	リーダーシップ演習Ⅲ1	1	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
B	232G3934	リーダーシップ演習Ⅲ2	1	集中	他	演習	1,2,3,4,5,6	10	
B	230G3926	地域共創演習Ⅰ	1	集中	他	演習・講義・実習	1,2,3,4,5,6	30	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
B	230G3927	地域共創演習Ⅱa	1	集中	他	演習・講義・実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	
B	230G3928	地域共創演習Ⅱb	1	集中	他	演習・講義・実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	10	
B	230G3914	地域共創演習Ⅲa	1	集中	他	演習・講義・実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	
B	230G3924	地域共創演習Ⅲb	1	集中	他	演習・講義・実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	10	
C	休講	新潟での企業理念と経営戦略							
C	233G3707	生涯学習社会とメディア	2	第3ターム	月2, 木2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	
C	230G3212	地域から文化を考える	2	第1, 2ターム	月5	講義・実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	50	
C	230G3210	ボランティア開発論Ⅰ	2	第1, 2ターム	金5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	
C	230G3211	コミュニティ開発論Ⅰ	2	第1, 2ターム	金6	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	10	
C	230G3710	ボランティア開発論Ⅱ	2	第3, 4ターム	金5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	
C	230G3711	コミュニティ開発論Ⅱ	2	第3, 4ターム	金6	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	10	
C	233G3716	トキをシンボルとした自然再生	2	第3ターム	月4, 木4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	90	
C	230G3939	朱鷺・自然再生フィールドワーク	1	集中	他	実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	30	
C	230G3947	森・里・海フィールド実習	1	集中	他	実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	7	
C	230G3704	近世越後諸地域の歴史と社会	2	第3, 4ターム	水5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
C	230G3234	新聞を体験するー新潟日報との連携授業ー	2	第1, 2ターム	水2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	80	
C	230G3705	SDGs入門	2	第3, 4ターム	月2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	200	
C	230G3916	学校支援フィールドワークA (小学校)	2	集中	他	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	10	
C	230G3917	学校支援フィールドワークA (中学校)	2	集中	他	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	10	
C	230G3918	学校支援フィールドワークA (高等学校)	2	集中	他	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	10	
C	230G3919	学校支援フィールドワークB (小学校)	4	集中	他	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	10	
C	230G3920	学校支援フィールドワークB (中学校)	4	集中	他	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	10	
C	230G3921	授業フィールドワーク	2	集中	他	実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	
C	230G3922	現場訪問とデータから読み解く新潟の今ー新潟地域産業の可能性を探るーⅠ	2	集中	他	演習・実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	15	
C	230G3940	1・2年生対象 長期・企業実践型プログラムⅡ	4	集中	他	実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	25	
C	232G3227	1・2年生対象 長期・企業実践型プログラムⅠ	2	第2ターム	木5	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	25	
C	230G3964	新潟の企業の魅力を探る	1	集中	他	実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	15	
C	休講	キャリア形成							
C	230G3911	新潟産業フィールドワーク	4	第1学期	集中	講義・演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	
C	休講	新潟産業フィールドワーク・オンライン							
C	231G3208	生まれ変わる地方小都市ー人とまちの未来図を描くー	2	第1ターム	水3, 水4	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	25	
C	230G3925	地方小都市の未来創造ー市民と学生による地域づくりの実践	4	集中	他	演習・実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	10	
C	232G3228	税のしくみから社会を考える	2	第2ターム	金1, 金2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	100	1
C	230G3913	コミュニティーインターシップ入門	2	集中	他	演習・実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
C	休講	コミュニティーインターンシップ実践							
C	休講	アカデミックライティング I (基礎)							
C	休講	アカデミックライティング I (基礎)							
C	230G4256	アカデミックライティング II (応用)	4	第1,2ターム	火3, 火4	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	10	
C	230G4730	アカデミックライティング II (応用)	4	第3,4ターム	金3, 金4	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	10	
C	232T0434	都市計画学I	2	第2ターム	火4, 金4	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
C	231T0504	アントレプレナーシップ	2	第1ターム	火3, 金3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	100	
C	232T0502	協創経営概論	2	第2ターム	木3, 木4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	100	
C	233T8006	マーケティング基礎	2	第3ターム	木3, 木4	講義	3, 4, 5, 6	35	2
C	230T0008	創造プロジェクト基礎	2	第3,4ターム	他	演習・実験・実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	999	
C	230T0009	創造プロジェクトI	2	第1,2ターム	他	演習・実験・実習	2, 3, 4, 5, 6	999	
C	230T0010	創造プロジェクトII	2	第3,4ターム	他	演習・実験・実習	2, 3, 4, 5, 6	999	
C	230T0011	創造研究プロジェクトI	2	第1,2ターム	他	演習・実験・実習	3, 4, 5, 6	999	
C	230T0012	創造研究プロジェクトII	2	第3,4ターム	他	演習・実験・実習	3, 4, 5, 6	999	
C	231G6029	農業資源を知る	2	第1ターム	火1, 金1	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	250	
C	232G6031	生態系を知る	2	第2ターム	火1, 金1	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	250	
C	231H2029	民俗学概説	2	第1ターム	火3, 火4	講義	2, 3, 4	80	
C	230G3739	表現プロジェクト演習H	2	第3,4ターム	火3	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	15	
C	230H1003	社会文化学入門A	2	第3,4ターム	木5		1, 2, 3, 4	100	
C	230H9101	社会・地域文化学入門	2	第3,4ターム	木5	講義	4	5	
C	230G7527	人文系展開科目D	2	第3,4ターム	水3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
C	233G3714	表現プロジェクト演習T	2	第3ターム	火3, 火4	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	15	
C	233G7509	現代社会論	2	第3ターム	水1, 水2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	3
C	234G7550	つながりと絆の社会学	2	第4ターム	月3, 木3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
C	231H2041	社会調査法 A	2	第1ターム	金3, 金4	講義	2, 3, 4	40	
C	休講	社会学的思考法							
C	232H2042	社会調査法 B	2	第2ターム	金3, 金4	講義	2, 3, 4	40	4
C	230G7901	生涯学習概論	2	集中	他	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	40	
C	231H9207	民俗学概説 A	2	第1ターム	火3, 火4	講義	4	80	
C	休講	社会心理学							
C	234H2004	社会・集団・家族心理学	2	第4ターム	金3, 金4	講義・実習	2, 3, 4	70	
C	231H2027	地理学概説	2	第1ターム	金3, 金4	講義	2, 3, 4	70	
C	休講	地理学概説 B							
C	233H2028	地誌学概説	2	第3ターム	金3, 金4	講義	2, 3, 4	70	
C	休講	地誌学概説 B							
C	230G7538	日本文化論	2	第3,4ターム	火2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	200	
C	230K5103	教育統計学 (心理学統計法)	2	第1,2ターム	水3	講義・演習	2, 3, 4, 5, 6	40	
C	230L3807	新潟市の行政	2	第3,4ターム	火5	講義	2, 3, 4, 5, 6	250	
C	230L3801	新潟を学ぶ	2	第3,4ターム	木4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	70	
C	231G7080	ビジネスベンチャリング入門	1	第1ターム	水2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	400	
C	230E6253	新潟地域文化論	2	第3,4ターム	月5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	90	
C	230E1098	経営学概論 I	2	第1,2ターム	他	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	30	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
C	230E6140	経営学概論Ⅰ	2	第1,2ターム	他	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	340	
C	230E6282	課題演習A(課題研究)	2	第3,4ターム	他	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	12	5
C	231E1052	行財政入門	2	第1ターム	他	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	
C	231E6244	行財政入門	2	第1ターム	他	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	400	
C	230E5020	マーケティング論	2	第1,2ターム	他	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	6	
C	231E6001	経済学入門	2	第1ターム	火5, 金5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	400	
C	231E6007	統計入門	2	第1ターム	火4, 金4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	300	
C	233E6008	統計入門	2	第3ターム	火4, 金4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	300	
C	231E1056	統計入門Ⅱ	2	第1ターム	火4, 金4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	10	
C	234E1063	経営学概論Ⅱ	2	第4ターム	他	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	50	
C	234E6145	経営学概論Ⅱ	2	第4ターム	他	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	250	
C	230E6197	文化社会論基礎	2	第3,4ターム	月5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	100	
C	231E1087	異文化論	2	第2ターム	月3, 月4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	25	
C	231G7078	組織マネジメント論	2	第1ターム	木3, 木4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
C	231E6002	経営学入門	2	第1ターム	他	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	400	
C	230E6248	NPO論	2	第3,4ターム	火6	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	100	
C	231G8007	「食べる」	2	第1ターム	火3, 火4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	50	
C	233G8508	新潟発福祉学	2	第3ターム	水3, 水4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	100	
C	230G3203	キャリアデザイン	2	第1,2ターム	水4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	200	4
C	230G3748	学生がデザインする働き方の未来ー人生100年時代のワークスタイルを創造するー	2	第2,3ターム	金4	講義・演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	25	
C	234G3737	大学生活戦略論ーキャンパス内外を「越境」する学び・経験ー	2	第4ターム	木3, 木4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
C	230G3741	国際共修：グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションB	2	第3,4ターム	木3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	30	
C	230G3742	国際共修：留学生との協働学習を通じた異文化理解B	2	第3,4ターム	月3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	30	
C	233G3717	キャリア形成と法制度	2	第3ターム	月2, 木2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	200	
C	230K5618	哲学	2	第3,4ターム	金3		1, 2, 3, 4, 5, 6	88	
C	230G7525	対人行動の心理学	2	第3,4ターム	木2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	170	
C	232H2002	心理学概論B	2	第2ターム	月2, 木2	講義・実習	2, 3, 4	70	
C	休講	心理学概説B							
C	233G7506	心理学概論	2	第3ターム	水3, 水4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	200	
C	233G7511	人間関係論	2	第3ターム	金1, 金2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	100	
C	230G6021	地学実験A	2	第1,2ターム	水2	実験	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	
C	230G3204	SDGs入門演習	2	第1,2ターム	月2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	200	
C	230G3706	地域を探る	2	第3,4ターム	水3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
C	232G3209	SDGs推進人材のイノベーションプロセスを考える：smart DESIGN-i(地域社会課題解決)基礎Ⅰ	2	第2ターム	木3, 木4	講義・演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	
C	233G3708	私のローカルキャリア論ー地域とかかわる多様な働きかた・暮らしかたー	2	第3ターム	木3, 木4	講義・演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	200	
C	234G3709	SDGs推進人材のイノベーションプロセスを考える：smart DESIGN-i(地域社会課題解決)基礎Ⅱ	2	第4ターム	木3, 木4	講義・演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	
C	230G3930	地方小都市の未来創造2	4	集中	他	演習・実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	7	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
C	231G3222	SDGs 推進人財のキャリアビジョンを考える：スマートライフキャリアデザイン基礎 I	2	第1ターム	木3, 木4	講義・演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	
C	233G3729	SDGs 推進人財のキャリアビジョンを考える：スマートライフキャリアデザイン基礎 II	2	第3ターム	木3, 木4	講義・演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	
C	230G3948	開発・環境と平和	2	集中	他	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	20	
C	233G7515	アクターネットワークの社会学	2	第3ターム	火3, 金3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

備考 1) 主として教育学部1年生、2) 工学部を優先、3) 歯学部口腔生命福祉学科を優先、

4) 主として人文学部2年生、5) 主として経済科学部2年生、6) 医・歯学部は1年生も可

パッケージ名	外国語（ロシア語）
概要	1年次における初級ロシア語の学修を継続し、2年次以上の学生を対象に開講される中級クラス、3年次以上の学生を対象に開講される上級クラスを履修することによって、本学Gコード科目ロシア語カリキュラムが提供するすべてのレベルを一通り学びおえるための学修パッケージである。本パッケージを履修することによって、所属する学部・主専攻に関わりなく、初級から上級にいたるロシア語を体系的に学び、主専攻の学修や卒業後の仕事に活かしていくことができる。
履修資格	全学部学科（課程）の学生
履修定員	
修了要件	区分Aから6単位以上、区分Bから4単位以上、合計12単位以上の修得
その他特記事項	本パッケージはオナーズ型マイナー「外国語（ロシア語）」の核となる科目から構成されており、さらに学修を深めたい学生は、オナーズ型マイナー「外国語（ロシア語）」の履修に進むことができる。

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
A	232G1018	外国語ベーシックⅠ（ロシア語）	1	第2ターム	水2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	100	1
A	231G1019	外国語ベーシックⅠ（ロシア語）	1	第1ターム	水2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	100	1
A	230G1535	ロシア語ベーシックⅡ	3	第3, 4ターム	火3, 水3, 金3	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	25	1
A	230G1090	ロシア語ベーシックプラスA	2	第1, 2ターム	金5	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	25	2
A	230G1536	ロシア語ベーシックプラスB	2	第3, 4ターム	水2	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	25	2
A	231G1085	ロシア語スタンダードⅠA	1.5	第1ターム	火2, 水2, 金2	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	25	1
A	232G1086	ロシア語スタンダードⅠB	1.5	第2ターム	火2, 水2, 金2	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	25	1
A	230G1534	ロシア語スタンダードⅡ	3	第3, 4ターム	火2, 水2, 金2	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	25	1
A	231G1083	ロシア語インテンシブⅠA	2	第1ターム	月2, 火2, 木2, 金2	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	25	1
A	232G1084	ロシア語インテンシブⅠB	2	第2ターム	月2, 火2, 木2, 金2	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	25	1
A	230G1533	ロシア語インテンシブⅡ	4	第3, 4ターム	月2, 火2, 木2, 金2	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	25	1
B	230G1087	コミュニケーション・ロシア語A	2	第1, 2ターム	水3	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	15	3
B	230G1088	コミュニケーション・ロシア語B	2	第1, 2ターム	木3	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	15	3
B	230G1537	コミュニケーション・ロシア語C	2	第3, 4ターム	木3	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	15	3
B	230G1089	ロシア語セミナーA	2	第1, 2ターム	水4	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	15	4
B	230G1538	ロシア語セミナーB	2	第3, 4ターム	水4	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	15	4
B		海外研修				実習			3

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

備考 1) 1年次、2) 2年次、3) 2年次以上、4) 3年次以上

パッケージ名	MOT基礎（特許・経営および製品開発基礎コース）
概要	組織経営と技術開発の両分野は、現代の日進月歩の企業社会において、大変重要な中枢部分を形成しており、両分野とも互いの基礎知識を有する人材確保を必要条件としている。そのような状況を背景として、本カリキュラムでは、独自の開設科目に加え、経済・法・理・工・農などの各分野で開設されている科目を活用して、技術経営の基礎を修得できることを目指す副専攻プログラムである。
履修資格	
履修定員	
修了要件	所定の授業科目について12単位以上を修得 ・(R)の3科目は必須。(A)から4単位以上、(B)から2単位以上を修得すること。
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
R	230Q9004	特許・経営および製品開発入門【入門科目】	1	第1ターム	月HT, 木HT	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
R	230Q9005	特許と技術経営I	1	集中	他	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	50	
R	230Q9006	特許と技術経営II	1	集中	他	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	50	
A	233L3101	民法Ⅰ（民法総則）	2	第3ターム	水3, 水4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	300	
A	233L3106	民法Ⅵ（債権各論）	2	第3ターム	金1, 金2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	300	
A	232L3102	民法Ⅱ（不法行為）	2	第2ターム	月1, 月2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	300	
A	234L3103	民法Ⅲ（物権Ⅰ）	2	第4ターム	金1, 金2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	300	
A	休講	経営管理と社会的責任							
A	231T8010	企業会計基礎	2	第1ターム	月5, 木5	講義	2, 3, 4, 5, 6	35	
A	233T8006	マーケティング基礎	2	第3ターム	木3, 木4	講義	3, 4, 5, 6	35	
A	232T8007	リーダーシップ基礎	2	第2ターム	火5, 金5	講義	3, 4, 5, 6	60	
B	232G6026	生活を支える化学技術－化学工学への招待－	2	第2ターム	火2, 金2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
B	231A0115	農業経営学	2	第1ターム	月1, 木1	講義	3, 4	40	
B	231G6024	最先端技術を支える化学Ⅰ	2	第1ターム	火3, 金3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	250	
B	232T8005	プロジェクト・マネジメント基礎	2	第2ターム	金3, 金4	講義	3, 4, 5, 6	35	
B	231T8008	技術評価	2	第1ターム	火3, 火4	講義	4, 5, 6	35	
	234L3405	知的財産法Ⅰ（著作権法）	2	第4ターム	金3, 金4	講義	3, 4, 5, 6	150	
	234L3114	会社法Ⅰ（総論・機関）	2	第4ターム	月3, 月4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	231L3115	会社法Ⅱ（株式）	2	第1ターム	木1, 木2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	231L3301	経済法Ⅰ（競争の実質的制限禁止）	2	第1ターム	火1, 火2	講義	3, 4, 5, 6	150	
	232S0541	情報社会論	2	第2ターム	火5, 金5	講義	1, 2, 3, 4	100	
	233S1506	プログラミング概論A	1	第3ターム	木4	講義	2, 3, 4	70	
	234S1512	プログラミング概論B	1	第4ターム	木4	講義	2, 3, 4	70	
	230S0540	情報産業論	2	第3, 4ターム	金3	講義	1, 2, 3, 4	60	
	231T1008	工業力学	2	第1ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4, 5, 6	120	
	231T1005	材料力学Ⅰ	2	第1ターム	火1, 金1	講義・演習	2, 3, 4, 5, 6	120	
	232T5015	分析化学（工）	2	第2ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	233T3023	電気回路Ⅱ	2	第3ターム	火3, 金3	講義	2, 3, 4, 5, 6	90	
	234T3011	電磁気学Ⅰ	2	第4ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4, 5, 6	90	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	232T3028	電磁気学Ⅱ	2	第2ターム	火3, 金3	講義	3, 4, 5, 6	100	
	234T3027	電子回路	2	第4ターム	木3, 木4	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	234T7029	電子回路	2	第4ターム	月4, 木3	講義	2, 3, 4, 5, 6	70	
	233T4024	論理回路	2	第3ターム	水1, 水2	講義	2, 3, 4, 5, 6	90	
	234T0503	ビジネス統計学	2	第4ターム	木3, 木4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	100	
	232T0502	協創経営概論	2	第2ターム	木3, 木4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	100	
	231T0504	アントレプレナーシップ	2	第1ターム	火3, 金3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	100	
	休講	化学プロセス概論							
	231T0441	日本建築史	2	第1ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4, 5, 6	55	
	休講	電気回路基礎論							
	休講	基礎高分子化学							
	233S0570	基礎生物化学	2	第3ターム	月3, 木3	講義	2, 3, 4	50	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	核エネルギー・災害科学
概要	<p>平成29年に原子力委員会より示された「原子力利用に関する基本的考え方」では、責任ある体制のもと徹底したリスク管理を行った上での適切な原子力利用は必要との考えを示している。しかしその適切な利用に当たっては安全性の確保が大前提であり、安全に影響する自然災害及びそのリスクマネジメントや災害医療に関する高度な科学技術的知見を有する原子力規制人材の育成が必要とされている。</p> <p>当マイナー学修パッケージは、原子力規制分野への大学院進学・就職などのキャリア形成を目指す者が備えるべき基礎的知見を有する人材の育成を目的として、原子力規制、自然災害、災害リスクマネジメント、災害医療の基礎を学ぶものである。これらの分野について興味を持つ学生について、主専攻によらず広くその受講を歓迎する。</p> <p>なお当パッケージは、原子力規制庁の令和4年度原子力規制人材育成事業に採択された「原子力科学・災害科学の融合による高度原子力規制人材の育成」事業の一環として行うものである。</p>
履修資格	全学部学科（課程）の学生
履修定員	
修了要件	必修単位（4単位）を含む、所定の授業科目について12単位以上を修得
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
必修	230G6902	原子力の未来と災害を考える	1	集中	他	講義	1,2,3,4,5,6	140	
必修	232G6027	原子力入門	1	第2ターム	木5	講義	1,2,3,4,5,6	140	
必修	230G6901	放射線入門と実習	1	集中	他	実習	1,2,3,4,5,6	20	
必修	232G6034	原子力・放射線関連法規入門	1	第2ターム	火5	講義	1,2,3,4,5,6	140	
	休講	放射性廃棄物処理法							
	231G6032	原子力・放射線物理学入門	1	第1ターム	木5	講義	1,2,3,4,5,6	140	
	231G6033	原子力・放射線防護学入門	1	第1ターム	火5	講義	1,2,3,4,5,6	140	
	234G8502	原子力と倫理	1	第4ターム	金3	講義	1,2,3,4,5,6	140	
	231G5013	物理学基礎A I	2	第1ターム	木1,木2	講義	1,2,3,4,5,6	150	1
	230G5019	物理学基礎A I	2	第1,2ターム	月5	講義	1,2,3,4,5,6	80	1
	231G5016	物理学基礎B I	2	第1ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	150	1
	230G5020	物理学基礎B I	2	第1ターム	他	講義	1,2,3,4,5,6	150	1
	231G5014	物理学基礎B I	2	第1ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	150	1
	231G5015	物理学基礎B I	2	第1ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	140	1
	231G5017	物理学基礎B I	2	第1ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	150	1
	232G5018	物理学基礎B I	2	第1ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	100	1
	231G5023	化学基礎A	2	第1ターム	月4,木4	講義	1,2,3,4,5,6	150	
	232G5025	化学基礎A	2	第2ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	150	
	232G5026	化学基礎A	2	第2ターム	火3,金3	講義	1,2,3,4,5,6	150	
	233G5519	化学基礎A	2	第3ターム	火4,金4	講義	1,2,3,4,5,6	150	
	234G5525	地学基礎C	2	第4ターム	月1,木1	講義	1,2,3,4,5,6	250	
	231S5536	環境地質学	2	第1ターム	月5,木5	講義	3,4	55	
	230S5538	環境地質学実習	1	集中	他	実習	3,4	30	
	232A0078	斜面災害論	2	第2ターム	月2,木2	講義	3,4	65	
	231A0060	環境砂防学	2	第1ターム	火4,金4	講義	2,3,4	65	
	233T2022	コンクリート構造工学	2	第3ターム	月1,木1		3,4,5,6	50	
	233T2005	動力学	2	第3ターム	月2,木2	講義	3,4,5,6	50	
	232T2024	地盤工学III	2	第2ターム	月1,木1	講義	3,4,5,6	50	
	230G8901	災害医療概論	1	集中	他	講義	1,2,3,4,5,6	140	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	230G8902	原子力災害医療体制	1	集中	他	講義	1,2,3,4,5,6	140	
	230G8903	災害医療ロジスティクス	1	集中	他	講義	1,2,3,4,5,6	140	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

備考 1) いずれか一つ(最大2単位)

パッケージ名	農学から始めるDXとGX
概要	社会全体でデジタル化に向けた取組が加速するなか、デジタルトランスフォーメーション（DX）という言葉が社会に急速に浸透しています。農業・食関連産業においてもDX実現に向けてさまざまな取組が進められています。本パッケージでは、農業生産とそれを支える生産基盤、環境の視座からDXについて知識を修得するとともに、温室効果ガスの排出削減と産業競争力向上の両立を目指す取組みであるグリーントランスフォーメーション（GX）について知識を修得します。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること ・所定の授業科目について12単位以上を修得 ・主専攻プログラムが流域環境学と異なること
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	230G6903	農業DXを知る	1	集中	他	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	70	
	230A0003	基礎農林学実習	1	集中	他	実習・実験	2, 3, 4	190	
	234A0055	精密農業工学	2	第4ターム	火3, 火4	講義	2, 3, 4	90	
	233A0051	食品・農業情報工学	2	第3ターム	金3, 金4	講義	2, 3, 4	50	
	233A0063	流域環境GIS	2	第3ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4	80	
	232A0075	リモートセンシング	2	第2ターム	木3, 木4	講義	3, 4	80	
	231A0138	農地と水利用	2	第1ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4	70	
	232A0056	バイオマスエネルギー論	2	第2ターム	月1, 木1	講義	2, 3, 4	50	
	233A0052	食料環境工学	2	第3ターム	火1, 金1	講義	2, 3, 4	50	
	233A0080	環境統計学	2	第3ターム	水3, 水4	講義	2, 3, 4	41	
	234A0135	環境モデリング入門	2	第4ターム	月5, 木5	講義	3, 4	50	
	232A0119	アグリビジネス論	2	第2ターム	月4, 木4	講義	3, 4	40	
	231G6029	農業資源を知る	2	第1ターム	火1, 金1	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	250	
	232A0044	生物統計学	2	第2ターム	金3, 金4	講義	2, 3, 4	100	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	心理・人間学
概要	心理学では、人間の行動やその心の働きの問題に、実験や調査などの実証的方法によってアプローチする。一連の講義においては、幅広い領域にわたる心理学の基礎知識を習得することを目指す。 人間学（哲学・西洋哲学史、倫理学、宗教思想史、芸術学）では、原典文献を読み解くことをつうじて、思想、哲学、倫理、宗教、芸術などに現れる人間性について理解を深める。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること ・所定の授業科目について12単位以上を修得 ・主専攻プログラムが決定していること ・主専攻プログラムが心理・人間学プログラムと異なること
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	230H1002	心理・人間学入門	2	第3,4ターム	月5	講義	1,2,3,4	80	
	230H2006	哲学概説	2	第1,2ターム	水3	講義	2,3,4	50	
	230H2008	西洋哲学史概説	2	第3,4ターム	金2	講義	2,3,4	50	
	232H2009	宗教学概説	2	第2ターム	火3,火4	講義	2,3,4	50	
	231H2001	心理学概論A	2	第1ターム	月2,木2	講義・実習	2,3,4	70	
	232H2002	心理学概論B	2	第2ターム	月2,木2	講義・実習	2,3,4	70	
	休講	知覚・認知心理学A							1
	233H2003	学習・言語心理学	2	第3ターム	金3,金4	講義・実習	2,3,4	70	1
	234H2004	社会・集団・家族心理学	2	第4ターム	金3,金4	講義・実習	2,3,4	70	
	230H2007	倫理学概説	2	第3,4ターム	月3	講義	2,3,4	50	
	休講	産業・組織心理学							1
	231H2005	人間学概説	2	第1ターム	金3,金4	講義	2,3,4	50	
	230H2010	芸術学概説A	2	第1,2ターム	火2	講義	2,3,4	50	
	233H2011	芸術学概説B	2	第3ターム	火1,火2	講義	2,3,4	50	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

備考 1) 隔年開講

パッケージ名	社会文化学
概要	本プログラムは、社会学、文化人類学、民俗学、考古学、人文地理学、芸能論、歴史学（日本史・アジア史・西洋史）、メディア論の領域の教育プログラムです。 いずれの領域も、文字資料のみならず、非文字資料から人々の営みを考え、様々な地域において形成された社会と文化の多様なあり方について多角的に学びます。また、それぞれの地域の文化的特性を歴史的に学ぶこともできます。さらに、今日のメディアの多様な面について理論と実践の両面から幅広く学ぶことができます。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること ・所定の授業科目について12単位以上を修得 ・主専攻プログラムが決定していること ・主専攻プログラムが社会文化学プログラムと異なること
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	230H1003	社会文化学入門A	2	第3,4ターム	木5		1,2,3,4	100	
	232H2030	芸能論概説	2	第2ターム	月3,月4	講義	2,3,4	50	
	231H2029	民俗学概説	2	第1ターム	火3,火4	講義	2,3,4	80	
	231H2025	文化人類学概説	2	第1ターム	火2,金2	講義	2,3,4	50	
	231H2026	考古学概説	2	第1ターム	月4,木4	講義	2,3,4	70	
	234H2021	社会学概説	2	第4ターム	月2,木2	講義	2,3,4	50	
	233G7514	文化人類学の方法	2	第3ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	100	
	233G7515	アクターネットワークの社会学	2	第3ターム	火3,金3	講義	1,2,3,4,5,6	150	
	234G7550	つながりと絆の社会学	2	第4ターム	月3,木3	講義	1,2,3,4,5,6	150	
	233G7509	現代社会論	2	第3ターム	水1,水2	講義	1,2,3,4,5,6	150	
	231H2022	社会解析論	2	第1ターム	木1,木2	講義	2,3,4	40	1
	231H2027	地理学概説	2	第1ターム	金3,金4	講義	2,3,4	70	
	233H2028	地誌学概説	2	第3ターム	金3,金4	講義	2,3,4	70	
	230H1004	社会文化学入門B	2	第3,4ターム	火5		1,2,3,4	100	
	230G7527	人文系展開科目D	2	第3,4ターム	水3	講義	1,2,3,4,5,6	150	1
	休講	人文系展開科目G							1
	230H2034	史学概説	2	第1,2ターム	水2	講義	2,3,4	50	
	231H2035	日本史概説	2	第1ターム	火2,金2	講義	2,3,4	70	
	233H2038	アジア史概説	2	第3ターム	月3,木3	講義	2,3,4	50	
	232H2039	西洋史概説	2	第2ターム	火2,火3	講義	2,3,4	50	
	230H2036	古文書学概説A	2	第1,2ターム	火5	講義	2,3,4	40	
	230H2037	古文書学概説B	2	第3,4ターム	火5	講義	2,3,4	40	
	230H2040	美術史概説A	2	第3,4ターム	水4	講義	2,3,4	150	1
	休講	美術史概説B							1
	休講	歴史学A							
	休講	歴史学E							
	休講	歴史学G							
	233G7504	歴史学H	2	第3ターム	月2,木2	講義	1,2,3,4,5,6	150	
	231G7002	歴史学I	2	第1ターム	火3,火4	講義	1,2,3,4,5,6	80	
	休講	歴史学K							
	233G7516	歴史学O	2	第3ターム	火1,火2	講義	1,2,3,4,5,6	100	
	休講	歴史学P							

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	233G7513	歴史学Q	2	第3ターム	火4, 金4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	休講	歴史学V							
	230H2023	情報メディア論概説A	2	第1, 2ターム	金3	講義	2, 3, 4	50	
	休講	情報メディア論概説B							
	休講	メディア社会文化論概説A							
	230H2024	メディア社会文化論概説B	2	第3, 4ターム	木4	講義	2, 3, 4	400	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

備考 1) 隔年開講

パッケージ名	言語文化学
概要	アジアという地域のなかで相互に影響を与えながら、それぞれ独自の文化を形成した日本・中国・朝鮮の、特に言語文化を学ぶ。 または、 ヨーロッパおよびアメリカの共通の歴史的・文化的な核を共有しながら、同時にイギリス、アメリカ、ドイツ、フランス、ロシアそれぞれの言語文化の特徴を個別的に学ぶ。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること ・所定の授業科目について12単位以上を修得 ・主専攻プログラムが決定していること ・主専攻プログラムが言語文化学プログラムと異なること
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	233H9103	日本・アジア言語文化入門	2	第3ターム	月4, 木4	講義	4	5	1
	230H9419	地域文化論	2	第3, 4ターム	火5		4	30	
	234H9104	西洋言語文化入門	2	第4ターム	月4, 木4	講義	4	5	1
	233H1005	言語文化学入門A	2	第3ターム	月4, 木4		1, 2, 3, 4	80	2
	234H1006	言語文化学入門B	2	第4ターム	月4, 木4		1, 2, 3, 4	90	2
	230H2070	日本・アジア言語文化概説	2	第1, 2ターム	月5		2, 3, 4	50	
	230H2074	日本文学概説A	2	第3, 4ターム	火5	講義	2, 3, 4	50	
	230H2075	日本文学概説B	2	第1, 2ターム	木2	講義	2, 3, 4	50	
	休講	日本文学概説C							
	230H2072	日本語学概説A	2	第1, 2ターム	火3	講義	2, 3, 4	50	
	230H2073	日本語学概説B	2	第3, 4ターム	火3	講義	2, 3, 4	50	
	230H2076	アジア言語文化概説A	2	集中	他	演習	2, 3, 4	20	
	230H2078	アジア言語文化概説B	2	第3, 4ターム	火4	演習	2, 3, 4	20	
	230H2079	アジア言語文化概説C	2	第1, 2ターム	月4	講義	2, 3, 4	20	
	休講	西洋言語概説							
	230H2081	英米文化概説A	2	第1, 2ターム	木3	講義	2, 3, 4	30	
	230H2082	英米文化概説B	2	第3, 4ターム	木4		2, 3, 4	30	
	230H2083	英米言語概説A	2	第1, 2ターム	木4	講義	2, 3, 4	50	
	休講	英米言語概説B							
	230H2084	ドイツ言語文化概説A	2	第1, 2ターム	火2	講義	2, 3, 4	30	
	休講	ドイツ言語文化概説B							
	234H2085	フランス言語文化概説A	2	第3ターム	火3, 火4	講義	2, 3, 4	30	
	230H2086	フランス言語文化概説B	2	集中	他	講義	2, 3, 4	20	
	230H2088	ロシア言語文化概説A	2	第1, 2ターム	火5	講義	2, 3, 4	30	
	230H2089	ロシア言語文化概説B	2	集中	他	講義	2, 3, 4	20	
	230H2087	Introduction to Transcultural Encounters B	2	第3, 4ターム	水1	講義	2, 3, 4	30	
	230H2090	日本言語文化実習A	1	第1, 2ターム	火1	実習	2, 3, 4	15	
	230H2091	日本言語文化実習B	1	第3, 4ターム	火1	実習	2, 3, 4	15	
	230H2092	日本言語文化実習C	1	第1, 2ターム	水2	実習	2, 3, 4	15	
	230H2093	日本言語文化実習D	1	第3, 4ターム	水2	実習	2, 3, 4	20	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	休講	アジア言語文化研究法 A							
	230H2094	アジア言語文化研究法 B	2	第3,4ターム	木5	講義	2,3,4	15	
	230H2095	アジア言語文化研究法 B	2	第1,2ターム	火4	講義	2,3,4	15	
	230H2096	デジタル文献情報学研究法	2	第3,4ターム	水4	講義	2,3,4	50	
	休講	西洋言語文化研究法 A							
	230H2097	西洋言語文化研究法 B	2	第3,4ターム	木3	講義	2,3,4	20	
	休講	西洋言語文化研究法 C							
	休講	西洋言語文化研究法 E							
	230H3014	アジア言語文化基礎演習	2	第1,2ターム	木3	演習	2,3,4	20	
	230H3015	英米言語文化基礎演習 A	2	第1,2ターム	水3	演習	2,3,4	20	
	230H3017	英米言語文化基礎演習 B	2	第1,2ターム	火2	演習	2,3,4	20	
	230H3016	英米言語文化基礎演習 B	2	第1,2ターム	月3	演習	2,3,4	20	
	230H3018	ドイツ言語文化基礎演習 A	2	第1,2ターム	金2	演習	2,3,4	20	
	230H3019	ドイツ言語文化基礎演習 B	2	第3,4ターム	火2	演習	2,3,4	20	
	230H3020	フランス言語文化基礎演習 A	2	第1,2ターム	火3	演習	2,3,4	20	
	230H3021	フランス言語文化基礎演習 B	2	第3,4ターム	金2	演習	2,3,4	20	
	230H3022	ロシア言語文化基礎演習 A	2	第1,2ターム	木2	演習	2,3,4	20	
	230H3023	ロシア言語文化基礎演習 B	2	第3,4ターム	水3	演習	2,3,4	20	
	230H2069	言語学概説 A	2	第1,2ターム	月4	講義	2,3,4	50	
	休講	言語学概説 B							
	230H2012	古典語 A	2	第3,4ターム	水1		2,3,4	15	
	230H2071	日本語文化論	2	集中	他	講義	2,3,4	70	
	230H3012	日本語文化基礎演習 A	2	第1,2ターム	火4	演習	2,3,4	20	
	230H3013	日本語文化基礎演習 B	2	第3,4ターム	火4	演習	2,3,4	20	
	230H4068	Transcultural Encounters B	2	第1,2ターム	水1	講義	3,4	15	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

備考 1) 2019年度以前入学者用
1) 2020年度以降入学者用

パッケージ名	法学
概要	変革が進む日本の社会にあつて、これからは公正・公平で透明なルールによって規律される自由競争・自己責任の時代となるといわれています。それはまさに法的な見方・考え方がより重要となる時代の到来を意味するものです。また、いたるところで多様な紛争、社会問題が絶えず発生しています。その処理、解決、予防を任務とする法律、法律学の機能と課題を、公法、民事法、刑事法及びその他の法律学分野の全般にわたる授業の履修を通じて理解します。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること <ul style="list-style-type: none"> ・所定の授業科目について12単位以上を修得 ・主専攻プログラムが決定していること ・主専攻プログラムが法学プログラム及び法曹養成プログラムと異なること
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	231G7070	人文社会科学入門（法学）	2	第1ターム	水3, 水4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	200	
	232G7074	リーガル・システム	2	第2ターム	月4, 木4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	200	
	233L3001	憲法Ⅰ（人権各論）	2	第3ターム	木1, 木2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	300	
	231L3002	憲法Ⅱ（統治機構論）	2	第1ターム	オンデマンド	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	300	1
	232L3003	憲法Ⅲ（憲法総論・人権総論）	2	第2ターム	オンデマンド	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	300	1
	233L3101	民法Ⅰ（民法総則）	2	第3ターム	水3, 水4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	300	
	232L3102	民法Ⅱ（不法行為）	2	第2ターム	月1, 月2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	300	
	234L3103	民法Ⅲ（物権Ⅰ）	2	第4ターム	金1, 金2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	300	
	232L3201	刑法Ⅰ（刑法総論Ⅰ）	2	第2ターム	火1, 火2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	300	
	231L3601	政治学Ⅰ（政治学入門）	2	第1ターム	水5, 金5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	233L3007	行政法Ⅰ（行政法総論）	2	第3ターム	火1, 火2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	250	1
	232L3702	行政学Ⅰ（総論）	2	第2ターム	木3, 木4	講義	2, 3, 4, 5, 6	250	1
	231L3308	国際法	2	第1ターム	火1, 火2	講義	2, 3, 4, 5, 6	150	1

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

備考 1) 法学部対象学年：2年生以上

パッケージ名	数学
概要	<p>数学は古代に人類社会の発展のなかで生まれ、数千年の歴史の中で進化し深められ、精緻で壮大な知的体系を作り上げてきました。そしてその成果は多くの科学分野に応用されています。また近年のコンピュータの発展は、科学における数学・応用数学の位置を益々重要なものとしています。</p> <p>現在では数学的手法は理工系の学問だけでなく人文科学、社会科学でも必須のものです。数学を学ぶことによって身につけることのできる「秩序立てた論理的思考力と問題解決能力」は、社会から非常に高く評価されているだけでなく、最も求められている能力といえます。</p> <p>本パッケージで学ぶことにより数学の基礎的素養と、数学を実際に活用する態度を身につけることができます。</p>
履修資格	
履修定員	
修了要件	<p>次の条件をすべて満たしていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所定の授業科目について12単位以上を修得 ・主専攻プログラムが決定していること ・主専攻プログラムが数学プログラムと異なること
その他特記事項	理学部と創生学部の学生を優先的に聴講許可します

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	233S0544	微分積分学IA	1	第3ターム	金4	講義	1, 2, 3, 4	160	
	234S0548	微分積分学IB	1	第4ターム	金4	講義	1, 2, 3, 4	160	
	233S0547	集合と写像	1	第3ターム	月5	講義	1, 2, 3, 4	70	
	231S0552	微分積分学IIA	2	第1ターム	火3, 金3	講義	2, 3, 4	160	
	232S0555	微分積分学IIB	2	第2ターム	火3, 金3	講義	2, 3, 4	160	
	231S0553	線形代数IIA	2	第1ターム	月2, 木3	講義	2, 3, 4	160	
	232S0556	線形代数IIB	2	第2ターム	月2, 木3	講義	2, 3, 4	160	
	233S1501	解析学序論A	1	第3ターム	金3	講義	2, 3, 4	50	
	234S1507	解析学序論B	1	第4ターム	金3	講義	2, 3, 4	50	
	233S1502	代数・幾何学序論A	1	第3ターム	月2	講義	2, 3, 4	50	
	234S1508	代数・幾何学序論B	1	第4ターム	月2	講義	2, 3, 4	50	
	233S1505	代数入門A	2	第3ターム	月4, 火2	講義	2, 3, 4	70	
	234S1511	代数入門B	2	第4ターム	月4, 火2	講義	2, 3, 4	70	
	233S1504	微分方程式論A	1	第3ターム	火3	講義	2, 3, 4	50	
	234S1510	微分方程式論B	1	第4ターム	火3	講義	2, 3, 4	50	
	231S1519	数値解析A	1	第1ターム	月4	講義	3, 4	50	
	232S1529	数値解析B	1	第2ターム	月4	講義	3, 4	50	
	231S1514	複素解析学IA	1	第1ターム	金2	講義	3, 4	50	
	232S1524	複素解析学IB	1	第2ターム	金2	講義	3, 4	50	
	233S1567	離散数学A	1	第3ターム	火2	講義	3, 4	70	
	234S1568	離散数学B	1	第4ターム	火2	講義	3, 4	70	
	234S1547	オペレーションズ・リサーチ実習	1	第4ターム	火5, 金5	実習	3, 4	50	
	233S0545	線形代数IA	1	第3ターム	木1	講義	1, 2, 3, 4	160	
	234S0549	線形代数IB	1	第4ターム	木1	講義	1, 2, 3, 4	160	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	物理学
概要	1965年にノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎博士は、物理学について「自然界に起こる現象の奥に潜む法則を観察事実を照らして探求するもの」と述べています。朝永博士の受賞から50年以上が経ち、自然界には存在しなかった新元素や新素材をも含む文字通り「すべてのもの」が、いまでは物理学の探求対象となっています。様々な分野の基礎となる物理学を学ぶことで、自然現象から社会現象まで深く緻密に観察し、理解する能力を身に付けることができます。そして、数学を用いて精密に体系化された物理学を系統的に学ぶことで、論理的な思考能力と能動的な問題解決能力の修得に繋がります。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること <ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の授業科目について12単位以上を修得 ・ 主専攻プログラムが決定していること ・ 主専攻プログラムが物理学プログラムと異なること
その他特記事項	補足資料の「パッケージ型マイナー：物理学パッケージ履修モデル」を確認すること

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	232G6011	物理学への招待A	2	第2ターム	火1, 金1	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	120	
	230G6521	物理学への招待B	2	第3, 4ターム	月4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	120	
	231G5016	物理学基礎 BI	2	第1ターム	火1, 金1	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	231G5017	物理学基礎 BI	2	第1ターム	火1, 金1	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	231G5014	物理学基礎 BI	2	第1ターム	火2, 金2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	234G5512	物理学基礎 BII	2	第4ターム	火1, 金1	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	160	
	234G5515	物理学基礎 BII	2	第4ターム	火2, 金2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	160	
	230G5518	物理学概論	2	第3, 4ターム	水1	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	180	
	233S0559	基礎物理数学	2	第3ターム	火2, 金2	講義	1, 2, 3, 4	70	1, 2
	234S0560	基礎ベクトル解析	2	第4ターム	火2, 金2	講義	1, 2, 3, 4	70	1, 2
	230S0558	解析力学	2	第1, 2ターム	火4	講義	2, 3, 4	70	1, 2
	231S2507	電磁気学IA	1	第1ターム	月4	講義	2, 3, 4	70	1, 2
	232S2508	電磁気学IB	1	第2ターム	月4	講義	2, 3, 4	70	1, 2
	233S2509	電磁気学IIA	1	第3ターム	月5	講義	2, 3, 4	70	1, 2
	234S2510	電磁気学IIB	1	第4ターム	月5	講義	2, 3, 4	70	1, 2
	233S2520	熱力学A	1	第3ターム	木1	講義	2, 3, 4	70	1, 2
	234S2521	熱力学B	1	第4ターム	木1	講義	2, 3, 4	70	1, 2
	233S2515	量子力学序論A	1	第3ターム	月4	講義	2, 3, 4	70	1, 2
	234S2516	量子力学序論B	1	第4ターム	月4	講義	2, 3, 4	70	1, 2
	231S2530	特殊相対論A	1	第1ターム	水1	講義	3, 4	70	1, 2
	232S2531	特殊相対論B	1	第2ターム	水1	講義	3, 4	70	1, 2

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

- 備考 1) 理学部・創生学部の学生を優先的に聴講許可します
2) オナーズ型マイナー履修者の聴講許可を優先することがあります

パッケージ型マイナー：物理学パッケージ履修モデル（必要単位数：12単位）

■ 履修計画上の注意点：

物理学は「積み上げ式」の学問であり、各科目をきちんと理解するには履修する順番が重要となります。次の注意事項および各科目シラバスの「登録のための条件(注意)」を確認の上、履修計画を立ててください。また、下記にある履修モデルも参考にしてください。

- ・科目名と履修順序：科目名に I, II, A, B を含むものは「I → II」及び「A → B」の順に受講すること（但し、「物理学への招待」は除く。）
- ・解析力学：「物理学基礎 BI, BII」の履修後に受講すること
- ・電磁気学：「基礎物理数学」や「基礎ベクトル解析」が履修済であることが望ましい
- ・熱力学：「物理学基礎 BI, BII」が履修済であること、微積分の基礎数学が習得されていることが望ましい
- ・量子力学序論：「物理学基礎 BI, BII」や「解析力学」が履修済であることが望ましい
- ・特殊相対論：「物理学基礎 BI, BII」や「電磁気学」が履修済であることが望ましい（但し、特殊相対論は、市民向けに開放される授業科目でもあり入門的な内容となっています。）

■ 参考情報：

物理学プログラムでは、1年次(物理学基礎・基礎物理数学・基礎ベクトル解析)、2年次(解析力学・電磁気学・熱力学・量子力学序論)、3年次(量子力学・統計力学)という流れで主要な科目群の履修が進められています。

履修モデル①（基礎・入門：力学～相対論 12単位）

	1年目	2年目	3年目	4年目
第1ターム		物理学基礎 BI (2)	特殊相対論 A (1)	
第2ターム		物理学への招待A (2)	特殊相対論 B (1)	
第3ターム	基礎物理数学 (2)			
第4ターム	物理学への招待 B (2)	物理学基礎 BII (2)		

履修モデル②（力学～電磁気学～相対論 12単位）

	1年目	2年目	3年目	4年目
第1ターム	物理学基礎 BI (2)	電磁気学 IA (1)	特殊相対論 A (1)	
第2ターム		電磁気学 IB (1)	特殊相対論 B (1)	
第3ターム	基礎物理数学 (2)			
第4ターム	基礎ベクトル解析 (2) 物理学への招待 B (2)			

履修モデル③（力学～量子力学序論 12単位）

	1年目	2年目	3年目	4年目
第1ターム		物理学基礎 BI (2)	解析力学 (2)	
第2ターム				
第3ターム	基礎物理数学 (2)		量子力学序論 A (1)	
第4ターム	物理学への招待 B (2)	物理学基礎 BII (2)	量子力学序論 B (1)	

パッケージ名	化学
概要	近年の科学技術の急速な発展に伴う社会の要請に応えるため、化学とそれに関連した自然科学の諸分野に強い興味を持ち、化学の基本的な知識を根底にした幅広い理解力と応用力を身に付けた柔軟かつ独創性のある人材を育成しています。 専門科目は化学の基幹分野である分析化学、無機化学、有機化学、物理化学、量子化学に加えて、境界領域である生物科学分野および物性科学分野の内容もカバーしています。 また、持続可能な社会の実現を目指した環境調和型化学（グリーン・サステナブルケミストリー）の教育・研究にも力を入れています。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること ・所定の授業科目について12単位以上を修得 ・主専攻プログラムが決定していること ・主専攻プログラムが化学プログラムと異なること
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	231G5023	化学基礎A	2	第1ターム	月4, 木4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	232G5026	化学基礎A	2	第2ターム	火3, 金3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	232G5025	化学基礎A	2	第2ターム	火4, 金4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	233G5519	化学基礎A	2	第3ターム	火4, 金4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	232G5027	化学基礎B	2	第2ターム	月4, 木4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	休講	化学基礎C							
	休講	グリーンケミストリー入門							
	230S0539	グリーンケミストリー概説	1	集中	他	講義	1, 2, 3, 4	150	
	230G6522	生活の化学	2	第3, 4ターム	水2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	233G6508	社会を支える有機化学	2	第3ターム	火3, 金3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	234S0561	分析化学I	2	第4ターム	月1, 木1	講義	1, 2, 3, 4	100	
	233S3562	分析化学II	2	第3ターム	火1, 金1	講義	2, 3, 4	46	
	233S0562	無機化学I	2	第3ターム	月1, 木1	講義	1, 2, 3, 4	100	
	234S0563	有機化学I	2	第4ターム	月2, 木2	講義	1, 2, 3, 4	60	
	233S0564	化学熱力学	2	第3ターム	月2, 木2	講義	1, 2, 3, 4	60	
	230S0565	生体分子化学I	2	第1, 2ターム	火3	講義	2, 3, 4	60	
	231S3527	基礎機器分析	2	第1ターム	月2, 木2	講義	3, 4	60	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	生物学
概要	<p>本パッケージでは、これまでに蓄積されてきた生物学の知見や技術的背景を確実に学習するとともに、現代生物学の成果とその応用のあり方について探究し、持続可能な社会の構築に貢献できる人材の育成を目標とする。具体的には、次の様な知識の習得と理解をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞とは何か、どのようにして機能が維持されるか ・遺伝子の機能と遺伝のしくみ、生命現象を支える生体分子の特徴 ・個体がどのようにできあがっていくか、生物がどのようにして進化し、多様な生物種ができたか ・動物および植物の構造と機能 ・生物はどのように環境に応答しながら恒常性を維持するのか
履修資格	
履修定員	
修了要件	<p>次の条件をすべて満たしていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所定の授業科目について12単位以上を修得 ・主専攻プログラムが決定していること ・主専攻プログラムが生物学プログラムと異なること
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	231G5028	生物学基礎A	2	第1ターム	水4, 水5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	1
	232G5031	生物学基礎A	2	第2ターム	火2, 金2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	1
	230G5033	生物学基礎A	2	第1, 2ターム	他	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	1
	233G5521	生物学基礎A	2	第3ターム	火2, 金2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	1
	231G5029	生物学基礎A	2	第1ターム	火3, 金3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	1
	232G5032	生物学基礎B	2	第2ターム	月3, 木3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	2
	231G5030	生物学基礎B	2	第1ターム	月2, 木2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	2
	233G5522	生物学基礎B	2	第3ターム	月2, 木2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	2
	230G5523	生物学基礎B	2	第3, 4ターム	水5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	2
	233G6509	生物学－動物A－	2	第3ターム	金3, 金4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	232G6018	生物学－植物A－	2	第2ターム	月1, 木1	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	3
	234G6517	生物学－生物多様性A－	2	第4ターム	月3, 木3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	200	
	233S0566	基礎細胞遺伝学	2	第3ターム	月4, 月5	講義	1, 2, 3, 4	50	4
	234S0567	基礎細胞生物学	2	第4ターム	火2, 金2	講義	1, 2, 3, 4	50	4
	231S0568	基礎植物学	2	第1ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4	50	4
	231S0569	生命科学のための基礎化学	2	第1ターム	月3, 木3	講義	2, 3, 4	50	4
	233S0570	基礎生物化学	2	第3ターム	月3, 木3	講義	2, 3, 4	50	4
	234S4501	植物生理学I	2	第4ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4	50	4
	232S4502	動物生理学I	2	第2ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4	50	4
	233S4505	発生生物学I	2	第3ターム	火1, 金1	講義	2, 3, 4	50	4
	232S4511	生物化学I(理)	2	第2ターム	火2, 金2	講義	3, 4	50	4

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

備考 1) 2単位のみ認定、2) 2単位のみ認定、3) 「基礎植物学」の重複履修を許可しない
4) 理学部・創生学部学生を優先的に聴講許可

パッケージ名	自然環境科学
概要	<p>自然環境と人間の好ましい共存関係を探求するには、理学全般、すなわち物理学・化学・生物学・地学の基礎学力を身に付け、自然現象を多角的な視点から総合的に理解する能力を培うことが必要です。</p> <p>本パッケージでは、多様で複雑な自然現象のメカニズムを正しく理解するための基礎学力を身に付け、地球規模での様々な問題に取り組むことのできる広い応用力・問題解決能力を備えた人材育成を目指します。</p>
履修資格	
履修定員	
修了要件	<p>次の条件をすべて満たしていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の授業科目について12単位以上を修得 ・ 主専攻プログラムが決定していること ・ 主専攻プログラムが自然環境プログラムでないこと
その他特記事項	理学部と創生学部の学生を優先的に聴講許可します

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	232S0585	多様性生物学B	2	第2ターム	火3, 金3	講義	2, 3, 4	40	
	230S0583	機能形態学A	2	第1, 2ターム	水2	講義	2, 3, 4	40	
	234S6506	機能形態学B	2	第4ターム	火3, 金3	講義	2, 3, 4	40	
	234S0561	分析化学I	2	第4ターム	月1, 木1	講義	1, 2, 3, 4	100	
	231S0579	物質反応化学	2	第1ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4	70	
	232S0582	基礎量子力学	2	第2ターム	月1, 木1	講義	2, 3, 4	80	
	234S6505	物質科学B	2	第4ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4	50	
	233S0562	無機化学I	2	第3ターム	月1, 木1	講義	1, 2, 3, 4	100	
	230S6513	物質科学A	2	第3, 4ターム	水2	講義	3, 4	50	
	234S6502	地形学	2	第4ターム	月4, 木4	講義	2, 3, 4	55	
	233S6508	生態学	2	第3ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4	60	
	231S0581	環境気象学	2	第1ターム	火3, 金3	講義	2, 3, 4	40	
	233S7544	フィールド惑星科学概論	2	第3ターム	月1, 木1	講義	3, 4	20	
	234G6519	地球と気象	2	第4ターム	火4, 金4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	231G5013	物理学基礎A I	2	第1ターム	木1, 木2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	150	
	230G5019	物理学基礎A I	2	第1, 2ターム	月5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	80	
	230G5022	物理学概論	2	第1, 2ターム	金2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	200	
	234G5525	地学基礎C	2	第4ターム	月1, 木1	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	250	
	231G5006	統計学基礎1	1	第1ターム	月5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	138	
	231G5005	統計学基礎1	1	第1ターム	水1	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	160	
	233G5505	統計学基礎1	1	第3ターム	月5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	138	
	233G5504	統計学基礎1	1	第3ターム	火5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	138	
	232G5011	統計学基礎2	1	第2ターム	月5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	138	
	232G5012	統計学基礎2	1	第2ターム	水1	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	160	
	234G5510	統計学基礎2	1	第4ターム	月5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	138	
	234G5509	統計学基礎2	1	第4ターム	火5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	138	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	機械システム工学
概要	<p>本プログラムは、ものづくりの基幹である機械工学分野の教育プログラムである。当該分野に関連した基礎的および応用・学際的な内容について学習することにより、多様な観点に基づいてもものづくりを主体的・実践的に行うための能力を修得することを目標としている。</p> <p>具体的には、以下についての基礎的な能力を身につけることを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械を構成する部品の強度について評価することができる。 ・機械を構成する部品の機能（流体力学的、熱力学的）が理解できる。 ・機械の振動特性について理解することができる。 ・その他、機械工学に関する基礎的な理論、技術を理解することができる。
履修資格	
履修定員	
修了要件	<p>次の条件をすべて満たしていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所定の授業科目について12単位以上を修得 ・主専攻プログラムが決定していること ・主専攻プログラムが機械システム工学プログラムと異なること
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	233T0103	機械工学概論	2	第3ターム	月4, 木4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	170	
	234T0105	材料力学入門	2	第4ターム	月3, 木3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	170	
	231T1005	材料力学I	2	第1ターム	火1, 金1	講義・演習	2, 3, 4, 5, 6	120	
	233T1028	材料力学II	2	第3ターム	月2, 木2	講義・演習	2, 3, 4, 5, 6	90	
	232T1006	流体工学I	2	第2ターム	月1, 木1	講義・演習	2, 3, 4, 5, 6	70	
	233T1029	流体工学II	2	第3ターム	月1, 木1	講義・演習	2, 3, 4, 5, 6	120	
	234T1012	熱工学I	2	第4ターム	月2, 木2	講義・演習	2, 3, 4, 5, 6	60	
	231T1031	熱工学II	2	第1ターム	火2, 金2	講義・演習	3, 4, 5, 6	100	
	234T1014	機械力学I	2	第4ターム	月1, 木1	講義・演習	2, 3, 4, 5, 6	100	
	231T1033	機械力学II	2	第1ターム	月5, 木5	講義・演習	3, 4, 5, 6	100	
	231T1008	工業力学	2	第1ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4, 5, 6	120	
	232T1027	加工学	2	第2ターム	月2, 木2		2, 3, 4, 5, 6	110	
	231T1026	機械設計I	2	第1ターム	月4, 木4	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	232T1030	機械設計II	2	第2ターム	月3, 木3	講義	2, 3, 4, 5, 6	110	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	社会基盤工学
概要	社会基盤工学は、私たちの生活や産業活動を支える道路や鉄道、港湾などの交通・物流施設や上下水道などのライフラインの構築、維持・管理に加え、自然災害から生命と地域を守る河川堤防などの防災施設を整備するための知識と理論を学ぶ分野です。近年老朽化が進んで問題となっている施設の更新や長寿命化の技術は、人口減の低成長下での持続可能な社会構築への重要な役割が期待されています。猛威を振るう自然災害を対象とした防災技術に対する要求も高まっています。本パッケージでは、そのような社会の要請に応える技術のベースとなる応用力学、水工学、地盤工学、コンクリート工学等に関する基礎知識を学修し、まちづくりを理解し、測量や設計、製図の技法を習得します。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること <ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の授業科目について12単位以上を修得 ・ 主専攻プログラムが決定していること ・ 主専攻プログラムが社会基盤工学プログラムと異なること
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	234T0104	社会基盤工学概論	2	第4ターム	月4, 木4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	170	
	234T0105	材料力学入門	2	第4ターム	月3, 木3	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	170	
	232T2006	応用力学I	2	第2ターム	月3, 木3	講義	2, 3, 4, 5, 6	60	
	233T2018	応用力学II	2	第3ターム	月3, 木3	講義	2, 3, 4, 5, 6	50	
	232T2017	応用力学演習I	2	第2ターム	月4, 木4	演習	2, 3, 4, 5, 6	50	
	233T2019	応用力学演習II	2	第3ターム	月4, 木4	演習	2, 3, 4, 5, 6	50	
	232T2020	建設材料学	2	第2ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4, 5, 6	50	
	234T2007	コンクリート工学 I	2	第4ターム	月1, 木1	講義	2, 3, 4, 5, 6	60	
	231T2021	コンクリート工学 II	2	第1ターム	水1, 水2	講義	3, 4, 5, 6	50	
	233T2008	地盤工学I	2	第3ターム	水1, 水2	講義	2, 3, 4, 5, 6	60	
	234T2023	地盤工学II	2	第4ターム	水1, 水2	講義	2, 3, 4, 5, 6	50	
	232T2009	基礎水理学	2	第2ターム	金1, 金2	講義	2, 3, 4, 5, 6	60	
	233T2025	水理学及び演習I	2	第3ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4, 5, 6	50	
	234T2029	測量学 (工)	2	第4ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4, 5, 6	50	
	231T2027	社会基盤製図	2	第1ターム	水1, 水2	講義	2, 3, 4, 5, 6	50	
	231T2012	社会基盤設計基礎	2	第1ターム	月1, 月2, 木1, 木2	演習	2, 3, 4, 5, 6	50	
	231T2001	社会基盤応用数理及び演習I	2	第1ターム	火3, 金3	講義	2, 3, 4, 5, 6	50	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	電子情報通信
概要	豊かな未来社会を築くために、様々な産業分野において多方面から電子情報通信工学の技術が求められています。電子情報通信プログラムは、幅広い科学技術分野に対応した知識と応用力、産業の更なる発展を牽引できる創造性を兼ね備えた人材育成を目指しています。このように、カリキュラムに沿った学修で国際的に活躍できる技術者としての資質を理解してもらいます。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること <ul style="list-style-type: none"> ・所定の授業科目について12単位以上を修得 ・主専攻プログラムが決定していること ・主専攻プログラムが電子情報通信プログラムと異なること
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	233T0201	電子情報通信概論	1	第3ターム	木1	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	250	
	233T0202	知能情報システム概論	1	第3ターム	木2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	250	
	231T3020	プログラミングBI	2	第1ターム	金1, 金2	演習・講義・実習	2, 3, 4, 5, 6	80	
	232T3021	プログラミングBII	2	第2ターム	木1, 木2	演習・講義・実習	2, 3, 4, 5, 6	80	
	231T3051	電気回路I	3	第1ターム	月1, 月2, 木1, 木2		2, 3, 4, 5, 6	90	
	233T3052	電気回路II	3	第3ターム	火3, 火4, 金3, 金4		2, 3, 4, 5, 6	90	
	231T3025	電気回路III	2	第1ターム	水1, 水2	講義	3, 4, 5, 6	100	
	232T3004	電気数理I	2	第2ターム	火4, 金4	講義	2, 3, 4, 5, 6	80	
	234T3005	電気数理II	2	第4ターム	水1, 水2	講義	2, 3, 4, 5, 6	80	
	232T3006	物理工学II	2	第2ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4, 5, 6	80	
	233T3026	電気計測	2	第3ターム	月3, 月4	講義	2, 3, 4, 5, 6	90	
	232T3022	デジタル回路	2	第2ターム	水1, 水2	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	234T3033	電子デバイスI	2	第4ターム	月1, 木2	講義	2, 3, 4, 5, 6	80	
	233T3007	物理工学III	2	第3ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4, 5, 6	80	
	234T3008	物理工学IV	2	第4ターム	火1, 金1	講義	2, 3, 4, 5, 6	80	
	234T3027	電子回路	2	第4ターム	木3, 木4	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	233T3035	電子物性工学I	2	第3ターム	火3, 金3	講義	3, 4, 5, 6	100	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	知能情報システム
概要	知能情報システム領域学修科目パッケージでは、知能情報システムと地球・人間・社会との関わり合いの中で生じている様々な課題を解決するために、プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア、ネットワーク等の知能情報システム分野の技術・知識を幅広く身につけることを目指す。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること <ul style="list-style-type: none"> ・所定の授業科目について12単位以上を修得 ・主専攻プログラムが決定していること ・主専攻プログラムが知能情報システムと異なること
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	233T0201	電子情報通信概論	1	第3ターム	木1	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	250	
	233T0202	知能情報システム概論	1	第3ターム	木2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	250	
	232T4021	データ構造とアルゴリズム	2	第2ターム	金1, 金2	講義	2, 3, 4, 5, 6	110	
	231T4023	離散数学	2	第1ターム	金1, 金2	講義	2, 3, 4, 5, 6	110	
	233T0205	プログラミング基礎 I	2	第3ターム	火3, 火4	演習・講義・実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	200	
	234T0206	プログラミング基礎 II	2	第4ターム	火3, 火4	演習・講義・実習	1, 2, 3, 4, 5, 6	200	
	233T4024	論理回路	2	第3ターム	水1, 水2	講義	2, 3, 4, 5, 6	90	
	232T4025	コンピュータネットワーク	2	第2ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4, 5, 6	80	
	233T4026	形式言語とオートマトン	2	第3ターム	火1, 金1	講義	2, 3, 4, 5, 6	90	
	231T4050	人工知能基礎	2	第1ターム	月3, 木3		2, 3, 4, 5, 6	90	
	231T4029	信号処理	2	第1ターム	水1, 水2	講義	3, 4, 5, 6	90	
	232T4030	情報理論	2	第2ターム	月1, 月2	講義	3, 4, 5, 6	80	
	231T4033	データ工学	2	第1ターム	月3, 月4	講義	3, 4, 5, 6	70	
	234T4027	オペレーティングシステム	2	第4ターム	水3, 水4	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	234T4045	アシスティブ・テクノロジー	2	第4ターム	水1, 水2	講義	3, 4, 5, 6	70	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	化学システム工学
概要	<p>工学系の化学は、エネルギー資源やあらゆる分野で必要とされる材料を創製・供給すること、および、環境汚染を防止し、環境を修復することにより人類の安全、健康、福祉に貢献する使命を担っています。このような社会的要請に応えるために、本学科では、ナノテクノロジーを駆使した新物質や新材料の開発および生産工程に関与する技術者・研究者の養成をめざして、バイオ、環境、エネルギー関連を含めた化学的生産に関する基礎から応用まで幅広い教育研究を行っています。</p> <p>入学から2年第1学期を中心として、化学技術者・研究者としての基盤を養成します。2年第2学期より、応用化学コースと化学工学コースの二つのコースを設け、技術者としての共通基盤に加えてさらに専門的な知識・技能を修得させ、専門的問題解決能力を養成するための少人数教育を行います。応用化学コースでは、新物質・新素材の設計開発ならびに合成・分析手法の確立に中心的な役割を果たす化学技術者・研究者を養成します。化学工学コースでは、材料・製品の開発から工業的生産、廃棄物処理に至るまでの要素技術やプロセスの開発と操作に中心的な役割を果たす化学技術者・研究者を養成します。</p>
履修資格	
履修定員	
修了要件	<p>次の条件をすべて満たしていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所定の授業科目について12単位以上を修得 ・主専攻プログラムが決定していること ・主専攻プログラムが化学システム工学プログラムと異なること
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	231T5016	無機化学	2	第1ターム	火5, 金5	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	231T5012	有機化学(工)	2	第1ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	232T5015	分析化学(工)	2	第2ターム	火1, 金1	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	234T5040	物理化学II	2	第4ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	233T5029	計測化学I	2	第3ターム	火3, 金3	講義	2, 3, 4, 5, 6	120	
	231T5001	高分子化学概論	2	第1ターム	火1, 金1	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	231T5042	無機工業化学	2	第1ターム	月1, 木1	講義	3, 4, 5, 6	70	
	233T0303	化学工学基礎	2	第3ターム	火2, 金2	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	170	
	231T5013	反応工学I	2	第1ターム	水1, 水2	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	232T5014	拡散操作I	2	第2ターム	月1, 木1	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	233T5022	物理化学I	2	第3ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	233T5048	プロセス制御	2	第3ターム	水1, 水2	講義	3, 4, 5, 6	100	
	232T5023	移動論基礎	2	第2ターム	水1, 水2	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	232T5002	基礎物理化学	2	第2ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	234T5065	高分子化学A	2	第4ターム	火1, 金1	講義	2, 3, 4, 5, 6	90	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	材料科学
概要	多様化する産業構造とそのニーズに対応するために、工学を俯瞰する広い視点と基礎的な材料科学を身に付けた人材を育成する。すなわち、複雑化した工学ならびに材料科学の課題から問題点を抽出して解決できる人材の育成を目指す。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること <ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の授業科目について12単位以上を修得 ・ 主専攻プログラムが決定していること ・ 主専攻プログラムが材料科学プログラムと異なること
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	234T0301	基礎無機化学	2	第4ターム	月5, 木5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	170	
	233T0302	基礎有機化学	2	第3ターム	月5, 木5	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	170	
	231T6004	基礎電磁気学	2	第1ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4, 5, 6	68	
	233T6006	基礎量子力学(工)	2	第3ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4, 5, 6	68	
	234T6007	基礎統計物理	2	第4ターム	火4, 金4	講義	2, 3, 4, 5, 6	68	
	232T6008	基礎材料物理化学	2	第2ターム	月5, 木5	講義	2, 3, 4, 5, 6	68	
	232T6009	基礎材料組織学	2	第2ターム	火1, 金1	講義	2, 3, 4, 5, 6	68	
	233T6017	受動電気回路素子論	2	第3ターム	水1, 水2	講義	2, 3, 4, 5, 6	68	
	233T6025	材料分析化学	2	第3ターム	月4, 木4	講義	2, 3, 4, 5, 6	68	
	234T6028	高分子科学	2	第4ターム	月4, 木4	講義	2, 3, 4, 5, 6	68	
	234T6031	工業生化学	2	第4ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4, 5, 6	68	
	233T6003	物理数学	2	第3ターム	火1, 金1	講義	2, 3, 4, 5, 6	68	
	231T6005	基礎解析力学	2	第1ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4, 5, 6	68	
	232T6035	計測工学	2	第2ターム	月3, 木3	講義	3, 4, 5, 6	68	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	建築学
概要	住宅、ビル、学校、劇場、図書館などの建築物と、その集合体である都市を計画・設計するための基礎知識を学びます。建築学が対象とする分野では、環境との調和や社会に関わる問題解決が必要とされ、工学的な知識、倫理思考、社会的関心、芸術的感性など幅広い教養が求められます。将来、これらの素養を活かして、建築分野のみならず、デザイン、インテリア、不動産、環境など、多様な分野での活躍が可能です。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること <ul style="list-style-type: none"> ・所定の授業科目について12単位以上を修得 ・主専攻プログラムが決定していること ・主専攻プログラムが建築学プログラムと異なること
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	233T0401	建築学概論	2	第3ターム	火4, 金4	講義	1, 2, 3, 4, 5, 6	60	
	233T0402	建築図学Ⅰ	1	第3ターム	木3	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	50	
	234T0403	建築図学Ⅱ	1	第4ターム	木3	演習	1, 2, 3, 4, 5, 6	50	
	231T0407	建築製図基礎Ⅰ	1	第1ターム	水4	実習	2, 3, 4, 5, 6	60	
	232T0408	建築製図基礎Ⅱ	1	第2ターム	水4	実習	2, 3, 4, 5, 6	60	
	231T0441	日本建築史	2	第1ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4, 5, 6	55	
	休講	西洋建築史							
	233T0414	建築計画学Ⅰ	2	第3ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4, 5, 6	55	
	232T0434	都市計画学Ⅰ	2	第2ターム	火4, 金4	講義	2, 3, 4, 5, 6	100	
	234T0435	都市計画学Ⅱ	2	第4ターム	火4, 金4	講義	2, 3, 4, 5, 6	120	
	231T0436	都市デザイン論	2	第1ターム	火4, 金4	講義	3, 4, 5, 6	80	
	233T0428	建築環境工学Ⅰ	2	第3ターム	火3, 金3	講義	2, 3, 4, 5, 6	55	
	231T0429	建築環境工学Ⅱ	2	第1ターム	火2, 金2	講義	3, 4, 5, 6	55	
	232T0427	建築材料	2	第2ターム	火3, 金3	講義	2, 3, 4, 5, 6	55	
	休講	建築材料・構造概論							
	休講	建築法規							

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

パッケージ名	生物資源科学／流域環境学
概要	植物ならびに動物の生産を基盤とした経済活動である農業の基礎知識を習得し、地球規模から見た現在の農業について理解します。 上流域の森林から中山間地を経て下流域の水田地帯に至る一連の流域における資源・環境・防災の諸問題を解決し、流域管理の視点を習得します。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること ・所定の授業科目について12単位以上を修得 ・主専攻プログラムが決定していること ・主専攻プログラムが生物資源科学及び流域環境学プログラムと異なること
その他特記事項	

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	230A5001	地域交流サテライト実習	1	通年	他	実習	1, 2, 3, 4	200	
	231A0101	食料資源経済学	2	第1ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4	70	
	231A0165	資源植物生産学概論	2	第1ターム	月1, 木1	講義	2, 3, 4	70	
	231A0166	資源動物科学概論	2	第1ターム	水1, 水2	講義	2, 3, 4	70	
	232A0112	国際フードシステム論	2	第2ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4	70	
	234A0167	作物学	2	第4ターム	月3, 木3	講義	2, 3, 4	60	
	233A0105	植物病理学	2	第3ターム	月3, 木3	講義	2, 3, 4	70	
	234A0168	果樹・蔬菜園芸学	2	第4ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4	50	
	232A0164	植物育種学	2	第2ターム	月1, 木1	講義	2, 3, 4	50	
	232A0026	動物遺伝学	2	第2ターム	金3, 金4	講義	2, 3, 4	80	
	231A0138	農地と水利用	2	第1ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4	70	
	233A0052	食料環境工学	2	第3ターム	火1, 金1	講義	2, 3, 4	50	
	234A0055	精密農業工学	2	第4ターム	火3, 火4	講義	2, 3, 4	90	
	234A0068	森林環境論	2	第4ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4	70	
	231A0060	環境砂防学	2	第1ターム	火4, 金4	講義	2, 3, 4	65	
	232A0136	フォレスター入門	2	第2ターム	月1, 木1	講義	2, 3, 4	94	
	233A0063	流域環境GIS	2	第3ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4	80	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

備考 1) 2022年度のみ開講

パッケージ名	応用生命科学／食品科学
概要	微生物・植物・動物の生命現象を分子や細胞のレベルで理解し、生物の持つ様々な機能を開発・応用するための知識、人の健康維持を目指した食品および栄養に関する幅広い知識、人間生活や地球環境保全に関連の深い土壌の働きや植物生理と肥料および植物成分の科学的利用に関する知識を修得します。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること <ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の授業科目について12単位以上を修得 ・ 主専攻プログラムが決定していること ・ 主専攻プログラムが応用生命科学及び食品科学プログラムと異なること
その他特記事項	農学部・創生学部の学生を優先的に聴講許可します

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	230A5001	地域交流サテライト実習	1	通年	他	実習	1, 2, 3, 4	200	
	232A0004	生物化学 I	2	第2ターム	月1, 木1	講義	2, 3, 4	90	
	232A0005	微生物学	2	第2ターム	水1, 水2	講義	2, 3, 4	100	
	231A0009	分析化学（農）	2	第1ターム	月1, 木1	講義	2, 3, 4	80	
	232A0019	遺伝子工学	2	第2ターム	火1, 金1	講義	3, 4	90	
	232A0038	植物細胞工学	2	第2ターム	月1, 木1	講義	3, 4	70	
	232A0087	食品機能学	2	第2ターム	木1, 木2	講義	2, 3, 4	90	
	232A0006	土壌学概論	2	第2ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4	85	
	234A0012	植物成分化学	2	第4ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4	60	
	232A0008	食品化学	2	第2ターム	火3, 火4	講義	1, 2, 3, 4	120	
	233A0048	動物栄養学	2	第3ターム	火2, 金2	講義	2, 3, 4	80	
	233A0085	農産食品学	2	第3ターム	水1, 水2	講義	2, 3, 4	100	
	234A0049	畜産食品学	2	第4ターム	火1, 火2	講義	2, 3, 4	100	
	231A0084	食品衛生学	2	第1ターム	火1, 火2	講義	1, 2, 3, 4	120	
	231A0082	食品工学	2	第1ターム	月2, 木2	講義	2, 3, 4	50	

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

科目リスト

オーナーズ型マイナー

■プログラムの名称 「環境学」

授業科目リスト (掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。)

属性区分 R:必修科目 / A:人文社会・教育科学系科目 / B:工学系・農学系科目 / C:理学系・農学系科目 / R★:どちらかの科目が必修

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	23009001	環境学入門【入門科目】	1	第1学期	第1,2ターム	木	HT	講義	吉川 夏樹	自然科学系(農)	99	03
2	コア	R	23009003	環境学演習	1	第2学期	第3,4ターム	水	HT	演習	則未 和宏	自然科学系(理)	99	05
3	コア	R★	23009002	環境学実習	1	第1学期	集中	-	-	実習	本間 航介	佐渡自然共生科学センター	99	04
4	コア	R★	234S6532	環境生物学野外実習C	1	第2学期	集中	-	-	実習	安東 宏徳	佐渡自然共生科学センター	57	14
5	コア	A	230S6521	環境経済システム論I	2	第1学期	集中	-	-	講義	房 文慧	非常勤講師	36	04
6	コア	A	234A0065	技術者倫理・自然環境関連法規	2	第2学期	第4ターム	月,木	2	講義	箕川 秀夫	自然科学系(農)	62	14
7	コア	A	231A0001	農学入門I	2	第1学期	第1ターム	月,木	1	講義	杉山 稔恵	自然科学系(農)	60	01
8	コア	B	230S6516	環境汚染論	2	第2学期	第3,4ターム	水	1	講義	宮崎 勝己	自然科学系(理)	57	05
9	コア	B	233A0072	流水水文学	2	第2学期	第3ターム	火,金	3	講義	Whitaker Andrew	自然科学系(農)	62	03
10	コア	B	231A0101	食料資源経済学	2	第1学期	第1ターム	月,木	2	講義	古澤 慎一	自然科学系(農)	64	14
11	コア	B	233A0104	環境保全型農業論	2	第2学期	第3ターム	月,木	2	講義	平泉 光一	自然科学系(農)	64	04
12	コア	C	231A0002	農学入門II	2	第1学期	第1ターム	月,木	2	講義	杉山 稔恵	自然科学系(農)	60	01
13	コア	C	234G6517	生物学-生物多様性A-	2	第2学期	第4ターム	月,木	3	講義	藤村 衛至	自然科学系(理)	57	03
14	関連	C	230S6541	多様性生物学a	1	第1学期	集中	-	-	講義	首藤 光太郎	非常勤講師	57	04
15	コア	C	232S0585	多様性生物学B	2	第1学期	第2ターム	火,金	3	講義	宮崎 勝己	自然科学系(理)	57	04
16	コア	C	231S0581	環境気象学	2	第1学期	第1ターム	火,金	3	講義	本田 明治	自然科学系(理)	44	04
17	コア	C	230S6514	地球環境化学	2	第1学期	第1,2ターム	火	3	講義	松岡 二郎	自然科学系(理)	46	05
18	関連	B	233A0077	温暖化メカニズム・影響学	2	第2学期	第3ターム	月,木	2	講義	永野 博彦	自然科学系(農)	62	04
19	関連	B	233A0033	肥料学	2	第2学期	第3ターム	水	1,2	講義	大竹 憲邦	自然科学系(農)	61	04
20	関連	B	233A0079	森林再生学	2	第2学期	第3ターム	水	1,2	講義	柴田 嶺	自然科学系(農)	62	04
21	関連	B	233A0054	農村空間デザイン学	2	第2学期	第3ターム	月,木	2	講義	坂田 寧代	自然科学系(農)	65	14
22	関連	C	234G6519	地球と気象	2	第2学期	第4ターム	火,金	4	講義	本田 明治	自然科学系(理)	44	03
23	関連	C	230S0583	機能形態学A	2	第1学期	第1,2ターム	水	2	講義	林 八寿子	自然科学系(理)	57	04
24	関連	C	234S6506	機能形態学B	2	第2学期	第4ターム	火,金	3	講義	藤村 衛至	自然科学系(理)	57	04
25	関連	C	234S6502	地形学	2	第2学期	第4ターム	月,木	4	講義	奈良間 千之	自然科学系(理)	44	04
26	関連	C	休講	資源・環境地質学	2					講義			44	13
27	関連	C	232S5535	第四紀環境学	2	第1学期	第2ターム	月,木	5	講義	卜部 厚志	災害・復興科学研究所	44	04
28	関連	C	231A0062	野生植物生態学	2	第1学期	第1ターム	月	3,4	講義	本間 航介	佐渡自然共生科学センター	57	03
29	関連	C	233A0063	流域環境GIS	2	第2学期	第3ターム	火,金	2	講義	村上 拓彦	自然科学系(農)	62	03
30	関連	C	232A0075	リモートセンシング	2	第1学期	第2ターム	木	3,4	講義	村上 拓彦	自然科学系(農)	62	04

令和3（2021）年度以前の入学者のみ
修了認定可能なプログラム

【重要】本プログラムは、2022年度以降入学者（3年次編入生は2023年度以降入学者）は認定の対象となりませんので、ご注意ください。

■プログラムの名称 「MOT基礎(特許・経営及び製品開発基礎コース)」

授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目 / A：文系科目として必要な科目群 / B：理系科目として必要な科目群 / C：A、Bと関連した発展科目群

*1は以下の履修順序等の指定があることを示す。

*1 民法法基礎ⅠおよびⅡを修得済みであること。

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	23009004	特許・経営および製品開発入門【入門科目】	1	第1学期	第1ターム	月、木	HT	演習	狩野 直樹	自然科学系（工）	99	03
2	コア	A（必修）	23009005	特許と技術経営Ⅰ	1	第1学期	集中	-	-	演習	狩野 直樹	自然科学系（工）	99	04
3	コア	A（必修）	23009006	特許と技術経営Ⅱ	1	第1学期	集中	-	-	演習	狩野 直樹	自然科学系（工）	99	04
4	コア	A	233L3101	民法Ⅰ（民法総則）	2	第2学期	第3ターム	水	3、4	講義	石畝 剛士	人文社会科学系（法）	34	03
5	コア	A	233L3106	民法Ⅵ（債権各論）	2	第2学期	第3ターム	金	1、2	講義	上山 泰	人文社会科学系（法）	34	03
6	コア	A*1	232L3102	民法Ⅱ（不法行為）	2	第1学期	第2ターム	月	1、2	講義	大島 梨沙	人文社会科学系（法）	34	03
7	コア	A	234L3103	民法Ⅲ（物権Ⅰ）	2	第2学期	第4ターム	金	1、2	講義	岩崎 勝成	人文社会科学系（法）	34	03
8	コア	A	231T8010	企業会計基礎	2	第1学期	第1ターム	月、木	5	講義	中村 竹志	非常勤講師	37	14
9	コア	A	233T8006	マーケティング基礎	2	第2学期	第3ターム	木	3、4	講義・演習	長尾 雅信	自然科学系（工）	37	14
10	コア	A	232T8007	リーダーシップ基礎	2	第1学期	第2ターム	火、金	5	講義	白川 展之	人文社会科学系（経済）	37	14
11	コア	B	23266026	生活を支える化学技術－化学工学への招待－	2	第1学期	第2ターム	火、金	2	講義	木村 勇雄	自然科学系（工）	47	03
12	コア	B	231A0115	農業経営学	2	第1学期	第1ターム	月、木	1	講義	平泉 光一	自然科学系（農）	64	05
13	コア	B	23166024	最先端技術を支える化学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	火、金	3	講義	渡邊 美寿貴	自然科学系（工）	46	03
14	コア	B	232T8005	プロジェクト・マネジメント基礎	2	第1学期	第2ターム	金	3、4	講義・演習	尾田 雅文	地域創生推進機構	37	14
15	コア	B	231T8008	技術評価	2	第1学期	第1ターム	火	3、4	講義・演習	尾田 雅文	地域創生推進機構	49	14
16	関連	C	234L3405	知的財産法Ⅰ（著作権法）	2	第2学期	第4ターム	金	3、4	講義	渡邊 修	人文社会科学系（法）	34	04
17	関連	C	234L3114	会社法Ⅰ（総論・機関）	2	第2学期	第4ターム	月	3、4	講義	梅津 昭彦	人文社会科学系（法）	34	04
18	関連	C	231L3115	会社法Ⅱ（株式）	2	第1学期	第1ターム	木	1、2	講義	内田 千秋	人文社会科学系（法）	34	04
19	関連	C	231L3301	経済法Ⅰ（競争の実質的制限禁止）	2	第1学期	第1ターム	火	1、2	講義	澤田 克己	人文社会科学系（法）	34	04
20	関連	C	232S0541	情報社会論	2	第1学期	第2ターム	火、金	5	講義	田中 環	自然科学系（理）	10	03
21	関連	C	233S1506	プログラミング概論A	1	第2学期	第3ターム	木	4	講義	山田 修司	自然科学系（理）	41	03
22	関連	C	234S1512	プログラミング概論B	1	第2学期	第4ターム	木	4	講義	山田 修司	自然科学系（理）	41	03
23	関連	C	230S0540	情報産業論	2	第2学期	第3、4ターム	金	3	講義	清野 和司	非常勤講師	10	04
24	関連	C	231T1008	工業力学	2	第1学期	第1ターム	月、木	2	講義	平元 和彦	自然科学系（工）	49	04
25	関連	C	231T1005	材料力学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	火、金	1	講義・演習	佐々木 朋裕	自然科学系（工）	50	04
26	関連	C	232T5015	分析化学（工）	2	第1学期	第2ターム	火、金	1	講義	狩野 直樹	自然科学系（工）	47	04
27	関連	C	233T3023	電気回路Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	火、金	3	講義	山家 清之	自然科学系（工）	51	04
28	関連	C	234T3011	電磁気学Ⅰ	2	第2学期	第4ターム	火、金	2	講義	清水 英彦	自然科学系（工）	51	04
29	関連	C	232T3028	電磁気学Ⅱ	2	第1学期	第2ターム	火、金	3	講義	小川 純	自然科学系（工）	51	04
30	関連	C	234T3027	電子回路	2	第2学期	第4ターム	木	3、4	講義	鈴木 孝昌	自然科学系（工）	51	04
31	関連	C	234T7029	電子回路	2	第2学期	第4ターム	月、木、3	-	講義	堀 潤一	自然科学系（工）	51	24
32	関連	C	233T4024	論理回路	2	第2学期	第3ターム	水	1、2	講義	高橋 俊彦	自然科学系（工）	10	04
33	関連	C	234T0503	ビジネス統計学	2	第2学期	第4ターム	木	3、4	講義・演習	東瀬 朗	自然科学系（工）	37	13
34	関連	C	232T0502	協創経営概論	2	第1学期	第2ターム	木	3、4	講義	小浦方 格	自然科学系（工）	37	13
35	関連	C	231T0504	アントレプレナーシップ	2	第1学期	第1ターム	火、金	3	講義	小浦方 格	自然科学系（工）	37	13
36	関連	C	231T0441	日本建築史	2	第1学期	第1ターム	火、金	2	講義	黒野 弘靖	自然科学系（工）	53	04
37	関連	C	休講	電気回路基礎論	2					講義			54	04
38	関連	C	休講	基礎高分子化学	2					講義			54	04
39	関連	C	233S0570	基礎生物化学	2	第2学期	第3ターム	月、木	3	講義	長束 俊治	自然科学系（理）	57	03

令和3（2021）年度以前の入学者のみ
修了認定可能なプログラム

【重要】本プログラムは、2022年度以降入学者（3年次編入生は2023年度以降入学者）は認定の対象となりませんので、ご注意ください。

■プログラムの名称 「芸術学」

授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目 / A：理論・歴史に関する基礎科目 / B：芸術の主要各分野に関する科目
C：その他の分野に関する基礎科目 / 空欄：発展的・実践的科目

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	230Q9007	芸術学入門【入門科目】	1	第1学期	第1.2ターム	水	HT	演習	廣部 俊也	人文社会科学系（人文）	13	03
2	コア	R	230Q9008	芸術学実習	1	第2学期	第3.4ターム	水	HT	演習	廣部 俊也	人文社会科学系（人文）	13	04
3	コア	A	230K1809	日本・東洋美術史	2	第1学期	第1.2ターム	月	2	講義	大森 慎子	人文社会科学系（教育）	13	04
4	コア	A	230K1857	美術史概論	2	第1学期	第1.2ターム	火	2	講義	田中 咲子	人文社会科学系（教育）	13	04
5	コア	A	休講	美術史特論	2					講義			13	04
6	コア	B	休講	比較芸術学	2					講義			13	04
7	コア	B	休講（隔年開講）	比較芸術学特論	2					講義			13	04
8	コア	B	230G7528	日本古典文学N	2	第2学期	第3.4ターム	水	1	講義	高橋 早苗	人文社会科学系（人文）	29	03
9	コア	B	休講	現代文化論A	2					講義			10	04
10	コア	B	休講	現代文化論B	2					講義			10	04
11	コア	C	休講	映像文化論概説	2					講義			10	03
12	コア	C	231T0436	都市デザイン論	2	第1学期	第1ターム	火、金	4	講義	岡崎 篤行	自然科学系（工）	53	04
13	コア	C	休講	住居学Ⅲ	2					講義			15	04
14	コア	C	休講	書鑑賞論	2					演習			13	04
15	関連		230K5445	書道講義及び実習Ⅰ	2	第1学期	第1.2ターム	水	4	講義	角田 勝久	人文社会科学系（教育）	13	14
16	関連		休講	住環境科学	2					講義			15	03
17	関連		休講	被服環境学	2					講義			15	03
18	関連		休講	考える葦の冒険	2					講義			75	03
19	関連		233G7510	文学D	2	第2学期	第3.4ターム	水	4	講義	番場 俊	人文社会科学系（経済）	29	03
20	関連		231G7001	西洋文学LⅠ	2	第1学期	第1ターム	月、木	1	講義	三浦 淳	人文社会科学系（人文）	29	03
21	関連		233G7502	西洋文学LⅡ	2	第2学期	第3ターム	火、金	1	講義	三浦 淳	人文社会科学系（人文）	29	03
22	関連		230G7538	日本文化論	2	第2学期	第3.4ターム	火	2	講義	岡村 浩	人文社会科学系（経済）	13	03
23	関連		233G7536	音楽E	2	第2学期	第3ターム	月	1, 2	演習	宇野 哲之	人文社会科学系（教育）	13	03
24	関連		休講	舞台芸術	2					講義			13	04
25	関連		休講	絵画	2					講義			53	13
26	関連		230H9414	表象文化論A	2	第2学期	第3.4ターム	月	4	講義	キム・ジュニアン	人文社会科学系（経済）	10	04
27	関連		230H9415	表象文化論B	2	第1学期	第1.2ターム	水	4	講義	番場 俊	人文社会科学系（経済）	10, 28	04
28	関連		休講	表象文化論概説	2					講義			10	03
29	関連		230K6213	多文化音楽論Ⅰ	2	第2学期	第3.4ターム	水	2	講義	中本 真人	人文社会科学系（人文）	13	04
30	関連		231T0441	日本建築史	2	第1学期	第1ターム	火、金	2	講義	黒野 弘靖	自然科学系（工）	53	04
31	関連		232T0434	都市計画学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	火、金	4	講義	岡崎 篤行	自然科学系（工）	53	03
32	関連		234T0435	都市計画学Ⅱ	2	第2学期	第4ターム	火、金	4	講義	岡崎 篤行	自然科学系（工）	53	04

■プログラムの名称 「外国語（ドイツ語）」

授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、**必ず連絡前**にプログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。詳細は別途学務情報システムから通知します。

属性区分 R：必修科目 / A：中級レベル科目 / B：上級レベル科目

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	230Q9009	ドイツ学研究法【入門科目】	1	第1学期	第1ターム	火、木	HT	演習	小林 リリ子	非常勤講師	71	03
2	コア		(全科目)	外国語ベーシック I(1)独語仏語伊語	2								71	03
3	コア		(全科目)	外国語ベーシック I(2)独語西語露語	2								71	03
4	コア		(全科目)	外国語ベーシック I(3)独語仏語中語	2								71	03
5	コア		(全科目)	ドイツ語ベーシック II	3								71	03
6	コア		(全科目)	ドイツ語スタンダード IA	1.5								71	03
7	コア		(全科目)	ドイツ語スタンダード IB	1.5								71	03
8	コア		(全科目)	ドイツ語スタンダード II	3								71	03
9	コア		(全科目)	ドイツ語インテンシブ IA	2								71	03
10	コア		(全科目)	ドイツ語インテンシブ IB	2								71	03
11	コア		(全科目)	ドイツ語インテンシブ II	4								71	03
12	コア	A	230G1057	コミュニケーション・ドイツ語A	2	第1学期	第1,2ターム	金	3	演習	小林 敦彦	非常勤講師	71	03
13	コア	A	230G1058	コミュニケーション・ドイツ語B	2	第1学期	第1,2ターム	月	4	演習	岡本 亮子	非常勤講師	71	03
14	コア	A	230G1059	コミュニケーション・ドイツ語C	2	第1学期	第1,2ターム	火	3	演習	R. エバート	非常勤講師	71	03
15	コア	A	230G1512	コミュニケーション・ドイツ語D	2	第2学期	第3,4ターム	火	3	演習	R. エバート	非常勤講師	71	03
16	コア	A	230G1513	コミュニケーション・ドイツ語E	2	第2学期	第3,4ターム	月	4	演習	岡本 亮子	非常勤講師	71	03
17	コア	A	230G1514	コミュニケーション・ドイツ語F	2	第2学期	第3,4ターム	水	3	演習	倉持 有香子	非常勤講師	71	03
18	コア	A	休講	ドイツ語ベーシックプラスA	2					演習			71	03
19	コア	A	休講	ドイツ語ベーシックプラスB	2					演習			71	03
20	コア	B	230G1060	ドイツ語セミナーA	2	第1学期	第1,2ターム	月	3	演習	阿部 ふく子	人文社会科学系(人文)	71	04
21	コア	B	230G1061	ドイツ語セミナーB	2	第1学期	第1,2ターム	水	3	演習	桑原 聡	非常勤講師	71	04
22	コア	B	230G1515	ドイツ語セミナーC	2	第2学期	第3,4ターム	月	3	演習	阿部 ふく子	人文社会科学系(人文)	71	03
23	コア	B	230G1516	ドイツ語セミナーD	2	第2学期	第3,4ターム	水	3	演習	桑原 聡	非常勤講師	71	04
24	コア	B	230H4062	ドイツ言語文化論A	2	第1学期	第1,2ターム	木	3	講義	A. ホップ	人文社会科学系(人文)	29	04
25	コア	B	230H4063	ドイツ言語文化論B	2	第2学期	第3,4ターム	木	3	講義	田邊 恵子	人文社会科学系(人文)	29	04
26	コア	B	休講(隔年開講)	ドイツ言語文化論C	2					講義			30	04
27	コア	B	休講(隔年開講)	ドイツ文芸論	2					講義			29	04
28	コア	B※		海外研修						実習			71	04
29	コア		230H2084	ドイツ言語文化概説A	2	第1学期	第1,2ターム	火	2	講義	田邊 恵子	人文社会科学系(人文)	29	03
30	コア		休講(隔年開講)	ドイツ言語文化概説B	2					講義			30	03
31	関連	A	230H3018	ドイツ言語文化基礎演習A	2	第1学期	第1,2ターム	金	2	演習	A. ホップ	人文社会科学系(人文)	29	13
32	関連	A	230H3019	ドイツ言語文化基礎演習B	2	第2学期	第3,4ターム	火	2	演習	田邊 恵子	人文社会科学系(人文)	30	13
33	関連	A	230H2098	西洋言語文化研究法D	2	第1学期	第1,2ターム	水	2	演習	田邊 恵子	人文社会科学系(人文)	29	13
34	関連	B	230H5095	ドイツ言語文化演習	2	第1学期	第1,2ターム	金	4	演習	A. ホップ	人文社会科学系(人文)	29	14
35	関連	B	230H5096	ドイツ言語文化演習	2	第2学期	第3,4ターム	金	4	演習	A. ホップ	人文社会科学系(人文)	29	14
36	関連	B	230H5097	ドイツ言語文化演習	2	第1学期	第1,2ターム	火	4	演習	田邊 恵子	人文社会科学系(人文)	29	14
37	関連	B	230H5098	ドイツ言語文化演習	2	第2学期	第3,4ターム	火	4	演習	田邊 恵子	人文社会科学系(人文)	29	14
38	関連	B	230H5009	哲学思想演習	2	第1学期	第1,2ターム	火	4	演習	阿部 ふく子	人文社会科学系(人文)	28	14
39	関連	B	230H9201	西洋哲学史概説A	2	第2学期	第3,4ターム	金	2	講義	阿部 ふく子	人文社会科学系(人文)	28	03
40	関連	B	休講(隔年開講)	西洋哲学史概説B	2					講義			28	03
41	関連	B	休講(隔年開講)	外国史演習I	2					演習			31	14
42	関連	B	休講(隔年開講)	外国史演習III	2					演習			31	14
43	関連	B	230K5643	外国史演習II	2	第1学期	第1,2ターム	月	5	演習	小林 繁子	人文社会科学系(教育)	31	14
44	関連	B	230K5647	外国史演習IV	2	第2学期	第3,4ターム	月	5	演習	小林 繁子	人文社会科学系(教育)	31	14

45	関連		230G3944	異文化と技術	1	第1学期	集中	-	-	講義	清水 忠明	自然科学系（工）	75	03
46	関連		230G3972	異文化と技術	1	第2学期	集中	-	-	講義	清水 忠明	自然科学系（工）	75	03

■プログラムの名称 「外国語（英語）」

授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※表中に科目名の記載がない海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のため表中に科目名の記載がない海外研修を考えている場合は、**必ず事前に**副専攻プログラム代表教員に相談してください。

なお、表中に科目名の記載がない海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。詳細は別途学務情報システムから通知します。

属性区分

R・C：必修科目

A：「中級コミュニケーション英語」「iStep Extension」「TOEFL iBT Preparation」「IELTS Preparation」および海外研修を除き、原則として第3セメスター以降に学習すべき科目

B：第5セメスター以降に学習すべき科目

Gコード科目のうち、「中級／上級コミュニケーション英語」「iStep Extension」「中級／上級EAP」「中級／上級EAP (Term Course)」「TOEFL iBT Preparation」「IELTS Preparation」および海外研修は重複履修の制限はありません。

Hコード科目（人文学部専門科目）については、「英米言語文化演習」を除き、重複履修はできません。

Kコード科目（教育学部専門科目）については、重複履修はできません。

Eコード科目（経済学部専門科目）については、「外書講読Ⅰ」及び「外書講読Ⅱ」は8単位まで、「異文化論」は、異なる教員の科目を履修した場合に限り8単位まで重複履修できます。

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	2309010	英語文化研究【入門科目】	1	第2学期	第3,4ターム	水	HT	講義・演習	北田 伸一	人文社会科学系（人文）	70	03
2	コア	A	(全科目)	中級コミュニケーション英語	2					演習			70	04
3	コア	C	(全科目)	上級コミュニケーション英語	2					演習			70	05
4	コア	A	(全科目)	iStep Extension	2					演習			70	04
5	コア	A	(全科目)	中級EAP	2					演習			70	04
6	コア	A	(全科目)	上級EAP	2					演習			70	05
7	コア	A	(全科目)	中級EAP (Term Course)	1					演習			70	04
8	コア	A	(全科目)	上級EAP (Term Course)	1					演習			70	05
9	コア	A	(全科目)	TOEFL iBT Preparation I	2					演習			70	04
10	コア	A	(全科目)	TOEFL iBT Preparation II	2					演習			70	04
11	コア	A	(全科目)	IELTS Preparation I	2					演習			70	04
12	コア	A	(全科目)	IELTS Preparation II	2					演習			70	04
13	コア	A	230G0087	実践英語セミナー	2	第1学期	第1,2ターム	水	3	演習	ハドリー 浩美	教育基盤機構	70	04
14	コア	A	230G0679	実践英語セミナー	3	第2学期	第3,4ターム	水	4	演習	ハドリー 浩美	教育基盤機構	70	04
15	コア	A	230G0084	英語表現セミナーA	2	第1学期	第1,2ターム	水	4	演習	G. ディック	非常勤講師	70	04
16	コア	A	230G0680	英語表現セミナーA	2	第2学期	第3,4ターム	水	4	演習	G. ディック	非常勤講師	70	04
17	コア	A	230G0085	英語表現セミナーB	2	第1学期	第1,2ターム	水	3	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70	04
18	コア	A	230G0681	英語表現セミナーB	2	第2学期	第3,4ターム	水	3	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70	04
19	コア	A	230G0086	英語表現セミナーC	2	第1学期	第1,2ターム	水	4	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70	03
20	コア	A	230G0682	英語表現セミナーC	2	第2学期	第3,4ターム	水	4	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70	03
21	関連	A	230G3956	西シドニー大学国際交流プログラムB	2	第1学期	集中	-	-	演習	蒙 韜	教育基盤機構	75	03
22	関連	A	230G3961	カナダ・サマーセミナー	4	第1学期	集中	-	-	演習	ハドリー 浩美	教育基盤機構	75, 70	03
23	関連	A	230G3962	オタゴ大学英語研修	4	第1学期	集中	-	-	演習	ハドリー 浩美	教育基盤機構	75, 70	03
24	関連	A	230G3957	多文化共生社会体験 in AUSTRALIA-W	4	第1学期	集中	-	-	講義	池田 英喜	教育基盤機構	75	03
25	関連	A	230G3974	多文化共生社会体験 in AUSTRALIA-S	4	第2学期	集中	-	-	講義	池田 英喜	教育基盤機構	75	03
26	関連	A	230G3975	フィリピンALLC英語研修	4	第2学期	集中	-	-	演習	未定	未定	70	03
27	関連	A	230G3973	シンガポール・スプリングセミナー	2	第2学期	集中	-	-	演習	張 雲	教育基盤機構	75, 70	03
28	関連	A	230G3969	オックスフォード大学英語研修	2	第2学期	集中	-	-	演習	ハドリー 浩美	教育基盤機構	75, 70	04
29	関連	A	休講	カナダ・サマーセミナー・オンライン	2					演習			75, 70	03
30	関連	A	休講	オタゴ大学英語研修・オンライン	2					演習			75, 70	03
31	関連	A	230G3951	西シドニー大学国際交流プログラムA	2	第1学期	集中	-	-	演習	蒙 韜	教育基盤機構	75	03
32	関連	※		海外研修（上記以外）						実習			70	04
33	コア	A	230H3015	英米言語文化基礎演習A	2	第1学期	第1,2ターム	水	3	演習	平野 幸彦	人文社会科学系（人文）	29	13
34	コア	A	230H3016	英米言語文化基礎演習B	2	第1学期	第1,2ターム	月	3	演習	大竹 芳夫	人文社会科学系（人文）	30	13
35	関連	B	230K6653	英語教育リーディング演習I	1	第1学期	第1,2ターム	木	3	演習	岡村 仁一	人文社会科学系（教育）	40	13
36	関連	B	230K6654	英語教育リーディング演習II	1	第1学期	第1,2ターム	水	4	演習	岡村 仁一	人文社会科学系（教育）	40	13
37	関連	B	230K6655	英語教育リーディング演習III	1	第1学期	第1,2ターム	金	1	演習	辻 照彦	人文社会科学系（教育）	40	14

38	関連	B	230K6656	英語教育リーディング演習IV	1	第2学期	第3,4ターム	水	4	演習	山田 陽子	人文社会科学系(教育)	40	14
39	関連	A	230K6661	英語学概説	2	第1学期	第1,2ターム	水	3	講義	本間 伸輔	人文社会科学系(教育)	40	03
40	関連	A	230K6601	英語教育と英文法I	2	第1学期	第1,2ターム	木	3	講義	本間 伸輔	人文社会科学系(教育)	40	03
41	関連	A	230K6602	英語教育と英文法II	2	第2学期	第3,4ターム	木	3	講義	本間 伸輔	人文社会科学系(教育)	40	03
42	関連	A	休講	西洋言語概説	2					講義			30	03
43	関連	A	230H2081	英米文化概説A	2	第1学期	第1,2ターム	木	3	講義	市橋 孝道	人文社会科学系(人文)	29	03
44	関連	A	230H2082	英米文化概説B	2	第2学期	第3,4ターム	木	4	講義	平野 幸彦	人文社会科学系(人文)	29	03
45	関連	A	休講(隔年開講)	英米言語概説B	2					講義			30	03
46	関連	B	230H4055	英米文芸論	2	第2学期	第3,4ターム	金	2	講義	平野 幸彦	人文社会科学系(人文)	29	04
47	関連	B	230H4058	英米文化論A	2	第1学期	第1,2ターム	金	2	講義	市橋 孝道	人文社会科学系(人文)	29	04
48	関連	B	230H4059	英米文化論B	2	第2学期	第3,4ターム	月	3	講義	G. ハドリー	人文社会科学系(人文)	29	04
49	関連	B	230H4061	英米言語論A	2	第1学期	第1,2ターム	水	3	講義	大竹 芳夫	人文社会科学系(人文)	30	04
50	関連	B	230H5086	英米言語文化演習	2	第1学期	第1,2ターム	月	4	演習	市橋 孝道	人文社会科学系(人文)	29	14
51	関連	B	230H5092	英米言語文化演習	2	第2学期	第3,4ターム	月	4	演習	市橋 孝道	人文社会科学系(人文)	29	14
52	関連	B	230H5085	英米言語文化演習	2	第1学期	第1,2ターム	火	3	演習	平野 幸彦	人文社会科学系(人文)	29	14
53	関連	B	230H5091	英米言語文化演習	2	第2学期	第3,4ターム	火	3	演習	平野 幸彦	人文社会科学系(人文)	29	14
54	関連	B	230H5087	英米言語文化演習	2	第1学期	第1,2ターム	水	2	演習	G. ハドリー	人文社会科学系(人文)	29	14
55	関連	B	230H5093	英米言語文化演習	2	第2学期	第3,4ターム	水	2	演習	G. ハドリー	人文社会科学系(人文)	29	14

■プログラムの名称 「外国語（フランス語）」

授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、**必ず連絡前**にプログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。詳細は別途学務情報システムから通知します。

属性区分 R：必修科目 / A：中級レベルの選択必修科目 / B：上級レベルの選択必修科目 / 空欄：選択科目

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	230Q9011	フランス学研究法【入門科目】	1	第2学期	第3,4ターム	木	HT	演習	金子 麻里	非常勤講師	71	03
2	コア		(全科目)	外国語ベーシック I フランス語	1					演習			71	03
3	コア		(全科目)	フランス語ベーシック II	3					演習			71	03
4	コア		(全科目)	フランス語スタンダード IA	1.5					演習			71	03
5	コア		(全科目)	フランス語スタンダード IB	1.5					演習			71	03
6	コア		(全科目)	フランス語スタンダード II	3					演習			71	03
7	コア		(全科目)	フランス語インテンシブ IA	2					演習			71	03
8	コア		(全科目)	フランス語インテンシブ IB	2					演習			71	03
9	コア		(全科目)	フランス語インテンシブ II	4					演習			71	03
10	コア	A	230G1076	コミュニケーション・フランス語 A	2	第1学期	第1,2ターム	火	3	演習	M. 湊元	非常勤講師	71	03
11	コア	A	230G1077	コミュニケーション・フランス語 B	2	第1学期	第1,2ターム	木	1	演習	N. ドーフアン	非常勤講師	71	03
12	コア	A	230G1078	コミュニケーション・フランス語 C	2	第1学期	第1,2ターム	水	2	演習	M. カルトロン	非常勤講師	71	03
13	コア	A	230G1079	コミュニケーション・フランス語 D	2	第1学期	第1,2ターム	金	3	演習	M. カルトロン	非常勤講師	71	03
14	コア	A	230G1517	コミュニケーション・フランス語 E	2	第2学期	第3,4ターム	月	3	演習	M. 湊元	非常勤講師	71	03
15	コア	A	230G1527	コミュニケーション・フランス語 F	2	第2学期	第3,4ターム	火	3	演習	M. 湊元	非常勤講師	71	03
16	コア	A	230G1528	コミュニケーション・フランス語 G	2	第2学期	第3,4ターム	金	3	演習	M. カルトロン	非常勤講師	71	03
17	コア	A	230G1529	コミュニケーション・フランス語 H	2	第2学期	第3,4ターム	木	1	演習	N. ドーフアン	非常勤講師	71	03
18	コア	A	230G1080	コミュニケーション・フランス語 I	2	第1学期	第1,2ターム	木	4	演習	金子 麻里	非常勤講師	71	03
19	コア	B	休講	フランス言語文化海外研修	2					演習			75	03
20	コア	B※		海外研修						実習			71	04
21	関連	A	230H2098	西洋言語文化研究法 D	2	第1学期	第1,2ターム	水	2	実習	田邊 恵子	人文社会科学系 (人文)	71	04
22	関連	A	230H3020	フランス言語文化基礎演習 A	2	第1学期	第1,2ターム	火	3	演習	逸見 龍生	人文社会科学系 (人文)	29	13
23	関連	A	230H3021	フランス言語文化基礎演習 B	2	第2学期	第3,4ターム	金	2	演習	津森 圭一	人文社会科学系 (人文)	30	13
24	関連	A	234H2085	フランス言語文化概説 A	2	第2学期	第3ターム	火	3,4	講義	逸見 龍生	人文社会科学系 (人文)	29	03
25	関連	A	230H2086	フランス言語文化概説 B	2	第1学期	集中	-	-	講義	石野 好一	人文社会科学系 (人文)	30	03
26	関連	B	234H4056	フランス文芸論	2	第2学期	第4ターム	火	3,4	講義	逸見 龍生	人文社会科学系 (人文)	29	04
27	関連	B	230G1082	フランス語セミナー A	2	第1学期	第1,2ターム	木	3	演習	N. ドーフアン	非常勤講師	71	03
28	関連	B	230G1532	フランス語セミナー B	2	第2学期	第3,4ターム	木	3	演習	N. ドーフアン	非常勤講師	71	04
29	関連	B	休講	フランス言語文化論 C	2					講義			30	03
30	関連	B	230H5099	フランス言語文化演習	2	第1学期	集中	-	-	演習	増田 都希	非常勤講師	29	03
31	関連	B	230H5100	フランス言語文化演習	2	第1学期	集中	-	-	演習	石野 好一	非常勤講師	29	03
32	関連	B	230H5101	フランス言語文化演習	2	第1学期	第1,2ターム	火	5	演習	逸見 龍生	人文社会科学系 (人文)	29	03
33	関連	B	230H5102	フランス言語文化演習	2	第2学期	第3,4ターム	金	4	演習	津森 圭一	人文社会科学系 (人文)	29	03
34	関連	B	230H4064	フランス言語文化論 A	2	第1学期	第1,2ターム	金	2	講義	津森 圭一	人文社会科学系 (人文)	29	03
35	関連	B	230H4065	フランス言語文化論 B	2	第2学期	第3,4ターム	木	4	講義	津森 圭一	人文社会科学系 (人文)	29	04
36	関連	B	休講	表現文化論演習	2					演習			10	14
37	関連		休講	現代文化論概説	2					講義			10,29	03
38	関連		230K0321	フランス語科教育法 I	2	第1学期	第1,2ターム	木	3	講義	津森 圭一	人文社会科学系 (人文)	40	23
39	関連		休講 (隔年開講)	フランス語科教育法 II	2					講義			40	23
40	関連		休講 (隔年開講)	フランス語科教育法 III	2					講義			40	23
41	関連		230K0324	フランス語科教育法 IV	2	第2学期	第3,4ターム	水	3	講義	逸見 龍生	人文社会科学系 (人文)	40	23

■プログラムの名称 「外国語（コリア）」

授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、**必ず連絡前**にプログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。詳細は別途学務情報システムから通知します。

属性区分 R：必修科目 / A：朝鮮語運用能力開発のための科目 / B：幅広くコリアを理解するための科目 / C：コリアに関する専門科目

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	23009012	コリア学入門【入門科目】	1	第1学期	第1,2ターム	木	HT	演習	藤石 貴代	人文社会科学系(人文)	71	03
2	コア	R	23009013	国際交流	2	第1学期	集中	-	-	演習	藤石 貴代	人文社会科学系(人文)	71	03
3	コア	A	(全科目)	外国語ベーシック I (朝鮮語)	1					講義			71	03
4	コア	A	(全科目)	朝鮮語ベーシック II	3					演習			71	03
5	コア	A	(全科目)	朝鮮語スタンダード IA	1.5					演習			71	03
6	コア	A	(全科目)	朝鮮語スタンダード IB	1.5					演習			71	03
7	コア	A	(全科目)	朝鮮語スタンダード II	3					演習			71	03
8	コア	A	(全科目)	朝鮮語インテンシブ IA	2					演習			71	03
9	コア	A	(全科目)	朝鮮語インテンシブ IB	2					演習			71	03
10	コア	A	(全科目)	朝鮮語インテンシブ II	4					演習			71	03
11	コア	A	休講	コミュニケーション・朝鮮語A	2					演習			71	03
12	コア	A	休講	コミュニケーション・朝鮮語B	2					演習			71	03
13	コア	A	休講	コミュニケーション・朝鮮語C	2					演習			71	03
14	コア	A	休講	コミュニケーション・朝鮮語D	2					演習			71	03
15	コア	A	23061129	コミュニケーション・朝鮮語E	2	第1学期	第1,2ターム	金	1	演習	権 英秀	非常勤講師	71	03
16	コア	A	23061130	コミュニケーション・朝鮮語F	2	第1学期	第1,2ターム	月	3	演習	権 英秀	非常勤講師	71	03
17	コア	A	23061566	コミュニケーション・朝鮮語G	2	第2学期	第3,4ターム	水	3	演習	李 垠姪	非常勤講師	71	03
18	コア	A	23061131	コミュニケーション・朝鮮語X	2	第1学期	第1,2ターム	月	2	演習	権 英秀	非常勤講師	71	03
19	コア	A	休講	朝鮮語セミナーA	2					演習			71	04
20	コア	A	休講	朝鮮語セミナーB	2					演習			71	04
21	コア	A	休講	朝鮮語セミナーC	2					演習			71	04
22	コア	A	休講	朝鮮語セミナーD	2					演習			71	04
23	コア	A	23061132	朝鮮語セミナーE	2	第1学期	第1,2ターム	月	1	演習	権 英秀	非常勤講師	71	04
24	コア	A	23061567	朝鮮語セミナーF	2	第2学期	第3,4ターム	金	1	演習	権 英秀	非常勤講師	71	04
25	コア	A	23067523	朝鮮語オプショナルB	2	第2学期	第3,4ターム	火	3	演習	川西 裕也	人文社会科学系(院現社)	71	03
26	コア	C	23063953	韓国サマースクールI	2	第1学期	集中	-	-	演習	藤石 貴代	人文社会科学系(人文)	71,75	03
27	コア	C	23063954	韓国サマースクールII	2	第1学期	集中	-	-	演習	藤石 貴代	人文社会科学系(人文)	71,75	03
28	コア	C	23063955	韓国サマースクールIII	2	第1学期	集中	-	-	演習	藤石 貴代	人文社会科学系(人文)	71,75	03
29	コア	C※		海外研修						実習			71	04
30	コア	C	23167002	歴史学I	2	第1学期	第1ターム	火	3,4	講義	川西 裕也	人文社会科学系(院現社)	31	03
31	コア	C	23067042	歴史学Q	2	第2学期	第3ターム	火,金	4	講義	山内 民博	人文社会科学系(人文)	31	03
32	コア	C	休講(隔年開講)	アジア歴史文化論B	2					講義			31	04
33	コア	C	休講(隔年開講)	アジア史実習A	2					実習			31	13
34	コア	C	230H2065	アジア史実習C	2	第1学期	第1,2ターム	月	4	実習	村上 正和	人文社会科学系(人文)	31	13
35	コア	C	233H9210	アジア史概説A	2	第2学期	第3ターム	月,木	3	講義	山内 民博	人文社会科学系(人文)	31	03
36	コア	C	233H2038	アジア史概説	2	第2学期	第3ターム	月,木	3	講義	山内 民博	人文社会科学系(人文)	31	03
37	コア	C	休講(隔年開講)	アジア史概説B	2					講義			31	03
38	コア	C	230H2076	アジア言語文化概説A	2	第2学期	集中	-	-	演習	趙 義成	非常勤講師	29	03
39	コア	C	231H4040	朝鮮社会論	2	第1学期	第1ターム	火,金	3	講義	山内 民博	人文社会科学系(人文)	31	04
40	コア	C	休講	アジア言語文化研究法A	2					講義			30	13
41	コア	C	230H2094	アジア言語文化研究法B	2	第2学期	第3,4ターム	木	5	講義	藤石 貴代	人文社会科学系(人文)	30	13
42	コア	C	230H4053	朝鮮言語文化論	2	第2学期	第3,4ターム	火	4	講義	藤石 貴代	人文社会科学系(人文)	29	04
43	関連	B	233H1005	言語文化学入門A	2	第2学期	第3ターム	月,木	4	講義	三ッ井 正孝	人文社会科学系(人文)	29	03
44			233H9103	日本・アジア言語文化入門	2	第2学期	第3ターム	月,木	4	講義	三ッ井 正孝	人文社会科学系(人文)	29	03

45	関連	B	230H1004	社会文化学入門B	2	第2学期	第3,4ターム	火	5	講義	高橋 康浩	人文社会科学系(人文)	31	03
46			230H9102	歴史文化学入門	2	第2学期	第3,4ターム	火	5	講義	高橋 康浩	人文社会科学系(人文)	31	03
47	関連	B	230K5604	外国史A	2	第1学期	第1,2ターム	木	5	講義	吉澤 文寿	非常勤講師	31	04
48	関連	B	休講	グローバルコミュニケーションC	2					講義			75	03
49	関連	B	232G3224	アクティブラーニングB	1	第1学期	第2ターム	水	1	講義	池田 英喜	教育基盤機構	75	03
50	関連	B	234G3732	アクティブラーニングB	1	第2学期	第4ターム	水	1	講義	池田 英喜	教育基盤機構	75	03
51	関連	B	230G7037	日本語教育I-A	2	第1学期	第1,2ターム	月	3	講義	池田 英喜	教育基盤機構	30	03
52	関連	B	233G3721	アクティブラーニングC	1	第2学期	第3ターム	水	2	講義	センビリング 愛	非常勤講師	75	03
53	関連	B	休講	共生社会論A	1					講義			75	03
54	関連	B	休講	共生社会論B	1					講義			75	03
55	関連	B	231G3221	多文化間共修C	1	第1学期	第1ターム	金	2	演習	センビリング 愛	非常勤講師	75	03
56	関連	B	232G3231	多文化間共修C	1	第1学期	第2ターム	金	2	演習	センビリング 愛	非常勤講師	75	03
57	関連	B	233G3727	多文化間共修C	1	第2学期	第3ターム	金	2	演習	センビリング 愛	非常勤講師	75	03
58	関連	B	234G3736	多文化間共修C	1	第2学期	第4ターム	金	2	演習	センビリング 愛	非常勤講師	75	03
59	関連	B	230G3235	平和を考えるA	2	第1学期	第1,2ターム	水	3	講義	藤石 貴代	人文社会科学系(人文)	75	03
60	関連	B	230G3740	平和を考えるB	2	第2学期	第3,4ターム	水	3	講義	粟生田 忠雄	自然科学系(農)	75	03
61	関連	B	230G3936	平和と現代のグローバル安全保障論	2	第1学期	集中	-	-	講義	高橋 敏哉	非常勤講師	75	04
62	関連	B	230G3948	開発・環境と平和	2	第1学期	集中	-	-	講義	蓮井 誠一郎	非常勤講師	75	04
63	関連	B	233G3713	平和学概論	2	第2学期	第3ターム	金	4,5	講義	山田 裕史	非常勤講師	35	03
64	関連	B	234L3611	アジア政治外交史/政治社会学	2	第2学期	第4ターム	月	3,4	講義	真水 康樹	人文社会科学系(法)	35	03
65	関連	B	230L3610	国際関係論	2	第1学期	第1,2ターム	水	1	講義	神田 豊隆	人文社会科学系(経済)	35	03
66	関連	B	231L3308	国際法/国際法概論	2	第1学期	第1ターム	火	1,2	講義	渡辺 豊	人文社会科学系(法)	34	03

■プログラムの名称 「外国語（ロシア語）」

授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※H-T（オナーズ・タイム）：11時55分～12時45分

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、**必ず渡航前に**プログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。詳細は別途学務情報システムから通知します。

属性区分 R：必修科目 / R★：選択必修科目 / A：初歩的科目

(*)「比較経済体制論」および「ロシア経済論」は、それぞれ重複して履修することはできません。

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	230Q9014	ロシア学研究法【入門科目】	1	第1学期	第1,2ターム	水	HT	演習	番場 俊	人文社会科学系（経済）	71	03
2	コア	A	(全科目)	外国語ベーシック I（ロシア語）	1					演習			71	03
3	コア	A	(全科目)	ロシア語ベーシック II	3					演習			71	03
4	コア	A	230G1090	ロシア語ベーシックプラスA	2	第1学期	第1,2ターム	金	5	演習	番場 俊	人文社会科学系（経済）	71	03
5	コア	A	230G1536	ロシア語ベーシックプラスB	2	第2学期	第3,4ターム	水	2	演習	番場 俊	人文社会科学系（経済）	71	03
6	コア	A	(全科目)	ロシア語スタンダードIA, IB	3					演習			71	03
7	コア	A	(全科目)	ロシア語スタンダードII	3					演習			71	03
8	コア	A	(全科目)	ロシア語インテンシブIA, IB	4					演習			71	03
9	コア	A	(全科目)	ロシア語インテンシブII	4					演習			71	03
10	コア	A (夜間主)	休講	初級ロシア語 I-1	1					演習			71	03
11	コア	A (夜間主)	休講	初級ロシア語 I-2	1					演習			71	03
12	コア	A (夜間主)	休講	初級ロシア語 II-1	1					演習			71	03
13	コア	A (夜間主)	休講	初級ロシア語 II-2	1					演習			71	03
14	コア		230G1087	コミュニケーション・ロシア語A	2	第1学期	第1,2ターム	水	3	演習	V. ポロニエバ	非常勤講師	71	03
15	コア		230G1088	コミュニケーション・ロシア語B	2	第1学期	第1,2ターム	木	3	演習	富山 栄子	非常勤講師	71	03
16	コア		230G1537	コミュニケーション・ロシア語C	2	第2学期	第3,4ターム	木	3	演習	富山 栄子	非常勤講師	71	03
17	コア		230G1089	ロシア語セミナーA	2	第1学期	第1,2ターム	水	4	演習	山川 詩保子	教育基盤機構	71	04
18	コア		230G1538	ロシア語セミナーB	2	第2学期	第3,4ターム	水	4	演習	V. ポロニエバ	非常勤講師	71	04
19	コア		230H3022	ロシア言語文化基礎演習A	2	第1学期	第1,2ターム	木	2	演習	齋藤 陽一	非常勤講師	29	13
20	コア		230H3023	ロシア言語文化基礎演習B	2	第2学期	第3,4ターム	水	3	演習	鈴木 正美	人文社会科学系（人文）	30	13
21	コア		休講（隔年開講）	西洋言語文化研究法E	2					講義			29	13
22	コア		230H2088	ロシア言語文化概説A	2	第1学期	第1,2ターム	火	5	講義	鈴木 正美	人文社会科学系（人文）	29	03
23	コア		230H2089	ロシア言語文化概説B	2	第1学期	集中	-	-	講義	菱山 湧人	非常勤講師	30	03
24	関連	※		海外研修						実習			71	04
25	関連		233G7510	文学D	2	第2学期	第3,4ターム	水	4	講義	番場 俊	人文社会科学系（経済）	29	03
26	関連		休講	西洋文化研究演習B	2					演習			29	03
27	関連	R★	230H5103	ロシア言語文化演習	2	第1学期	第1,2ターム	火	4	演習	齋藤 陽一	非常勤講師	29	14
28	関連	R★	230H5104	ロシア言語文化演習	2	第1学期	第1,2ターム	金	3	演習	鈴木 正美	人文社会科学系（人文）	29	14
29	関連	R★	230H5105	ロシア言語文化演習	2	第2学期	第3,4ターム	火	4	演習	齋藤 陽一	非常勤講師	29	14
30	関連	R★	230H5106	ロシア言語文化演習	2	第2学期	第3,4ターム	金	3	演習	鈴木 正美	人文社会科学系（人文）	29	14
31	関連		230H4057	ロシア文芸論	2	第2学期	第3,4ターム	月	5	講義	鈴木 正美	人文社会科学系（人文）	29	04
32	関連		230H4066	ロシア言語文化論A	2	第1学期	第1,2ターム	月	5	講義	鈴木 正美	人文社会科学系（人文）	29	04
33	関連		230H4067	ロシア言語文化論B	2	第1学期	集中	-	-	講義	梅津 紀雄	非常勤講師	29	04
34	関連		休講（隔年開講）	ロシア言語文化論C	2					講義			30	04
35	関連		231E6066	比較経済体制論(*)	2	第1学期	第1ターム	月,木	3	講義	道上 真有	人文社会科学系（経済）	36	04
36		(夜間主)	230E5048	比較経済体制論(*)	2	第1学期	第1,2ターム	他	-	講義	道上 真有	人文社会科学系（経済）	36	04
37	関連		232E6065	ロシア経済論(*)	2	第1学期	第2ターム	月,木	3	講義	道上 真有	人文社会科学系（経済）	36	04
38		(夜間主)	230E5044	ロシア経済論(*)	2	第2学期	第3,4ターム	他	-	講義	道上 真有	人文社会科学系（経済）	36	04

■プログラムの名称 「外国語（中国語）」

授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、**必ず進航前**にプログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、副専攻認定申請期間中です。詳細は別途学務情報システムから通知します。

属性区分 R：必修科目 / A：中級レベル / B：上級レベル

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	230Q9015	中国学研究法【入門科目】	1	第1学期	第1,2ターム	水	HT	講義	土屋 太祐	人文社会科学系（経済）	71	03
2	コア		(全科目)	外国語ベーシックⅠ(中国語)	1								71	03
3	コア		(全科目)	中国語インテンシブⅠ	4								71	03
4	コア		(全科目)	中国語インテンシブⅡ	4								71	03
5	コア		(全科目)	中国語スタンダードⅠ	3								71	03
6	コア		(全科目)	中国語スタンダードⅡ	3								71	03
7	コア		(全科目)	中国語ベーシックⅡ	3								71	03
8	コア	A	230G1120	中国語ベーシックプラスA	2	第1学期	第1,2ターム	火	4	演習	姜 杰裕	非常勤講師	71	03
9	コア	A	230G1552	中国語ベーシックプラスB	2	第2学期	第3,4ターム	火	4	演習	姜 杰裕	非常勤講師	71	03
10	コア	A	230G1113	コミュニケーション・中国語A	2	第1学期	第1,2ターム	月	2	演習	詹 秀娟	人文社会科学系（人文）	71	03
11	コア	A	230G1114	コミュニケーション・中国語B	2	第1学期	第1,2ターム	水	3	演習	応 雋	非常勤講師	71	03
12	コア	A	230G1115	コミュニケーション・中国語C	2	第1学期	第1,2ターム	火	2	演習	龍 清濤	人文社会科学系（人文）	71	03
13	コア	A	230G1553	コミュニケーション・中国語D	2	第2学期	第3,4ターム	月	2	演習	詹 秀娟	人文社会科学系（人文）	71	03
14	コア	A	230G1554	コミュニケーション・中国語E	2	第2学期	第3,4ターム	火	2	演習	未定	未定	71	03
15	コア	A	230G1555	コミュニケーション・中国語F	2	第2学期	第3,4ターム	水	4	演習	応 雋	非常勤講師	71	03
16	コア	A	休講	コミュニケーション・中国語G	2					演習			71	03
17	コア	A	休講	コミュニケーション・中国語H	2					演習			71	03
18	コア	A	230G1116	コミュニケーション・中国語J	2	第1学期	第1,2ターム	木	3	演習	伊 美蓮	人文社会科学系（経済）	71	03
19	コア	A	230G1556	コミュニケーション・中国語K	2	第2学期	第3,4ターム	木	3	演習	伊 美蓮	人文社会科学系（経済）	71	03
20	コア	A	230G1117	コミュニケーション・中国語M	2	第1学期	第1,2ターム	金	2	演習	姜 杰裕	非常勤講師	71	03
21	コア	B	230G1118	中国語セミナーA	2	第1学期	第1,2ターム	水	3	演習	斯日 古楞	非常勤講師	71	04
22	コア	B	230G1119	中国語セミナーB	2	第1学期	第1,2ターム	木	4	演習	龍 清濤	人文社会科学系（人文）	71	04
23	コア	B	230G1558	中国語セミナーC	2	第2学期	第3,4ターム	水	3	演習	斯日 古楞	非常勤講師	71	04
24	コア	B	230G1559	中国語セミナーD	2	第2学期	第3,4ターム	木	4	演習	未定	未定	71	04
25	コア	B	休講（隔年開講）	中国語セミナーE	2					演習			71	04
26	コア	B	休講（隔年開講）	中国語セミナーF	2					演習			71	04
27	コア	B	休講	中国語セミナーI	2					演習			71	04
28	コア	B	休講（隔年開講）	中国語セミナーG	2					演習			71	04
29	コア	B	休講（隔年開講）	中国語セミナーH	2					演習			71	04
30	コア	B	休講	中国語セミナーJ	2					演習			71	04
31	コア	B	休講（隔年開講）	中国語セミナーN	2					演習			71	04
32	コア	※		海外研修						実習			71	04
33	コア	B	230G1557	上海語演習	2	第2学期	第3,4ターム	水	3	演習	応 雋	非常勤講師	71	04
34	コア	A	232G3233	中国留学準備講座 サマーセミナー中国入門	1	第1学期	第2ターム	火	3	講義	干野 真一	人文社会科学系（人文）	75	03
35	コア	A	230H2076	アジア言語文化概説A	2	第1学期	集中	-	-	講義	趙 義成	非常勤講師	29	03
36	コア	B	230H2078	アジア言語文化概説B	2	第2学期	第3,4ターム	火	4	講義	干野 真一	人文社会科学系（人文）	29	03
37	コア	B	230H2095	アジア言語文化概説B	2	第1学期	第1,2ターム	火	4	講義	干野 真一	人文社会科学系（人文）	30	13
38	コア	B	休講（隔年開講）	アジア言語文化論A	2					講義			29	04
39	コア	B	230H4050	アジア言語文化論B	2	第1学期	第1,2ターム	金	2	講義	龍 清濤	人文社会科学系（人文）	29	04
40	コア	B	休講（隔年開講）	中国言語文化論A	2					講義			29	04
41	コア	B	230H4051	中国言語文化論B	2	第2学期	第3,4ターム	月	3	講義	干野 真一	人文社会科学系（人文）	29	04
42	コア	A	休講	外書講読Ⅰ	2					講義			36	04
43	コア	A	230E6240	外国語文献講読Ⅰ	2	第2学期	第3,4ターム	水	2	講義	伊 美蓮	人文社会科学系（経済）	70	13
44	コア	B	233E1075	外書講読Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	火、金	1	講義	溝口 由己	人文社会科学系（経済）	36	04

45	関連	230H3014	アジア言語文化基礎演習	2	第1学期	第1,2ターム	木	3	演習	小島 明子	人文社会科学系(人文)	29	13
46	関連	230H2079	アジア言語文化概説C	2	第1学期	第1,2ターム	月	4	講義	小島 明子	人文社会科学系(人文)	29	03
47	関連	休講(隔年開講)	中国文芸文化論A	2					講義			29,30	04
48	関連	230H4052	中国文芸文化論B	2	第2学期	第3,4ターム	木	2	講義	小島 明子	人文社会科学系(人文)	29,30	04
49	関連	休講	中国思想文化論	2					講義			29	04
50	関連	休講	日本・アジア言語文化入門(2017~2019年度入学者用)	2					講義			29	03
51	関連	休講	アジア歴史文化論A	2					講義			31	04
52	関連	休講(隔年開講)	アジア史実習A	1					実習			31	13
53	関連	休講(隔年開講)	アジア史実習B	1					実習			31	13
54	関連	233H9210	アジア史概説A	2	第2学期	第3ターム	月,木	3	講義	山内 民博	人文社会科学系(人文)	31	03
55	関連	休講(隔年開講)	東アジア文化圏論	2					講義			31	04
56	関連	232H4039	環東アジア社会論	2	第1学期	第2ターム	月	3,4	講義	村上 正和	人文社会科学系(人文)	31	14
57	関連	231L3613	中国政治入門	2	第1学期	第1ターム	火	3,4	講義	章 民	人文社会科学系(法)	35	03
58	関連	休講	中国政治史	2					講義			35	03
59	関連	234L3611	アジア政治外交史	2	第2学期	第4ターム	月	3,4	講義	真水 康樹	人文社会科学系(法)	35	03
60	関連	休講	Introduction to Japanese Politics and Diplomacy, Basic/Introduction to Japanese Politics Basic	2					講義			35	03
61	関連	232L3606	領域関連特殊講義(中国政治基礎)	2	第1学期	第2ターム	月	1,2	講義	真水 康樹	人文社会科学系(法)	35	03
62	関連	232L3612	領域関連特殊講義(East Asian Studies, Basic)	2	第1学期	第2ターム	火	1,2	講義	真水 康樹	人文社会科学系(法)	35	03
63	関連	232L3614	領域関連特殊講義(現代中国政治入門)	2	第1学期	第2ターム	火	3,4	講義	章 民	人文社会科学系(法)	35	03
64	関連	233L3607	領域関連特殊講義(中国外交基礎)	2	第2学期	第3ターム	火	3,4	講義	未定	未定	35	03
65	関連	234L3608	領域関連特殊講義(中国外交入門)	2	第2学期	第4ターム	火	3,4	講義	未定	未定	35	03
66	関連	231E6072	アジア経済論II	2	第1学期	第1ターム	火,金	1	講義	溝口 由己	人文社会科学系(経済)	36	04
67	関連	休講(隔年開講)	アジア経済論I	2					講義			36	04
68	関連	231E1087	異文化論	2	第1学期	第2ターム	月	3,4	講義	土屋 太祐	人文社会科学系(経済)	36	04
69	関連	休講(隔年開講)	文化社会論基礎	2					講義	土屋 太祐	人文社会科学系(経済)	36	04
70	関連	231E6225	比較宗教論	2	第1学期	第2ターム	月	3,4	講義	土屋 太祐	人文社会科学系(経済)	28	04
71	関連	230K5439	漢文学講義I	2	第2学期	第3,4ターム	金	4	講義	角谷 聡	人文社会科学系(教育)	29	04
72	関連	休講(隔年開講)	漢文学講義II	2					講義			29	04

令和3（2021）年度以前の入学者のみ
修了認定可能なプログラム

【重要】本プログラムは、2022年度以降入学者（3年次編入生は2023年度以降入学者）は認定の対象となりませんので、ご注意ください。

■プログラムの名称 「地域学」

授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目 / A：選択必修科目

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	230Q9016	地域学序説入門【入門科目】	1	第1学期	第1,2ターム	木	HT	講義	原直史	人文社会科学系(人文)	99	03
2	コア	R	230Q9017	地域学実習	2	第1学期	不定期開講	-	-	実習	原直史	人文社会科学系(人文)	99	04
3	コア	R	230Q9018	地域学演習	2	第2学期	第3,4ターム	木	HT	演習	原直史	人文社会科学系(人文)	99	04
4	コア		233G3701	新潟の農林業	2	第2学期	第3ターム	火,金	1	講義	韓東生	自然科学系(農)	75	03
5	コア		234G3703	土と水	2	第2学期	第4ターム	火,金	2	講義	吉川夏樹	自然科学系(農)	75	03
6	コア		休講	比較地域社会学	2					講義			75	03
7	コア		230G3212	地域から文化を考える	2	第1学期	第1,2ターム	月	5	講義・実習	中村元	人文社会科学系(人文)	75	03
8	コア		230G3706	地域を探る	2	第2学期	第3,4ターム	水	3	講義	原直史	人文社会科学系(人文)	75	03
9	コア		233G3716	トキをシンボルとした自然再生	2	第2学期	第3ターム	月,木	4	講義	永田尚志	佐渡自然共生科学センター	75	03
10	コア		230G3939	朱鷺・自然再生フィールドワーク	1	第1学期	集中	-	-	実習	永田尚志	佐渡自然共生科学センター	75	03
11	コア		230H9101	社会・地域文化学入門	2	第2学期	第3,4ターム	木	5	講義	堀健彦	人文社会科学系(人文)	31	03
12	コア		休講	歴史文化学入門A	2					講義			31	03
13	コア		休講	歴史文化学入門B	2					講義			31	03
14	コア		230H9102	歴史文化学入門	2	第2学期	第3,4ターム	火	5	講義	高橋康浩	人文社会科学系(人文)	31	03
15	コア		230H1003	社会文化学入門A	2	第2学期	第3,4ターム	木	5	講義	堀健彦	人文社会科学系(人文)	31	03
16	コア		230H1004	社会文化学入門B	2	第2学期	第3,4ターム	火	5	講義	高橋康浩	人文社会科学系(人文)	31	03
17	コア		233H9206	地誌学概説A	2	第2学期	第3ターム	金	3,4	講義	堀健彦	人文社会科学系(人文)	33	03
18	コア		休講(隔年開講)	地誌学概説B	2					講義			33	03
19	コア		233H2028	地誌学概説	2	第2学期	第3ターム	金	3,4	講義	堀健彦	人文社会科学系(人文)	33	03
20	コア		230G3704	近世越後諸地域の歴史と社会	2	第2学期	第3,4ターム	水	5	講義	原直史	人文社会科学系(人文)	75	03
21	コア		230G3712	新潟での企業理念と経営戦略	2	第2学期	第3,4ターム	金	2	講義	樋口健	教育基盤機構	16	03
22	コア		230G3911	新潟産業フィールドワーク	4	第1学期	集中	-	-	講義・演習	石本貴之	非常勤講師	75,74	01
23	コア		230G3910	新潟産業フィールドワーク・オンライン	2	第1学期	集中	-	-	講義・演習	石本貴之	非常勤講師	75,74	01
24	コア		休講	新潟地域研究	2					講義			75	03
25	コア		230G3202	日本酒学A-1	2	第1学期	第1,2ターム	水	4	講義	岸保行		75	03
26	コア		230G3912	日本酒学B	1	第1学期	集中	-	-	講義	柿原嘉人	医歯学系(歯)	75	03
27	コア		230G3210	ボランティア開発論I	2	第1学期	第1,2ターム	金	5	講義	雲尾周	人文社会科学系(教育)	75	03
28	コア		230G3710	ボランティア開発論II	2	第2学期	第3,4ターム	金	5	講義	雲尾周	人文社会科学系(教育)	75	03
29	コア		230G3211	コミュニティ開発論I	2	第1学期	第1,2ターム	金	6	講義	雲尾周	人文社会科学系(教育)	75	03
30	コア		230G3711	コミュニティ開発論II	2	第2学期	第3,4ターム	金	6	講義	雲尾周	人文社会科学系(教育)	75	03
31	コア		230G3978	新潟の企業の魅力を探る	1	第2学期	集中	-	-	講義	高澤陽二郎	教育基盤機構	75	03
32	コア		休講	地元学入門	2					演習・実習			77	03
33	コア		休講	新潟中小企業魅力発信演習	1					実習			37	03
34	関連		232T0434	都市計画学I	2	第1学期	第2ターム	火,金	4	講義	岡崎篤行	自然科学系(工)	53	03
35	関連		231T0441	日本建築史	2	第1学期	第1ターム	火,金	2	講義	黒野弘靖	自然科学系(工)	53	04
36	関連		233T0414	建築計画学I	2	第2学期	第3ターム	火,金	2	講義	黒野弘靖	自然科学系(工)	53	03
37	関連		休講	日本史概説A	2					講義			31	03
38	関連		休講(隔年開講)	日本史概説B	2					講義			31	03
39	関連		231H9209	日本史概説C	2	第1学期	第1ターム	火,金	2	講義	中村元	人文社会科学系(人文)	31	03
40	関連		休講(隔年開講)	日本史概説D	2					講義			31	03
41	関連		231H2035	日本史概説	2	第1学期	第1ターム	火,金	2	講義	中村元	人文社会科学系(人文)	31	03

■プログラムの名称 「GIS（地理情報システム）リテラシー」

授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 A：人文社会・教育学系科目 / B：自然科学系・災害復興科学センター科目 / C：医学系科目 / D：全学横断的内容

R1：必修科目① / R2：必修科目②

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R1	23009019	副専攻GISリテラシー入門【入門科目】	1	第1学期	集中	-	-	演習	奈良間 千之	自然科学系（理）	75	03
2	コア	R1	23063946	地理情報システム（GIS）概論・演習	2	第1学期	集中	-	-	演習	村上 拓彦	自然科学系（農）	75	03
3	コア	R1	23063968	地理情報システム（GIS）概論・応用演習	2	第2学期	集中	-	-	演習	奈良間 千之	自然科学系（理）	75	03
4	コア	R1	23009020	研究プロジェクト演習	1	第2学期	第3,4ターム	時間外	-	演習	奈良間 千之	自然科学系（理）	75	03
5	コア	R2	231H2041	社会調査法A	2	第1学期	第1ターム	金	3,4	講義	杉原 名穂子	人文社会科学系（人文）	38	13
6	コア	R2	232H2042	社会調査法B	2	第1学期	第2ターム	金	3,4	講義	伊藤 嘉高	人文社会科学系（人文）	38	13
7	コア	A	230H2053	地理学実習A	1	第1学期	第1,2ターム	木	2	実習	堀 健彦	人文社会科学系（人文）	32	13
8	コア	A	231H2022	社会解析論	2	第1学期	第1ターム	木	1,2	講義	松井 克浩	人文社会科学系（人文）	38	03
9	コア	A	休講（隔年開講）	社会調査概説	2					講義			38	03
10	コア	B	231S6525	自然環境科学実験A1	2	第1学期	第1ターム	月,木	3,4	実験	奈良間 千之	自然科学系（理）	44	14
11	コア	B	231S7536	地形解析実習	2	第1学期	第1ターム	月,木	3,4	実験	奈良間 千之	自然科学系（理）	44	14
12	コア	B	230S6526	自然環境科学実験A2	2	第1学期	第1,2ターム	火	4	実験	本田 明治	自然科学系（理）	44	14
13	コア	B	230S7537	気象解析実習	2	第1学期	第1,2ターム	火	4	実験	本田 明治	自然科学系（理）	44	14
14	コア	B	233S6510	寒冷地形学	2	第2学期	第3ターム	月,木	3	講義	奈良間 千之	自然科学系（理）	44	04,05
15	コア	B	233A0063	流域環境GIS	2	第2学期	第3ターム	火,金	2	講義	村上 拓彦	自然科学系（農）	62,65	03
16	コア	B	232A0075	リモートセンシング	2	第1学期	第2ターム	木	3,4	講義	村上 拓彦	自然科学系（農）	62,65	04
17	コア	B	231A0060	環境砂防学	2	第1学期	第1ターム	火,金	4	講義	権田 豊	自然科学系（農）	62	04
18	コア	B	234A0081	GIS・リモートセンシング演習	2	第2学期	第4ターム	月,木	3,4	演習	村上 拓彦	自然科学系（農）	62,65	14
19	関連	A	230H2054	地理学実習B	1	第2学期	第3,4ターム	木	2	実習	堀 健彦	人文社会科学系（人文）	32	13
20	関連	A	230H2055	地理学実習C	1	第1学期	不定期開講	-	-	実習	堀 健彦	人文社会科学系（人文）	32	13
21	関連	A	230H2056	地理学実習D	1	第1学期	不定期開講	-	-	実習	堀 健彦	人文社会科学系（人文）	32	13
22	関連	A	230K5606	人文地理学	2	第1学期	第1,2ターム	水	4	講義	前田 洋介	人文社会科学系（教育）	32	04
23	関連	A	230K5715	地理学特講III	2	第1学期	第1,2ターム	月	3	講義	前田 洋介	人文社会科学系（教育）	32	04
24	関連	A	230K5653	地理学特講IV	2	第2学期	第3,4ターム	月	3	講義	前田 洋介	人文社会科学系（教育）	32	04
25	関連	B	230S6521	環境経済システム論I	2	第1学期	集中	-	-	講義	房 文慧	非常勤講師	36	04
26	関連	B	234S6502	地形学	2	第2学期	第4ターム	月,木	4	講義	奈良間 千之	自然科学系（理）	44	04,03
27	関連	B	231S0581	環境気象学	2	第1学期	第1ターム	火,金	3	講義	本田 明治	自然科学系（理）	44	04
28	関連	B	234G6519	地球と気象	2	第2学期	第4ターム	火,金	4	講義	本田 明治	自然科学系（理）	44	03
29	関連	B	休講	可視化学	2					講義			50	04
30	関連	B	232T0434	都市計画学I	2	第1学期	第2ターム	火,金	4	講義	岡崎 篤行	自然科学系（工）	53	03
31	関連	B	234T0435	都市計画学II	2	第2学期	第4ターム	火,金	4	講義	岡崎 篤行	自然科学系（工）	53	04
32	関連	C	230G8003	医学序説 I	2	第1学期	第1,2ターム	木	3	講義	医学科学務委員会	医学系（院医）	81	03
33	関連	C	234G8503	医学序説 II	2	第2学期	第3,4ターム	月	4	講義	医学科学務委員会	医学系（院医）	81	03
34	関連	C	230G8002	先端医学科学研究概説	2	第1学期	第1,2ターム	月	5	講義	神吉 智文	医学系（院医）	80	03

令和3（2021）年度以前の入学者のみ 修了認定可能なプログラム

【重要】本プログラムは、2022年度以降入学者（3年次編入生は2023年度以降入学者）は認定の対象となりませんので、ご注意ください。

■プログラムの名称 「法律学」

授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分

R1：法学一般の基礎を養うための選択必修科目／R2：専攻領域ごとに法学の応用力を養うための必修科目

A：公法系の基礎科目／B：民法法系の基礎科目／C：刑事法系の基礎科目

※令和3（2021）年度において教育学部開講の「社会学」を履修した者に限り、法学部開講の「社会学」に代えて副専攻「法律学」の科目とすることができます。

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R1	23167070	人文社会科学入門（法学）	2	第1学期	第1ターム	水	3, 4	講義	山本 真歌	人文社会科学系（法）	34	11
2	コア	R1	23267074	リーガル・システム	2	第1学期	第2ターム	月, 木	4	講義	内田 千秋	人文社会科学系（法）	35	03
3	コア	R2		法政演習 I	2					演習			34	14
4	コア	R2		法政演習 II	2					演習			34	14
5	コア	R2		卒業研究 I	2					演習			35, 77	15
6	コア	R2		卒業研究 II	2					演習			35, 77	15
7	コア	A	233L3001	憲法 I（人権各論）	2	第2学期	第3ターム	木	1, 2	講義	上村 都	人文社会科学系（法）	34	03
8	コア	A	231L3002	憲法 II（統治機構論）	2	第1学期	第1ターム	他	-	講義	栗田 佳泰	人文社会科学系（法）	34	04
9	コア	A	232L3003	憲法 III（憲法総論・人権総論）	2	第1学期	第2ターム	他	-	講義	山本 真歌	人文社会科学系（法）	34	03
10	コア	A	233L3007	行政法 I（行政法総論）	2	第2学期	第3ターム	火	1, 2	講義	宮森 征司	人文社会科学系（法）	34	03
11	コア	A	234L3008	行政法 II（行政訴訟法）	2	第2学期	第4ターム	水	3, 4	講義	宮森 征司	人文社会科学系（法）	34	03
12	コア	B	233L3101	民法 I（民法総則）	2	第2学期	第3ターム	水	3, 4	講義	石畝 剛士	人文社会科学系（法）	34	03
13	コア	B	232L3102	民法 II（不法行為）	2	第1学期	第2ターム	月	1, 2	講義	大島 梨沙	人文社会科学系（法）	34	03
14	コア	B	234L3103	民法 III（物権 1）	2	第2学期	第4ターム	金	1, 2	講義	岩崎 勝成	人文社会科学系（法）	34	03
15	コア	B	231L3104	民法 IV（債権総論 1）	2	第1学期	第1ターム	水	1, 2	講義	岩崎 勝成	人文社会科学系（法）	34	03
16	コア	B	234L3114	会社法 I（総論・機関）	2	第2学期	第4ターム	月	3, 4	講義	梅津 昭彦	人文社会科学系（法）	34	04
17	コア	C	232L3201	刑法 I（刑法総論 1）	2	第1学期	第2ターム	火	1, 2	講義	田寺 さおり	人文社会科学系（法）	34	03
18	コア	C	233L3202	刑法 II（刑法総論 2）	2	第2学期	第3ターム	月	1, 2	講義	田寺 さおり	人文社会科学系（法）	34	04
19	コア	C	231L3203	刑法 III（刑法各論）	2	第1学期	第1ターム	月	1, 2	講義	丹羽 正夫	人文社会科学系（法）	34	04
20	コア	C	234L3204	特殊講義（刑法各論発展）	2	第2学期	第4ターム	木	1, 2	講義	丹羽 正夫	人文社会科学系（法）	34	04
21	関連		231L3111	民事訴訟法 I（総論）	2	第1学期	第1ターム	他	-	講義	張 子弦	人文社会科学系（法）	34	04
22	関連		232L3011	自治体法	2	第1学期	第2ターム	木	3, 4	講義	宮森 征司	人文社会科学系（法）	34	04
23	関連		231L3012	租税法	2	第1学期	第1ターム	水	1, 2	講義	今本 啓介	人文社会科学系（法）	34	04
24	関連		231L3401	情報法 I（法情報学）	2	第1学期	第1ターム	月	1, 2	講義	鈴木 正朝	人文社会科学系（法）	34	04
25	関連		231L3301	経済法 I（競争の実質的制限禁止）	2	第1学期	第1ターム	火	1, 2	講義	澤田 克己	人文社会科学系（法）	34	04
26	関連		231L3303	社会保障法 I（医療保障法）	2	第1学期	第1ターム	金	1, 2	講義	田中 伸至	人文社会科学系（法）	34	04
27	関連		232L3304	社会保障法 II（総論・所得保障法）	2	第1学期	第2ターム	金	1, 2	講義	田中 伸至	人文社会科学系（法）	34	04
28	関連		232L3306	労働法 I（個別的労働法）	2	第1学期	第2ターム	金	1, 2	講義	木南 直之	人文社会科学系（法）	34	04
29	関連		234L3307	労働法 II（団体の労働法）	2	第2学期	第4ターム	金	1, 2	講義	木南 直之	人文社会科学系（法）	34	04
30	関連		234L3405	知的財産法 I（著作権法）	2	第2学期	第4ターム	金	3, 4	講義	渡邊 修	人文社会科学系（法）	34	04
31	関連		231L3308	国際法	2	第1学期	第1ターム	火	1, 2	講義	渡辺 豊	人文社会科学系（法）	34	03
32	関連		休講	国際人権法	2					講義			34	03
33	関連		232L3501	法社会学	2	第1学期	第2ターム	月	1, 2	講義	田巻 帝子	人文社会科学系（法）	34	03
34	関連		233L3507	特殊講義（法哲学）	2	第2学期	第3ターム	木	1, 2	講義	根津 洗希	人文社会科学系（法）	34	03
35	関連		234L3701	公共政策	2	第2学期	第4ターム	金	1, 2	講義	田中 伸至	人文社会科学系（法）	35	04
36	関連		230L3502	特殊講義（法医学 I）	2	第1学期	第1, 2ターム	水	1	講義	高塚 尚和	医歯学系（院医）	34	04
37	関連		230L3503	特殊講義（法医学 II）	2	第2学期	第3, 4ターム	水	1	講義	高塚 尚和	医歯学系（院医）	34	04
38	関連		233L3803	ジェンダー論	2	第2学期	第3ターム	金	1, 2	講義	田巻 帝子	人文社会科学系（法）	34, 35	03
39	関連		230L3808	社会学	2	第1学期	集中	-	-	講義	鷹田 佳典	非常勤講師	38	03

令和3（2021）年度以前の入学者のみ 修了認定可能なプログラム

【重要】本プログラムは、2022年度以降入学者（3年次編入生は2023年度以降入学者）は認定の対象となりませんので、ご注意ください。

■プログラムの名称 「政治学」

授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分

R1：政治学一般の基礎を養うための選択必修科目／R2：専攻領域ごとに政治学の応用力を養うための必修科目

A：政治学系の基礎科目／B：政治学系の応用科目

※令和3（2021）年度において教育学部開講の「社会学」を履修した者に限り、法学部開講の「社会学」に代えて副専攻「政治学」の科目とすることができます。

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R1	23167070	人文社会科学入門（法学）	2	第1学期	第1ターム	水	3, 4	講義	山本 真歌	人文社会科学系（法）	34	11
2	コア	R1	23267074	リーガル・システム	2	第1学期	第2ターム	月, 木	4	講義	内田 千秋	人文社会科学系（法）	34	03
3	コア	R2		領域関連演習	2					演習			35	13, 14
4	コア	A	231L3601	政治学Ⅰ（政治制度論）	2	第1学期	第1ターム	水, 金	5	講義	益田 高成	人文社会科学系（法）	35	03
5	コア	A	234L3602	政治学Ⅱ（政治過程論）	2	第2学期	第4ターム	水, 金	5	講義	益田 高成	人文社会科学系（法）	35	04
6	コア	A	231L3605	政策科学概論	2	第1学期	第1ターム	木	1, 2	講義	南島 和久	非常勤講師	35	03
7	コア	A	232L3702	行政学Ⅰ（総論）	2	第1学期	第2ターム	木	3, 4	講義	馬場 健	人文社会科学系（法）	35	03
8	コア	A	233L3703	行政学Ⅱ（各論）	2	第2学期	第3ターム	水	1, 2	講義	馬場 健	人文社会科学系（法）	35	04
9	コア	B	234L3609	日本政治外交史Ⅰ（政治史）	2	第2学期	第4ターム	火	1, 2	講義	稲吉 晃	人文社会科学系（経済）	35	03
10	コア	B	230L3610	国際関係論	2	第1学期	第1, 2ターム	水	1	講義	神田 豊隆	人文社会科学系（法）	35	03
11	コア	B	234L3611	アジア政治外交史	2	第2学期	第4ターム	月	3, 4	講義	真水 康樹	人文社会科学系（法）	35	03
12	関連		休講	領域関連特殊講義（日本現代政治史）	2					講義			35	03
13	関連		休講	国際政治史	2					講義			35	03
14	関連		234L3705	自治体政策論	2	第2学期	第4ターム	水	1, 2	講義	馬場 健	人文社会科学系（法）	34, 35	04
15	関連		232L3704	領域関連特殊講義（政策評価論）	2	第1学期	第2ターム	木	1, 2	講義	南島 和久	非常勤講師	35	04
16	関連		234L3701	公共政策	2	第2学期	第4ターム	金	1, 2	講義	田中 伸至	人文社会科学系（法）	35	04
17	関連		231L3613	中国政治入門	2	第1学期	第1ターム	火	3, 4	講義	韋 民	人文社会科学系（法）	35	03
18	関連		休講	特殊講義（現代中国政治入門）	2					講義			35	03
19	関連		233L3803	ジェンダー論	2	第2学期	第3ターム	金	1, 2	講義	田巻 帝子	人文社会科学系（法）	34, 35	03
20	関連		230L3808	社会学	2	第1学期	集中	-	-	講義	鷹田 佳典	非常勤講師	38	03

■プログラムの名称 「経済学」

授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	23009021	経済学への招待 【入門科目】	1	第2学期	第3ターム	火	HT	演習	山崎 剛志	人文社会科学系（経済）	36	03
2	コア		231E6001	経済学入門	2	第1学期	第1ターム	火、金	5	講義	濱田 弘潤	人文社会科学系（経済）	36	03
3	コア		230E6048	入門社会経済学	2	第1学期	第1,2ターム	他	-	講義	藤田 憲	人文社会科学系（経済）	36	03
4	コア	夜間	230E5030	入門社会経済学	2	第1学期	第1,2ターム	他	-	講義	藤田 憲	人文社会科学系（経済）	36	03
5	コア		231E6005	入門ミクロ経済学	2	第1学期	第1ターム	月、木	5	講義	藤堂 史明	人文社会科学系（経済）	36	03
6	コア	夜間	230E5057	入門ミクロ経済学	2	第1学期	第1,2ターム	他	-	講義	山崎 剛志	人文社会科学系（経済）	36	03
7	コア		233E6006	入門マクロ経済学	2	第2学期	第3ターム	他	-	講義	中田 豪	人文社会科学系（経済）	36	03
8	コア	夜間	230E5054	入門マクロ経済学	2	第2学期	第3,4ターム	他	-	講義	中村 篤志	人文社会科学系（経済）	36	03
9	コア		230E6196	経済数学Ⅰ	2	第2学期	第3,4ターム	水	6	講義	高橋 美保	人文社会科学系（経済）	36	03
10	コア		233E6053	経済数学Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	月、木	3	講義	高宮 浩司	人文社会科学系（経済）	36	04
11	コア		233E6008	統計入門	2	第2学期	第3ターム	火、金	4	講義	張 俊超	人文社会科学系（経済）	41	13
12	コア		233E6004	日本経済入門	2	第2学期	第3ターム	火、金	4	講義	根岸 睦人	人文社会科学系（経済）	36	03
13	関連		232E6245	公共経済学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	火、金	2	講義	中東 雅樹	人文社会科学系（経済）	36	04
14	関連		233E6246	公共経済学Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	火、金	2	講義	中東 雅樹	人文社会科学系（経済）	36	04
15	関連		234E6049	ミクロ経済学Ⅰ	2	第2学期	第4ターム	火、金	3	講義	山崎 剛志	人文社会科学系（経済）	36	03
16	関連	夜間	休講	ミクロ経済学Ⅰ	2					講義			36	03
17	関連		休講	ミクロ経済学Ⅱ	2					講義			36	04
18	関連		233E6050	マクロ経済学Ⅰ	2	第2学期	第3ターム	月、木	2	講義	長谷川 雪子	人文社会科学系（経済）	36	03
19	関連	夜間	233E1017	マクロ経済学Ⅰ	2	第2学期	第3ターム	月、木	2	講義	長谷川 雪子	人文社会科学系（経済）	36	03
20	関連		234E6055	マクロ経済学Ⅱ	2	第2学期	第4ターム	月、木	2	講義	長谷川 雪子	人文社会科学系（経済）	36	04
21	関連		230E6054	ゲーム理論	2	第1学期	第1,2ターム	水	6	講義	高宮 浩司	人文社会科学系（経済）	36	04
22	関連		232E6051	計量経済学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	火、金	2	講義	伊藤 伸幸	人文社会科学系（経済）	36	04
23	関連		233E6074	計量経済学Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	火、金	2	講義	伊藤 伸幸	人文社会科学系（経済）	36	04
24	関連		232E6076	国際貿易論	2	第1学期	第2ターム	火、金	5	講義	内藤 雅一	人文社会科学系（経済）	36	04
25	関連		231E6063	国際マクロ経済学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	火、金	3	講義	中田 豪	人文社会科学系（経済）	36	04
26	関連		230E5047	国際マクロ経済学Ⅱ	2	第2学期	第3,4ターム	他	-	講義	中田 豪	人文社会科学系（経済）	36	04
27	関連		231E6069	財政学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	月、木	2	講義	根岸 睦人	人文社会科学系（経済）	36	04
28	関連		232E6070	財政学Ⅱ	2	第1学期	第2ターム	月、木	2	講義	根岸 睦人	人文社会科学系（経済）	36	04
29	関連		232E6061	金融論Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	月、木	2	講義	中村 篤志	人文社会科学系（経済）	36	04
30	関連		233E6062	金融論Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	月、木	2	講義	中村 篤志	人文社会科学系（経済）	36	04
31	関連		233E6281	環境経済システム論Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	月、木	5	講義	藤堂 史明	人文社会科学系（経済）	36	04
32	関連	夜間	233E5007	環境経済システム論Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	月、木	5	講義	藤堂 史明	人文社会科学系（経済）	36	04
33	関連		231E1031	労働経済学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	月、木	2	講義	張 俊超	人文社会科学系（経済）	36	04
34	関連		233E1032	労働経済学Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	月、木	2	講義	張 俊超	人文社会科学系（経済）	36	04
35	関連		231E6056	組織の経済学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	月、木	3	講義	濱田 弘潤	人文社会科学系（経済）	36	04
36	関連		233E6057	組織の経済学Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	火、金	3	講義	濱田 弘潤	人文社会科学系（経済）	36	04
37	関連		休講	社会経済学原理Ⅰ	2					講義			36	04
38	関連		休講	社会経済学原理Ⅱ	2					講義			36	04
39	コア		231E6229	世界経済史Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	火、金	2	講義	高垣 里衣	人文社会科学系（経済）	36	04
40	関連		休講（隔年開講）	世界経済史Ⅱ	2					講義			36	04
41	コア		234E6227	日本経済史	2	第2学期	第4ターム	火	1,2	講義	武藤 秀太郎	人文社会科学系（経済）	36	04
42	関連		休講（隔年開講）	アメリカ経済論Ⅰ	2					講義			36	04
43	関連		230E6071	アメリカ経済論Ⅱ	2	第2学期	第3,4ターム	木	6	講義	大森 拓磨	人文社会科学系（経済）	36	04
44	関連	夜間	230E6052	E U経済論	2	第2学期	第3,4ターム	水	4	講義	藤田 憲	人文社会科学系（経済）	36	04
45	関連		休講（隔年開講）	アジア経済論Ⅰ	2					講義			36	04
46	関連		231E6072	アジア経済論Ⅱ	2	第1学期	第1ターム	火、金	1	講義	溝口 由己	人文社会科学系（経済）	36	04
47	関連	夜間	232E6065	ロシア経済論	2	第1学期	第2ターム	月、木	3	講義	道上 真有	人文社会科学系（経済）	36	04

48	関連		231E6066	比較経済体制論	2	第1学期	第1ターム	月、木	3	講義	道上 真有	人文社会科学系（経済）	36	04
49	関連		233E6067	開発途上国経済論	2	第2学期	第3ターム	火、金	4	講義	石川 耕三	人文社会科学系（経済）	36	04
50	関連	夜間	230E6058	市場と組織の理論	2	第2学期	第3, 4ターム	火	5	講義	大屋 靖成	人文社会科学系（経済）	36	04

■プログラムの名称 「電子・情報科学」

授業科目リスト (掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。)

属性区分 R:必修科目 / A:初級コア科目 / B:中級コア科目 / C:関連科目 / C1:関連科目1 / C2:関連科目2

*工学部工学科人間支援感性科学プログラムの学生は、属性区分「C1」と「C2」の科目を聴講できない。

*工学部工学科電子情報通信プログラム・知能情報システムプログラムの学生は、属性区分「C2」の科目を聴講できない。

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	230Q9022	電子・情報科学入門 【入門科目】	1	第1学期	第1,2ターム	火	HT	演習	山家 清之	自然科学系(工)	99	03
2	コア	A	休講	くらしと数理	2					講義			41	03
3	コア	A	233A0052	食料環境工学	2	第2学期	第3ターム	火,金	1	講義	大橋 慎太郎	自然科学系(農)	65	04
4	コア	A	233T0201	電子情報通信概論	1	第2学期	第3ターム	木	1	講義	新保 一成	自然科学系(工)	51	10
5	コア	A	233T0202	知能情報システム概論	1	第2学期	第3ターム	木	2	講義	阿部 貴志	自然科学系(工)	49	10
6	コア	A	232T0501	人間支援感性科学概論	2	第1学期	第2ターム	月	3,4	講義	前田 義信	自然科学系(工)	56	14
7	コア	B	234A0065	技術者倫理・自然環境関連法規	2	第2学期	第4ターム	月,木	2	講義	箕口 秀夫	自然科学系(農)	62,65	14
8	コア	B	232T4048	バイオメディカル・エンジニアリング	2	第1学期	第2ターム	火	3,4	講義	飯島 淳彦	自然科学系(工)	56	14
9	コア	B	231T0001	総合工学概論	2	第1学期	第1ターム	木	3,4	講義	岡崎 篤行	自然科学系(工)	49	13
10	関連	B	233T0006	情報セキュリティ概論	1	第2学期	第3ターム	水	1	講義	佐々木 重信	自然科学系(工)	49	13
11	関連	B	234T0004	技術者の心がまえ	2	第2学期	第4ターム	水	3,4	講義	東瀬 朗	自然科学系(工)	49	13
12	関連	B	233T0005	知的財産概論	1	第2学期	第3ターム	水	2	講義	宮田 敦久	地域創生推進機構	49	13
13	関連	C	232S0541	情報社会論	2	第1学期	第2ターム	火,金	5	講義	田中 環	自然科学系(理)	10	03
14	関連	C	233S1506	プログラミング概論A	1	第2学期	第3ターム	木	4	講義	山田 修司	自然科学系(理)	41	03
15	関連	C	234S1512	プログラミング概論B	1	第2学期	第4ターム	木	4	講義	山田 修司	自然科学系(理)	41	03
16	関連	C	231T3009	電気回路I	2	第1学期	第1ターム	月,木	1	講義	金 ミンソク	自然科学系(工)	51	04
17	関連	C	232T3028	電磁気学II	2	第1学期	第2ターム	火,金	3	講義	小川 純	自然科学系(工)	51	04
18	関連	C2*	231T4033	データ工学	2	第1学期	第1ターム	月	3,4	講義	阿部 貴志	自然科学系(工)	10	04
19	関連	C	234T4045	アシスティブ・テクノロジー	2	第2学期	第4ターム	水	1,2	講義	今村 孝	自然科学系(工)	10	04
20	関連	C1*	休講	メカトロニクス	2					講義			50	04
21	関連	C1*	234T1045	ロボット工学	2	第2学期	第4ターム	火,金	2	講義	寒川 雅之	自然科学系(工)	50	04
22	関連	C2*	233T1034	システム制御I	2	第2学期	第3ターム	火,金	1	講義・演習	横山 誠	自然科学系(工)	50	04
23	関連	C2*	231T6004	基礎電磁気学	2	第1学期	第1ターム	月,木	2	講義	佐々木 進	自然科学系(工)	54	04
24	関連	C2*	休講	電磁気学応用・演習	2					講義・演習			54	14
25	関連	C2*	休講	電気回路基礎論	2					講義			54	04
26	関連	C2*	232T6035	計測工学	2	第1学期	第2ターム	月,木	3	講義	坪井 望	自然科学系(工)	54	04
27	関連	C	234A0055	精密農業工学	2	第2学期	第4ターム	火	3,4	講義	長谷川 英夫	自然科学系(農)	65	14
28	関連	C	233A0051	食品・農業情報工学	2	第2学期	第3ターム	金	3,4	講義	元永 佳孝	自然科学系(農)	65	04
29	関連	C	233A0063	流域環境GIS	2	第2学期	第3ターム	火,金	2	講義	村上 拓彦	自然科学系(農)	62	03

■プログラムの名称 「統合化学」

授業科目リスト (掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。)

属性区分 R: 必修科目

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	2309023	統合化学入門 【入門科目】	1	第2学期	第3ターム	月,木	HT	講義	清水 忠明	自然科学系(工)	99	03
2	コア		23165023	化学基礎A	2	第1学期	第1ターム	月,木	4	講義	古川 貢	自然科学系(理)	46	03
3	コア		23265026	化学基礎A	2	第1学期	第2ターム	火,金	3	講義	生駒 忠昭	自然科学系(理)	46	03
4	コア		23365519	化学基礎A	2	第2学期	第3ターム	火,金	4	講義	丸山 健二	自然科学系(理)	46	03
5	コア		23165024	化学基礎B	2	第1学期	第1ターム	火,金	4	講義	松岡 史郎	自然科学系(理)	46	03
6	コア		23165027	化学基礎B	2	第1学期	第2ターム	月,木	4	講義	大鳥 範和	自然科学系(理)	46	03
7	コア		23365520	化学基礎B	2	第2学期	第4ターム	火,金	4	講義	梅林 泰宏	自然科学系(理)	46	03
8	コア		234S0561	分析化学I	2	第2学期	第4ターム	月,木	1	講義	梅林 泰宏	自然科学系(理)	46	03
9	コア		231S3501	無機化学II	2	第1学期	第1ターム	火,金	2	講義	後藤 真一	自然科学系(理)	46	03
10	コア		234S0563	有機化学I	2	第2学期	第4ターム	月,木	2	講義	長谷川 英悦	自然科学系(理)	46	03
11	コア		233S0564	化学熱力学	2	第2学期	第3ターム	月,木	2	講義	大鳥 範和	自然科学系(理)	46	03
12	コア		230S0565	生体分子化学I	2	第1学期	第1,2ターム	火	3	講義	古川 和広	自然科学系(理)	46	03
13	コア		233T0302	基礎有機化学	2	第2学期	第3ターム	月,木	5	講義	田中 孝明	自然科学系(工)	47	03
14	コア		234T0301	基礎無機化学	2	第2学期	第4ターム	月,木	5	講義	八木 政行	自然科学系(工)	47	03
15	コア		232T5002	基礎物理化学	2	第1学期	第2ターム	月,木	2	講義	木村 勇雄	自然科学系(工)	47	04
16	コア		234T6028	高分子科学	2	第2学期	第4ターム	月,木	4	講義	山内 健	自然科学系(工)	54	04
17	コア		231A0009	分析化学(農)	2	第1学期	第1ターム	月,木	1	講義	大竹 憲邦	自然科学系(農)	61	03
18	コア		232A0004	生物化学I	2	第1学期	第2ターム	月,木	1	講義	三ツ井 敏明	自然科学系(農)	61	04
19	コア		231A0032	生物有機化学	2	第1学期	第1ターム	水	1,2	講義	佐藤 努	自然科学系(農)	61	04
20	コア		232A0008	食品化学	2	第1学期	第2ターム	火	3,4	講義	城 斗志夫	自然科学系(農)	61	03
21	コア		233A0007	有機化学(農)	2	第2学期	第3ターム	月,木	2	講義	佐藤 努	自然科学系(農)	61	13
22	関連		231S3502	有機化学II	2	第1学期	第1ターム	月,木	1	講義	俣野 善博	自然科学系(理)	46	03
23	関連		231S3524	化学統計学II	2	第1学期	第1ターム	火,金	1	講義	丸山 健二	自然科学系(理)	46	04
24	関連		231T5001	高分子化学概論	2	第1学期	第1ターム	火,金	1	講義	青木 俊樹	自然科学系(工)	47	04
25	関連		233T0303	化学工学基礎	2	第2学期	第3ターム	火,金	2	講義	清水 忠明	自然科学系(工)	55	04
26	関連		231T5013	反応工学I	2	第1学期	第1ターム	水	1,2	講義	田口 佳成	自然科学系(工)	55	04
27	関連		231T6032	生体分子工学	2	第1学期	第1ターム	木	3,4	講義	落合 秋人	自然科学系(工)	54	04
28	関連		232T5014	拡散操作I	2	第1学期	第2ターム	月,木	1	講義	多島 秀男	自然科学系(工)	55	04
29	関連		231T6029	高分子材料化学	2	第1学期	第1ターム	火,金	2	講義	三俣 哲	自然科学系(工)	54	04
30	関連		234T6027	光化学	2	第2学期	第4ターム	火,金	3	講義	由井 樹人	自然科学系(工)	54	04
31	関連		232T6026	電気化学	2	第1学期	第2ターム	月,木	4	講義	八木 政行	自然科学系(工)	54	14
32	関連		232T6033	生物材料工学	2	第1学期	第2ターム	月,木	2	講義	田中 孝明	自然科学系(工)	54	04
33	関連		231A0092	栄養生化学	2	第1学期	第1ターム	月,木	2	講義	藤村 忍	自然科学系(農)	61	05
34	関連		233A0033	肥料学	2	第2学期	第3ターム	水	1,2	講義	大竹 憲邦	自然科学系(農)	61	04
35	関連		234A0012	植物成分化学	2	第2学期	第4ターム	火,金	2	講義	三亀 啓吾	自然科学系(農)	61,62	04
36	関連		234A0045	土壌生化学	2	第2学期	第4ターム	月,木	2	講義	原田 直樹	自然科学系(農)	61	05

■プログラムの名称 「医学物理学基礎」

授業科目リスト (掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。)

属性区分 R:必修科目 / A1:コア科目(基礎物理) / A2:コア科目(放射線技術) / A3:コア科目(基礎医学)

B1:関連科目(物理) / B2:関連科目(放射線技術) / C1:展開科目(物理) / C2:展開科目(放射線技術)

専門科目(SコードMコード)についてオンライン授業形式で他主専攻からの受講を認めている科目については「他主専攻」の項目を確認して下さい。(○:他主専攻学生の受講可 / ×:不可) なお定員超過の場合、受講できない場合があります。また、試験等を対面で行うものもあるのでシラバスを確認して下さい。詳細については所属キャンパスの副専攻代表教員にお問い合わせください。

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	230Q9024	医学物理学入門【入門科目】	1	第2学期	第3ターム	水,金	HT	講義	大坪 隆	自然科学系(理)	99	03
2	コア	A1	231G5013	物理学基礎A I	2	第1学期	第1ターム	木	1,2	講義	大野 義章	自然科学系(理)	43	03
3	コア	A1	230G5019	物理学基礎A I	2	第1学期	第1,2ターム	月	5	講義	浅賀 岳彦	自然科学系(理)	43	03
4	コア	A1	230G5516	物理学基礎A II	2	第2学期	第3,4ターム	水	3	講義	奥西 巧一	自然科学系(理)	43	03
5	コア	A1	230G5517	物理学基礎CII	2	第2学期	第3,4ターム	火	1	講義	大坪 隆	自然科学系(理)	43	03
6	コア	A1	230G6019	物理学基礎実験	2	第1学期	第1,2ターム	水	3	実験	小林 公一	医歯学系(医保)	43	03
7	コア	A1	234S0560	基礎ベクトル解析	2	第2学期	第4ターム	火,金	2	講義	石川 文洋	自然科学系(理)	43	03
8	コア	A1	230S0558	解析力学	2	第1学期	第1,2ターム	火	4	講義	江尻 信司	自然科学系(理)	43	03
9	コア	A1	231S2507	電磁気学IA	1	第1学期	第1ターム	月	4	講義	西 亮一	自然科学系(理)	43	04
10	コア	A1	232S2508	電磁気学IB	1	第1学期	第2ターム	月	4	講義	西 亮一	自然科学系(理)	43	04
11	コア	A1	233S2509	電磁気学IIA	1	第2学期	第3ターム	月	5	講義	大村 彩子	自然科学系(理)	43	04
12	コア	A1	234S2510	電磁気学IIB	1	第2学期	第4ターム	月	5	講義	大村 彩子	自然科学系(理)	43	04
13	コア	A1	231S2517	振動論と微分方程式	2	第1学期	第1ターム	火,金	2	講義	早坂 圭司	自然科学系(理)	43	04
14	コア	A1	230S2518	複素解析	2	第2学期	第3,4ターム	月	3	講義	本郷 優	自然科学系(理)	43	04
15	コア	A1	233S2520	熱力学A	1	第2学期	第3ターム	木	1	講義	摂待 力生	自然科学系(理)	43	03
16	コア	A1	234S2521	熱力学B	1	第2学期	第4ターム	木	1	講義	摂待 力生	自然科学系(理)	43	03
17	コア	A1	233S2515	量子力学序論A	1	第2学期	第3ターム	月	4	講義	小池 裕司	自然科学系(理)	43	03
18	コア	A1	234S2516	量子力学序論B	1	第2学期	第4ターム	月	4	講義	小池 裕司	自然科学系(理)	43	03
19	コア	A1	230S2001	量子力学I	2	第1学期	第1,2ターム	木	2	講義	松尾 正之	自然科学系(理)	43	04
20	コア	A1	230S2005	統計学I	2	第1学期	第1,2ターム	月	3	講義	奥西 巧一	自然科学系(理)	43	04
21	コア	A2	230M8308	放射線物理学	2	第1学期	第1,2ターム	木	3	講義	齋藤 正敏	医歯学系(医保)	43	24
22	コア	A2	230M8309	放射線物理学演習	1	第2学期	第3,4ターム	木	3	演習	齋藤 正敏	医歯学系(医保)	43	24
23	コア	A2	230M8311	放射線計測学	2	第2学期	第3,4ターム	月	3	演習	齋藤 正敏	医歯学系(医保)	43	24
24	コア	A2	230M5314	放射線計測学II	2	第1学期	第1,2ターム	月	3	講義	齋藤 正敏	医歯学系(医保)	43	24
25	コア	A2	230M8316	放射線生物学及び演習	1	第1学期	第1,2ターム	月	3	演習	笹本 龍太	医歯学系(医保)	57	24
26	コア	A2	230M8321	診療画像機器学I	2	第2学期	第3,4ターム	火	2	講義	大久保 真樹	医歯学系(医保)	87	24
27	コア	A2	230M5325	放射線機器工学II	2	第1学期	第1,2ターム	金	2	講義	大久保 真樹	医歯学系(医保)	87	24
28	コア	A2	230M5328	医用機器工学及び演習	1	第1学期	第1,2ターム	月	2	演習	大久保 真樹	医歯学系(医保)	87	24
29	コア	A2	233M8337	医療画像工学I	1	第2学期	第3ターム	火	3	講義	近藤 世範	医歯学系(医保)	87	24
30	コア	A2	234M8338	医療画像工学II	1	第2学期	第4ターム	火	3	講義	近藤 世範	医歯学系(医保)	87	24
31	コア	A2	230M8344	核医学検査技術学I	2	第2学期	第3,4ターム	水	2	講義	山崎 芳裕	医歯学系(医保)	87	24
32	コア	A2	230M5351	核医学検査技術学III	2	第2学期	第3,4ターム	金	2	講義	成田 啓廣	医歯学系(医保)	87	24
33	コア	A2	230M8347	放射線治療技術学I	2	第2学期	第3,4ターム	金	1	講義	笹本 龍太	医歯学系(医保)	87	24
34	コア	A2	230M5355	放射線治療技術学II	2	第1学期	第1,2ターム	金	1	講義	早川 岳英	医歯学系(医保)	87	24
35	コア	A2	230M5356	放射線治療技術学III	2	第2学期	第3,4ターム	月	2	講義	笹本 龍太	医歯学系(医保)	87	24
36	コア	A3	230M8001	人体の構造と機能I	2	第1学期	第1,2ターム	月	2	講義	齋藤 修	医歯学系(医保)	80	23
37	コア	A3	230M8002	人体の構造と機能II	2	第2学期	第3,4ターム	月	5	講義	小山 諭	医歯学系(医保)	80	23
38	コア	A3	230M8008	疾病の原因と成り立ち(放射)	2	第1学期	第1,2ターム	金	2	講義	佐藤 充	医歯学系(医保)	80	23
39	関連	B1	231G5002	数学基礎A 1	1	第1学期	第1ターム	水	1	講義	山田 修司	自然科学系(理)	41	03
40	関連	B1	233G5501	数学基礎A 1	1	第2学期	第3ターム	水	3	講義	劉 雪峰	自然科学系(理)	41	03
41	関連	B1	休講	数学基礎A 1	1					講義			41	03
42	関連	B1	232G5008	数学基礎A 2	1	第1学期	第2ターム	水	1	講義	山田 修司	自然科学系(理)	41	03
43	関連	B1	234G5506	数学基礎A 2	1	第2学期	第4ターム	水	3	講義	劉 雪峰	自然科学系(理)	41	03
44	関連	B1	休講	数学基礎A 2	1					講義			41	03

45	関連	B1	23165003	数学基礎B 1	1	第1学期	第1ターム	金	3	講義	星 明考	自然科学系 (理)	41	03
46	関連	B1	23165004	数学基礎B 1	1	第1学期	第1ターム	水	3	講義	小島 秀雄	自然科学系 (理)	41	03
47	関連	B1	23365502	数学基礎B 1	1	第2学期	第3ターム	水	2	講義	田中 環	自然科学系 (理)	41	03
48	関連	B1	23265009	数学基礎B 2	1	第1学期	第2ターム	金	3	講義	星 明考	自然科学系 (理)	41	03
49	関連	B1	23265010	数学基礎B 2	1	第1学期	第2ターム	水	3	講義	小島 秀雄	自然科学系 (理)	41	03
50	関連	B1	23465507	数学基礎B 2	1	第2学期	第4ターム	水	2	講義	田中 環	自然科学系 (理)	41	03
51	関連	B1	231S2511	物理学演習A	1	第1学期	第1ターム	水	2	演習	根本 祐一	自然科学系 (理)	43	14
52	関連	B1	232S2512	物理学演習B	1	第1学期	第2ターム	水	2	演習	根本 祐一	自然科学系 (理)	43	14
53	関連	B1	233S2513	物理学演習C	1	第2学期	第3ターム	水	2	演習	根本 祐一	自然科学系 (理)	43	14
54	関連	B1	234S2514	物理学演習D	1	第2学期	第4ターム	水	2	演習	根本 祐一	自然科学系 (理)	43	14
55	関連	B1	231S2526	電気力学A	1	第1学期	第1ターム	金	4	講義	西 亮一	自然科学系 (理)	43	04
56	関連	B1	232S2527	電気力学B	1	第1学期	第2ターム	金	4	講義	西 亮一	自然科学系 (理)	43	04
57	関連	B1	休講	エレクトロニクスA	1					講義			43	04
58	関連	B1	休講	エレクトロニクスB	1					講義			43	04
59	関連	B1	231S2530	特殊相対論A	1	第1学期	第1ターム	水	1	講義	中野 博章	自然科学系 (理)	43	04
60	関連	B1	232S2531	特殊相対論B	1	第1学期	第2ターム	水	1	講義	中野 博章	自然科学系 (理)	43	04
61	関連	B2	休講	医療と放射線	2					講義			87	03
62	関連	B2	230M8004	医療と画像技術	2	第2学期	第3,4ターム	火	4	講義	高橋 直也	歯医学系 (医保)	87	03
63	関連	B2	233M8355	医用放射線技術の歴史	1	第2学期	第3ターム	火	5	講義	宇都宮 悟	歯医学系 (医保)	87	04
64	関連	C1	230S2519	波動とフーリエ解析	2	第2学期	第3,4ターム	金	3	講義	吉森 明	自然科学系 (理)	43	04
65	関連	C1	233S2534	量子力学I1A	2	第2学期	第3ターム	火,木	2	講義	浅賀 岳彦	自然科学系 (理)	43	04
66	関連	C1	233S2540	統計力学I1A	2	第2学期	第3ターム	月	1,2	講義	大野 義章	自然科学系 (理)	43	04
67	関連	C1	234S2535	量子力学I1B	2	第2学期	第4ターム	火,木	2	演習	浅賀 岳彦	自然科学系 (理)	43	14
68	関連	C1	234S2541	統計力学I1B	2	第2学期	第4ターム	月	1,2	演習	大野 義章	自然科学系 (理)	43	14
69	関連	C1	230S2549	原子核物理学	2	第1学期	第1,2ターム	水	2	演習	松尾 正之	自然科学系 (理)	43	14
70	関連	C2	230M8303	医用工学演習	1	第2学期	第3,4ターム	水	3	演習	小林 公一	歯医学系 (医保)	51	14
71	関連	C2	230M5306	電子・システム工学実験	1	第1学期	第1,2ターム	金	3	実験	大久保 真樹	歯医学系 (医保)	51	14
72	関連	C2	230M5312	放射線物理学II及び演習	1	第2学期	第3,4ターム	火	3	演習	齋藤 正敏	歯医学系 (医保)	43	14
73	関連	C2	休講	放射性廃棄物処理法	2					講義			87	05
74	関連	C2	232M5341	超音波技術学	1	第1学期	第2ターム	金	3	講義	高橋 直也	歯医学系 (医保)	87	14
75	関連	C2	233M5347	医用画像処理工学演習	1	第2学期	第3ターム	水	4	演習	岡本 昌士	歯医学系 (医保)	87	14
76	関連	C2	234M5348	医用情報システム概論	1	第2学期	第4ターム	水	3	講義	近藤 世範	歯医学系 (医保)	87	14
77	関連	C2	230M5357	放射線治療学演習	1	第2学期	第3,4ターム	木	1	演習	早川 岳英	歯医学系 (医保)	87	14
78	関連	C2	230M5358	放射線治療計画法演習	1	第1学期	第1,2ターム	金	4	演習	笹本 龍太	歯医学系 (医保)	81	14

■プログラムの名称 「学校教育実践」

授業科目リスト (掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。)

属性区分 R: 入門科目/必修科目 / A: 学校支援系科目 / B: 授業体験系科目 / C: 教職実践系科目

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	230Q9025	学校教育実践入門【入門科目】	1	第1学期	集中	-	-	講義	後藤 康志	教育基盤機構	75	03
2	コア	R	230Q9026	学校教育実践入門【入門科目】	1	第2学期	集中	-	-	講義	後藤 康志	教育基盤機構	75	03
3	コア	A	230G3916	学校支援フィールドワークA (小学校)	2	第1学期	集中	-	-	実習	後藤 康志	教育基盤機構	75	03
4	コア	A	230G3917	学校支援フィールドワークA (中学校)	2	第1学期	集中	-	-	実習	後藤 康志	教育基盤機構	75	03
5	コア	A	230G3918	学校支援フィールドワークA (高等学校)	2	第1学期	集中	-	-	実習	後藤 康志	教育基盤機構	75	03
6	コア	A	230G3919	学校支援フィールドワークB (小学校)	4	第1学期	集中	-	-	実習	後藤 康志	教育基盤機構	75	03
7	コア	A	230G3920	学校支援フィールドワークB (中学校)	4	第1学期	集中	-	-	実習	後藤 康志	教育基盤機構	75	03
8	コア	B	230G3921	授業フィールドワーク	2	第1学期	集中	-	-	実習	後藤 康志	教育基盤機構	75	03
9	コア	C	230K9233	中等教育実習Ⅱ (事前・事後指導を含む)	3	第1学期	不定期開講	-	-	実習	教育実習委員会	人文社会科学系 (教育)	40	23
10	コア	C	230K9218	中等教育実習Ⅲ	2	第1学期	不定期開講	-	-	実習	教育実習委員会	人文社会科学系 (教育)	40	24
11	コア	C	230K9304	教職実践演習 (中等)	2	第2学期	第3,4ターム	木	5	講義	未定	未定	40	24
12	コア	C	230K0024	教育実践体験研究ⅠⅠⅠ	2	第1学期	集中	-	-	演習	未定	未定	40	14
13	関連		231K0033	教職入門	2	第1学期	第1ターム	水	4,5	講義	渡邊 志織	非常勤講師	40	23
14	関連		230K0043	教育学概論	2	第1学期	第1,2ターム	木	2	講義	中野 啓明	非常勤講師	40	23
15	関連		230K0356	教育・学校心理学B	2	第2学期	第3,4ターム	金	5	講義	佐藤 朗子	非常勤講師	39	23
16	関連		230K0063	教育の制度と経営	2	第2学期	第3,4ターム	金	1	講義	相庭 和彦	人文社会科学系 (教育)	40	23
17	関連		230K0462	教育方法及び特別活動の指導法B	2	第1学期	集中	-	-	講義	木村 哲郎	非常勤講師	40	23
18	関連		230K0083	道徳指導法	2	第2学期	第3,4ターム	木	2	講義	中野 啓明	非常勤講師	40	23
19	関連		230K0386	特別支援教育概論	2	第2学期	第3,4ターム	木	5	講義	長澤 正樹	人文社会科学系 (教育)	40	21
20	関連		230K0387	特別支援教育概論	2	第1学期	第1,2ターム	木	5	講義	長澤 正樹	人文社会科学系 (教育)	40	21
21	関連		230K0461	教育課程及び総合的な学習の時間の指導法B	2	第1学期	集中	-	-	講義	伊藤 敦美	非常勤講師	40	23
22	関連		230K0361	生徒指導B	2	第1学期	集中	-	-	講義	小関 俊祐	非常勤講師	40	24
23	関連		230K0362	教育相談・進路指導B	2	第1学期	集中	-	-	講義	新井 雅	非常勤講師	40	24
24	関連		232K0475	教育情報論	2	第1学期	第2ターム	水	4	講義	後藤 康志	教育基盤機構	40	23
25	関連		233K0476	教育情報論	2	第2学期	第3ターム	水	4	講義	後藤 康志	教育基盤機構	40	23

■プログラムの名称 「データサイエンス」

授業科目リスト (掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。)

属性区分

R1: データサイエンス入門科目群 / R2: 外部発表

A: 統計科目群 / B: 数学科目群 / C: 情報概論科目群 / D: 情報処理演習科目群 / E: プログラミング基礎科目群 / F: プログラミング応用科目群

G: 情報セキュリティ科目群 / H: インターンシップ科目群

No	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜日	時限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R1	(全科目)	データサイエンス総論Ⅰ【入門科目】	1								10	03
2	コア	R1	(全科目)	データサイエンス総論Ⅱ	1								10	03
3	コア	R1	231G3018 231G3019	エンジニアのためのデータサイエンス入門 (力学分野)【入門科目】	2	第1学期	第1ターム	火, 金	4	講義	櫻井 篤 金澤 伸一	自然科学系(工)	10	13
4	コア	R1	231G3020 231G3021	エンジニアのためのデータサイエンス入門 (化学材料分野)【入門科目】	2	第1学期	第1ターム	火, 金	4	講義	多島 秀男 中野 智仁	自然科学系(工)	10	13
5	コア	R1	231G3022 213G3023	エンジニアのためのデータサイエンス入門 (融合領域分野)【入門科目】	2	第1学期	第1ターム	月	1, 2	講義	前田 義信 白川 展之	自然科学系(工)	10	13
6	コア	R1	232G3041 232G3042 232G3043	エンジニアのためのデータサイエンス入門 (情報電子分野)【入門科目】	2	第1学期	第2ターム	火, 金	3	講義	山崎 達也 飯田 佑輔 佐々木 重信	自然科学系(工)	10	13
7	コア	R1	232G3044	エンジニアのためのデータサイエンス入門 (建築分野)【入門科目】	2	第1学期	第2ターム	月, 木	2	講義	大嶋 拓也	自然科学系(工)	10	13
8	コア	R1	233X0009	データサイエンス概説【入門科目, 創生学部学生のみ】	2	第2学期	第3ターム	火, 金	4	講義	熊野 英和	自然科学系(創生)	75	13
9	コア	R2	230G3903	データサイエンス発表	2	第2学期	集中	-	-	実習	山田 修司	自然科学系(理)	10	04
10	コア	A	231H2041	社会調査法A	2	第1学期	第1ターム	金	3, 4	講義	杉原 名穂子	人文社会科学系(人文)	38	13
11	コア	A	230H9217	メディア・表現文化実習D	1	第2学期	第3, 4ターム	木	5	実習	古賀 豊	人文社会科学系(人文)	10	13
12	コア	A	230H2048	メディア論実習D	1	第2学期	第3, 4ターム	木	5	実習	古賀 豊	人文社会科学系(人文)	10	13
13	コア	A	230K1307	統計学I	2	第1学期	第1, 2ターム	火	4	講義	伏木 忠義	人文社会科学系(教育)	41	04
14	コア	A	230K1308	統計学II	2	第2学期	第3, 4ターム	火	4	講義	伏木 忠義	人文社会科学系(教育)	41	04
15	コア	A	230K5103	教育統計学(心理学統計法)	2	第1学期	第1, 2ターム	水	3	講義・演習	齋藤 有吾	教育基盤機構	40	04
16	コア	A	231E1056	統計入門Ⅱ	2	第1学期	第1ターム	火, 金	4	講義	張 俊超	人文社会科学系(経済)	41	03
17	コア	A	232E1081	計量経済学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	火, 金	2	講義	伊藤 伸幸	人文社会科学系(経済)	36	04
18	コア	A	232E6051	計量経済学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	火, 金	2	講義	伊藤 伸幸	人文社会科学系(経済)	36	04
19	コア	A	231E6007	統計入門	2	第1学期	第1ターム	火, 金	4	講義	張 俊超	人文社会科学系(経済)	41	03
20	コア	A	233E6008	統計入門	2	第2学期	第3ターム	火, 金	4	講義	張 俊超	人文社会科学系(経済)	41	03
21	コア	A	230M1214	医学情報学(基礎)	1.5	第2学期	集中	-	-	講義	赤澤 宏平	医歯学総合病院	82	13
22	コア	A	230M8019	医療統計学	2	第2学期	第3, 4ターム	金	2	講義	関 奈緒	医歯学系(医保)	82	03
23	コア	A	230DA212	社会調査法	2	第1学期	第1, 2ターム	他	-	演習	藤原 明弘	医歯学系(歯)	86	14
24	コア	A	230DS202	医療統計学	2	第1学期	第1, 2ターム	他	-	講義	藤原 明弘	医歯学系(歯)	90	14
25	コア	A	231T3003	応用数理E	2	第1学期	第1ターム	火3, 金4	-	講義	坂井 宏之	非常勤講師	41	03
26	コア	A	231T4001	応用数理E	2	第1学期	第1ターム	月, 木	2	講義	永幡 幸生	自然科学系(工)	41	03
27	コア	A	231T7002	応用数理E	2	第1学期	第1ターム	月, 木	2	講義	永幡 幸生	自然科学系(工)	41	03
28	コア	A	232T2003	応用数理E	2	第1学期	第2ターム	月, 木	4	講義	永幡 幸生	自然科学系(工)	41	03
29	コア	A	232T6002	応用数理E	2	第1学期	第2ターム	月, 木	4	講義	永幡 幸生	自然科学系(工)	41	03
30	コア	A	234T0503	ビジネス統計学	2	第2学期	第4ターム	木	3, 4	講義	東瀬 朗	自然科学系(工)	37, 38, 49	13
31	コア	A	232A0044	生物統計学	2	第1学期	第2ターム	金	3, 4	講義	大竹 憲邦	自然科学系(農)	60	04
32	コア	A	233A0080	環境統計学	2	第2学期	第3ターム	水	3, 4	講義	関島 恒夫	自然科学系(農)	62, 65	04
33	コア	A	234A0114	農業統計学	1	第2学期	第4ターム	月	4	講義	坂野 志郎	自然科学系(農)	60	13
34	コア	A	231G5005	統計学基礎1	1	第1学期	第1ターム	水	1	講義	家富 洋	非常勤講師	41	03
35	コア	A	231G5006	統計学基礎1	1	第1学期	第1ターム	月	5	講義	坂井 一貴	非常勤講師	41	03
36	コア	A	233G5504	統計学基礎1	1	第2学期	第3ターム	火	5	講義	蛭川 潤一	自然科学系(理)	41	03
37	コア	A	233G5505	統計学基礎1	1	第2学期	第3ターム	月	5	講義	坂井 一貴	非常勤講師	41	03
38	コア	A	232G5011	統計学基礎2	1	第1学期	第2ターム	月	5	講義	坂井 一貴	非常勤講師	41	03
39	コア	A	232G5012	統計学基礎2	1	第1学期	第2ターム	水	1	講義	家富 洋	非常勤講師	41	03
40	コア	A	234G5509	統計学基礎2	1	第2学期	第4ターム	火	5	講義	蛭川 潤一	自然科学系(理)	41	03
41	コア	A	234G5510	統計学基礎2	1	第2学期	第4ターム	月	5	講義	坂井 一貴	非常勤講師	41	03
42	コア	B	232H2042	社会調査法B	2	第1学期	第2ターム	金	3, 4	講義	伊藤 嘉高	人文社会科学系(人文)	38	13
43	コア	B	230K1303	線形代数学I	2	第1学期	第1, 2ターム	水	4	講義	張間 忠人	人文社会科学系(教育)	41	13
44	コア	B	230K1304	線形代数学II	2	第2学期	第3, 4ターム	水	4	講義	張間 忠人	人文社会科学系(教育)	41	14

45	コア	B	230K1305	微積分学I	2	第1学期	第1,2ターム	月	5	講義	高田 土満	人文社会科学系(教育)	41	03
46	コア	B	230K1311	代数学序説	2	第1学期	第1,2ターム	火	5	講義	関 隆宏	経営戦略本部	41	03
47	コア	B	231E1059	経済数学	2	第1学期	第1ターム	月,木	3	講義	高宮 浩司	人文社会科学系(経済)	36,41	03
48	コア	B	230E6196	経済数学 I	2	第2学期	第3,4ターム	水	6	講義	高橋 美保	人文社会科学系(経済)	36,41	03
49	コア	B	233S0545	線形代数IA	1	第2学期	第3ターム	木	1	講義	鈴木 有祐	自然科学系(理)	41	03
50	コア	B	233S0547	集合と写像	1	第2学期	第3ターム	月	5	講義	大井 志穂	自然科学系(理)	41	03
51	コア	B	233S0559	基礎物理数学	2	第2学期	第3ターム	火,金	2	講義	中野 博章	自然科学系(理)	43	03
52	コア	B	234S0551	オペレーションズ・リサーチ	2	第2学期	第4ターム	月,木	5	講義	山田 修司	自然科学系(理)	41	03
53	コア	B	234S0560	基礎ベクトル解析	2	第2学期	第4ターム	火,金	2	講義	石川 文洋	自然科学系(理)	43	03
54	コア	B	231T1001	応用数理解A	2	第1学期	第1ターム	月,木	5	講義	安部 隆	自然科学系(工)	41	03
55	コア	B	231T1003	応用数理解B	2	第1学期	第1ターム	火,金	4	講義	永幡 幸生	自然科学系(工)	41	03
56	コア	B	231T4023	離散数学	2	第1学期	第1ターム	金	1,2	講義	高橋 俊彦	自然科学系(工)	10	04
57	コア	B	232T1002	応用数理解A	2	第1学期	第2ターム	月,木	1	講義	瀬本 哲也	自然科学系(工)	41	03
58	コア	B	232T3001	応用数理解B	2	第1学期	第2ターム	月,木	3	講義	酒匂 宏樹	自然科学系(工)	41	03
59	コア	B	232T4002	電気数理解I	2	第1学期	第2ターム	月,木	1	講義	石井 望	自然科学系(工)	49	03
60	コア	B	232T4003	応用数理解B	2	第1学期	第2ターム	月,木	3	講義	石井 忠夫	非常勤講師	41	03
61	コア	B	233T5004	応用数理解B	2	第2学期	第3ターム	火,金	1	講義	高橋 剛	自然科学系(工)	49	03
62	コア	B	233T6003	物理数学	2	第2学期	第3ターム	火,金	1	講義	瀬本 哲也	自然科学系(工)	54	04
63	コア	B	231G5001	解析学基礎1	1	第1学期	第1ターム	水	1	講義	大井 志穂	自然科学系(理)	41	03
64	コア	B	231G5002	数学基礎A1	1	第1学期	第1ターム	水	1	講義	山田 修司	自然科学系(理)	41	03
65	コア	B	231G5002	数学基礎A1	1	第1学期	第1ターム	水	1	講義	山田 修司	自然科学系(理)	41	03
66	コア	B	231G5003	数学基礎B1	1	第1学期	第1ターム	金	3	講義	星 明考	自然科学系(理)	41	03
67	コア	B	231G5004	数学基礎B1	1	第1学期	第1ターム	水	3	講義	小島 秀雄	自然科学系(理)	41	03
68	コア	B	232G6010	基礎数理解A I	2	第1学期	第2ターム	火,金	4	講義	高橋 剛	自然科学系(工)	41	03
69	コア	B	232G5007	解析学基礎2	1	第1学期	第2ターム	水	1	講義	大井 志穂	自然科学系(理)	41	03
70	コア	B	232G5008	数学基礎A2	1	第1学期	第2ターム	水	1	講義	山田 修司	自然科学系(理)	41	03
71	コア	B	232G5008	数学基礎A2	1	第1学期	第2ターム	水	1	講義	山田 修司	自然科学系(理)	41	03
72	コア	B	232G5009	数学基礎B2	1	第1学期	第2ターム	金	3	講義	星 明考	自然科学系(理)	41	03
73	コア	B	232G5010	数学基礎B2	1	第1学期	第2ターム	水	3	講義	小島 秀雄	自然科学系(理)	41	03
74	コア	B	232G6006	基礎数理解A I	2	第1学期	第2ターム	火,金	1	講義	永幡 幸生	自然科学系(工)	41	03
75	コア	B	232G6007	基礎数理解A I	2	第1学期	第2ターム	月,木	4	講義	酒匂 宏樹	自然科学系(工)	41	03
76	コア	B	232G6008	基礎数理解A I	2	第1学期	第2ターム	月,木	4	講義	管野 政明	自然科学系(工)	41	03
77	コア	B	232G6009	基礎数理解A I	2	第1学期	第2ターム	火,金	3	講義	高橋 剛	自然科学系(工)	41	03
78	コア	B	233G5501	数学基礎A1	1	第2学期	第3ターム	水	3	講義	劉 雪峰	自然科学系(理)	41	03
79	コア	B	233G5502	数学基礎B1	1	第2学期	第3ターム	水	2	講義	田中 環	自然科学系(理)	41	03
80	コア	B	233G5503	数学基礎B1	1	第2学期	第3ターム	金	3	講義	未定	未定	41	03
81	コア	B	233G6501	数学の世界	2	第2学期	第3ターム	水	4,5	講義	小島 秀雄	自然科学系(理)	41	03
82	コア	B	233G6502	基礎数理解B	2	第2学期	第3ターム	火,金	4	講義	高橋 剛	自然科学系(工)	41	03
83	コア	B	233G6503	基礎数理解B	2	第2学期	第3ターム	火,金	1	講義	管野 政明	自然科学系(工)	41	03
84	コア	B	233G6504	基礎数理解B	2	第2学期	第3ターム	月,木	4	講義	酒匂 宏樹	自然科学系(工)	41	03
85	コア	B	233G6505	基礎数理解B	2	第2学期	第3ターム	月,木	4	講義	永幡 幸生	自然科学系(工)	41	03
86	コア	B	233G6506	基礎数理解B	2	第2学期	第3ターム	火,金	3	講義	管野 政明	自然科学系(工)	41	03
87	コア	B	234G5506	数学基礎A2	1	第2学期	第4ターム	水	3	講義	劉 雪峰	自然科学系(理)	41	03
88	コア	B	234G5507	数学基礎B2	1	第2学期	第4ターム	水	2	講義	田中 環	自然科学系(理)	41	03
89	コア	B	234G5508	数学基礎B2	1	第2学期	第4ターム	金	3	講義	未定	未定	41	03
90	コア	B	234G6512	基礎数理解A II	2	第2学期	第4ターム	火,金	4	講義	高橋 剛	自然科学系(工)	41	03
91	コア	B	234G6513	基礎数理解A II	2	第2学期	第4ターム	火,金	1	講義	山本 征法	自然科学系(工)	41	03
92	コア	B	234G6514	基礎数理解A II	2	第2学期	第4ターム	月,木	4	講義	酒匂 宏樹	自然科学系(工)	41	03
93	コア	B	234G6515	基礎数理解A II	2	第2学期	第4ターム	月,木	4	講義	管野 政明	自然科学系(工)	41	03
94	コア	B	234G6516	基礎数理解A II	2	第2学期	第4ターム	火,金	3	講義	山本 征法	自然科学系(工)	41	03
95	コア	C	休講	基礎情報論	2					講義			10,38	03
96	コア	C	232K0475	教育情報論	1	第1学期	第2ターム	水	4	講義	後藤 康志	教育基盤機構	40	23

97	コア	C	休講	情報処理概論 I	2						講義						10	03
98	コア	C	休講	情報処理概論 II	2						講義						10	03
99	コア	C	230S0540	情報産業論	2	第2学期	第3,4ターム	金	3		講義	清野 和司	非常勤講師				10	04
100	コア	C	232S0541	情報社会論	2	第1学期	第2ターム	火,金	5		講義	田中 環	自然科学系(理)				10	03
101	コア	C	230M1402	医学情報学(応用)	0.5	第1学期	集中	-	-		講義	赤澤 宏平	医歯学総合病院	82	14			
102	コア	C	232T4021	データ構造とアルゴリズム	2	第1学期	第2ターム	金	1,2		講義	高橋 俊彦	自然科学系(工)				10	04
103	コア	C	231T4050	人工知能基礎	2	第1学期	第1ターム	月,木	3		講義	山崎 達也	自然科学系(工)				10	04
104	コア	C	231T7061	人工知能基礎	2	第1学期	第1ターム	月,木	3		講義	山崎 達也	自然科学系(工)				10	04
105	コア	C	233T0202	知能情報システム概論	1	第2学期	第3ターム	木	2		講義	阿部 貴志	自然科学系(工)	49,10	13			
106	コア	C	234T3048	ネットワーク工学	2	第2学期	第4ターム	月,木	1,2		講義	中野 敬介	自然科学系(工)	51	04			
107	コア	C	234T4035	ネットワーク工学	2	第2学期	第4ターム	月,木	1,2		講義	中野 敬介	自然科学系(工)	51	04			
108	コア	C	230G3046	情報処理概論 A I	2	第1学期	第1,2ターム	水	5		講義	齋藤 裕	教育基盤機構	10	03			
109	コア	C	230G3529	情報処理概論 A II	2	第2学期	第3,4ターム	水	5		講義	齋藤 裕	教育基盤機構	10	03			
110	コア	C	231G3024	情報リテラシー概論	2	第1学期	第1ターム	金	4,5		講義	須川 賢洋	人文社会科学系(法)	10	01			
111	コア	D	230K1309	情報数学I	2	第1学期	第1,2ターム	月	2		講義	伏木 忠義	人文社会科学系(教育)	41	04			
112	コア	D	230K1310	情報数学II	2	第2学期	第3,4ターム	月	2		講義	伏木 忠義	人文社会科学系(教育)	41	04			
113	コア	D	230K2108	情報基礎及び実習	2	第2学期	第3,4ターム	水	3		実習	未定	未定	15	14			
114	コア	D	233M5346	医療情報学	1	第2学期	第3ターム	水	3		講義	近藤 世範	医歯学系(医保)	87	24			
115	コア	D	231T0203	コンピュータ基礎	1	第1学期	第1ターム	火	3		演習・講義・実習	飯田 佑輔	自然科学系(工)	10	13			
116	コア	D	231T0204	コンピュータ基礎	1	第1学期	第1ターム	火	4		演習・講義・実習	飯田 佑輔	自然科学系(工)	10	13			
117	コア	D	232T3022	デジタル回路	2	第1学期	第2ターム	水	1,2		講義	鈴木 孝昌	自然科学系(工)	51	04			
118	コア	D	232X2004	データサイエンス実践B	2	第1学期	第2ターム	月,木	3		講義	熊野 英和	自然科学系(創生)	75	13			
119	コア	D	(全科目)	データサイエンス基礎演習	2									10	01			
120	コア	E	231S0554	計算機演習A	1	第1学期	第1ターム	月	1		演習	劉 雪峰	自然科学系(理)	41	03			
121	コア	E	232S0557	計算機演習B	1	第1学期	第2ターム	月	1		演習	劉 雪峰	自然科学系(理)	41	03			
122	コア	E	233S1506	プログラミング概論A	1	第2学期	第3ターム	木	4		講義	山田 修司	自然科学系(理)	41	03			
123	コア	E	234S1512	プログラミング概論B	1	第2学期	第4ターム	木	4		講義	山田 修司	自然科学系(理)	41	03			
124	コア	E	231T3020	プログラミングB I	2	第1学期	第1ターム	金	1,2		演習・講義・実習	村松 正吾	自然科学系(工)	51	04			
125	コア	E	233T0205	プログラミング基礎 I	2	第2学期	第3ターム	火	3,4		演習・講義・実習	阿部 貴志	自然科学系(工)	10	13			
126	コア	E	233T0506	プログラミング基礎 I	2	第2学期	第3ターム	火,金	1		演習・講義・実習	堀 潤一	自然科学系(工)	10	13			
127	コア	E	休講	プログラミング基礎 I	2						演習・講義・実習			10	13			
128	コア	E	234T0206	プログラミング基礎 II	2	第2学期	第4ターム	火	3,4		演習・講義・実習	金 ミンソク	自然科学系(工)	10	13			
129	コア	E	234T0507	プログラミング基礎 II	2	第2学期	第4ターム	水	1,2		演習・講義・実習	堀 潤一	自然科学系(工)	10	13			
130	コア	E	休講	プログラミング基礎 II	2						演習・講義・実習			10	13			
131	コア	E	231X2003	データサイエンス実践A	2	第1学期	第1ターム	月,木	3		講義	熊野 英和	自然科学系(創生)	75	13			
132	コア	E	休講	データサイエンスのためのPython入門	1						演習			10	03			
133	コア	E	休講	データサイエンスのためのPython入門	1						演習			10	03			
134	コア	F	231S1520	プログラミング演習A	1	第1学期	第1ターム	木	5		演習	劉 雪峰	自然科学系(理)	41	04			
135	コア	F	232S1530	プログラミング演習B	1	第1学期	第2ターム	木	5		演習	劉 雪峰	自然科学系(理)	41	04			
136	コア	F	234S1547	オペレーションズ・リサーチ実習	1	第2学期	第4ターム	火	5		実習	山田 修司	自然科学系(理)	41	04			
137	コア	F	231T4010	プログラミングA I	2	第1学期	第1ターム	水	1,2		演習・講義・実習	上野 雄大	自然科学系(工)	10	04			
138	コア	F	231T7006	実践プログラミングI	2	第1学期	第1ターム	月3,金2	-		演習・講義・実習	堀 潤一	自然科学系(工)	10	13			
139	コア	F	232T3021	プログラミングB II	2	第1学期	第2ターム	木	1,2		演習・講義・実習	村松 正吾	自然科学系(工)	51	04			
140	コア	F	232T4011	プログラミングA II	2	第1学期	第2ターム	水	3,4		演習・講義・実習	上野 雄大	自然科学系(工)	10	04			
141	コア	F	232T7007	実践プログラミングII	2	第1学期	第2ターム	火1,金2	-		演習・講義・実習	堀 潤一	自然科学系(工)	10	13			
142	コア	G	232L3403	情報セキュリティと法 I (情報セキュリティ)/特殊講義(情報セキュリティと法)	2	第1学期	第2ターム	水	3,4		講義	須川 賢洋	人文社会科学系(法)	34	04			
143	コア	G	233L3404	情報セキュリティと法 II (IT社会制度)/特殊講義(ITと法と経済)	2	第2学期	第3ターム	水	3,4		講義	須川 賢洋	人文社会科学系(法)	34	04			
144	コア	G	233T0006	情報セキュリティ概論	1	第2学期	第3ターム	水	1		講義	佐々木 重信	自然科学系(工)	49	13			
145	コア	G	休講	コンピュータセキュリティ入門	2						講義			10	03			
146	コア	G	休講	コンピュータセキュリティ入門	2						講義			10	03			
147	コア	H	230G3901	データサイエンス・インターンシップ(事前・事後指導)	2	第1学期	集中	-	-		演習	山田 修司	自然科学系(理)	10	05			
148	コア	H	230G3902	データサイエンス・インターンシップ	6	第1学期	集中	-	-		実習	山田 修司	自然科学系(理)	10	05			

【参考】

新潟大学「全学分野横断創生プログラム（NICEプログラム）」事業ロードマップ

事業内容区分	取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1. 事業基盤	(1) 事業設計 事業実施体制 プログラム設計	準備（事例調査）	メジャー・マイナー制に関する先進事例（国内・国外のグッド・プラクティス）の調査・分析				
		設備	新NBAS（仮称）等のシステム改修及びオンライン授業の推進に関連する施設・設備等を準備する。	システムの改修			
		人員配置		・事業推進のためのアカデミックコーディネーター3名（特任教員2名、特任専門職員1名）、ハイブリッド型大学教育システム構築担当の特任教員1名、教学マネジメント（IR）担当の特任教員1名を配置する。			
		事業ホームページ作成	事業ホームページ作成、プログラム説明用埋め込み動画作成	ホームページ更新			
		情報発信				・シンポジウムまたはFD等を実施し、学内外に向けて事業成果・課題を広く共有する。	
							・学生を中心とした情報発信活動により、高校生や初年次学生、社会や企業に向けた情報発信を行う。
	(2) 教育プログラムの内容	マイナー学修パッケージの整備	教務専門委員会において、具体的な「マイナー学修パッケージ」の提供の詳細を議論し、具体的な制度設計を進める。	・「マイナー学修パッケージ」の段階的導入の開始 ・マイナー学修登録者数の確認	・「マイナー学修パッケージ」の段階的導入を促進	・「マイナー学修パッケージ」の段階的導入を加速	・「マイナー学修パッケージ」の本格展開
		学修創生型マイナーの実施、指選	学修創生型マイナー・プログラムの設計	実施、指導			
		(3) 改善点	IR分析による教学マネジメント			教育戦略統括室による教学IR分析と学内へのフィードバック（FD）を実施し、教学マネジメントサイクルの試行的な運用を行う。	教育戦略統括室による教学IR分析と学内へのフィードバック（FD）を実施し、教学マネジメントサイクルの運用を行う。
	自己評価			・当該年度の本事業の実施状況について自己評価を行い、学内外に報告後、次年度の計画にフィードバックする。			
	外部評価				「外部評価委員会」を設置して外部評価を行う（中間評価）。	「外部評価委員会」による外部評価を行う（中間評価）。	「外部評価委員会」による外部評価を行う（最終評価）。
	2. 学修成果の評価	教学IR・学修成果の可視化	ディプロマサブリメント		ディプロマサブリメントの調査、準備	ディプロマサブリメントの設計、発行	ディプロマサブリメントの改善・継続
成績・単位の可視化					GPAと取得単位数の可視化	GPAと取得単位数の可視化の改善	メジャーとマイナーに関するGPAと取得単位数の可視化
学生へのアンケート・インタビュー					アンケート、インタビュー実施および分析結果の報告		
3. 学修支援	アカデミック・アドバイジング学修デザイン相談	アカデミック・アドバイジング学修デザイン相談		アカデミック・アドバイザーによる履修指導を定期的実施			
4. 教育制度（授業内容）	学修創生型マイナー支援科目の開設と実施	プログラムのコア科目（分野横断デザイン、分野横断リフレクション）の開講	・「分野横断デザイン」の授業設計 ・「分野横断デザイン」（1,2年次科目）の開講、ループバック作成	・「分野横断リフレクション」の授業設計 ・「分野横断リフレクション」（3,4年次・集大成科目）を開講			
5. 企業・社会との接続	大学教育と社会・企業との接続	大学教育と社会・企業との接続	ミニレクチャー準備	分野横断デザインにおいてミニレクチャー実施		・学生を中心とした情報発信活動により、社会や企業に向けた情報発信を行う。	
6. 高大接続	高等学校、高校生、保護者等への広報	高等学校、高校生、保護者等への広報	・パンフレット配布	・オープンキャンパス出席	・オープンキャンパス出席	・オープンキャンパス出席	

令和5年度外部評価結果

令和5年度新潟大学「全学分野横断創生プログラム（NICEプログラム）」事業
「外部評価委員会」日程

日時：令和5年9月15日（金）10時00分～11時45分

会場：新潟大学総合教育研究棟D棟1階 大会議室

次 第

1. 開会挨拶
2. 外部委員紹介
3. 委員長の選出
4. 事業実績報告
 - 1) 事業基盤
 - 2) 学修成果
 - 3) 学修支援
 - 4) 教育制度（授業内容）
 - 5) 企業・社会との接続
 - 6) 高大接続
5. 意見交換（事業評価）
6. 総合評価および評価委員講評
7. オブザーバーコメント
8. 閉会挨拶

令和5年度 外部評価委員名簿

氏名	所属	職名
木村 治生	ベネッセ教育総合研究所	主席研究員
清水 栄子	追手門学院大学 共通教育機構／教育支援センター	准教授
田中 一孝	桜美林大学 リベラルアーツ学群	准教授
徳武 裕一	一般社団法人新潟県経営者協会	専務理事
鷺尾 雄慈	新潟明訓高等学校	新潟明訓高等学校進路指導 アドバイザー 前新潟県立長岡向陵高等学校長 大学教育等推進事業委員会短期大 学部会委員

事業評価担当

- 1) 事業基盤 …………… 全委員
- 2) 学修成果 …………… 木村委員
- 3) 学修支援 …………… 清水委員
- 4) 教育制度 …………… 田中委員
- 5) 企業・社会との接続………… 徳武委員
- 6) 高大接続 …………… 鷺尾委員

令和5年度新潟大学「全学分野横断創生プログラム（NICEプログラム）」事業
外部評価（実施審査全体評価）

外部評価委員会委員長 清水 栄子
(追手門学院大学 共通教育機構/教育支援センター)

実地審査全体評価：A

コメント

評価できる点

- ・ロードマップに照らして実施できている。
- ・マイナープログラム履修登録者数が増加している。
- ・学修者本位の学びに関して「リフレクションする科目」を立ち上げて、成長を支える仕組みを整えている。
- ・ループリックによる改善の試みや科目数の増加など、大学全体としての取り組みになっている。
- ・アカデミック・アドバイジングのガイドラインの整備など、制度として継続していけるように努力している。

より一層の改善・進展が望まれる点

- ・大学としての計画・目標とリンクし、このプログラムについてどのようにPDCAを行うのか、戦略を立ててほしい。
広報を例にとると、
高校側への発信：説明会等で本事業関係者以外の教職員がNICEプログラムの紹介を発信できるようにするなど入試課等との連携が必要になってくる。他県も視野に入れて検討する。
企業側への発信：企業側にこのプログラムの理解が得られていなければ、学生のせっかくの学びが人事（配置）等によって活かされなくなってしまう可能性もある。そのためにも企業側に理解してもらう取組が必要である。
- ・ロードマップに従って仕組みはできてきたので、今後、学内外での仲間をどうつくるのか。
学生の声などの情報をどう収集して発信していくか。
「分野横断デザイン」「分野横断リフレクション」のシラバスを学生の視点から作成する。
- ・事業を発展的に終了するには、今後、大学の理念とどう関係させるのか。

その他、コメント

今後は履修した学生の社会での活躍をどう評価するのも検討しておく必要がある。

学修成果 担当	木村 治生 委員
---------	----------

全体評価：A

学修成果：A

コメント

評価できる点

【全体に関して】

- ・新潟大学における本プログラムの取組は、中央教育審議会答申「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン」や中央教育審議会大学分科会「教学マネジメント指針」などで求められている文理横断・文理融合教育や学修の幅を広げる教育の推進に合致するものであることが、実地審査から確認できた。社会課題の解決に分野の枠を超えた専門知の組合せが求められる時代に必要な人材の育成を進めるうえで有用なプログラムであり、他大学のモデルにもなりうる取組だと考える。
- ・本プログラムは、「新潟大学将来ビジョン 2030」【目標 1－1】（社会とつながった学修者本位の教育システムの構築）や中期目標・中期計画（令和 4～9 年度）【⑥－1】（メジャー・マイナー制を利用した複眼的視野をもった人材養成）でも具体的な目標が掲げられており、新潟大学の理念とする「自立と創生」の志をもった学生の育成につながるものととらえることができる。本事業の関係者が、地道にその理念の実現に取り組んでいる。
- ・事業実施体制の強化によって事業を遂行する上でのガバナンスがいっそう効くようになり、取組の充実につながった。その結果、取組は昨年度からの進展が認められ、事業実施体制、教育プログラムの内容、アカデミックアドバイザー（AA）による学修支援、学修成果の可視化など、いずれも充実が図られた。また、その結果として、プログラムの履修者数や登録者数も増加した。実地審査における聞き取りの結果やシンポジウムの成果報告から、現行の努力を継続すれば、本事業の目的を達成することが可能だと判断できる。
- ・とくに、AA が果たす履修デザインやリフレクションは、学修者である学生の「足場架け」や分野を架橋する機能を果たしており、専門領域における動機づけやメタ認知の育成にもつながっているものと感じる。大学が本来果たすべき「自立した学修者の育成」に貢献していると考えられ、今後の学部などにおける取組にも参考になる。

【学修成果に関して】

- ・昨年度までの取組に対して、学務情報システムの改修、教学マネジメント体制の拡充、学修成果の可視化にかかる調査・分析のいずれもが進化、充実している。聞き

取りの結果からも、現行の努力を継続すれば事業の目標を達成できる見通しが立っていると判断できた。

- ・学務情報システムについては、マイナーの履修登録が格段にしやすくなり、学生にとっての利便性が高まった。また、ディプロマサプリメントの機能における「学修創生型マイナー」の履修について、学修者である学生自身が自らの計画や成果を説明する内容になっているところがきわめて良い。このように学修者が自らの履修の目標や成果を言語化して確認できることは、学修活動に大きなプラスになると考える。
- ・教学マネジメント体制については、関連する部署と適宜連携を図り、本プログラムの質保証のための取組を進めている。また、学修成果の可視化にかかる調査・分析については、必要なデータを収集・分析し、それを学内のFD・SD、学会等での発信に生かしている。引き続き、部門横断で必要となるデータのデザインやその収集、使いやすいデータベースの構築などを目指していただきたい。

より一層の改善・進展が望まれる点

【全体に関して】

- ・本事業がより大きな成果を上げるために、大学教育改革や新潟大学の理念・ビジョン・目標など、より上位の目的との関連づけを行ってほしい。事業の目標実現にとどまることなく、大きな目的の実現に向けて学内外の関係者を巻き込むことが重要だと考える。本事業に共感する“仲間づくり”を意識してほしい。
- ・学内外の関係者の巻き込みのために、広報戦略を十分に練ってほしい。学内では、本プログラムが新潟大学のめざす教育の実現に寄与するものであるという位置づけを明確にし、いっそうのPRを図ってほしい。また、学外に対しては、学修成果を可視化し、学生の成長を言語化して、積極的な発信を行ってほしい。ロードマップでは学生主体の発信活動が掲げられ、WEBサイトやSNSを通じて学生の成長の様子を垣間見ることができるとは言えない。学内外での活動の認知を広げるために、発信戦略をどこが立案し、リードするのかを明確にできるとよいと考える。
- ・「分野横断リフレクション」は、本事業における集大成ともいえる科目である。ぜひ、この充実と履修者の増加を図り、学生の成長を示してほしい。

【学修成果に関して】

- ・今後に関して、ディプロマサプリメントで表示された情報を、学生が自らの学修の振り返りに生かし、次の学修活動の計画を立てることが重要である。仕組みの整備にとどまらず、学生がディプロマサプリメントの情報を活用する取組を拡充できるとよい。

- ・可視化した学習状況に関するデータは、関係者がこれをどう解釈するのか、次の活動にどう生かすかを検討することが必要である。学内でデータを基に議論し、活動の改善を考える機会を多く作れるとよい。その仕組みが十分にはないということだったので、検討いただきたい。
- ・学生アンケートについては、回収率が課題だと感じる。また、定量的なデータも重要だが、自由記述に記されているような学生自身の声を集めて、活動の参考にしていくことも重要である。もっと学生の声を集めるとよいと思う。

その他

【全体に関して】

- ・主体的に自らの履修をデザインし、受講後にリフレクションを行うことは、すべての学生にとって有用な活動である。本事業の終了後を見据えて、活動を継続するためのうち手を考えていただけるとよいと思う。

【学修成果に関して】

- ・本事業は国内でも先進的な取組であり、データに基づく教学マネジメントの拡充に引き続き注力して、メジャー・マイナー制度の意義を明らかにするとともに、わが国における教学マネジメントのモデルを作っていただきたい。

学習支援 担当	清水 栄子 委員
---------	----------

全体評価：A

学修支援：A

コメント

評価できる点

- (1)本プログラムは、ロードマップに記載された年度目標を設定し、実践・評価・改善により、着実に目標を達成されています。その過程において、2人の担当副学長による各学部巡りや学部ごとの資料作成など細やかな取組みがなされています。加えて教育基盤機構が担うメジャー・マイナー制教育の全学部等への理解促進と働きかけについて、学長が支援していく意向を示されるなど全学的な取組みとなっています。
- (2)マイナー履修者数の増加は、これまでの担当者各位のご尽力の成果と考えます。数値だけではなく、先日のシンポジウムで登壇された学生の報告の様子からもこのプログラムの成果が見られました。
- (3)アカデミック・アドバイジングに関するガイドラインの作成により、学生へのサポート提供の方針等が明確にされています。
- (4)ピア・サポートに関する取り組みも充実しており、学生による広報ページ増設など、学生の視点から本プログラムが理解され、広報に繋がられています。

より一層の改善・進展が望まれる点

- (1)全学的な目標・計画とどのようにリンクさせていくのか、という点については今一度明確に示す必要があると思われます。今回、評価委員からの指摘にもあった高校（県内外）・企業等関係者への広報戦略についてです。このプログラムの履修学生の将来の受け皿になる企業側には、本プログラムについて、特にご理解いただくことは重要なポイントだと考えます。
- (2)全学的な取組みであることから、これからも各学部・関係部署との連携を行うこととなると思われます。このプログラム終了以降の継続も視野に入れて検討いただきたいと思います。
- (3)これまではマイナープログラムの履修者数増加に注力されてきました。(1)とも関連しますが、今後はその成果についてさらに検討していくこととなると思われます。
- (4)アカデミック・アドバイジングに関しては、学生の事後アンケートをどのように活用されるのかをご検討いただきたく思います。またアンケートだけではなく、学生から直接意見を収集するような方法も併せてご検討いただきたいと思います。そうすることで、このプログラムの優れた点や改善点について、質的なデータが収集できるものと考えます。

その他

- ピア・サポートに関しては、「ファシリテーター養成プログラム」の改訂も含めて検討を期待しています。学生主体とのことでしたので、可能であれば他大学のピア・サポーターとの交流会も検討いただければ、より効果的なプログラムとなると思われます。

教育制度（授業内容）	担当	田中 一孝 委員
------------	----	----------

全体評価：A

教育制度（授業内容）：A

コメント

評価できる点

事業全体について、ロードマップに即し、プロジェクトを推進していると高く評価できます。各部局の協力を得るための執行部レベルでの地道な交渉は、非常に労力がかかるものの、事業を着実に進めることに繋がったと考えられます。たとえば各学部の学生便覧において、マイナー履修についての説明が掲載されたことは、非常に大きな成果です。担当項目（教育制度）について、「分野横断デザイン」の履修者を増加させるために、科目ループリックの改善、クラスの増設、広報の強化など適切な手法によって成果を挙げています。また「分野横断リフレクション」の改善ためにも、着実な施策を実施しています。

より一層の改善・進展が望まれる点

本事業が終了してもなお貴学においてマイナー履修が定着するためには、大学の教育理念・目標に即して、明確に教育システムに組み込む必要があります。たとえば入試制度に組み込む形でメジャー・マイナー履修を前提とした総合型選抜を構想する、メジャー・マイナーを履修した学生を追跡調査する、学部教員に対してマイナー履修を前提としたコースデザインのFDプログラムを広く実施する、マイナー履修の多い学部学科へのインセンティブの検討などが挙げられます。他の様々な手段も含めて、検討していただきたいと思います。担当項目についても、本事業終了後に「分野横断デザイン」「分野横断リフレクション」の運用体制をどうすべきなのか、可能な限り早く検討を開始すべきであると考えます。

その他

これほど挑戦的な事業を計画通りに進めて来られたことは非常に高く評価できます。本事業が我が国の高等教育や社会全体により大きなインパクトをもたらすよう、さらなる進展を期待しております。

企業・社会との接続 担当	徳武 裕一 委員
--------------	----------

全体評価：A

企業・社会との接続：A

コメント

評価できる点

a) 事業全体について

「事業実施体制」「教育プログラム」「改善点」のいずれについても、計画どおりに整備されたうえで課題や今後の方針が明確化されており、引き続きこれらに基づき取り組みが進められることによって本事業の目的が達成されることが期待できるものと考えます。

b) 企業・社会との接続

「ミニレクチャーの実施」「企業や社会に向けた情報発信」について、所期の計画と同等の取り組みが行われており、特に「ミニレクチャー」については、企業・団体の業種等に偏りが無く、企業等の実務において文理融合や複数分野の学問が実際にどのように活用されているのか、現役社員から直接話を聞くことで学生の分野横断の学びに対する理解や意欲の促進に資する情報が提供されているものと考えます。

より一層の改善・進展が望まれる点

a) 事業全体について

①に記載の通り、教育基盤機構による本事業の実施態勢については計画どおり整備されていると考えますが、一方で、貴学全体としての本事業に関する意義や目的意識の共有化、或いは取り組みの促進などの拡がりなどといった点が見え難く感じられました。

貴学の中期目標・計画に於いて本事業における履修者数と学生の満足度を数値目標として掲げていますが、これらの達成に向け引き続ききめ細かなPDCAを実施していくことが求められます。

PDCAについては、教育基盤機構内にとどまらず、これまで以上に学部など貴学内の他部門との連携を強め、全学的な観点から進めていくことにより更なる効果が期待できるものと考えます。

b) 企業・社会との接続

本事業により、実社会において複眼的視野を持ち企業や社会の課題解決を牽引する人材が輩出されることが期待されます。

一方で、企業等では依然として「文系」「理系」を基本とした職務や人事体系となっているなどの実態もあり、受入側の企業等にもそのような人材が十分に知識・能力を発揮し活躍できるような環境や場の整備を促していく必要があるものと考えます。

しかしながら、現状の周知内容（シンポジウムの開催、月刊先端教育・先端教育オンラインへの記事掲載）は教育関係者向けと思われ、地域社会や企業等にとっては関心が喚起されたり理解しておくべき内容と捉えられないことが懸念されます。

その為、地域社会や企業等に対しては、そのニーズを汲み取るとともに、本事業の意義や目的、学生がどのような学びを行っているのかなど周知の内容や方法を検討していくことも重要であると考えます。

その他

上記②に於いて、本事業により、実社会において複眼的視野を持ち企業や社会の課題解決を牽引する人材が輩出されることが期待されると述べましたが、それが本事業の本質的な目的・意義でもあるとも考えます。

他部門との連携強化、企業・社会或いは高校等への周知にあたっては、これら外部の関係者にも本事業の目的や意義、或いは本事業の価値などを理解してもらい共有してもらうことが必要だと考えます。

しかしながら、例えば本事業のパンフレット、ホームページ、その他資料（資料 6）には、「NICE プログラムとは学部の枠を越えて複数の分野を横断して学ぶことのできる教育プログラムであること」は説明されているものの、本事業の意義や目的などについては触れられていないように見受けられます（※）。

※資料 6 -①大学案内 2024 には「特色ある 2つのプログラムで社会の諸問題に対して的確に対応でき、課題解決のために広範に活躍できる人材を育成しています」と記載がある。

そうした事から、本事業の周知や情報発信にあたっては、上記の点についても検討されてみては如何かと考えます。

高大接続 担当	鷺尾 雄慈 委員
---------	----------

全体評価：A

高大接続：A

コメント

評価できる点

全学横断的教學マネジメントを確立し、社会とのインタラクションの強化を実現しながら、今後の社会や學術の新たな変化等に対して柔軟に対応できるようにするための幅広い教養と深い専門性を両立した人材を育成することを目的とし、文理横断・学修の幅を広げ、広さと深さを両立する教育プログラムを開発すること、理解・修得した分野を融合・統合する学びのプロセスを改革することなどが具体的な課題であるが、マイナー登録申請学生数①719→②666→③866、マイナー履修申請学生数①527→②501→③611と推移しており、学生への認知が進んでいる。また、履修している学生3名の事例報告では、本事業の趣旨に沿った積極的な学びが進められていることを確認できた。

より一層の改善・進展が望まれる点

高大接続の観点から、高校生・高校教員・保護者の認知について、具体的に評価することができないだろうか。また、高校教員が多数参加する会議等で、大学の現状紹介をする機会がある場合は、必ず本事業の内容と成果をアピールするなど、全教職員が広報のチャンスを活かすという共通認識をもっていただきたい。今後は本事業の指導体制や広報のブラッシュアップを行うとともに、履修した学生が卒業し、社会に出ていくことになることから、学生自身の評価やその後のワークライフの検証を行い、事業効果を可視化する方法を検討していく必要がある。

その他

他県の高校生に、他の国立大学との差別化するアピールポイントとして、本プログラムは有効であり、「本事業があるから新潟大学を選んだ」という学生が増えていくことを期待する。

<参 考>

知識集約型社会を支える人材育成事業(文理横断・学修の幅を広げる教育プログラム) 新潟大学「全学分野横断創生プログラム (NICE プログラム)」事業 外部評価要項

新潟大学は、第4期中期目標期間にメジャー・マイナー制の全学的な普及を進めるべく教育改革を進めている。本事業はその推進力となるものであり、確実な成果が期待されているところである。そこで、本事業に関して多面的な評価体制を整備する。即ち、「外部評価」、「事業全体の評価」、「各副専攻プログラムの評価」である。それぞれの評価によって得られた知見を学長の意思決定に活用し、現場の教職員とトップレベルの意思決定の統合を図る。これにより事業の適切な運営・実施を目指す。

本評価要項は、このうち「外部評価」の実施方法について定めたものである。外部評価は、本学の学生において分野横断型教育システムの履修が一定程度進んだ時期が望ましいため、事業期間の中間年度となる令和4年度から開始する。

1. 外部評価の概要

高等教育の専門家および県内の企業や高等学校の関係者等、本事業の各側面に関連して高い知見を有する外部有識者から構成される外部評価委員会を設置する。当該委員会は「事業説明書」に基づいて全体的な評価（「事業設計」、「教育プログラムの内容」、「改善点」の観点）と、事業の各側面（学修成果の評価、学修支援、教育制度、企業・社会との接続、高大接続）に関する評価を実施する。

「事業説明書」には、本事業の計画と実施状況等を熟知している本学教職員が説明書作成時点（令和5年8月）までの事業の実施状況を記載し、進捗状況の自己評価を明示する。

2. 外部評価の方法

(1) 事業説明書

事業説明書は、事業の実施内容とそれに基づく自己評価により構成される。事業を実施する本学担当教員は、事業説明書の中に、(2)に示す担当業務区分毎に事業の実施内容を記載し、その進捗状況について下表による4段階の自己評価を行う。

(2) 事業内容区分

①事業基盤

事業設計（事業実施体制、プログラム設計）、教育プログラムの内容、改善点

②学修成果の評価

ディプロマ・サプリメント、成績・単位の可視化、学生へのアンケート・インタビュー

③学修支援

アカデミック・アドバイジング、学修デザイン相談

④教育制度（授業内容）

学修創生型マイナー支援科目の開設と実施

⑤企業・社会との接続

大学教育と社会・仕事との接続

⑥高大接続

高等学校、高校生、保護者等への広報

区分	自己評価
1	所期の計画以上の取り組みが行われている
2	所期の計画と同等の取り組みが行われている
3	所期の計画に比べ、全体の取り組みが遅れているが、一部は同等の取り組みが行われている
4	所期の計画に比べ、取り組みが遅れている

(3) 外部評価委員会

外部評価委員会は、本学教職員が作成した「事業説明書」に基づき、事前コメント、および、
実地審査での評価を行い、総合評価を行った上で、以下の区分により評価の結果を決定する。

区分	評価
S	計画を越えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。
A	計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。
B	一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組があり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。
C	取組に遅れが見られるなど、総じて計画を下回る取組であり、事業の目的を達成するためには、当初計画に基づく目標の早急な達成や事業規模の縮小等に向け、事業計画の抜本的な見直しが必要である。

4. 評価結果の決定

外部評価委員による事前コメント及び実地審査の結果を基に総合評価を行う。評価結果において、総合評価が「C」とされた場合には、評価結果に対する本事業計画の見直し等の対応策を講じ、外部評価委員による再評価を行うこととする。

5. その他

(1) 開示・公開等

①外部評価委員会の審議内容等の取り扱いについて

評価に係る審議は原則非公開とする。

②評価結果の公表等について

評価結果は、文部科学省へ報告されるとともに、新潟大学ホームページ本事業サイトへの掲

載等を行い社会へ周知するとともに、今後の事業推進等に活用する。

③委員等の氏名について

外部評価委員会の委員の氏名等については、評価結果の決定後に公表することとする。

(2) 利害関係者の排除等

事業に以下の利害関係がある委員（以下の①～③に該当）は、事務局にその旨申し出ることとし、本事業の評価には参加させないこととする。

(利害関係があるとみなされる場合)

①委員が本学の専任又は兼任として在職（就任予定を含む）又は3年以内に在職していた場合

②委員が本学の役員として在職（就任予定を含む）又は3年以内に在職していた場合

③その他、委員が中立・公正に評価を行うことが困難であると判断される場合

(3) 情報の管理、守秘義務、事業結果報告書の用途制限

①評価の過程で知り得た個人情報及び本事業の評価内容に係る情報については、外部に漏らしてはならない。

②委員として取得した情報（「事業説明書」等の各種資料を含む）は、他の情報と区別し、「善良な管理者」の注意義務をもって管理する。

③評価にかかる資料等は、本事業の評価を行うことを目的とするものであり、その目的の範囲内で使用する。

(4) 評価結果の活用

外部評価の結果は、他の評価の結果と合わせて教学 IR 体制のもとで分析するとともに、全学部・主専攻プログラムと教育基盤機構における未来教育開発部門と教学マネジメント部門が連携して、データに基づく議論を展開し、プログラム全体の改善を実施する。プログラムの現状と課題は迅速に大学執行部へ伝達され、教育及び経営の意思決定の指標として活用する。

以上

【担当部署】

新潟大学教育基盤機構未来教育開発部門

NICE プログラムオフィス

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町 8050

TEL : 025-262-7168 FAX : 025-262-6991

おわりに（外部評価を受けて）

本年度もここに当事業の自己評価報告書の完成をみることができました。私どもの取組にご協力、ご声援をいただいた方々に深く感謝申し上げます。

さて、昨年度の事業運営上の大きな課題としては、「分野横断デザイン」の履修者増ということがございました。この点に関して、これまで集中講義としていた開講形態を通常の時間割の中にも組み入れて拡大した結果、かなりの履修者増を達成できました。授業担当の先生方の一方ならぬご尽力の賜物です。この場を借りて御礼申し上げます。

履修者数もさることながら、何よりもこの授業の履修者たちが大変意欲的に学んでいることが印象的です。先生方のご指導により、通常講義との違いはもちろん、専門分野の演習や一般的な入門演習とも異なる新しい学びが実現できております。このことは今年度から開講した「分野横断リフレクション」も然りでございます。特に学修創生型マイナーの履修者は、自分自身で構成したマイナー・プログラムの意味をメジャーと関連付けながら明確化するために、学びの全体をカリキュラムマップのような形で可視化した上で振り返りができております。私個人の長い教育経験の中でついにみることのなかった新しい学び方を目前にして感激している次第です。

このような特徴的な学びの開発に加え、全学的にもご協力をいただきながら事業を進めることができおり、お陰様で昨年度の中間評価では「S」という高い評価をいただくことができました。来年度は、事業としてのご支援を受ける最終年度となりますが、この事業を機に、新潟大学は本格的なメジャー・マイナー制の大学へと変身を遂げております。どうか本報告をご高覧いただき、この先も本学の新しい教育のしくみが継続・発展していく過程に注目していただければ幸いです。

令和5年10月

全学分野横断創生プログラム プロジェクト責任者
教育基盤機構 教学マネジメント部門長 福島 治

新潟大学教育基盤機構

未来教育開発部門

全学分野横断創生プログラム（NICE プログラム）

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町 8050

TEL : 025-262-7168 FAX : 025-262-6991

新潟大学教育基盤機構
未来教育開発部門
全学分野横断創生プログラム(NICEプログラム)

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050

TEL 025-262-7168

FAX 025-262-6991